

# 日医総研ワーキングペーパー

## IT を利用した全国地域医療連携の概況

(2013 年度版)

No. 321

2014 年 7 月 1 日

日本医師会総合政策研究機構 上野智明

ORCA プロジェクトチーム



## IT を利用した全国地域医療連携の概要（2013 年度版）

日本医師会総合政策研究機構主席研究員 上野智明

ORCA プロジェクトチーム

### キーワード

- ◆ 地域医療連携
- ◆ 地域医療再生計画
- ◆ かかりつけ連携手帳

### ポイント

- ◆ 2012 年に続く 2 回目の調査。全国の IT を利用した地域医療連携を網羅。有効回答数 169 箇所
- ◆ 地域医療再生計画による IT を利用した地域医療連携数は 72 箇所
- ◆ 全県を対象とした地域医療連携は予定を含め全国で 28 箇所
- ◆ 新規調査項目の追加（導入目的、効果、参加患者数、障害対策、診療情報の利用等）
- ◆ 2013 年時点の平均的な地域医療連携像として「IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた」を作成。平均的な構成は、病院が 11 施設、診療所が 36 施設、登録患者が 6,500 人
- ◆ 現状の地域医療連携システムは日本の全地域・人口をカバーするには到底至っておらず、多くがコストを含めた継続の問題を抱えている
- ◆ これからの地域医療連携のための 4 つの提案

### 【主な調査項目】

全国地域医療連携の概要／所在地／運営主体／対象範囲／導入目的／参加施設数／参加患者数／同意方法／提供サービス／連携パス／システム（地域共通 ID、データ保管場所、厚生労働省標準規格、通信ネットワーク 等）／参加料金／構築・運用費用／構築・運用費用の負担者／導入効果／診療情報活用 等

## 目 次

1.	調査の概要	1
1.1.	目的	1
1.2.	調査項目	1
1.3.	調査対象	2
1.4.	調査方法	3
1.5.	回収結果	3
1.6.	公開方法	3
1.7.	調査実施機関	5
2.	調査の結果	6
2.1.	全国地域医療連携の概要	6
2.1.1.	全国地域医療連携の概要	6
2.2.	所在地ならびに運営主体	8
2.2.1.	所在地ならびに運営主体	8
2.2.2.	対象とする範囲	11
2.3.	導入の目的	12
2.3.1.	導入目的	12
2.3.2.	地域の課題	14
2.4.	参加施設数	17
2.4.1.	参加施設数	17
2.5.	参加患者数	21
2.5.1.	参加患者数	21
2.6.	参加の同意方法	24
2.6.1.	参加の同意方法	24
2.7.	提供サービスの状況	27
2.7.1.	連携している疾病の状況	27
2.7.2.	提供しているサービスの状況	28
2.8.	システムの状況	29
2.8.1.	情報連携の方式	29

2.8.2.	情報共有の形態	32
2.8.3.	地域共通 ID の利用について	35
2.8.4.	標準化ストレージ対応の状況	37
2.8.5.	連携用データの保管場所について	39
2.8.6.	障害対策（バックアップ）の状況	40
2.8.7.	厚生労働省標準規格の採用状況	41
2.8.8.	通信ネットワークの採用状況	43
2.8.9.	ログインセキュリティの採用状況	46
2.9.	主な IT 関連企業	50
2.9.1.	主な関連企業	50
2.10.	サービス利用・参加料金の状況	51
2.10.1.	サービス利用・参加料金の状況	51
2.11.	システム構築・運用費用の状況	54
2.11.1.	システム構築費用の状況	54
2.11.2.	システム運用費用の状況	58
2.12.	システム構築・運用費用の負担者	61
2.12.1.	システム構築費用の負担者	61
2.12.2.	システム運用費用の負担者	62
2.13.	導入の効果	63
2.13.1.	導入効果	63
2.13.2.	導入後の課題	66
2.13.3.	診療情報の蓄積と利用	70
2.14.	情報公開の割合	71
2.14.1.	情報公開の割合	71
3.	まとめと考察	72
3.1.	考察	72
3.2.	IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた	80
3.3.	提案	81
3.3.1.	継続	81
3.3.2.	かかりつけ連携手帳	81

3.3.3. クラウド基盤の整備 .....	82
3.3.4. 制度化と財源 .....	82
4. さいごに .....	84

(別添資料1)・・・全国地域医療連携一覧

(別添資料2)・・・全国地域医療連携詳細（非公開指定の情報は含まず）

(別添資料3)・・・主なIT関連企業（非公開指定の情報は含まず）

(別添資料4)・・・アンケート項目と内容

## 1. 調査の概要

### 1.1. 目的

2014年6月に医療・介護等一括法が成立し、10月には病床機能報告制度が施行されるなど、持続可能な医療保険制度をめぐってさまざまな取り組みが行われている。現在の医療提供体制をとりまく問題や環境の変化に対応し、必要とされる医療を適切に提供する手段の一つに、地域医療における連携の強化がある。連携を支援するためのITの活用に対しても、医療情報交換のための標準化やセキュリティの規格が基盤として整いつつある。

ITを利用した地域医療連携については、これまで各省庁の実証事業やモデル事業を中心とした取り組みが全国で行われてきた。しかし、全てを俯瞰できる資料がなく、とくに事業期間終了後の状況などの情報はきわめて少ない。本調査では、全国のITを利用した地域医療連携を網羅し、その変化を継続的に収集するための、基礎資料の作成を目的とした。本調査は2012年度の初回調査に引き続き第2回目となる。

### 1.2. 調査項目

本調査では2012年度の調査に加え、いくつかの調査項目を追加した。また2012年度調査の結果を踏まえ、昨年と同様の質問であっても、回答用の選択肢について若干の改良を行った。

- (1) 全国地域医療連携の概要
- (2) 所在地ならびに運営主体
- (3) 対象地域      —2013年度新規調査
- (4) 導入の目的      —2013年度新規調査  
    ・地域の課題
- (5) 参加施設数

- (6) 参加患者数      －2013 年度新規調査
- (7) 参加の同意方法（医療介護施設・患者）
- (8) 提供サービスの状況
  - ・連携している疾病の状況
  - ・提供しているサービス（機能）の状況
- (9) システムの状況
  - ・情報連携の方式
  - ・情報共有の形態
  - ・地域共通 ID の利用
  - ・標準化ストレージ対応の状況      －2013 年度新規調査
  - ・連携用データの保管場所
  - ・障害対策（バックアップ）の状況      －2013 年度新規調査
  - ・厚生労働省標準規格の採用
  - ・通信ネットワークの種類
  - ・ログインセキュリティの種類
  - ・主な IT 関連企業
- (10) 導入の効果      －2013 年度新規調査
  - ・診療情報の蓄積と利用の有無
- (11) サービス利用・参加料金の状況
- (12) システム構築・運用費用の状況
- (13) システム構築・運用費用の負担者
- (14) 情報公開の割合

### 1.3. 調査対象

日本全国の IT を利用した地域医療連携

調査対象の抽出に先立ち、文献や Web サイトの検索を網羅的に行い、IT を利用した地域医療連携であると思われるものについて、問い合わせ先の調査・確認を行った。

なお、大規模なメーリングリストならびに各地での IT を利用した救急搬送システム

は対象外とした。

## 1.4. 調査方法

郵送による回答依頼ならびに、本調査専用 Web サイトへの回答（地域医療連携担当者別の ID、パスワードを配布）。

回答の有無などに関して適宜、メールや電話による回答依頼を要請。

## 1.5. 回収結果

- (1) 回答依頼数（郵送） 245 箇所
  - ・(自治体等で 1 箇所に複数の地域医療連携について回答を依頼したケースを含む)
- (2) 郵送依頼に対する返答数 230 箇所
  - ・うち、アンケートの対象ではない（IT を利用していないなど） 32 箇所
- (3) 分析対象数 198 箇所
- (4) 有効回答数（率） 169 箇所（85.4%）
- (5) 無効回答内訳
  - ・(拒否など) アンケートに回答できない／しない 29 箇所

## 1.6. 公開方法

公開用 Web サイト

<http://www.jmari.med.or.jp/rma/>

- ・回答者は個別に発行した ID,Pass にて随時、追記、訂正、新規地域医療連携登録が可能
- ・回答結果を上記 Web サイトにリアルタイムで反映
- ・Web 公開の可否については、アンケートの各項目で指定できるようにした

図 1.6-1 公開用 Web サイトの例

# ITを利用した地域医療連携

日本医師会総合政策研究機構

## 調査の目的

- 全国の「ITを使った地域医療連携」の全体像を明らかにすること
- 基礎資料としての情報提供

ITを利用した地域の医療連携が盛んに行われていますが、その全体像はあまり明らかになっておりません。本調査では、現在整備中のもも含め、日本全国で取り組まれているITを利用した地域医療連携の取り組みを網羅し、参考にしやすい形できとまとめることを目的としております。

### 資料

- 日本医師会医療情報システム協議会(日医協)での発表資料(PDF)(2013.02.20修正)
- 地域医療連携一覧(公開用)(2013/02/07時点)(PDF)

## ご協力をお願い

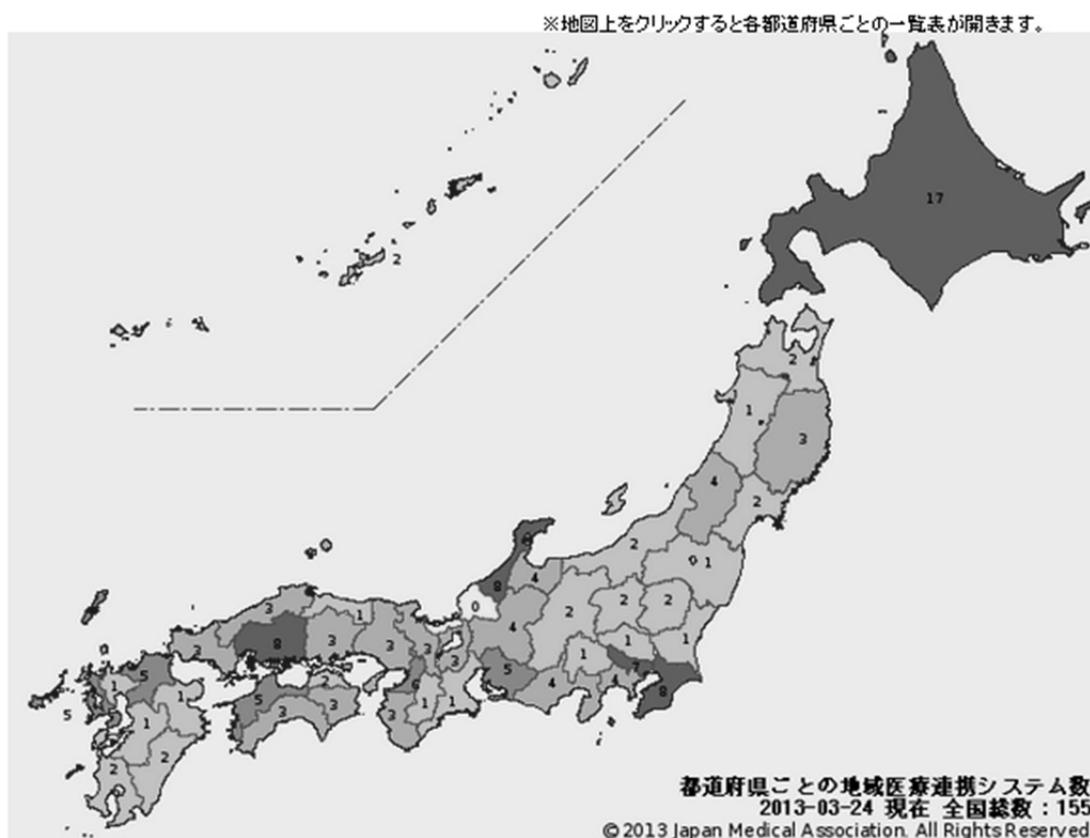
貴地域の地域医療連携についてご登録(アンケート回答)をお願いします。

★新規登録は [新規登録](#) ★既登録情報の修正は [ログイン](#)

## お問い合わせ先

Email: [rma@imari.med.or.jp](mailto:rma@imari.med.or.jp)

図 1.6-2 公開用 Web サイトの例



## 1.7. 調査実施機関

日本医師会総合政策研究機構

- ・回答依頼発送ならびに問い合わせ対応業務委託先：  
メディカルインフォメーションガード株式会社

## 2. 調査の結果

本項では、調査結果を集計した概要を順に掲載する。

詳細な内容に関しては、巻末の「全国地域医療連携一覧」(別添 1)、「全国地域医療連携詳細」(別添 2)を参考に願いたい。

### 2.1. 全国地域医療連携の概要

本調査項目では、地域医療連携の正式名称ならびに略称(愛称)、短文による紹介、稼働開始年(予定含む)、公開 URL 等の回答を依頼した。

#### 2.1.1. 全国地域医療連携の概要

現在継続稼働している地域医療連携は、おおむね 2000 年からスタートしており、地域医療再生計画<sup>1</sup>がスタートした 2011 年頃を境として急増していることがうかがえる。地域医療再生計画による地域医療連携は全国で 72 箇所が確認できた(うち 1 箇所は稼働時期不明)。今後、稼働が予定されている(2014~2015 年度)地域医療連携は 28 箇所であった。(図 2.1-1)。

当該地域医療連携を説明する公開 Web サイトの有無については、URL の記載が 72 箇所(42%)であり、2012 年度調査よりも公開の割合が増えたが未だクローズな形式での運営が過半数を占めていた(図 2.1-2)。

---

<sup>1</sup> 平成 21 年 6 月 5 日 厚生労働省 「地域医療再生計画について」医政発第 0605009 号

図 2.1-1 全国地域医療連携数の推移（予定含む）

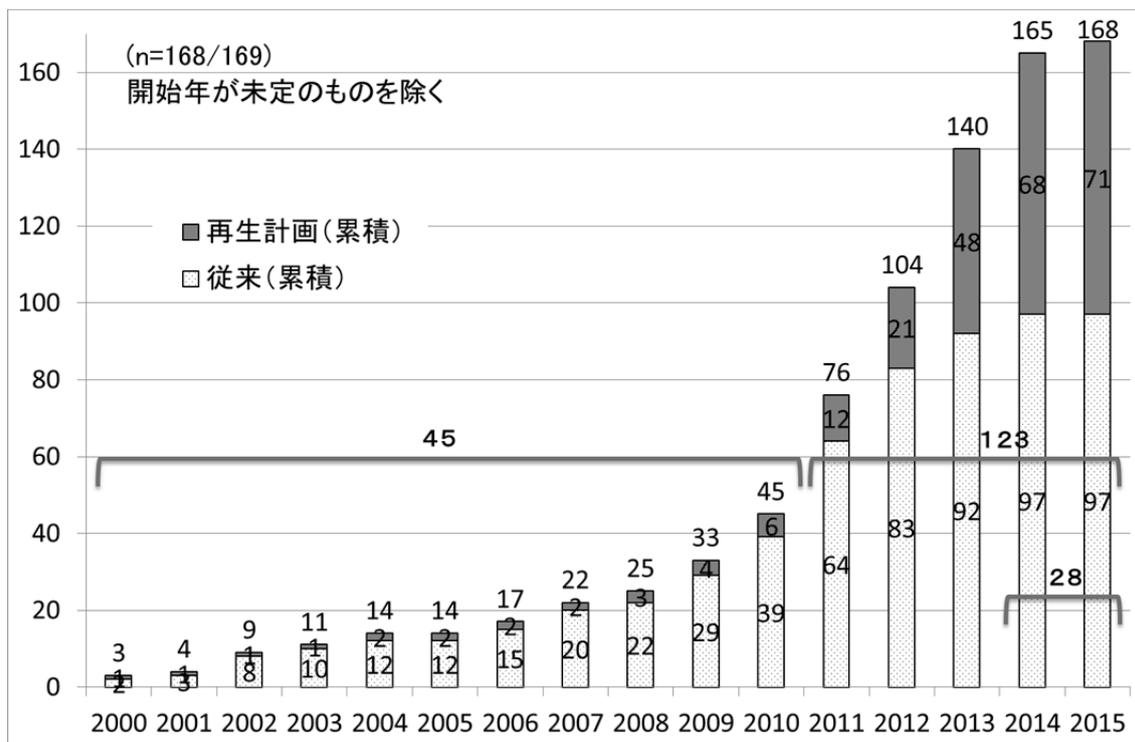
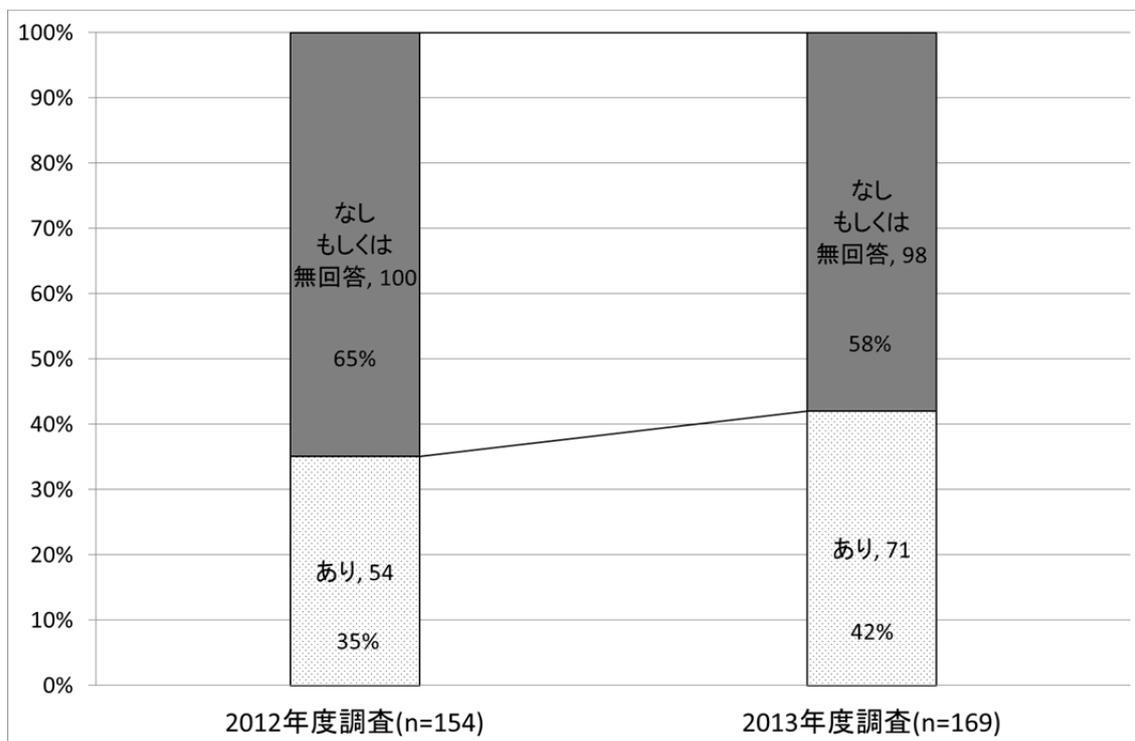


図 2.1-2 公開 URL の有無（予定含む）



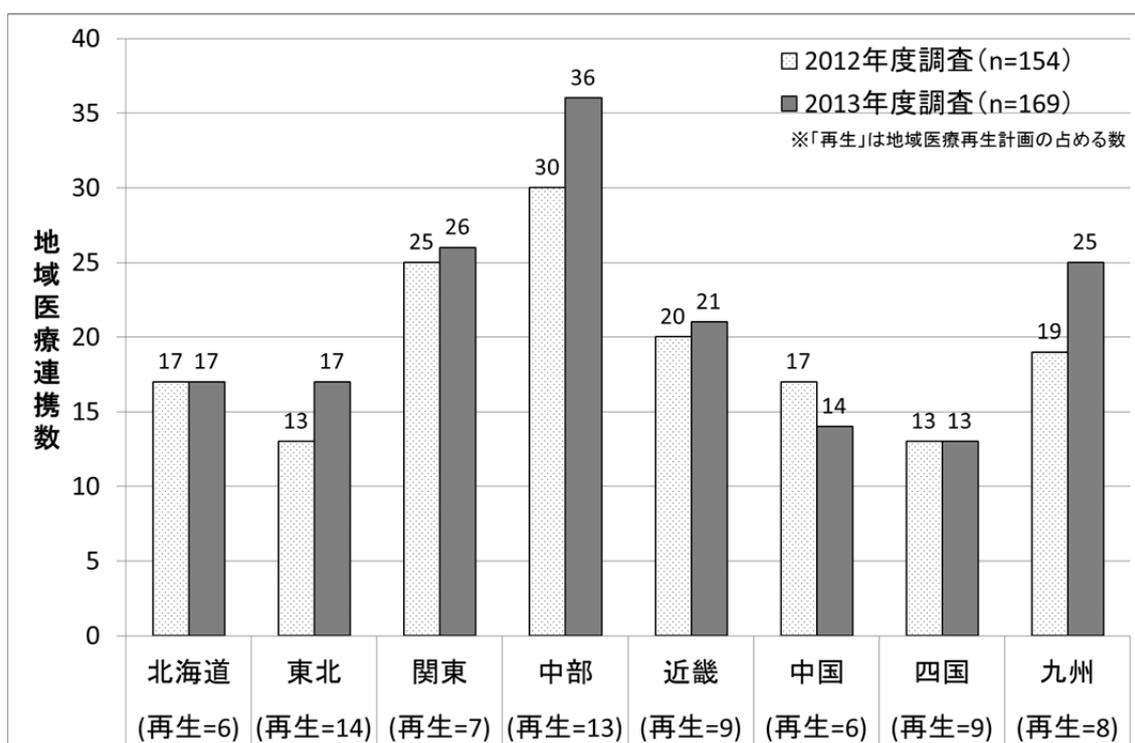
## 2.2. 所在地ならびに運営主体

本調査項目では、当該地域医療連携を運営する団体について、2団体までの名称や所在地、担当者、連絡先などの回答を依頼した。

### 2.2.1. 所在地ならびに運営主体

代表団体の所在地を地方区分別にみた地域医療連携の数は、「中部」(36箇所)がもっとも多く、次いで「関東」(26箇所)、「九州」(25箇所)であった(図 2.2-1)。東北、四国では地域医療再生計画による地域医療連携が大部分を占めていた。

図 2.2-1 地方区分別地域医療連携数(予定含む)

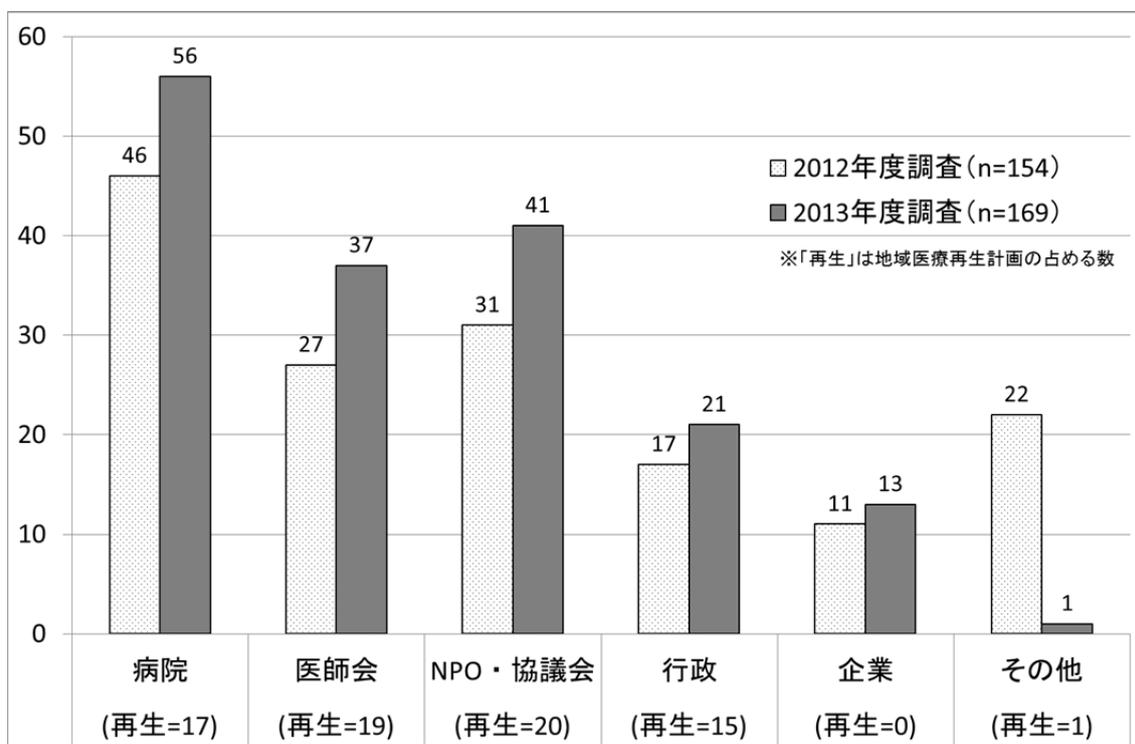


さらに、地域医療連携の運営主体として、回答のあった代表団体名を 2012 年度調査同様、以下の 6 団体に分類した。

- ・病院
- ・医師会
- ・NPO/協議会
- ・行政
- ・企業
- ・その他

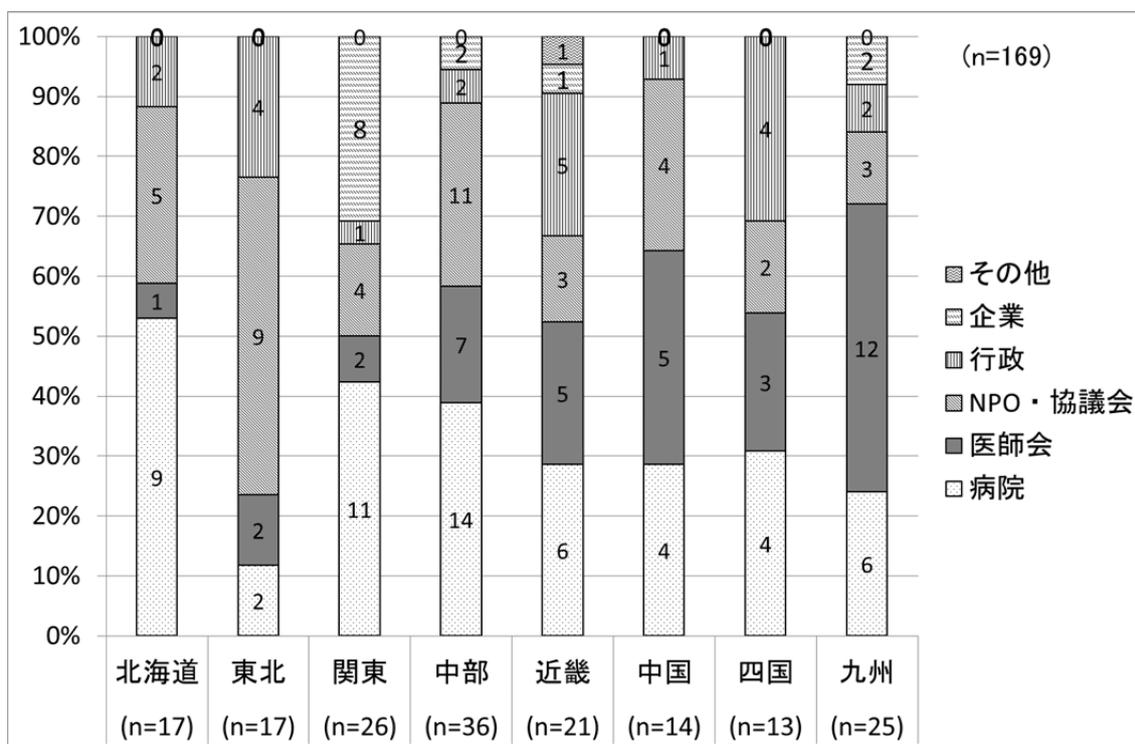
その結果、「病院」を運営主体とする地域医療連携が 56 箇所ともっとも多く、次いで「NPO・協議会」(41 箇所)、「医師会」(37 箇所)の順であった(図 2.2-2)。

図 2.2-2 運営主体別 地域医療連携数 (予定含む)



地方区別に、地域医療連携の運営主体の割合をみたところ、「北海道」では「病院」が運営主体である割合が高く、「東北」では「NPO・協議会」「行政」が大半を占めた。「九州」では「医師会」が運営主体である割合が高くみられた。「企業」が運営主体であるケースは関東で多くみられた（図 2.2-3）。

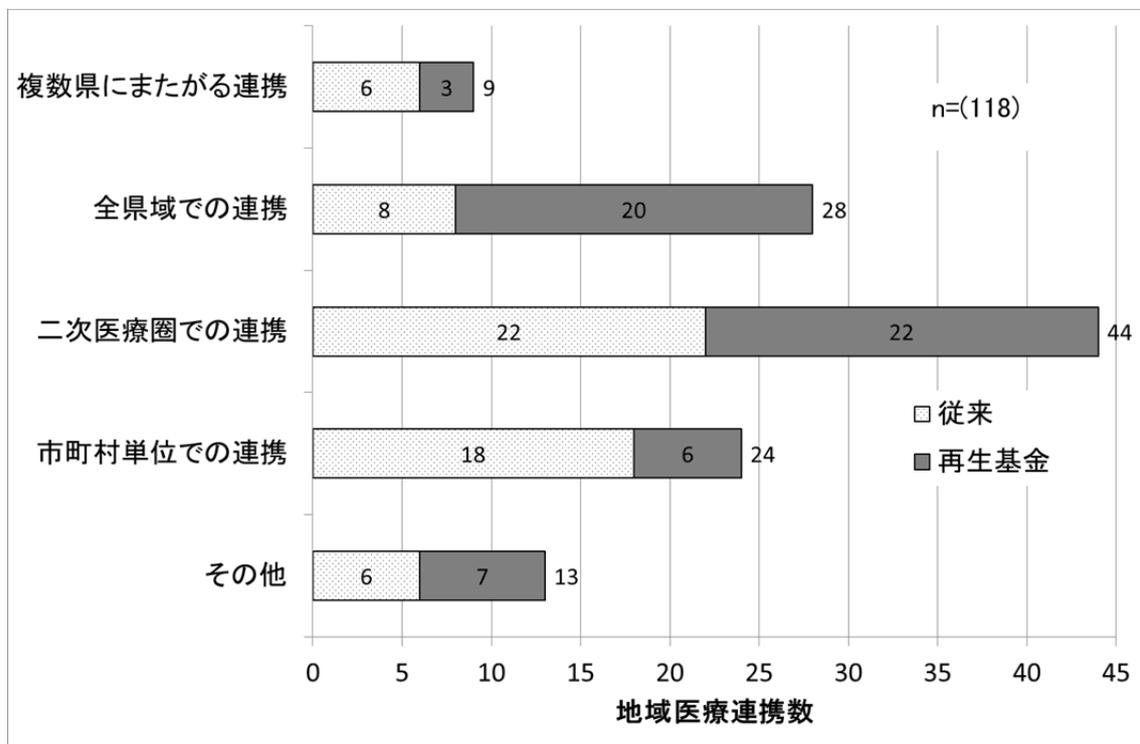
図 2.2-3 地方区分別・運営主体別地域医療連携数（予定含む）



### 2.2.2. 対象とする範囲

当該地域医療連携が対象とする地域の範囲は、二次医療圏を対象としたものが 44 箇所ともっとも多く、つぎに当該都道府県全域を対象としたものが 28 箇所であった。この大半は地域医療再生計画による取り組みである。複数都道府県にまたがる連携についても 9 箇所が確認できた。

図 2.2-4 地域医療連携の対象範囲（予定含む）



(2013 年度新規調査項目)

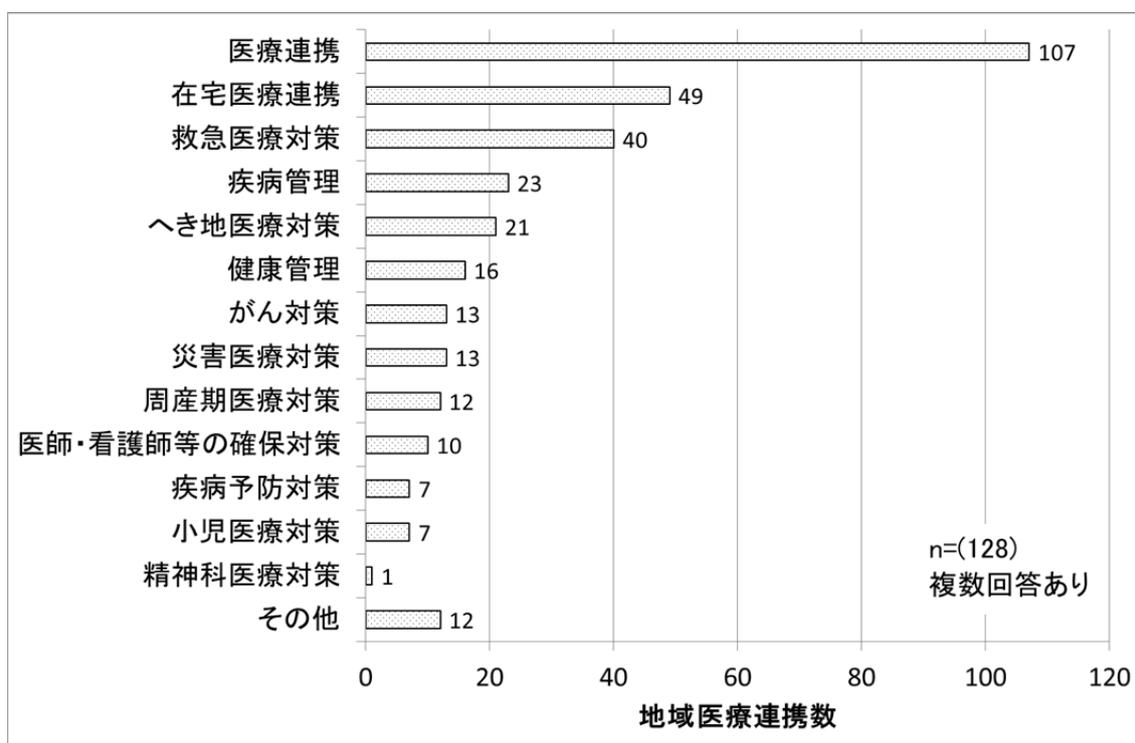
## 2.3. 導入の目的

本調査項目では、IT を利用した地域医療連携の導入目的と、地域医療連携が必要となった地域での課題について回答を依頼した（2013 年度新規調査項目）。

### 2.3.1. 導入目的

本来の目的であろう「医療連携」という選択肢には回答地域の大半（107 箇所）から回答があった。次に「在宅医療連携」（49 箇所）、「救急医療対策」（40 箇所）という順であった（図 2.3-1）。

図 2.3-1 地域医療連携の導入目的について（予定含む）



(2013 年度新規調査項目)

その他、自由記載による回答は、下記のとおりであった。

- ・画像診断の迅速化、読影医の偏在を補う
- ・市町村(母子保健)との連携
- ・遠隔病理診断／病理医間の診断支援の確保
- ・災害時のデータバックアップ
- ・高齢者の見守り
- ・薬局でのリスク管理
- ・高額医療機器の共同利用
- ・重複検査や重複投薬(薬剤アレルギー情報等)の共有

### 2.3.2. 地域の課題

地域医療連携システムの導入を必要とした地域における課題（自由記載）についての回答は、以下のとおりである。連携の必要性以外には、医療、介護資源の不足を課題とする回答が目立ち、要因として住民の高齢化、偏在、医療圏の広さなどが挙げられた。その他、災害対策や糖尿病対策を課題とした回答も散見された。

(回答一覧：医療介護資源の不足に言及した部分に下線)

- ・産科医師の不足、分娩施設の減少と地域偏在に伴う妊産婦及び医療従事者の負担増(特に、医療機関及び市町村の間の連携体制の構築や効率的な搬送体制の整備の必要性)
- ・医師をはじめとした医療資源の不足。高齢化の進展
- ・脳血管疾患による後遺症の軽減。救急医療体制の強化
- ・医師不足による二次医療機関の機能の低下に伴い、救命救急や産婦人科等の維持が困難な地域があり、圏域を超えた医療連携体制の整備が必要となった
- ・医師不足・医療スタッフ不足
- ・二次医療圏内のみならず、二次医療圏を超えた医療機能連携や高次医療の提供
- ・小子高齢化の急速な進行や、がん、生活習慣病等による高い死亡率、また、地域における医師の不足、偏在など
- ・増加する認知症患者さんへの対応や在宅医療の充実。限られた医療資源(施設・設備、人材)の有効活用
- ・医師不足、都市部への医療機関集中による地域偏在、東海地震発生時の情報連携
- ・施設間の連携が依然として紙ベースであり、情報共有が進んでいなかったため、転院時の再検査や処方重複等があった
- ・地域連携パスがデータの入った USB メディアでの連携であり、メディアの管理、回収に労力がかかっていた
- ・情報連携が紹介状 & フィルムだけだった
- ・急性期からリハビリ期、維持期、在宅までの切れ目のないケアを確保するための医療資源の効率的な活用と医療連携体制の強化
- ・患者が複数病院(基幹病院と開業医等)を受診しても、データ連携がされていない

- ・インフラが整っていない地域があり、ネットワークを導入したくても導入できないケースがある
- ・医師不足等、限られた医療資源の有効活用のための医療機関の役割分担と連携強化
- ・医師の偏在などにより、各地域の医療提供体制に格差が生じていることから、県内の医療資源を有効に活用するためには、医療機関の役割分担と連携の促進を図り、患者にとって質の高い医療を効率的に提供する必要がある
- ・医師・看護師等確保対策。病院から在宅医療への連携・情報をスムーズに提供する
- ・地域医療の中核としての役割を果たす有床診療所がより効率よく機能するようにネットワークを構築し、地域医療の再生を目指す
- ・県内の糖尿病患者が急増し、専門医だけでは診療が困難な状況。また、重症化する場合も多く、合併症予防や進行防止を行う必要がある
- ・人口あたり医師数や看護師数、医療施設数が全国で最も低い水準であり、なかでも、当保健医療圏は、高齢化率が高く、医療資源の不足が顕著な地域である
- ・常勤医師の確保のため、医師を招聘しやすい環境を整備する必要がある
- ・今後在宅医療を目指したシステムに必要なのは、介護施設、薬局、訪問看護等の多職種間の連携が必要になってくる
- ・介護老人保健施設、特別養護老人ホームが被災し再建を断念するケースによる、生活環境の変化や症状の悪化
- ・震災前は介護を必要としなかった高齢者が、避難生活で閉じこもりがちになることによる足腰の弱体化と要介護者の増加
- ・慢性的な医師不足による効率的な医療提供体制の必要
- ・医療・介護資源の不足
- ・基幹病院が一つしかなく、病診連携の推進により効率的な病院利用を促進する必要
- ・極端に少ない医療資源と地域住民の高度な高齢化
- ・糖尿病予備軍のケアと糖尿病患者の合併症の防止、疾病管理。専門医や糖尿病療養指導士(CDE)、地域糖尿病療養指導士(LCDE)の不足。診療の標準化や運動療法の標準化
- ・医療圏での診療所病床や回復リハ機能等の医療資源が十分でない。病院の機能分化と圏域全体で医療を提供できる連携の在り方が必要
- ・医師会の地域範囲が広く複数市町村にわたっているため情報共有・情報発信を効率的

にしたい

- ・医師不足による二次救急担当医療機関の減少
- ・医療・介護の連携が難しい
- ・医師不足と医療資源が偏在している中、より高度な医療連携による効果的・効率的な医療提供体制を確保することが必要
- ・医療圏域が広大であるため、専門医の受診のための移動等に時間と労力を要する。特に救急のトリアージを専門医により適切に実施されることが可能になれば、無駄な患者の搬送を減らすことが可能になる
- ・医師をはじめとした医療スタッフの不足。総合内科医の養成。緊急手術や分娩ができない状況
- ・震災で発生した津波により、医療情報・健康情報(カルテ情報)が流失
- ・救急医療体制の悪化(搬送時間の短縮・搬送受入れ拒否の激減)
- ・高齢化の進展による慢性疾患の増加。医療資源の不足
- ・来たるべき大災害に備えた、地域医療のBCPの確立
- ・医療圏が広大。へき地診療所の医師確保は綱渡りの状態が続いており、安定的な医師確保
- ・救急搬送において、收容所要時間が1時間を超えるケースが全体の1割を上回る。周産期死亡率が高い
- ・在宅医療・介護に携わる多職種スタッフの連携強化
- ・地域の医療資源が不足しており、中核となる県立病院と公立病院・民間診療所のより一層の連携強化が求められたこと
- ・医療圏唯一の中核病院を後方支援する回復期病院・介護施設の受入れ体制が十分でない。慢性的な医師不足。開業医も少なく、休日・夜間診療及び訪問診療の体制整備が難しい
- ・小児科を標榜する医療機関や小児科医師の減少による小児救急医療の確保
- ・医師の退職や引き上げにより産科医が減るなど、周産期医療体制の維持・確保
- ・救急をはじめとする医療提供体制の立て直しや在宅医療の充実等
- ・病診連携の強化と地域医療の推進

(2013年度新規調査項目)

## 2.4. 参加施設数

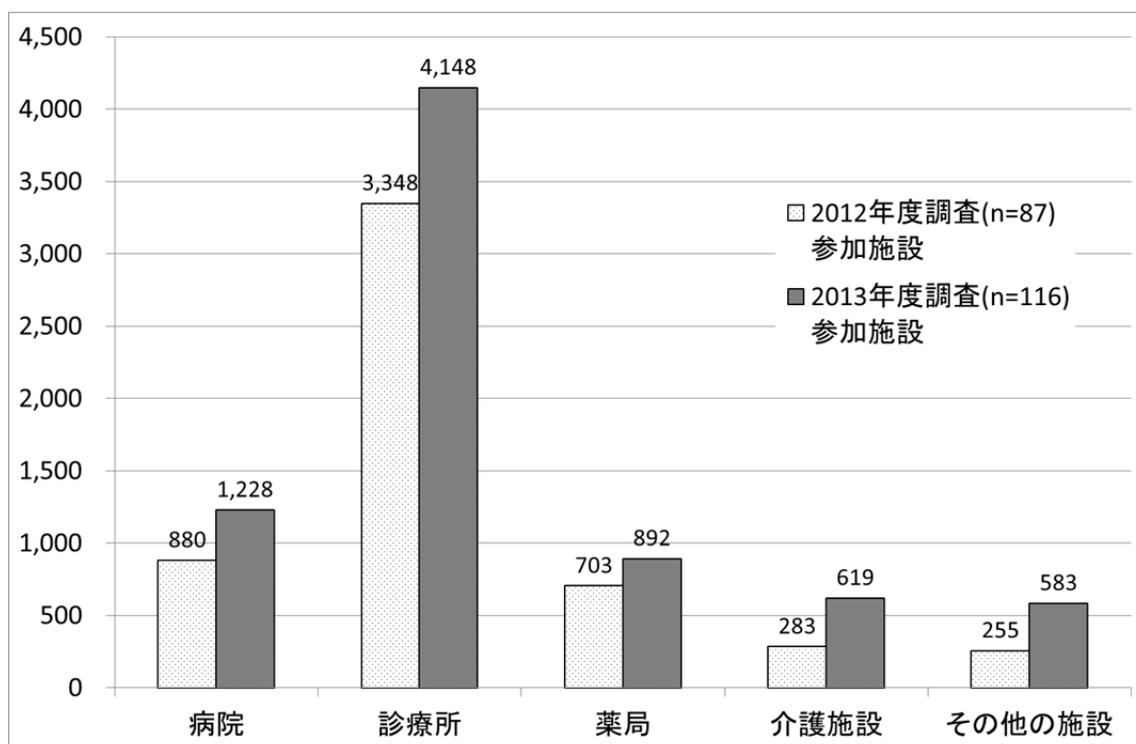
本調査項目では、当該地域医療連携に参加している施設の数について回答を依頼した。

### 2.4.1. 参加施設数

全国の地域医療連携への参加施設数の合計は、116 箇所の地域医療連携より 7,470 施設との回答を得た。その内訳は、「病院」が 1,228、「診療所」が 4,148、「薬局」が 892、「介護施設」が 619、「その他」が 583 であった。

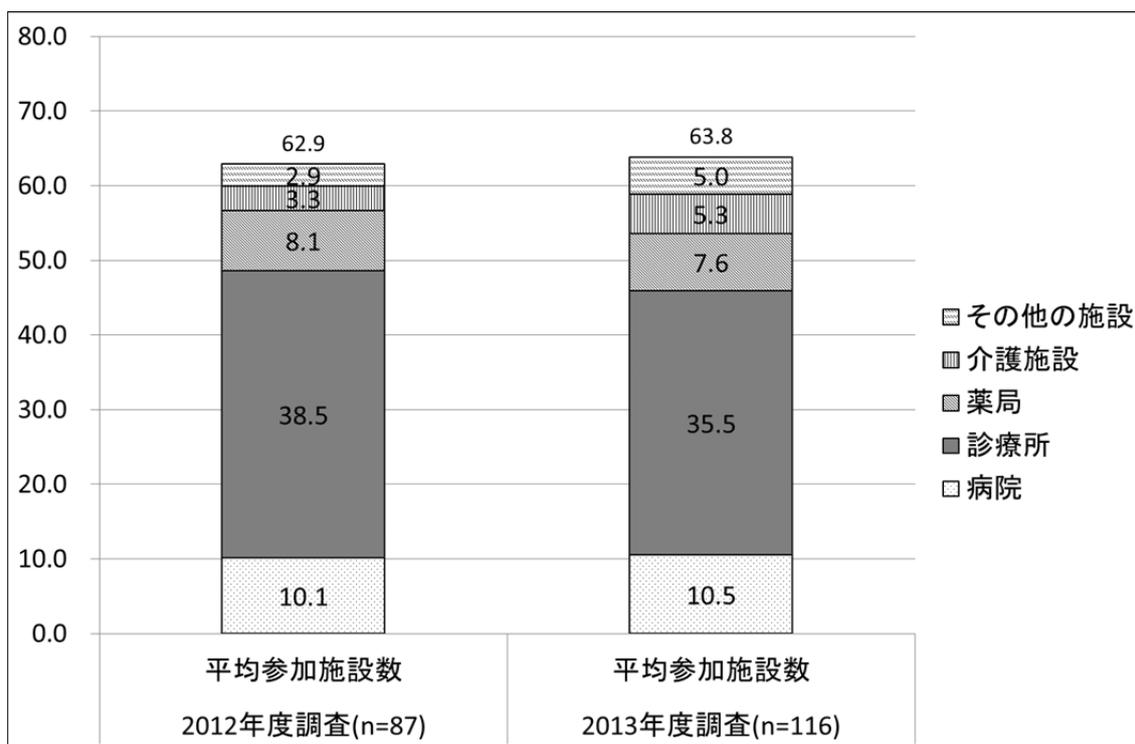
本参加施設数調査では、1 施設が複数の地域医療連携に参加している場合の重複が含まれていることに留意する必要がある（図 2.4-1）。

図 2.4-1 参加施設数（予定除く）



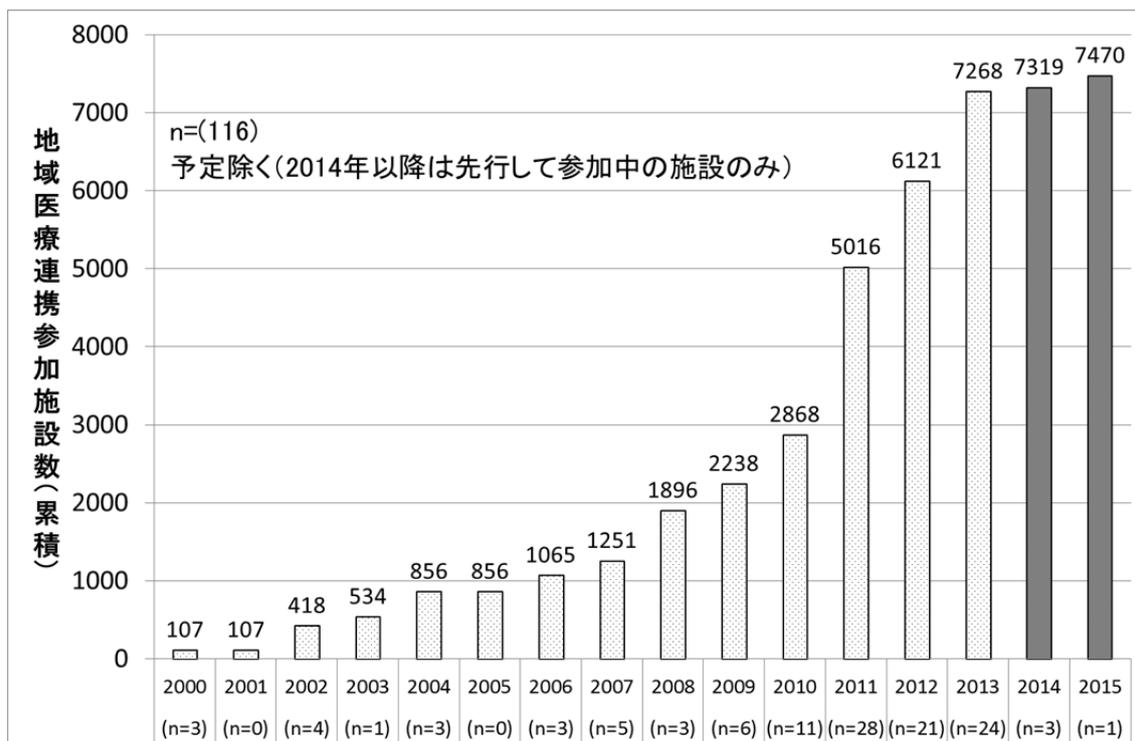
つぎに、1地域医療連携あたりの平均参加施設数をみたものが図 2.4-2 である。単純平均では約 64 施設であり、2012 年度調査と比較すると診療所の参加が微減し、介護施設の参加が微増しているが、全体としては回答数が増えたにもかかわらずほとんど変化はないと言える。

図 2.4-2 1 地域医療連携あたりの平均参加施設数（予定除く）



地域医療連携への参加施設数の推移からは、地域医療再生計画がスタートした 2011 年頃を境として急増していることがうかがえた（図 2.4-3）。

図 2.4-3 地域医療連携参加施設数の推移（予定除く）



地方区分別にみた場合の参加施設数は、「中部」(1,945 施設)、「九州」(1,512 施設)、「近畿」(1,311 施設)の順で多かった。1 地域医療連携あたりの平均参加施設数では、「近畿」(87 施設)、「中国」(83 施設)、「中部」(75 施設)の順であった（図 2.4-4）。

運営主体別にみた場合の参加施設数は、「NPO・協議会」(2,702 施設)、「医師会」(1,826 施設)、「病院」(1,543 施設)の順であった。1 地域医療連携あたりの平均参加施設数では、「企業」(107 施設)、「NPO・協議会」(82 施設)、「医師会」(76 施設)の順であった（図 2.4-5）。

図 2.4-4 地方区分別地域医療連携参加施設数（予定除く）

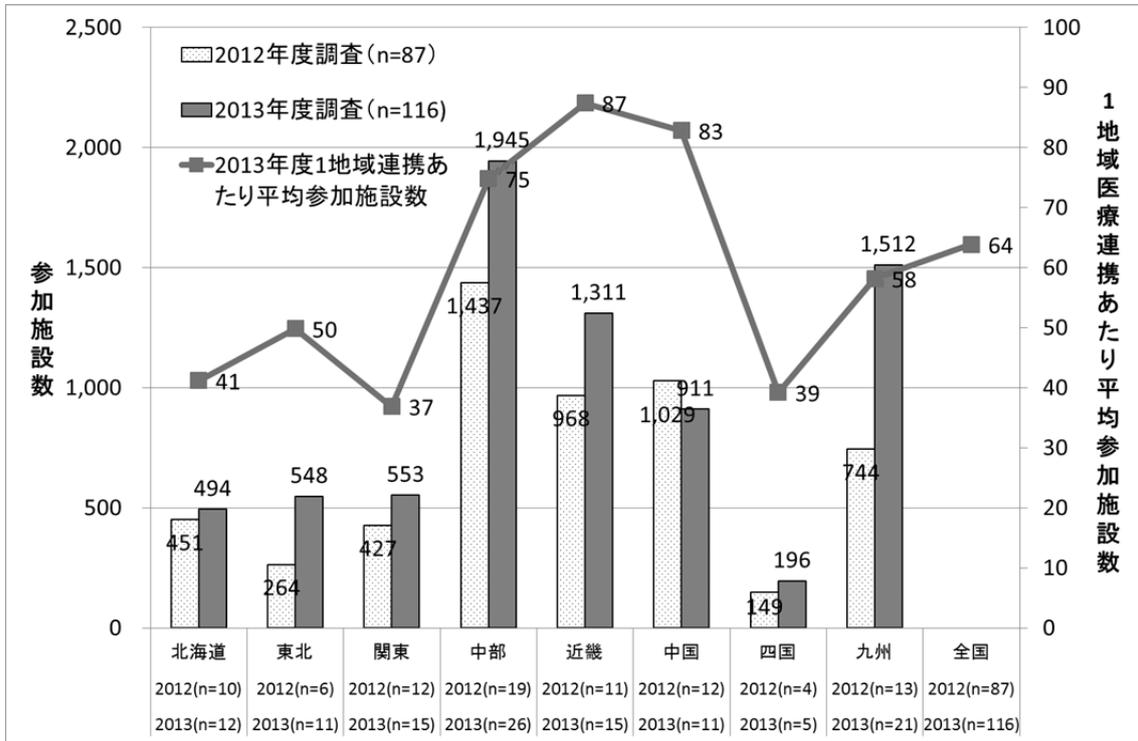
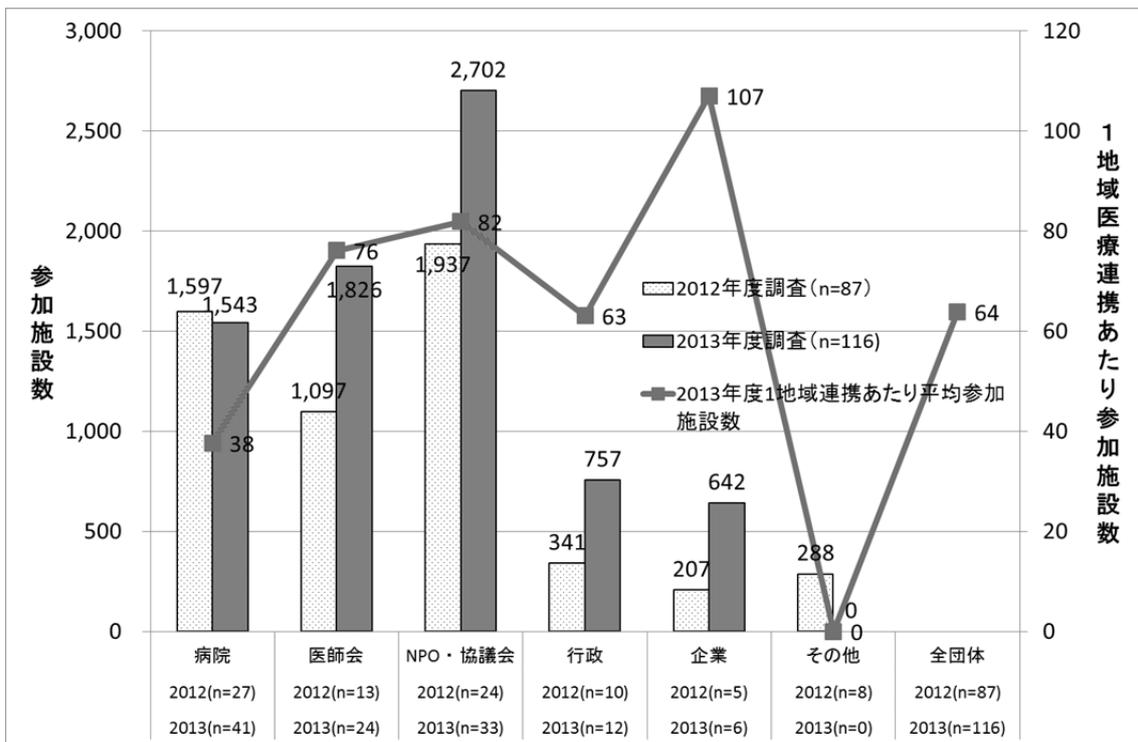


図 2.4-5 運営主体別地域医療連携参加施設数（予定除く）



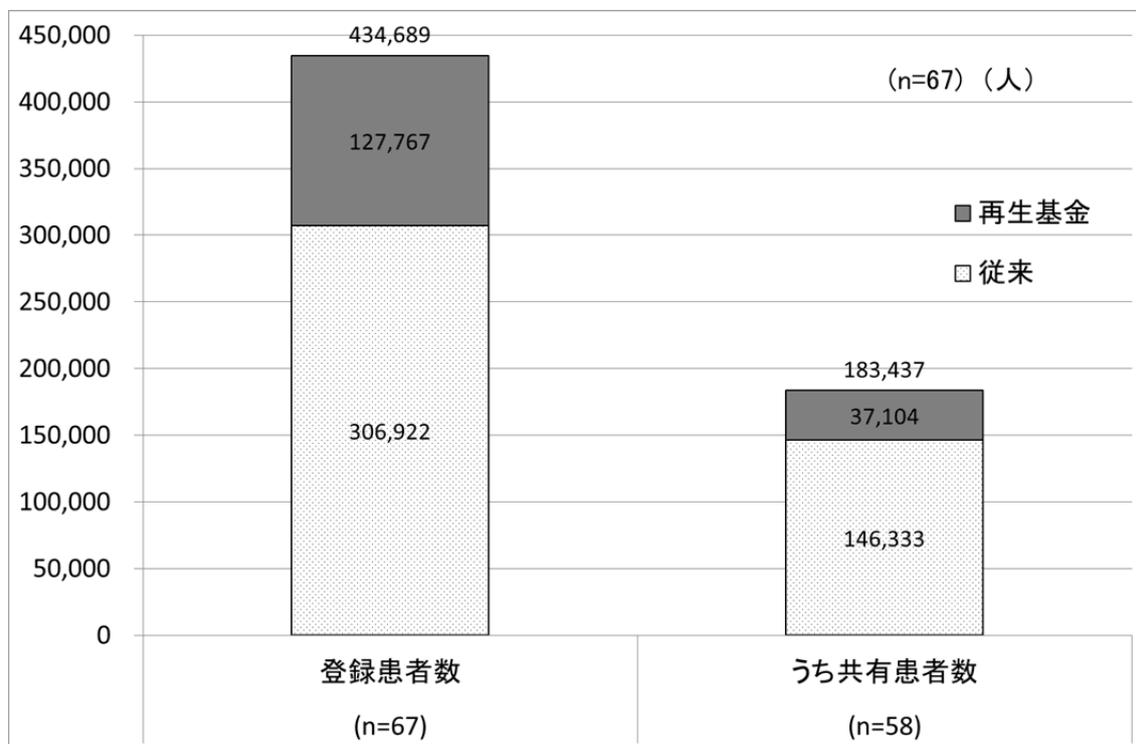
## 2.5. 参加患者数

本調査項目では、当該地域医療連携に登録されている患者数について回答を依頼した。あわせて登録されている患者のうち、実際に情報共有されている患者数についても回答を依頼した（2013年度新規調査項目）。

### 2.5.1. 参加患者数

地域医療連携への登録／共有患者数については、67地域から回答を得た。結果は、「登録患者数」が434,689人、そのうち実際に情報共有が行われている「共有患者数」が183,437人であった（図2.5-1）。

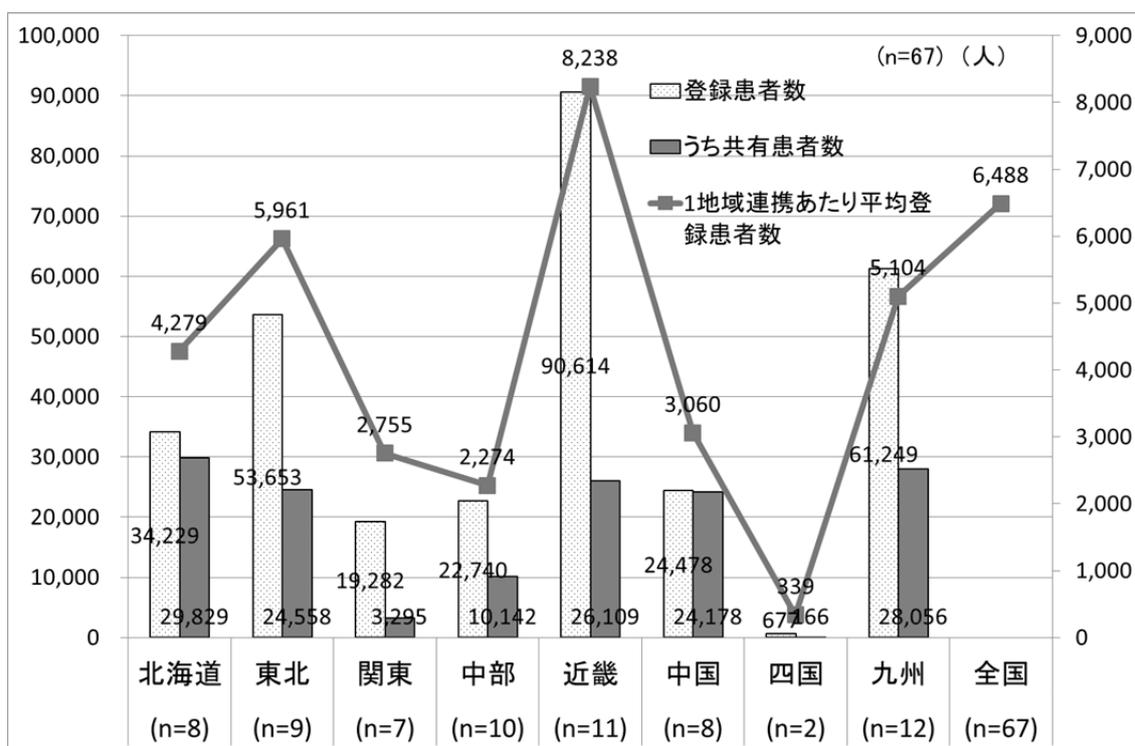
図 2.5-1 参加患者数（予定除く）



(2013年度新規調査項目)

地方区分別にみた場合の登録／共有患者数は、登録患者数順でみると「近畿」(90,614/26,109 人)、「九州」(61,249/28,056 人)、「東北」(53,653/24,558 人)の順であった。1地域医療連携あたりの平均登録患者数では、「近畿」(8,238 人)、「東北」(5,961 人)、「北海道」(4,279 人)の順であった(図 2.5-2)。

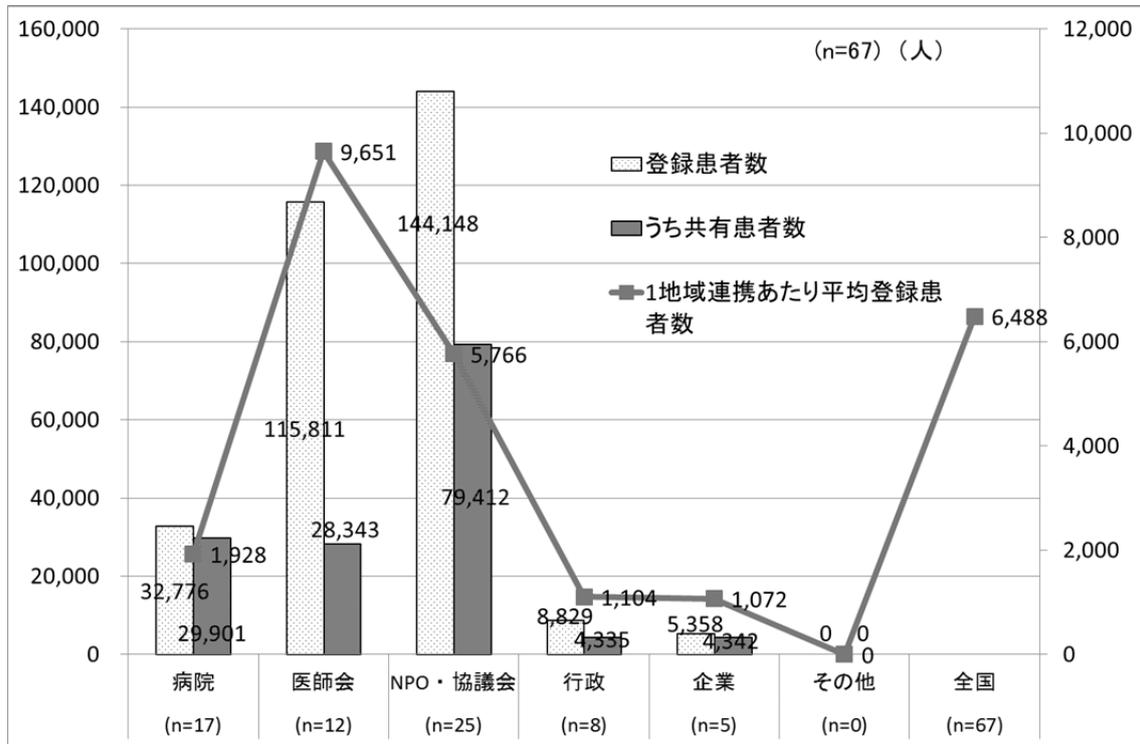
図 2.5-2 地方区分別参加患者数(予定除く)



(2013 年度新規調査項目)

運営主体別にみた場合の登録／共有患者数は、登録患者数順でみると「NPO・協議会」(144,148/79,412 人)、「医師会」(115,811/28,343 人)、「病院」(32,776/29,901 人)の順であった。1地域医療連携あたりの平均登録患者数では、「医師会」(9,651 人)、「NPO・協議会」(5,766 人)、「病院」(1,928 人)の順であった(図 2.5-3)。

図 2.5-3 運営主体別参加患者数（予定除く）



(2013 年度新規調査項目)

## 2.6. 参加の同意方法

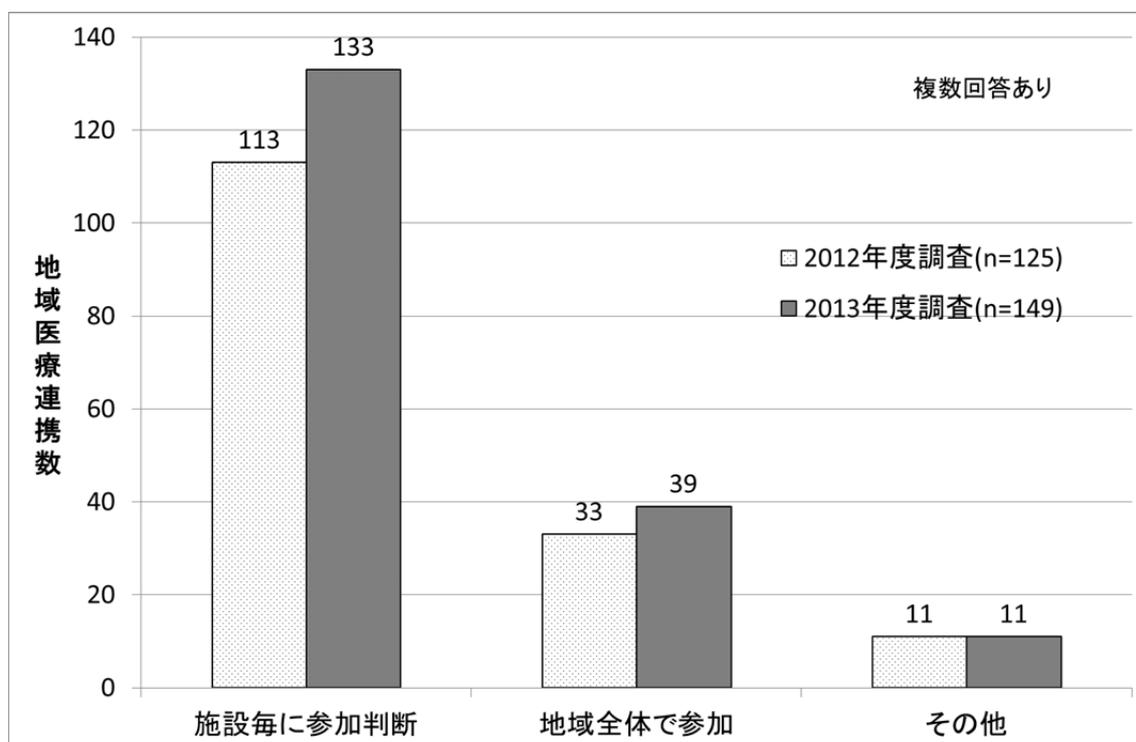
本調査項目では、当該地域医療連携のカバーする地域内の医療機関や介護施設が、地域全体で全て参加するのか、施設毎に参加の判断を行うのか回答を依頼した。

また、患者の視点から、地域医療連携への患者の参加の同意が、当該地域医療連携に参加した施設の全てで当該患者の情報連携を可能とする仕組みなのか、患者が施設毎もしくは医師毎に情報連携の可否を指定する仕組みなのかについて回答を依頼した。

### 2.6.1. 参加の同意方法

医療機関等の参加の同意方法については、今後の予定を含めて 149 地域から複数回答を得た。結果は、「施設毎に参加の判断」を行う地域医療連携が 133 箇所、「地域全体で参加」が 39 箇所であった（図 2.6-1）。

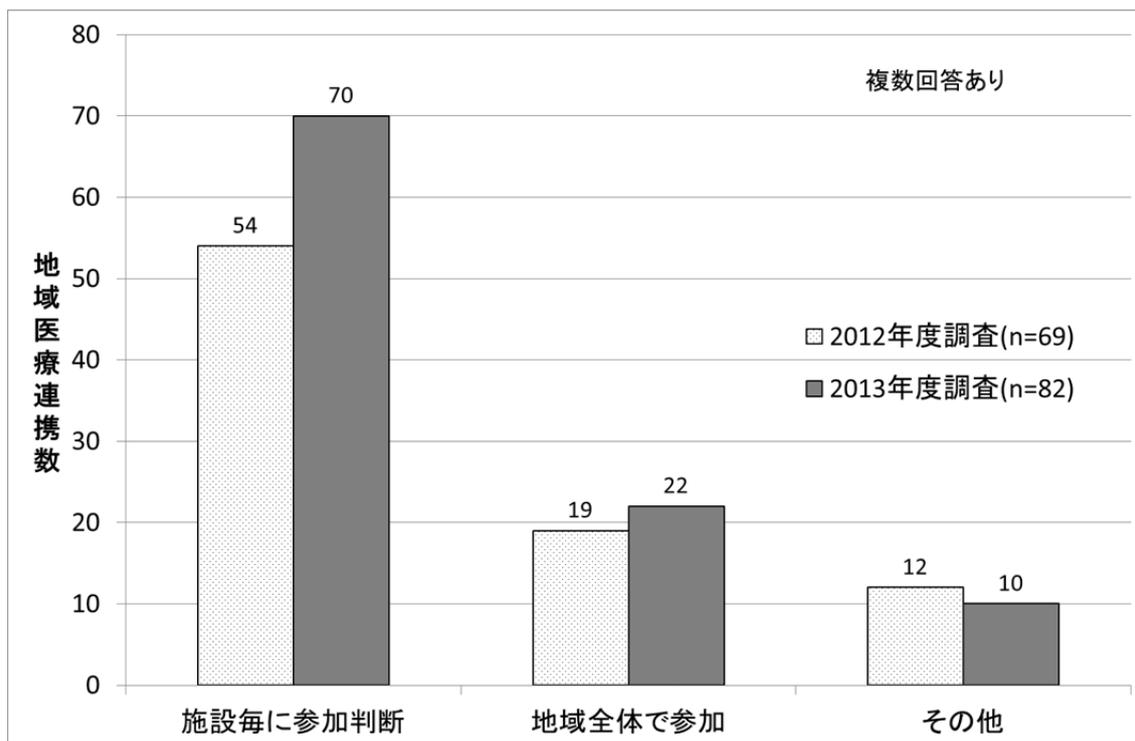
図 2.6-1 参加同意方法（医療機関等）（予定含む）



介護施設等の参加の同意方法については、今後の予定を含めて 82 地域から複数回

答を得た。結果は、「施設毎に参加の判断」を行う地域医療連携が 70 箇所、「地域全体で参加」が 22 箇所であった（図 2.6-2）。

図 2.6-2 参加同意方法（介護施設等）（予定含む）



患者の参加の同意方法については、今後の予定を含めて 112 地域から複数回答を得た。今回調査では質問内容を詳細に変更したため、2012 年度調査との比較は見送った。選択肢として用意した同意取得方法は下記のとおり。

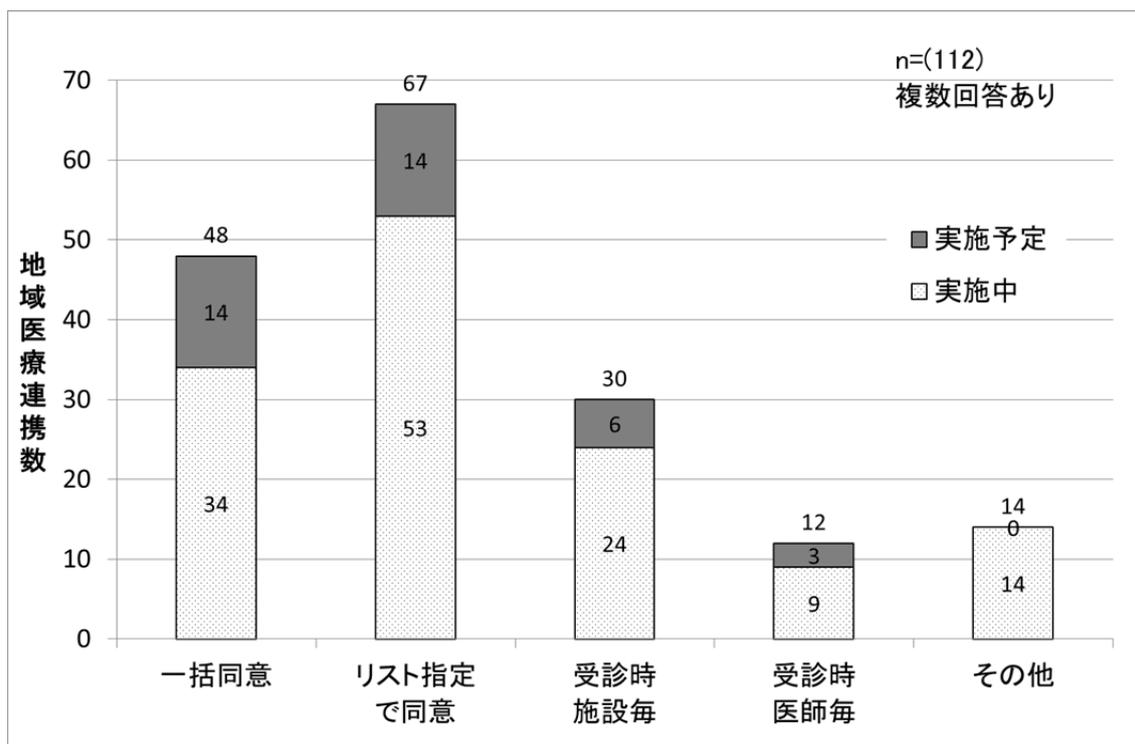
- ・一括同意：連携施設すべてによる情報連携に一括同意する
- ・リスト指定で同意：同意書の施設リスト等で連携施設を指定して同意する
- ・受診時施設毎：連携施設を受診の際に、連携施設に対して同意をする
- ・受診時医師毎：連携施設を受診の際に、医師ごとに同意をする

なお、「受診時施設毎」は患者が受診のための地域共通カードなどを持って受診する

ケース、「受診時医師毎」は医師－医師間の紹介を主とする連携で主に行われる。

結果は、「リスト指定で同意」をおこなう地域医療連携がもっとも多く 67 箇所、「一括同意」が 48 箇所、「受診時施設毎」が 30 箇所であった（図 2.6-3）。

図 2.6-3 参加同意方法（患者）（予定含む）



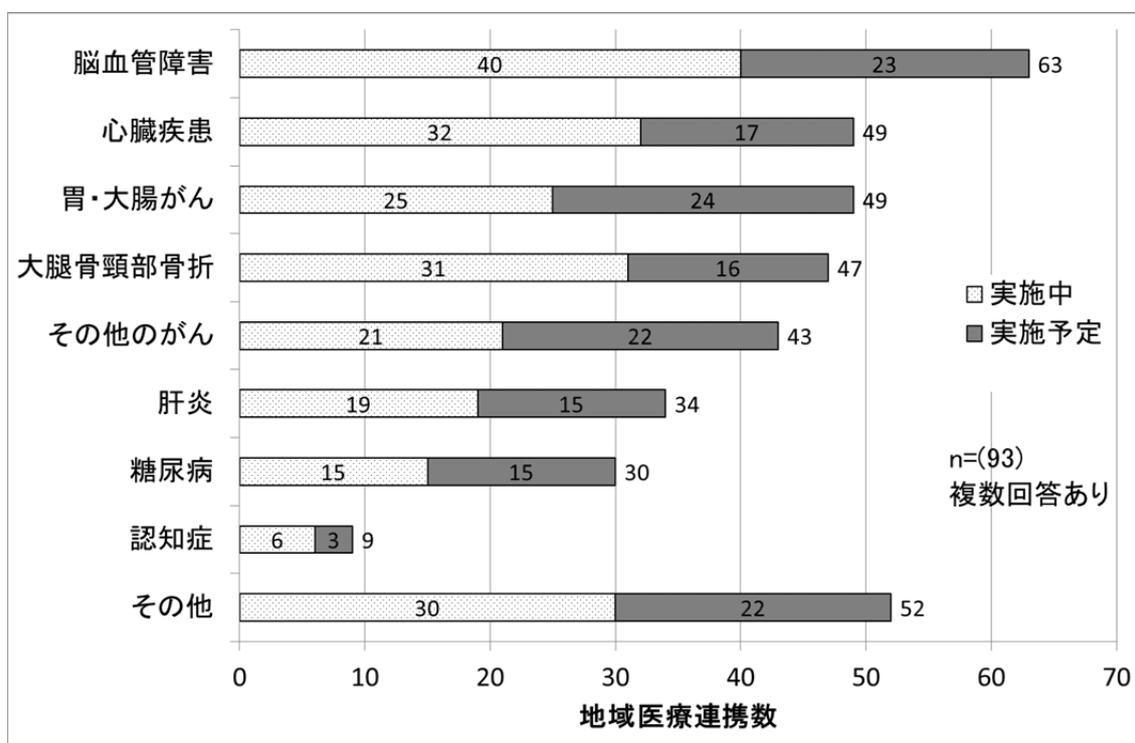
## 2.7. 提供サービスの状況

### 2.7.1. 連携している疾病の状況

本調査項目では、当該地域医療連携に参加している医療機関間で連携を行っている疾病についての回答を依頼した。

連携している疾病の状況については、今後の予定を含めて 93 地域から複数回答を得た。結果は、「脳血管障害」(63 箇所) が最も多く、次いで「心臓疾患」(49 箇所)、「大腿骨頸部骨折」(49 箇所) の順であった(図 2.7-1)。

図 2.7-1 連携している疾病の状況 (予定含む)

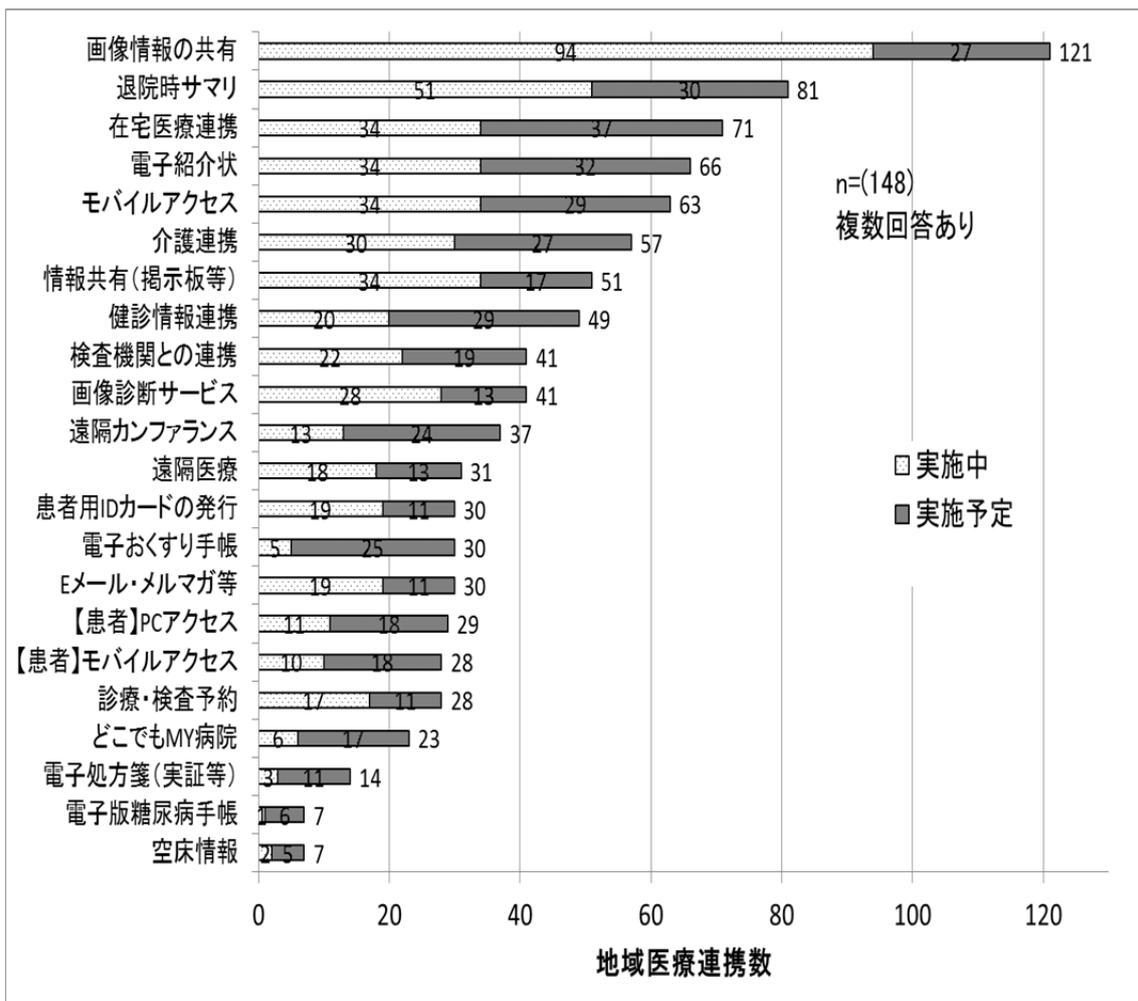


## 2.7.2. 提供しているサービスの状況

本調査項目では、当該地域医療連携で提供されているサービスもしくは機能についての回答を依頼した。

提供されているサービスについては、今後の予定を含めて148地域から複数回答を得た。結果は、「画像情報の共有」(121箇所)が最も多く、次いで「退院時サマリ」(81箇所)、「在宅医療連携」(71箇所)の順であった(図2.7-2)。

図 2.7-2 提供しているサービスの状況 (予定含む)



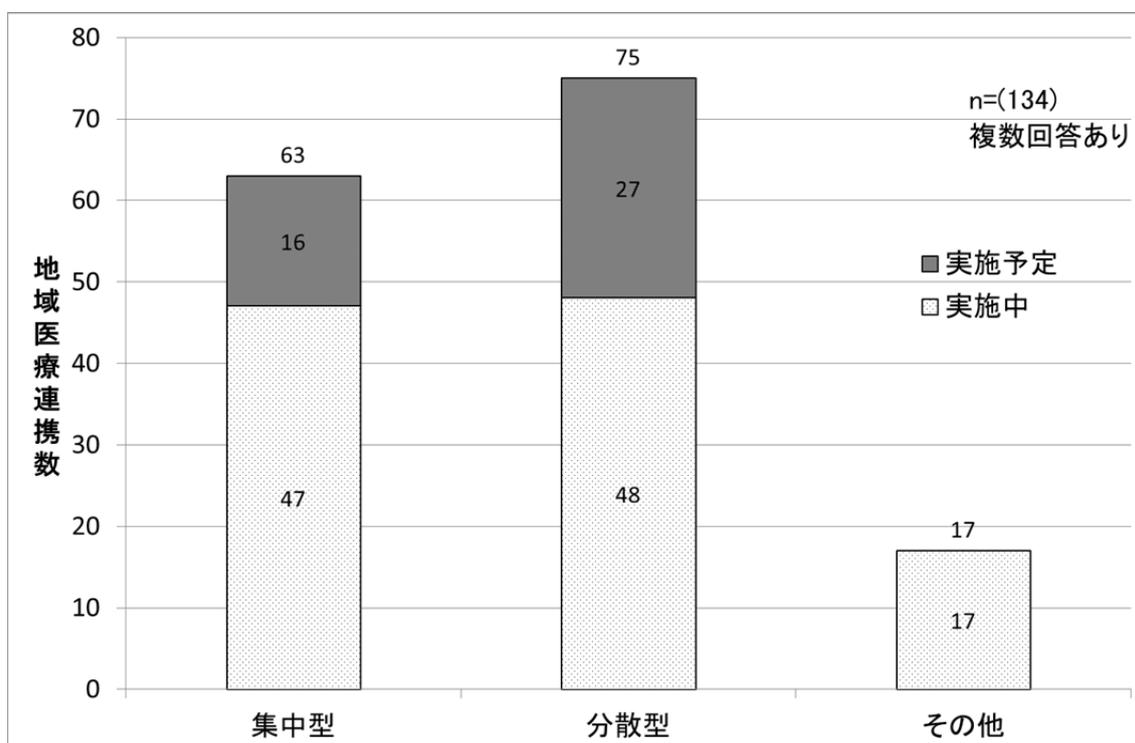
## 2.8. システムの状況

### 2.8.1. 情報連携の方式

本調査項目では、当該地域医療連携の情報連携方式が、集中型（中核病院、データセンタなどのシステムに他の医療機関が参画する）か、分散型（各医療機関が保有するシステムを相互に接続し、連携）か、ネットワークの形態について回答を依頼した。

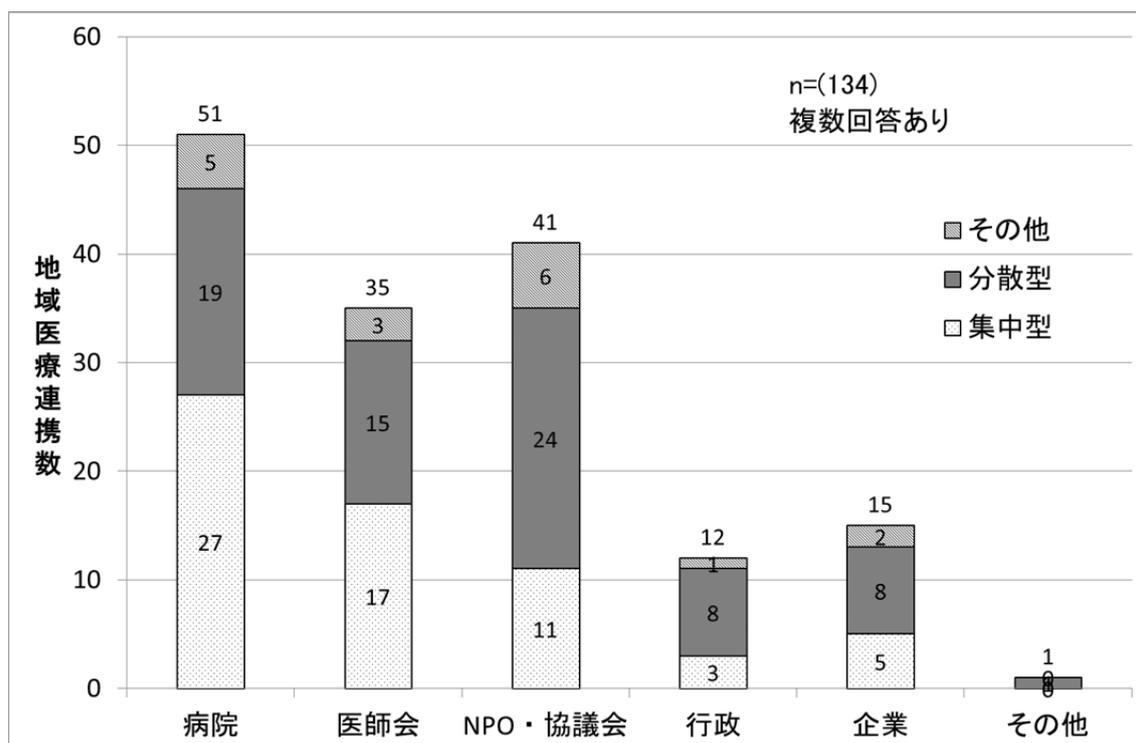
情報連携の方式については、今後の予定を含めて134地域から複数回答を得た。結果は、分散型が75箇所、集中型が63箇所であった（図2.8-1）。

図 2.8-1 情報連携の方式（予定含む）



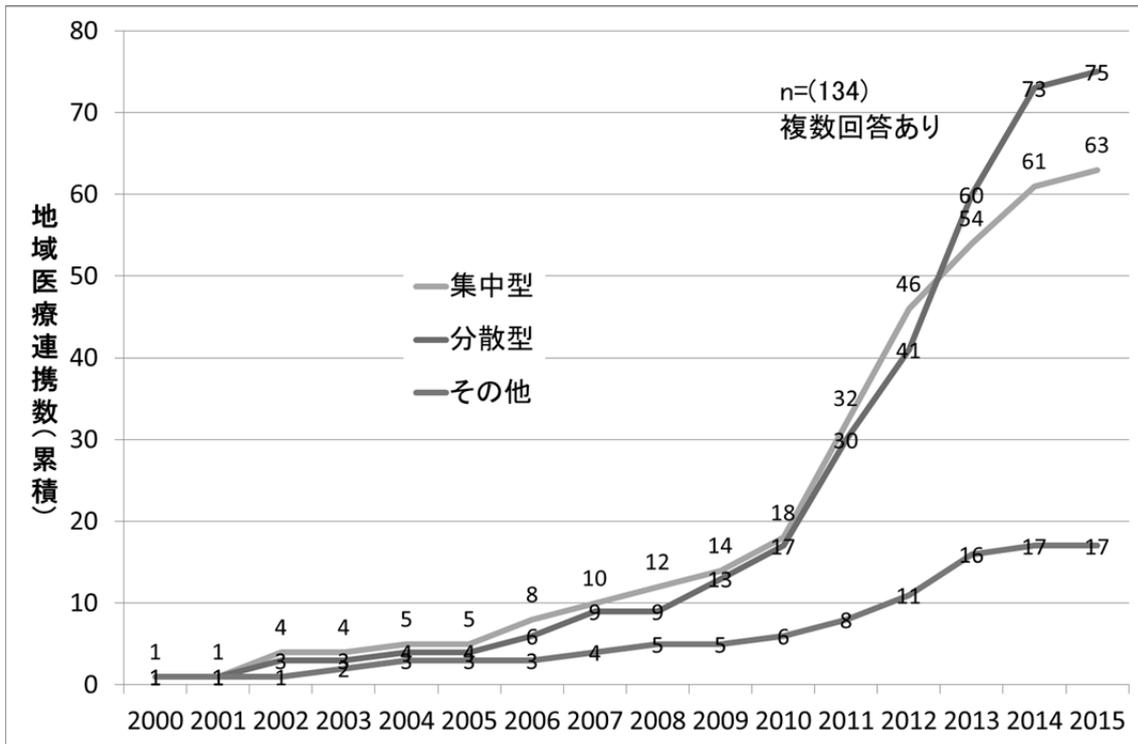
運営主体別にみた場合の情報連携の方式では、「NPO・協議会」、「行政」、「企業」のケースに比較的「分散型」が多く、「病院」では「集中型」が比較的多い結果となった（図 2.8-2）。

図 2.8-2 運営主体別情報連携の方式（予定含む）



開始年別にみた情報連携の方式の推移からは、ここ数年の傾向として、分散型への取り組みが増えている様子うかがえた（図 2.8-3）。

図 2.8-3 連携方式の推移（予定含む）

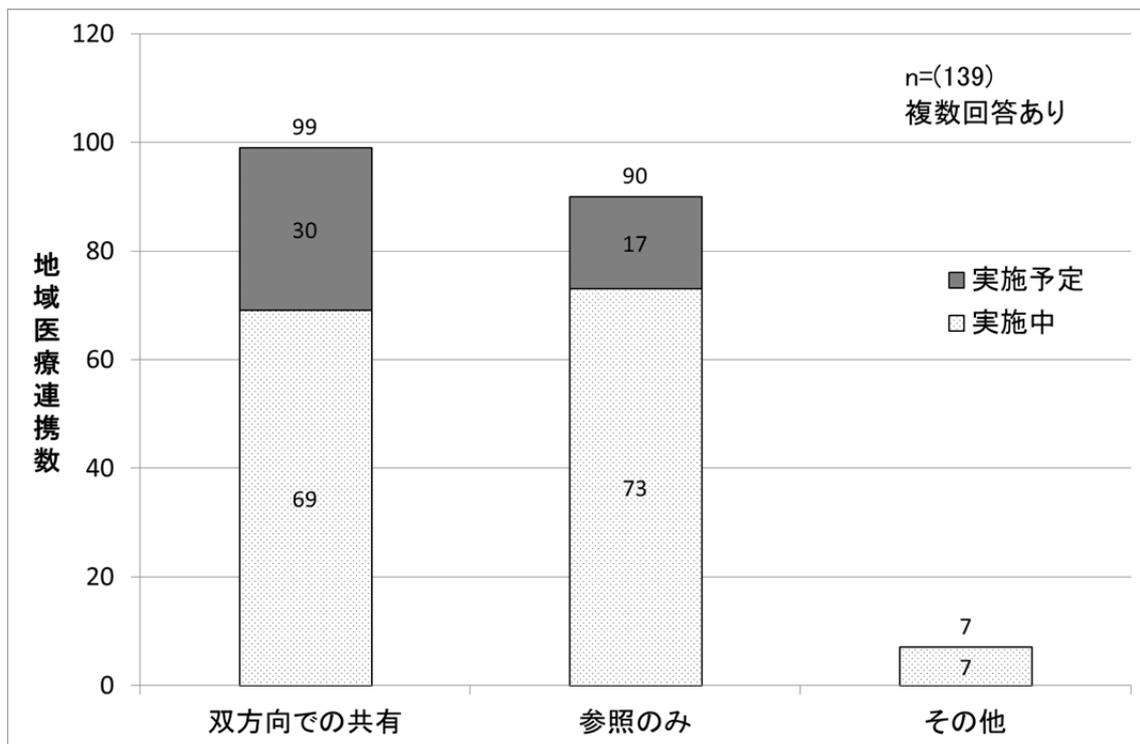


## 2.8.2. 情報共有の形態

本調査項目では、双方向（参加医療機関全体で、当該患者の医療情報を更新）か、参照のみ（診療所などが中核病院のデータを参照するのみ）か、情報共有の形態について回答を依頼した。

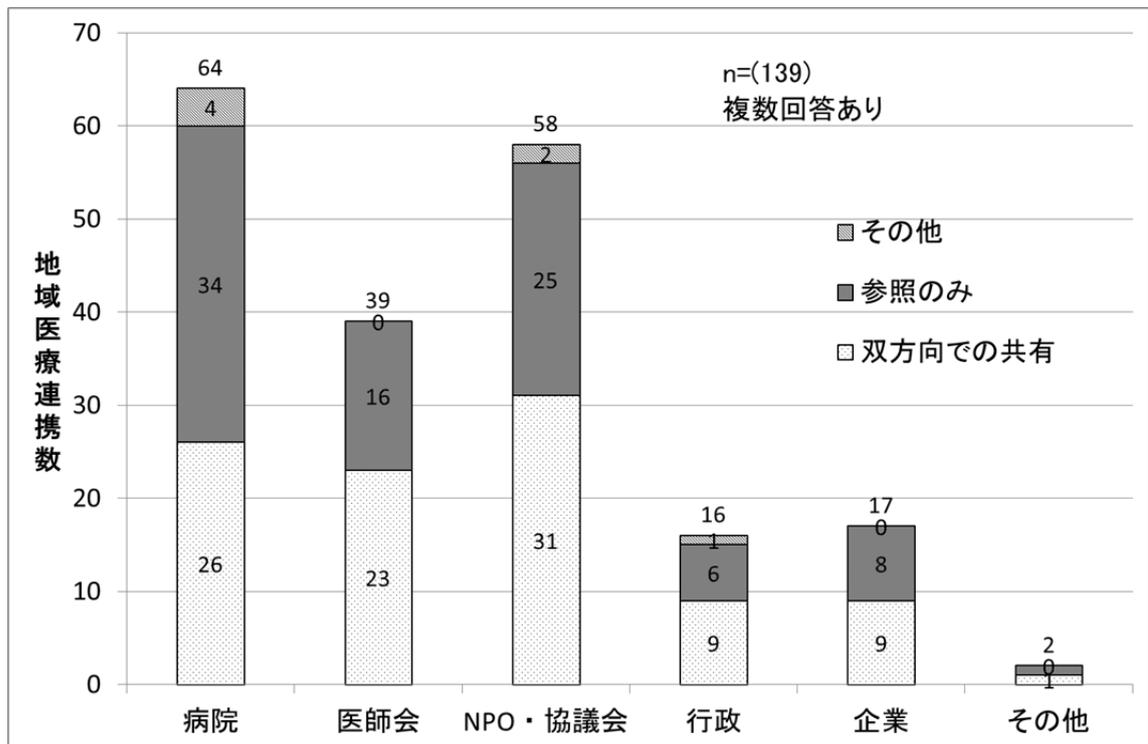
情報共有の形態については、今後の予定を含めて 139 地域から複数回答を得た。結果は、「双方向」が 99 箇所、「参照のみ」が 90 箇所であった（図 2.8-4）。

図 2.8-4 情報共有の形態（予定含む）



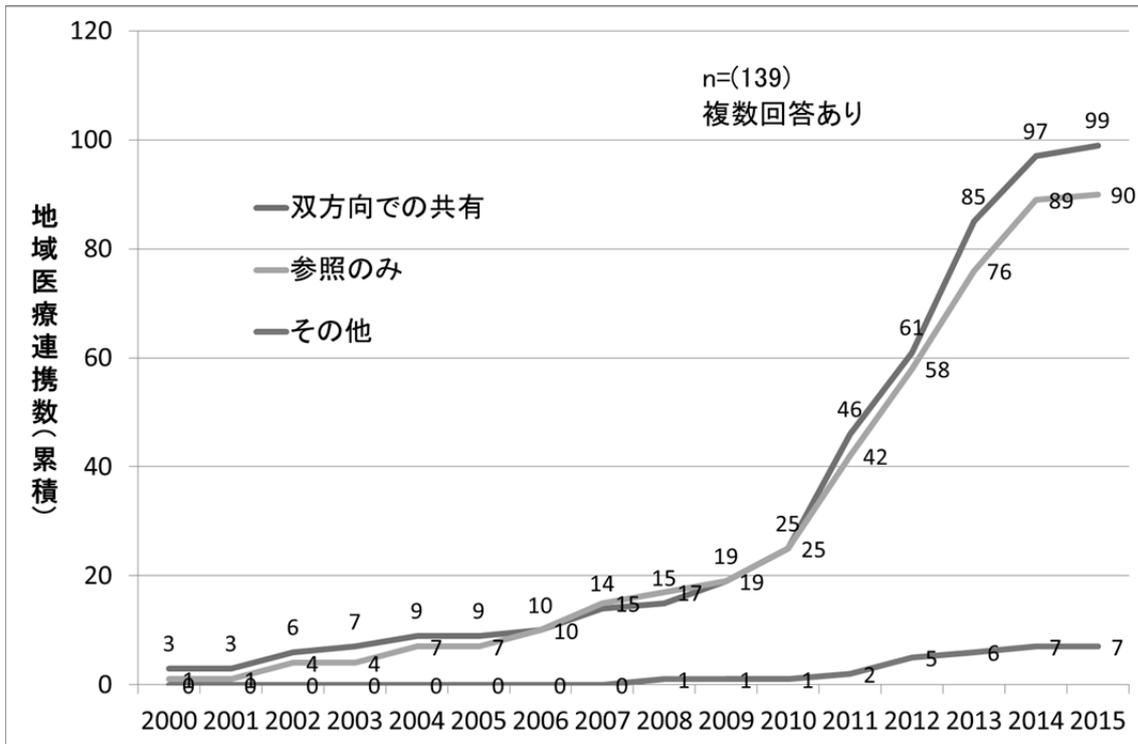
運営主体別にみた場合の情報共有の形態では、「NPO・協議会」、「医師会」のケースに比較的「双方向での共有」が多く、「病院」では「参照のみ」が比較的多い結果となった（図 2.8-5）。

図 2.8-5 運営主体別情報共有の形態（予定含む）



情報共有の形態の推移からは、ここ数年の傾向として、双方向への取り組みが増えている様子うかがえた（図 2.8-6）。

図 2.8-6 情報共有の形態の推移（予定含む）



### 2.8.3. 地域共通 ID の利用について

患者の医療情報は医療機関毎に独自のカルテ番号などで管理されており、複数の医療機関で患者の医療情報を共有する場合、地域で共通して用いる当該患者の共通 ID 番号を必要とする運用設計が多い。この ID 番号は必ずしも明示されているものではなく、地域医療連携システムの裏側で、各医療機関のカルテ番号を結びつける為に用いられているケースもある。一方、紹介元医療機関からの患者紹介と紹介先の医療機関の承諾による 1 対 1 の連携を基軸とする場合などでは、共通 ID を不要とすることが多い。

本調査項目では、地域共通 ID の利用の有無ならびに、わが国の比較的認知度の高い製品の利用について回答を依頼した。

地域共通 ID の利用については、今後の予定を含めて 133 地域から複数回答を得た。結果は、「ID-Link<sup>2</sup>」が 41 箇所、「HumanBridge<sup>3</sup>」が 34 箇所、「独自開発」が 22 箇所、「光タイムライン<sup>4</sup>」、「プライムアーチ<sup>5</sup>」が各々 2 箇所、「その他」が 32 箇所、地域の「共通 ID を使用していない」が 48 箇所であった（図 2.8-7）。

---

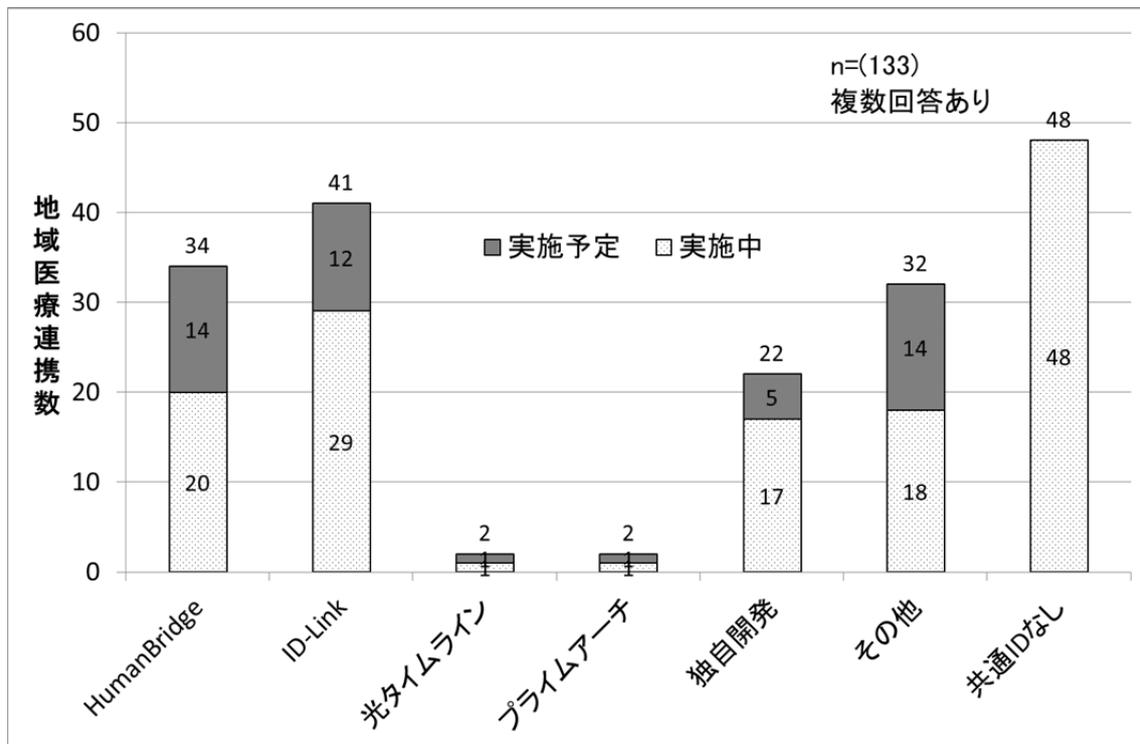
<sup>2</sup> ID-Link 地域医療連携ネットワークサービス（日本電気株式会社）  
<http://www.nec.co.jp/medsq/solution/id-link/>

<sup>3</sup> HumanBridge EHR ソリューション（富士通株式会社）  
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

<sup>4</sup> 「光タイムライン」診療情報連携システム（東日本電信電話株式会社）  
<https://www.ntt-east.co.jp/business/solution/hikari-timeline/>

<sup>5</sup> 地域医療連携支援システム PrimeArch（株式会社 SBS 情報システム）  
[http://www.sbs-infosys.co.jp/solution/solutionimage/hosp2010\\_02.jpg](http://www.sbs-infosys.co.jp/solution/solutionimage/hosp2010_02.jpg)

図 2.8-7 地域共通 ID の方式（予定含む）



#### 2.8.4. 標準化ストレージ対応の状況

医療施設の IT 化は徐々に進んでいるが、医療施設毎に異なるシステムが構築されているため施設間の情報連携は容易ではない。そもそも個々の施設内でも各部門のさまざまなメーカや年代のシステムがあり、経済的な理由からも標準的な規格で運用・統合されていることは少ない。

このため、医療施設間での連携においては、他施設との連携用の医療情報を加工・作成し、院内業務システムの外に用意しておく手法がある。もっとも標準的なものが「SS-MIX<sup>6</sup>標準化ストレージ」と呼ばれるものである。

さらに地域医療連携間での連携などにおいて PIX<sup>7</sup>/PDQ<sup>8</sup>などの規格の利用も推奨されている。

本調査項目では、当該地域医療連携での標準化ストレージの採用状況について回答を依頼し、今後の予定を含めて 70 地域からの複数回答を得た。結果は「SS-MIX」が 49 箇所、「SS-MIX2」が 43 箇所、「PIX/PDQ」が 12 箇所であった（図 2.8-8）。

---

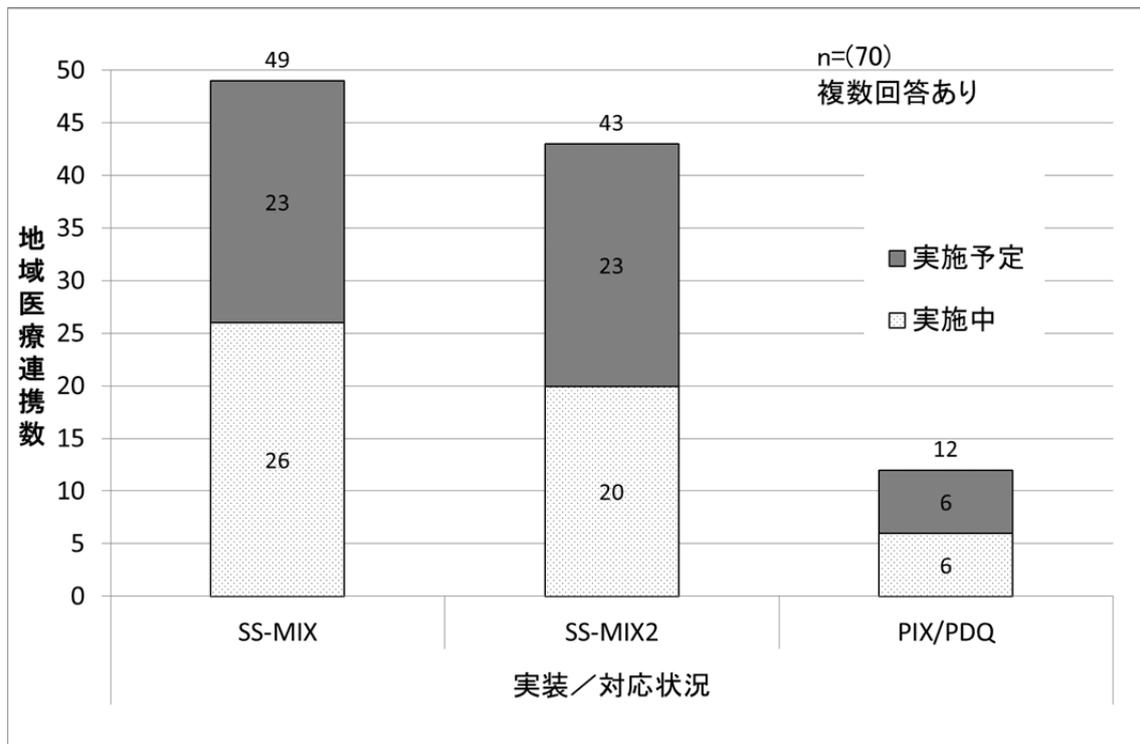
<sup>6</sup> SS-MIX (Standardized Structured Medical record Information eXchange) : 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業で策定された規格。医療の分野毎に、採用すべき情報交換規約と標準コード(マスター)の組み合わせを指定している。通常は、他施設との情報交換や地域医療連携で利用するため、診療情報を標準的な形式で蓄積・管理する「SS-MIX 標準化ストレージ」として利用される。

SS-MIX2 は、SS-MIX に対して医療情報の相互運用性及び互換性を向上させ、実装規格の見直しを行ったもの

<sup>7</sup> PIX (Patient Identifier Cross-reference) : 患者 ID の相互参照。複数のシステムで別々に管理されている患者識別情報の整合性を確保し、各システムを越えた患者単位の検索を可能とする仕組み

<sup>8</sup> PDQ (Patient Demographics Query) : 患者情報の取得・照会のための仕組み。PIX ならびに PDQ は、IHE (Integrating the Healthcare Enterprise) の国際規格である XDS (Cross-Enterprise Document Sharing) [施設間文書共有]と共に用いられる

図 2.8-8 標準化ストレージ対応の状況（予定含む）



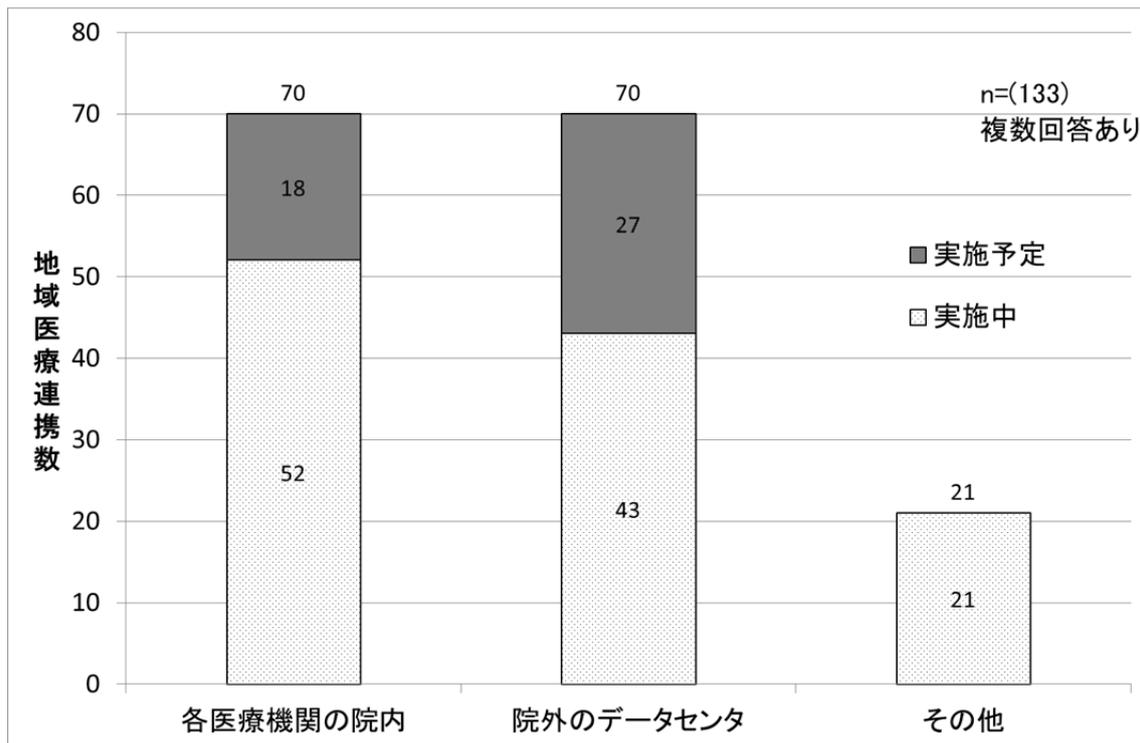
(2013 年度新規調査項目)

### 2.8.5. 連携用データの保管場所について

本調査項目では、連携に用いる患者データの主な保管場所について、各医療機関の内部であるのか、院外のデータセンタを活用しているのかについて回答を依頼した。

連携用データの保管場所については、今後の予定を含めて133地域から複数回答を得た。結果は、「院外のデータセンタ」と「各医療機関の院内」が同数の70箇所、その他が21箇所であった。「院外のデータセンタ」では実施予定の割合が高い傾向を示した(図2.8-9)。

図 2.8-9 連携用データの保管場所 (予定含む)

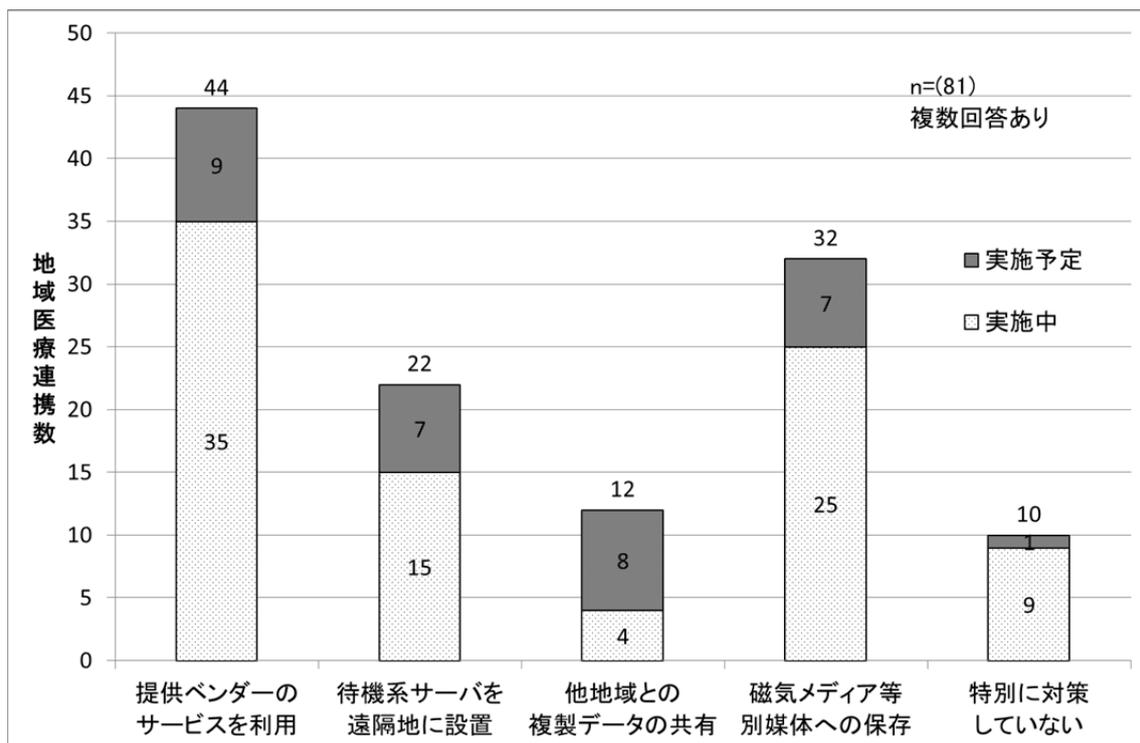


## 2.8.6. 障害対策（バックアップ）の状況

本調査項目では、当該地域医療連携の障害・大規模災害対策としてとられている対策について回答を依頼した。

障害対策（バックアップ）については、今後の予定を含めて81地域から複数回答を得た。結果は「提供ベンダーのサービスを利用」（44箇所）がもっとも多く、地域医療連携パッケージとしてセット化されている様子が見えてきた。つづいて「磁気メディア等別媒体への保存」が32箇所、「待機系サーバを遠隔地に設置」が22箇所、「他地域との複製データの共有」が12箇所という結果であった（図 2.8-10）。

図 2.8-10 障害対策（バックアップ）の状況（予定含む）



(2013年度新規調査項目)

## 2.8.7. 厚生労働省標準規格の採用状況

本調査項目では、厚生労働省において保健医療情報分野の標準とされた規格（厚生労働省標準規格）<sup>9</sup>の地域医療連携での採用状況について回答を依頼した。

厚生労働省標準規格は現在 12 規格あり、その正式名称は以下のとおりである。

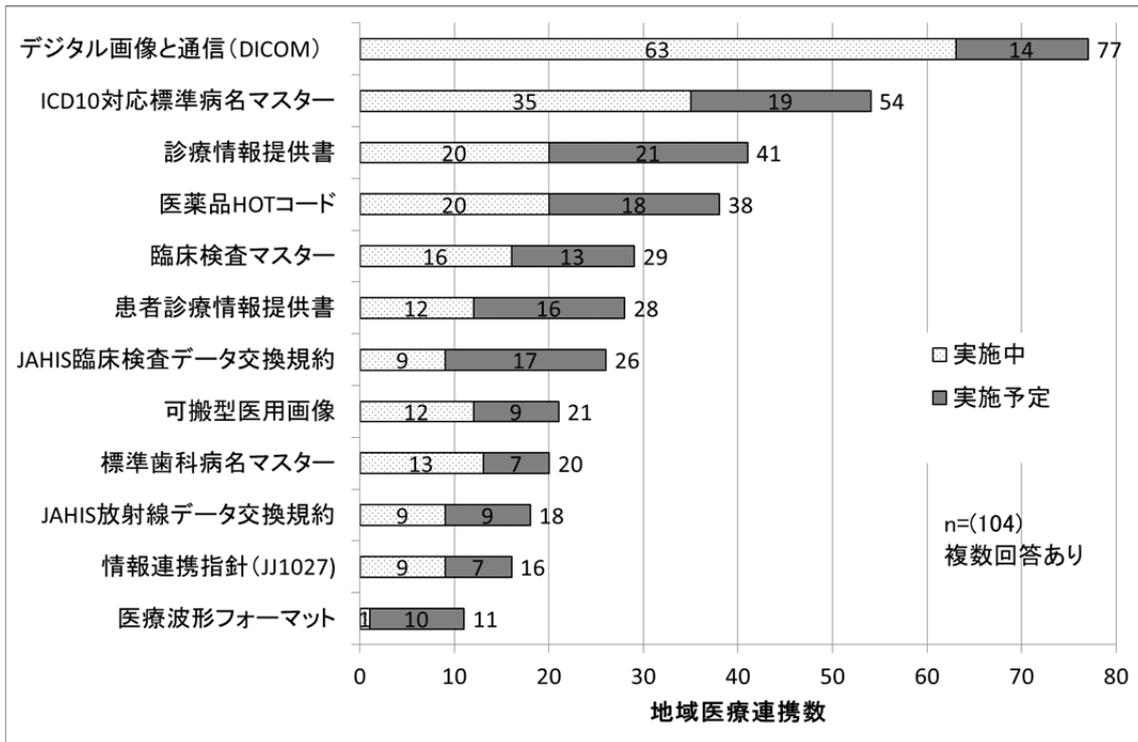
- HS001 医薬品 HOT コードマスター
- HS005 ICD10 対応標準病名マスター
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）
- HS008 診療情報提供書（電子紹介状）
- HS009 IHE 統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用指針
- HS010 保健医療情報-医療波形フォーマット-第 92001 部：符号化規則
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
- HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
- HS013 標準歯科病名マスター
- HS014 臨床検査マスター
- HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
- HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ1017 指針)

厚生労働省標準規格の採用状況については、今後の予定を含めて 104 地域から複数回答を得た。結果は、「HS011 医療におけるデジタル画像と通信」（77 箇所）が最も多く、次いで「HS005 ICD10 対応標準病名マスター」（54 箇所）、「HS008 診療情報提供書」（41 箇所）の順であった（図 2.8-11）。

---

<sup>9</sup> 平成 24 年 3 月 23 日 厚生労働省 「保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省標準規格）について」の一部改正について 政社発 0323 第 1 号

図 2.8-11 厚生労働省標準規格の採用状況（予定含む）



## 2.8.8. 通信ネットワークの採用状況

本調査項目では、当該地域医療連携で採用された通信ネットワークの接続方式について、医療機関、介護施設他、患者に分けて回答を依頼した。

ネットワークを利用して、医療機関が外部と医療情報を交換する場合の接続方式については、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を遵守することが求められている<sup>10</sup>。本項では、地域医療連携に専用の閉域ネットワーク（IP-VPN<sup>11</sup>網）が用意されている場合と、オープンなインターネットを利用する場合に推奨されるセキュリティ強度の高い接続方式（IPSec<sup>12</sup>+IKE<sup>13</sup>）の採用状況について回答を依頼した。どちらも、レセプトのオンライン請求で指定されている方式である。あわせてインターネットで一般的なセキュリティ接続方式である SSL の利用状況についても回答を依頼した。

なお、本項での回答結果が SSL であったとしても、当該地域医療連携のセキュリティが比較的低いと考えるのは尚早である。他のセキュリティと組み合わせていたり、データそのものがあらかじめ暗号化されていることもあり得る。

医療機関等で使われる通信ネットワークについては、今後の予定を含めて 138 地域から複数回答を得た。結果は、「IPSec+IKE」の採用が 81 箇所、「SSL」が 66 箇所、「IP-VPN」の採用が 65 箇所であった（図 2.8-12）。

介護施設等で使われる通信ネットワークについては、今後の予定を含めて 78 地域から複数回答を得た。結果は、「IPSec+IKE」の採用が 48 箇所、「SSL」が 47 箇所、「IP-VPN」の採用が 23 箇所であった（図 2.8-13）。

<sup>10</sup> 平成 25 年 3 月 25 日 厚生労働省 「診療録等の保存を行う場所について」の一部改正について 医政発 0325 第 15 号 薬食発 0325 第 9 号 保発 0325 第 5 号

<sup>11</sup> IP-VPN（Internet Protocol-Virtual Private Network）通信事業者が独自に構築した閉域 IP 網を利用した VPN

<sup>12</sup> IPSec（Security Architecture for Internet Protocol）インターネットで暗号通信を行うための規格

<sup>13</sup> IKE（Internet Key Exchange）暗号鍵を交換する通信プロトコル。IPSec で暗号化通信を行う前の準備として用いられる

図 2.8-12 通信ネットワークの採用状況（医療機関等）（予定含む）

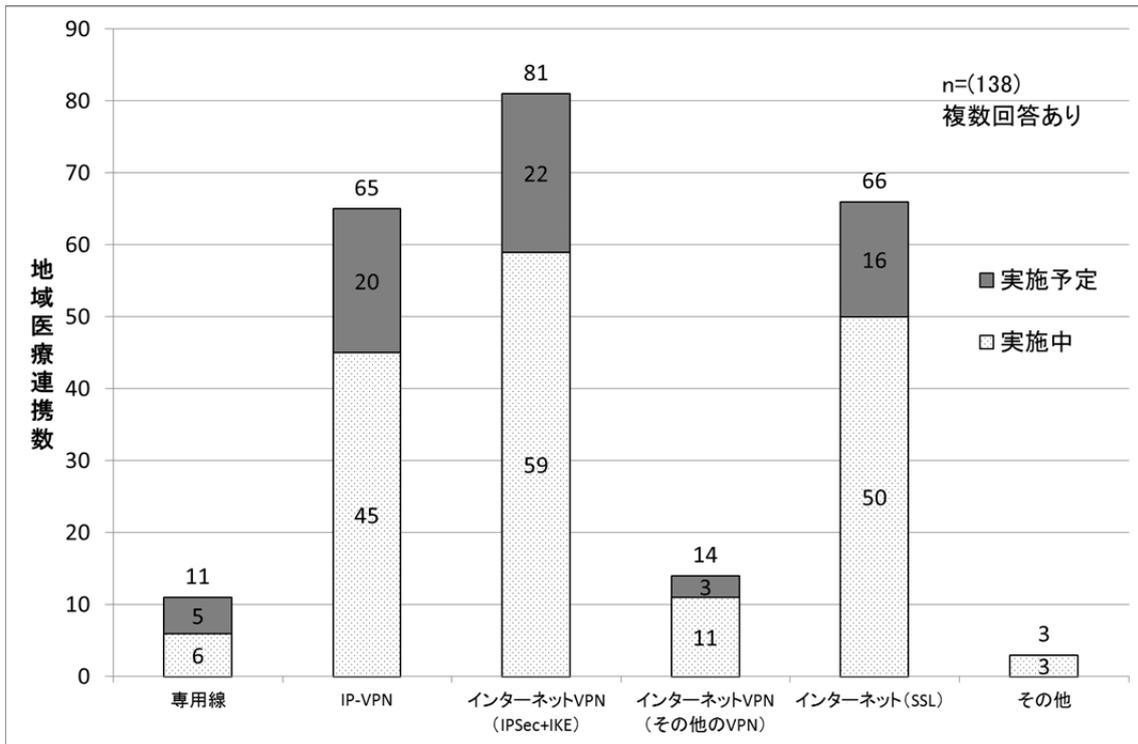
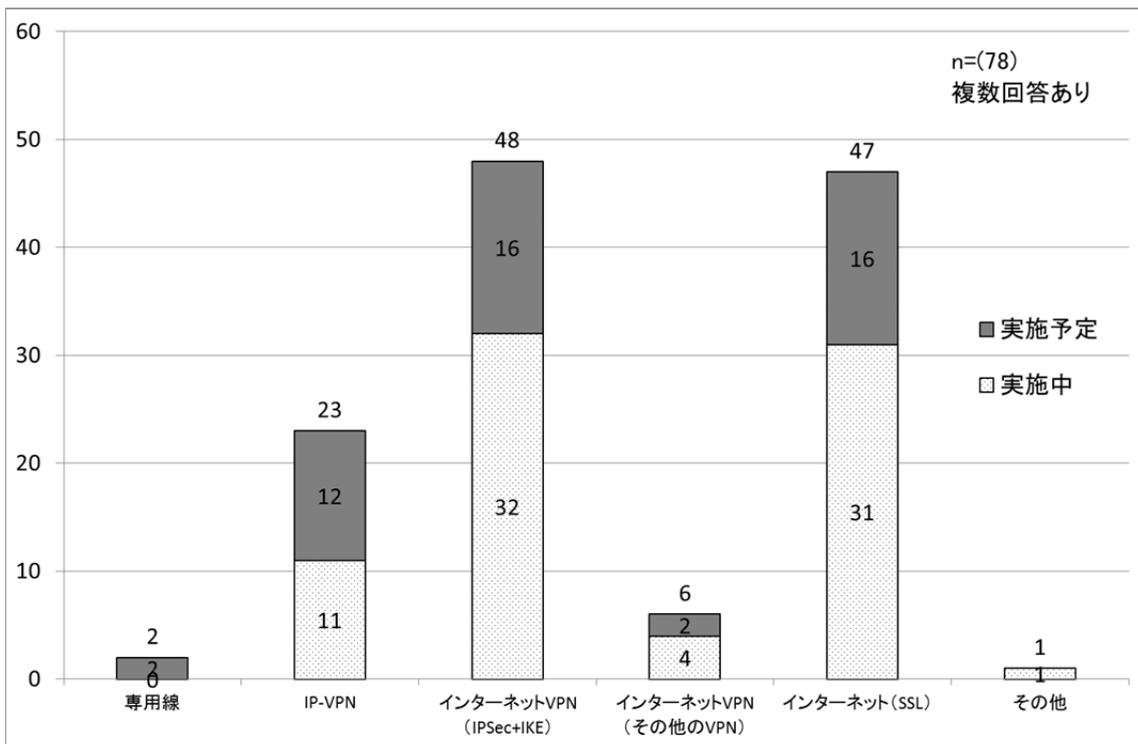
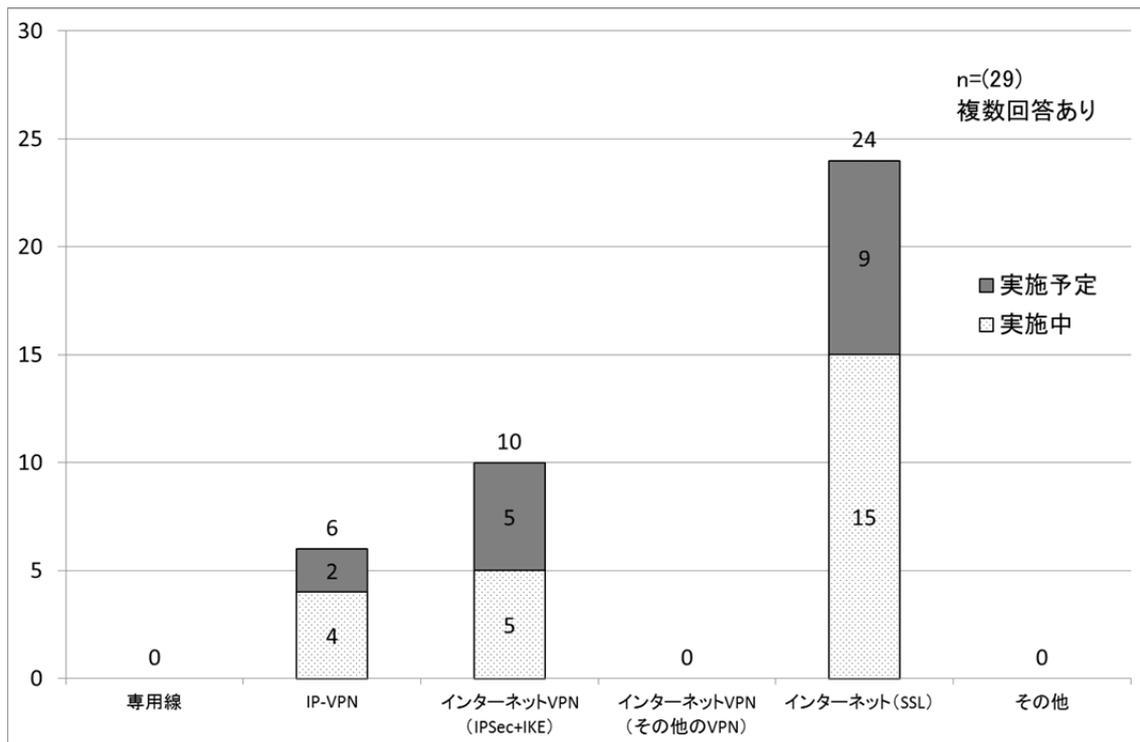


図 2.8-13 通信ネットワークの採用状況（介護施設等）（予定含む）



患者との間で使われる通信ネットワークについては、今後の予定を含めて 29 地域から複数回答を得た。結果は、「SSL」が 24 箇所、「IPSec+IKE」の採用が 10 箇所、「IP-VPN」が 6 箇所であった（図 2.8-14）。

図 2.8-14 通信ネットワークの採用状況（患者）（予定含む）



### 2.8.9. ログインセキュリティの採用状況

本調査項目では、当該地域医療連携を利用する際のログインセキュリティについて医療機関、介護施設、患者に分けて回答を依頼した。2012年度調査に加えて、詳細を把握するためいくつかの回答選択肢を増やした。

医療機関等で使われるログインセキュリティについては、今後の予定を含めて135地域から複数回答を得た。結果は、「ID とパスワード」が123箇所で大半を占め、「HPKI<sup>14</sup>を利用した電子証明書(ICカード)」の採用が28箇所、「PKI電子証明書(ICカード)」が10箇所であった(図 2.8-15)。

「ID とパスワード」の回答が多いことから、「ID とパスワード」の回答地域のみ限定して他の認証要素との組合せについて調べたのが図 2.8-16 である。「ID とパスワード」との組合せについては、123箇所のうち最大49箇所(複数回答のため)でしか他の認証要素との組合せが確認できなかった。なお、前項で述べた「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」では「2要素認証<sup>15</sup>」が推奨されている。

---

<sup>14</sup> HPKI (Health Public Key Infrastructure) : 保健医療福祉分野の国家資格 (+管理者) を確認するための公的な電子認証基盤

<sup>15</sup> 2要素認証 : 2つの認証方式を併用して精度を高めた認証方式のこと (ICカードとパスワードの組み合わせなど)

図 2.8-15 ログインセキュリティの採用状況（医療機関等）（予定含む）

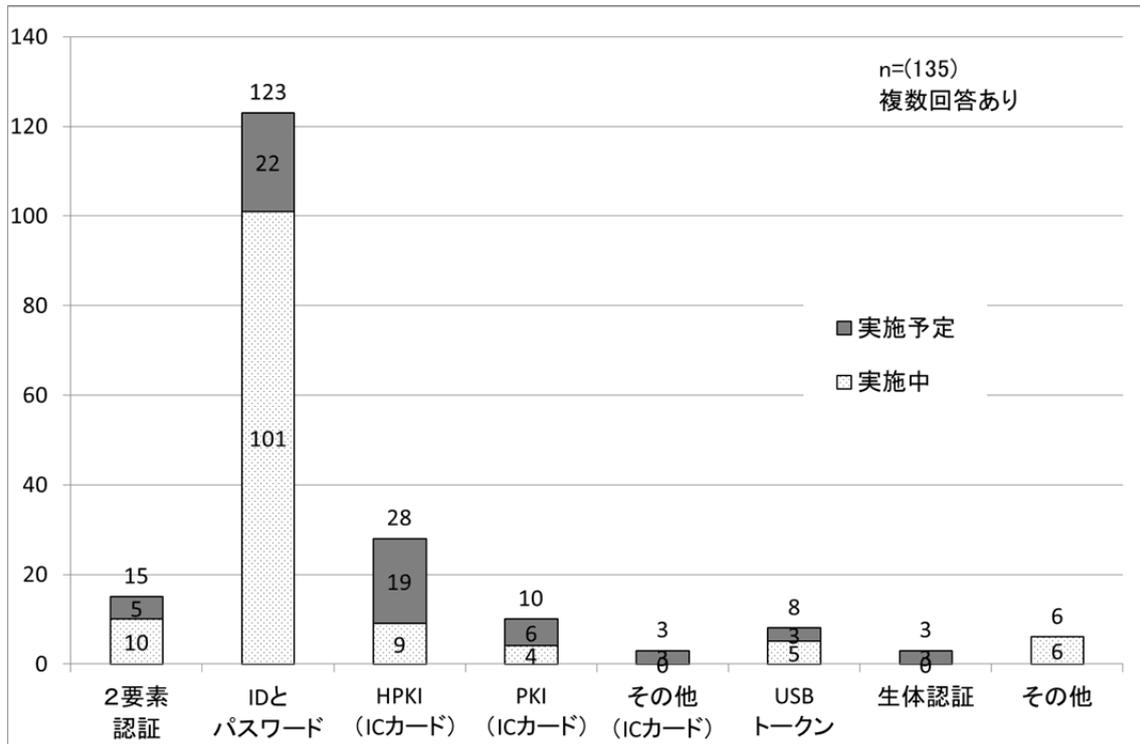
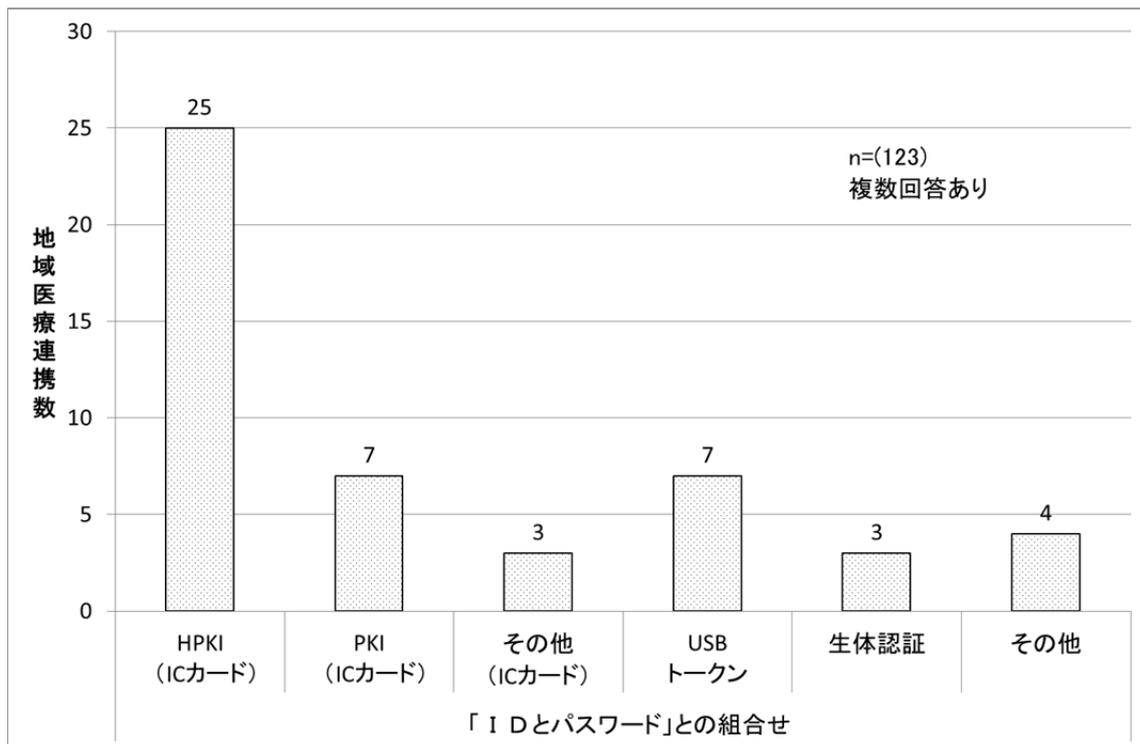
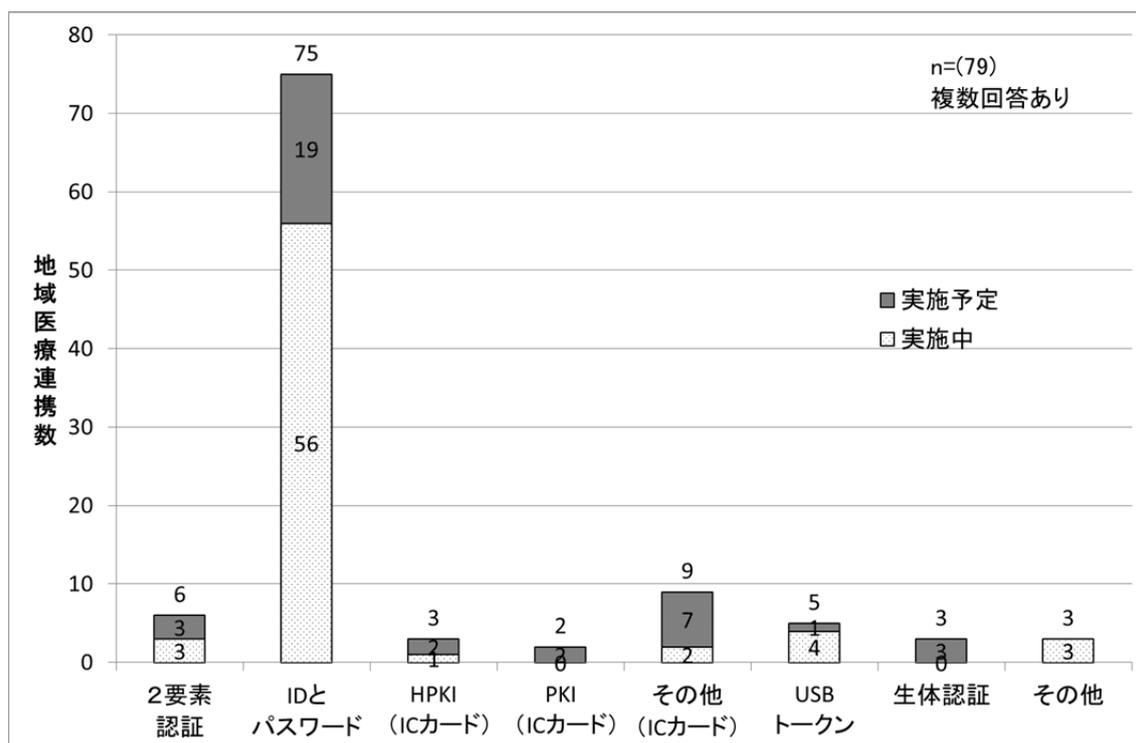


図 2.8-16 「ID とパスワード」と組合せのログインセキュリティ（医療機関等）（予定含む）



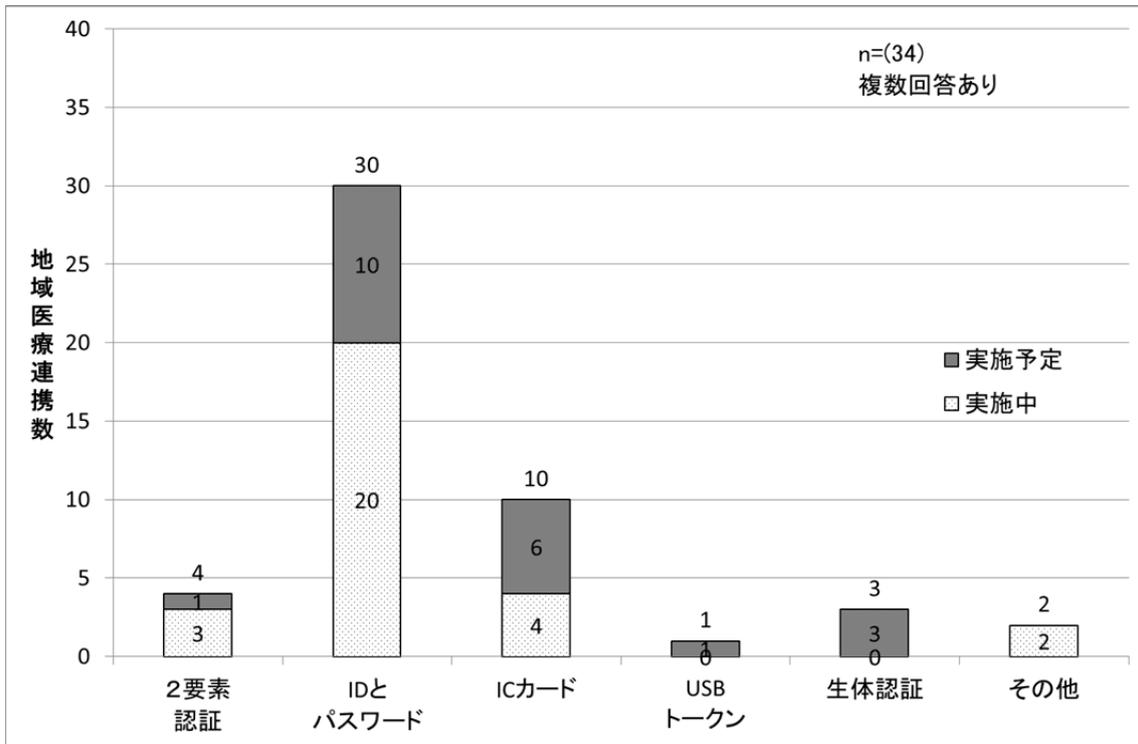
介護施設等で使われるログインセキュリティについては、今後の予定を含めて 79 地域から複数回答を得た。結果は、「ID とパスワード」が 75 箇所で大半を占め、「その他（IC カード）」が 9 箇所であった（図 2.8-17）。

図 2.8-17 ログインセキュリティの採用状況（介護施設等）（予定含む）



患者からの情報アクセスで使われるログインセキュリティについては、今後の予定を含めて 34 地域から複数回答を得た。結果は、「ID とパスワード」が 30 箇所、「IC カード」が 10 箇所であった（図 2.8-18）。

図 2.8-18 ログインセキュリティの採用状況（患者）（予定含む）



## 2.9. 主な IT 関連企業

### 2.9.1. 主な関連企業

本調査項目では、当該地域医療連携システムの構築ならびに運営を支援する企業名について、回答を依頼した。自由記載としたことから企業名称が統一されていないため、回答結果について巻末の表（別添 3）に参考として掲載した。

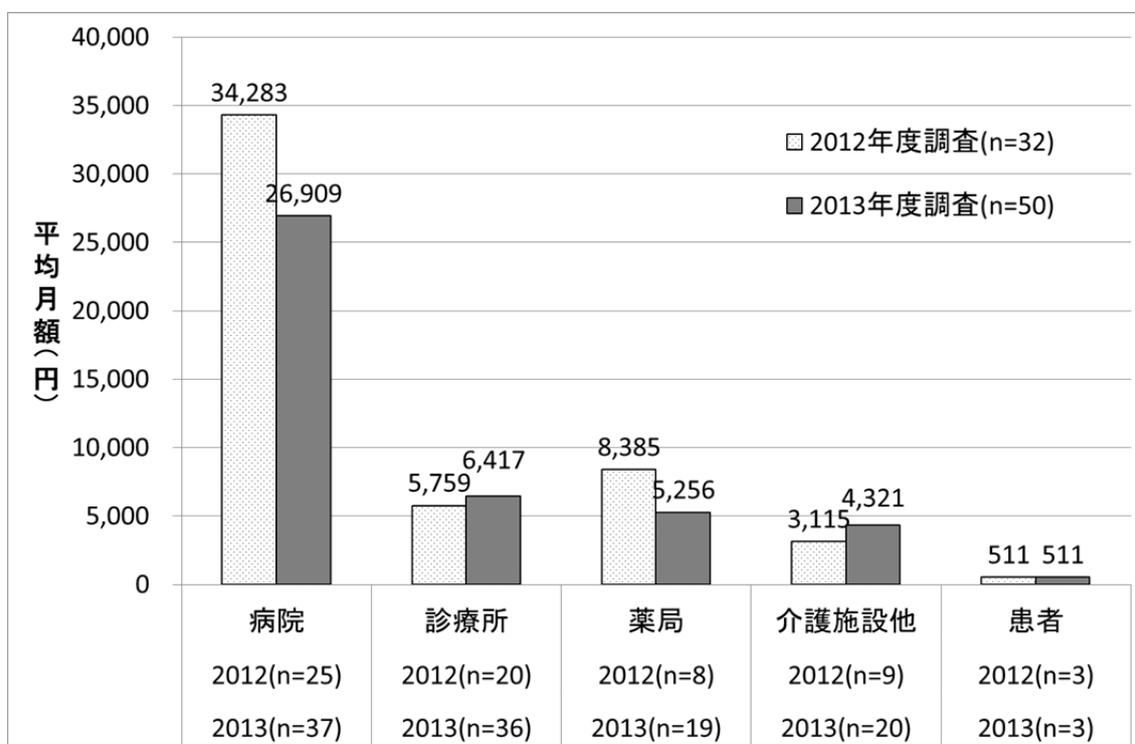
## 2.10. サービス利用・参加料金の状況

本調査項目では、当該地域医療連携に参加している施設の種類別に負担金額について回答を依頼した。

### 2.10.1. サービス利用・参加料金の状況

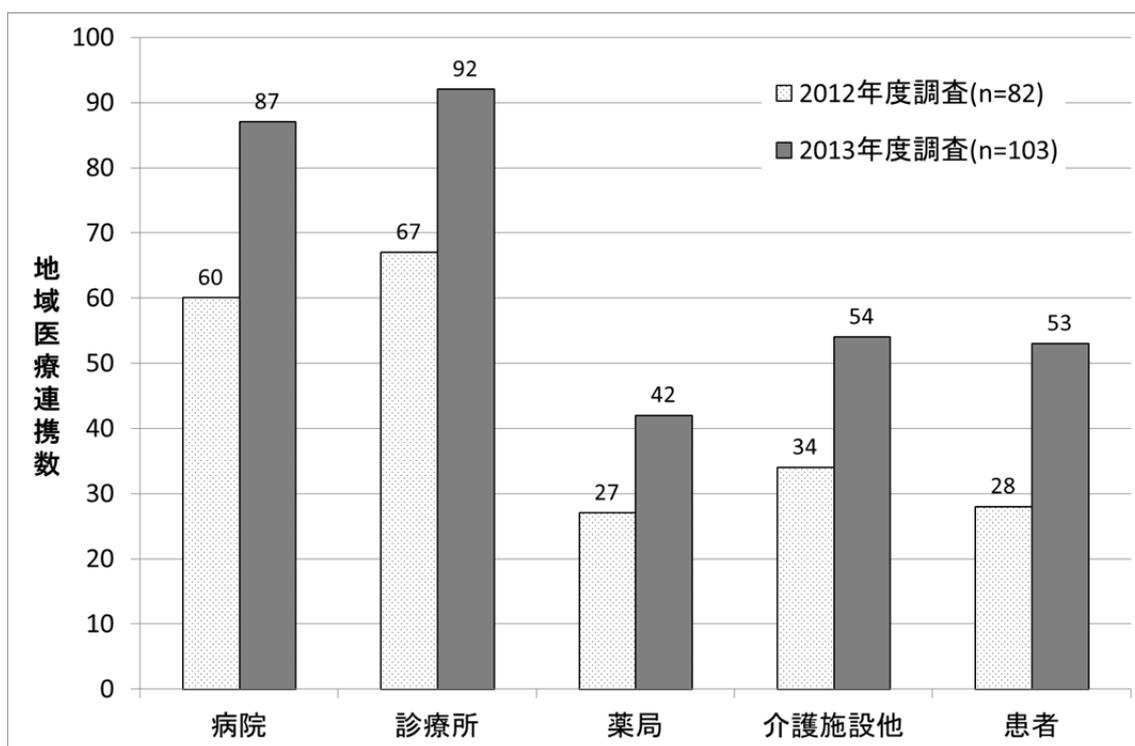
サービス利用・参加料金を徴収している地域医療連携より、今後の予定を含めて50地域から回答を得た。結果は、「病院」が26,909円/月（37箇所平均）、「診療所」が6,417円（36箇所平均）、「薬局」が5,256円（19箇所平均）、「介護施設等」が4,321円（20箇所）、「患者」が511円（3箇所平均）という結果であった（図2.10-1）。

図 2.10-1 サービス利用・参加料金の平均額（予定含む）（無料地域除く）



一方、サービス利用・参加料金が無料であると回答した地域医療連携については、今後の予定を含めて103地域であった。施設の種類毎の結果は、「病院」が無料の地域が87箇所であり、以下、「診療所」が92箇所、「薬局」が42箇所、「介護施設等」が54箇所、「患者」が53箇所という結果であった（図 2.10-2）。

図 2.10-2 サービス利用・参加料金が無料の地域数（予定含む）



次に「病院」のサービス利用・参加料金を地域医療連携の運営主体別にみた場合は、「NPO・協議会」が50,083円/月（15箇所平均）と最も高く、次に「医師会」が15,986円/月（13箇所平均）となった（図 2.10-3）。

診療所のサービス利用・参加料金を地域医療連携の運営主体別にみた場合は、「NPO・協議会」が11,010円/月（13箇所平均）と最も高く、次に「医師会」が4,920円/月（13箇所平均）となった（図 2.10-4）。

図 2.10-3 運営主体別サービス利用・参加料金の平均額（病院）（予定含む）

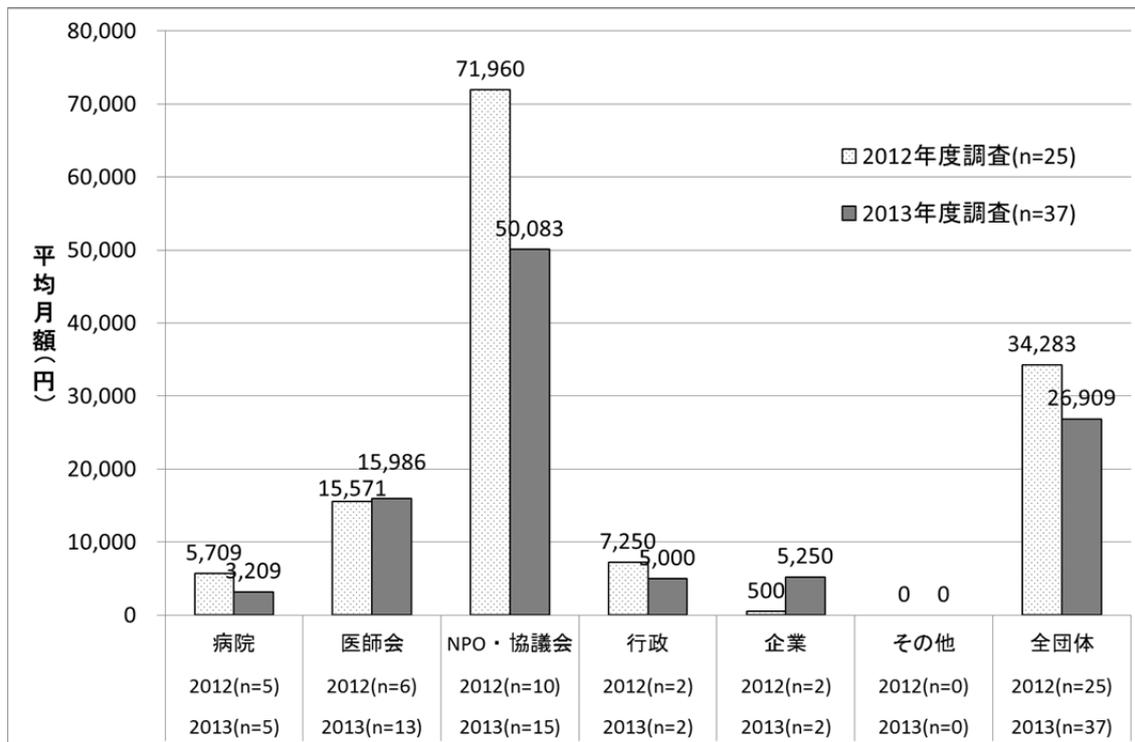
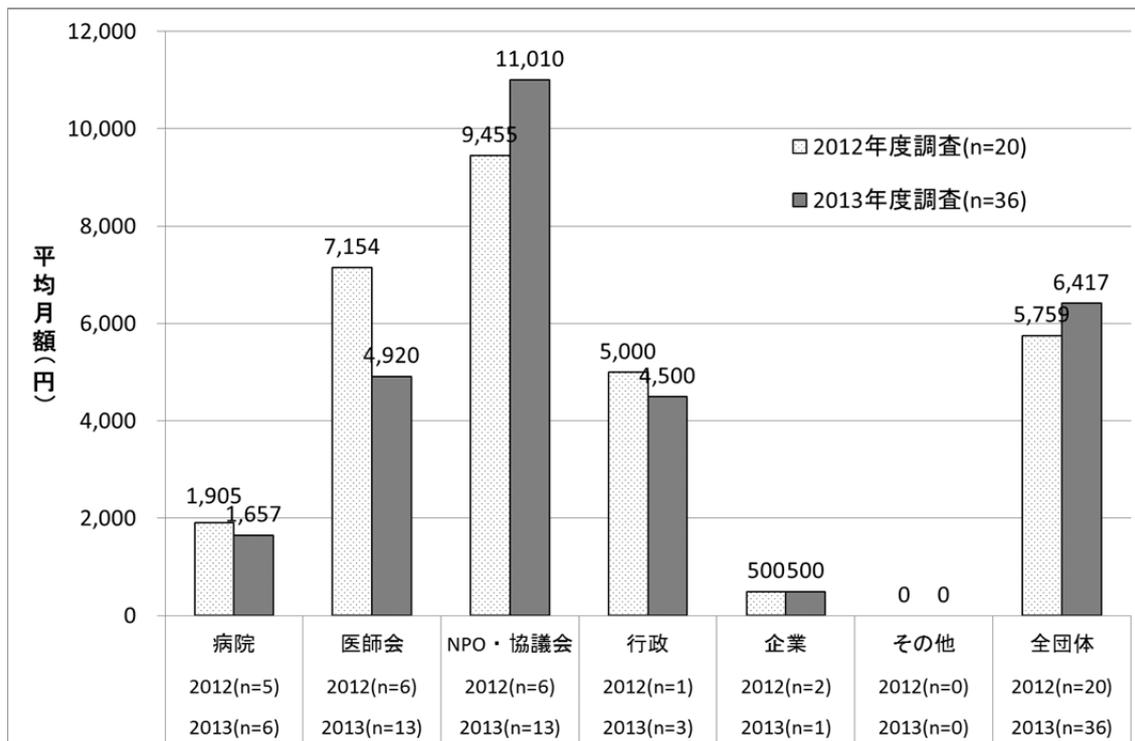


図 2.10-4 運営主体別サービス利用・参加料金の平均額（診療所）（予定含む）



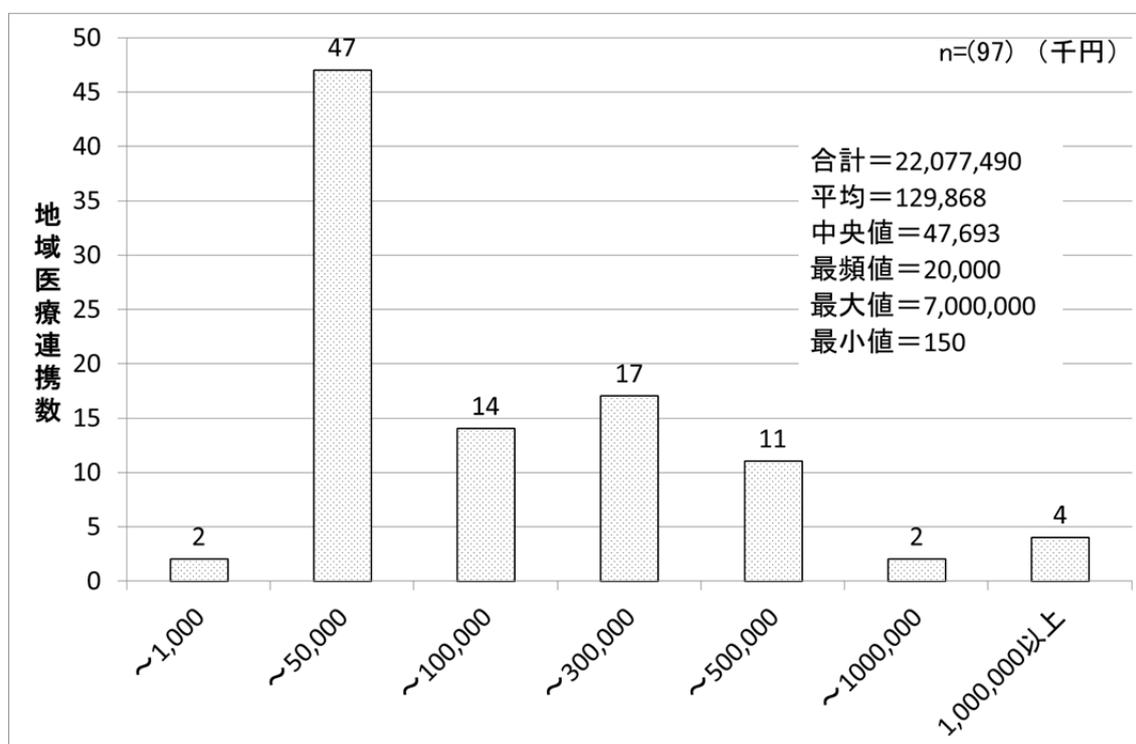
## 2.11. システム構築・運用費用の状況

### 2.11.1. システム構築費用の状況

本調査項目では、当該地域医療連携のシステム構築にかかった費用(もしくは予定)について回答を依頼した。

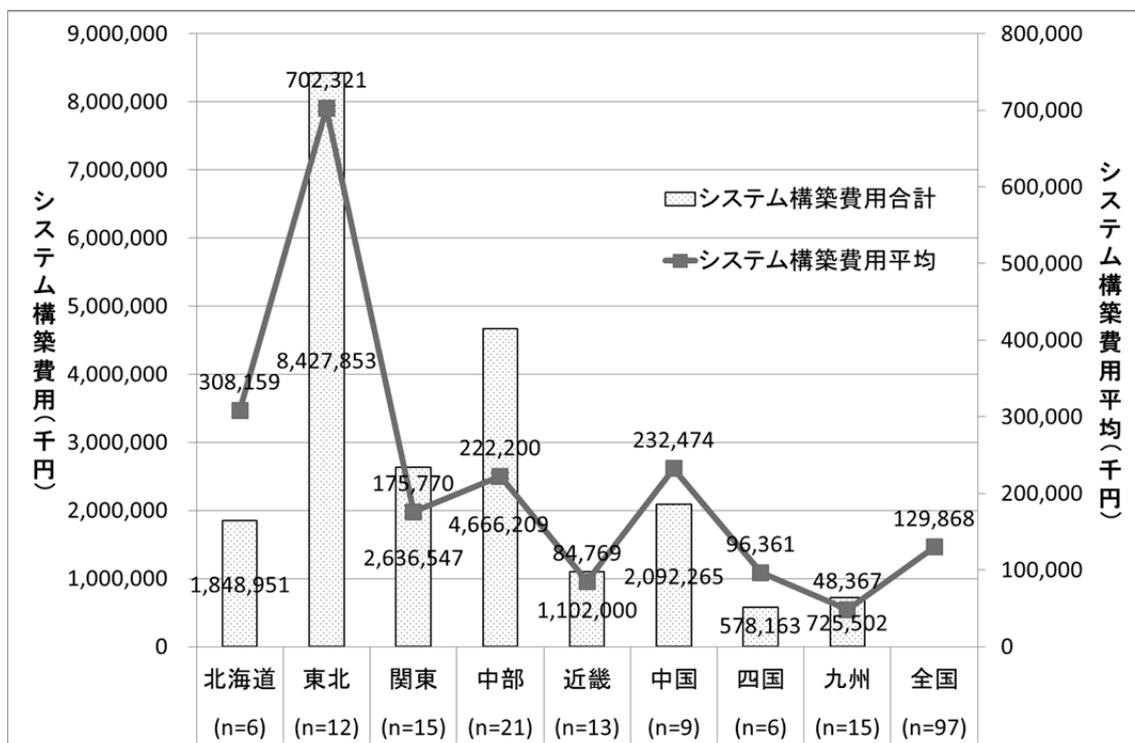
システムの構築費用については、今後の予定を含めて 97 地域から回答を得た。結果は、「百万円以上 5 千万円未満」が 47 箇所と最も多く、次に「1 億円以上 3 億円未満」が 17 箇所、「5 千万円以上 1 億円未満」が 14 箇所、「10 億円以上」も 4 箇所あった。これらの合計は約 221 億円となり、平均構築費用は約 1 億 3 千万円（中央値 4 千 8 百万円、最頻値 2 千万円）という結果となった（図 2.11-1）。

図 2.11-1 システム構築費用概算（予定含む）



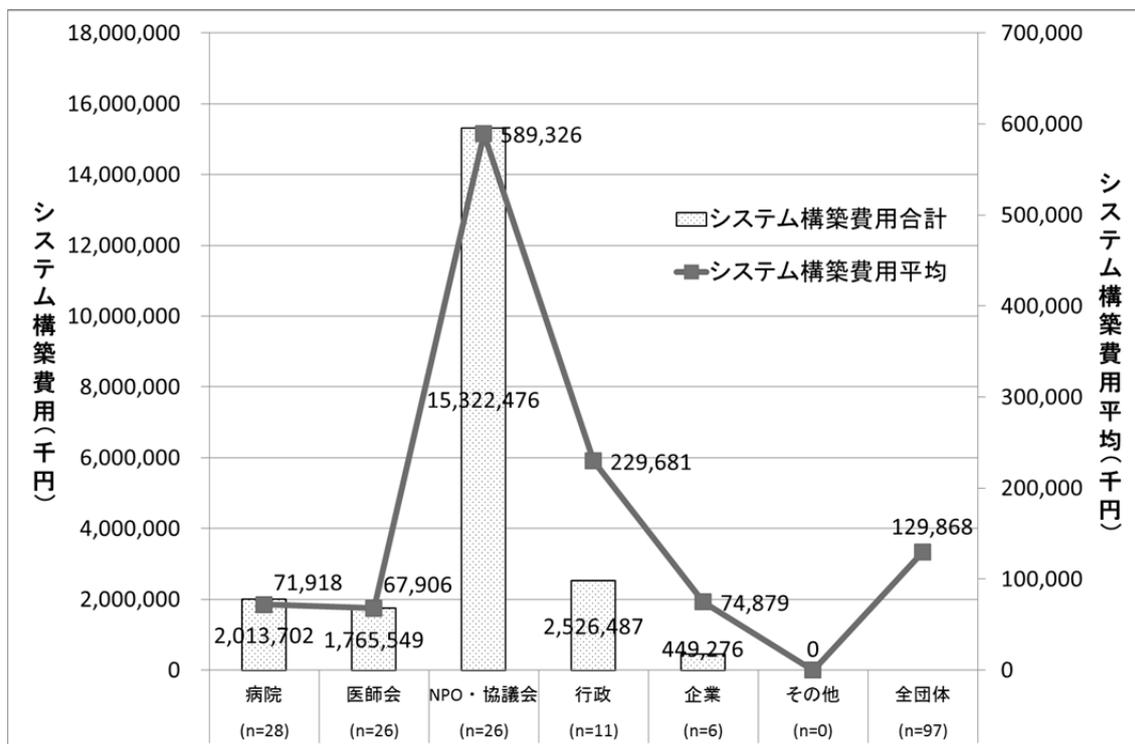
地方区分別にみた場合のシステム構築費用の平均額は、「東北」が約 7 億円（12 地域平均）、「北海道」が約 3 億 1 千万円（6 地域平均）、「中国」が約 2 億 3 千万円（9 地域平均）「中部」が約 2 億 2 千万円（21 地域平均）、「関東」が約 1 億 8 千万円（15 地域平均）と、全国平均よりも高い結果を示す一方、「四国」が約 1 億円（6 箇所平均）、「近畿」が約 8 千万円（13 箇所平均）、「九州」（15 箇所平均）が約 5 千万円と、地方による差が大きくみられた（図 2.11-2）。

図 2.11-2 地方区分別システム構築費用の平均額（予定含む）



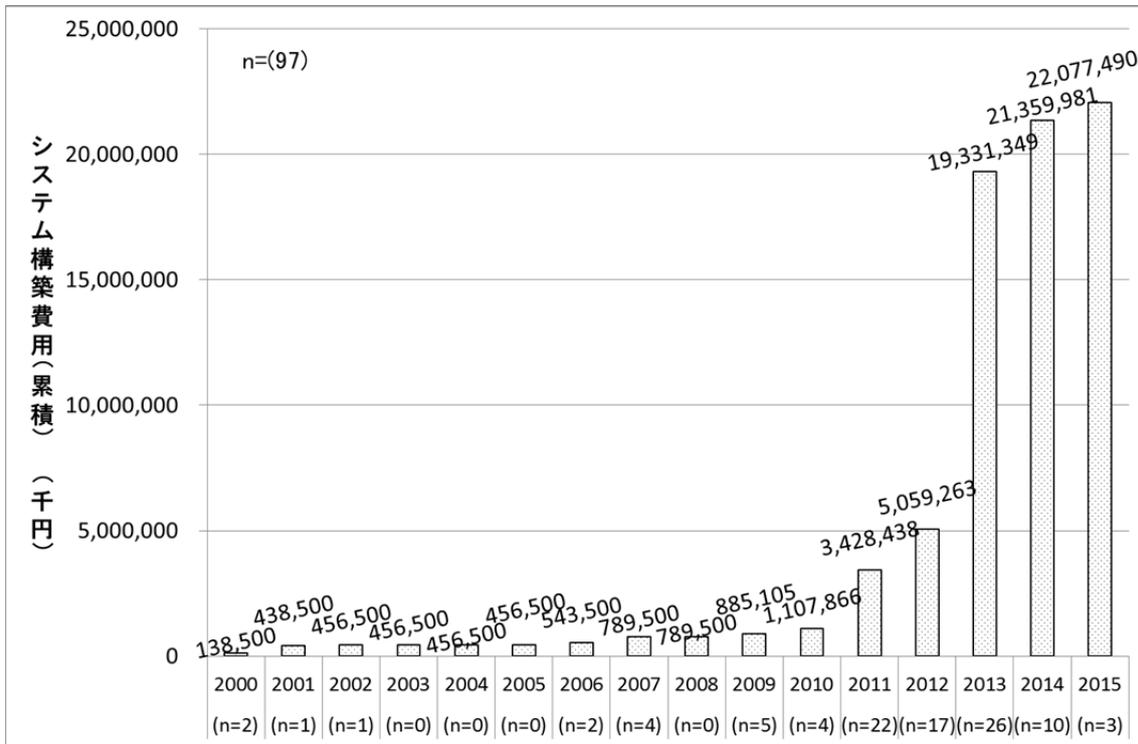
運営主体別にみた場合のシステム構築費用の平均額は、「NPO・協議会」が約 5 億 9 千万円（26 箇所平均）、「行政」が約 2 億 3 千万円（11 箇所平均）と全団体平均よりも高い値を示す一方、「企業」（6 箇所平均）、「病院」（28 箇所平均）、「医師会」（26 箇所平均）が約 7 千万円と運営主体により大きな差がみられた（図 2.11-3）。

図 2.11-3 運営主体別システム構築費用の平均額（予定含む）



当該地域医療連携の開始年でみたシステム構築費用（累積額）の推移からは、地域医療再生計画が実際に動き始めた 2013 年頃を境として急増している様子が見えてきた（図 2.11-4）。

図 2.11-4 システム構築費用の推移（予定含む）

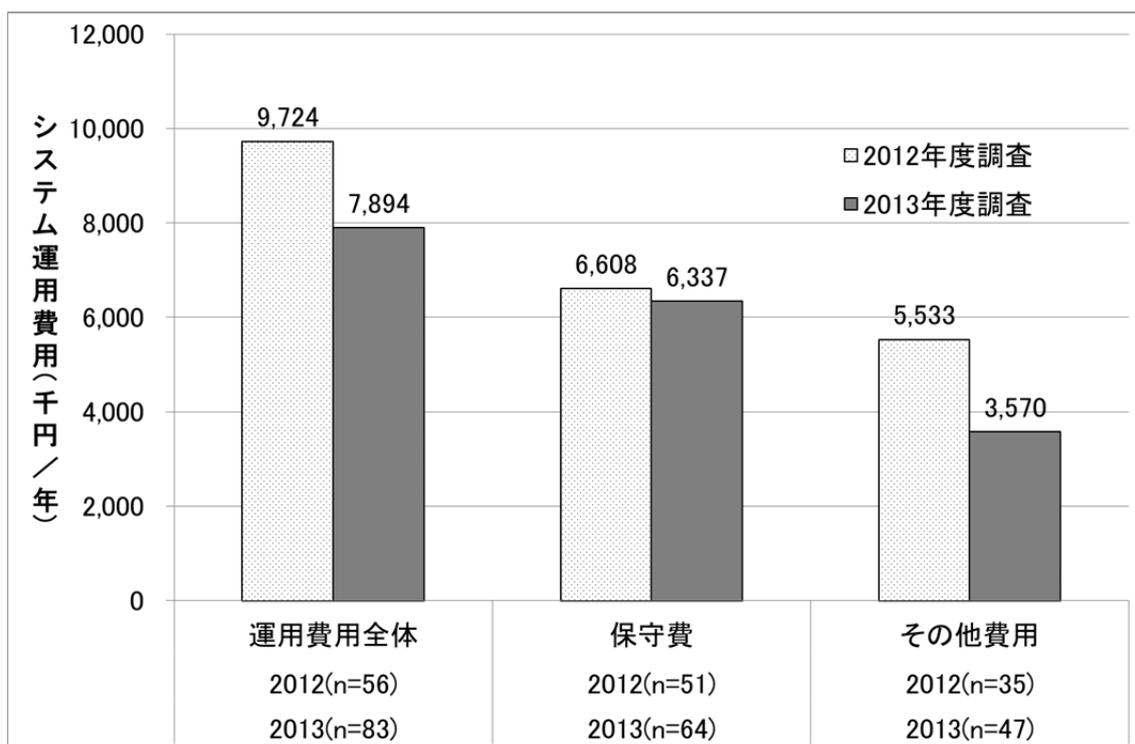


## 2.11.2. システム運用費用の状況

本調査項目では、当該地域医療連携システムの運用にかかる費用（もしくは予定）について回答を依頼した。

システムの運用費用については、今後の予定を含めて 83 地域から回答を得た。年間の「運用費用全体」の平均は約 790 万円であった。そのうち、システムの「保守」にかかる平均費用は約 630 万円という回答が得られた（図 2.11-5）。

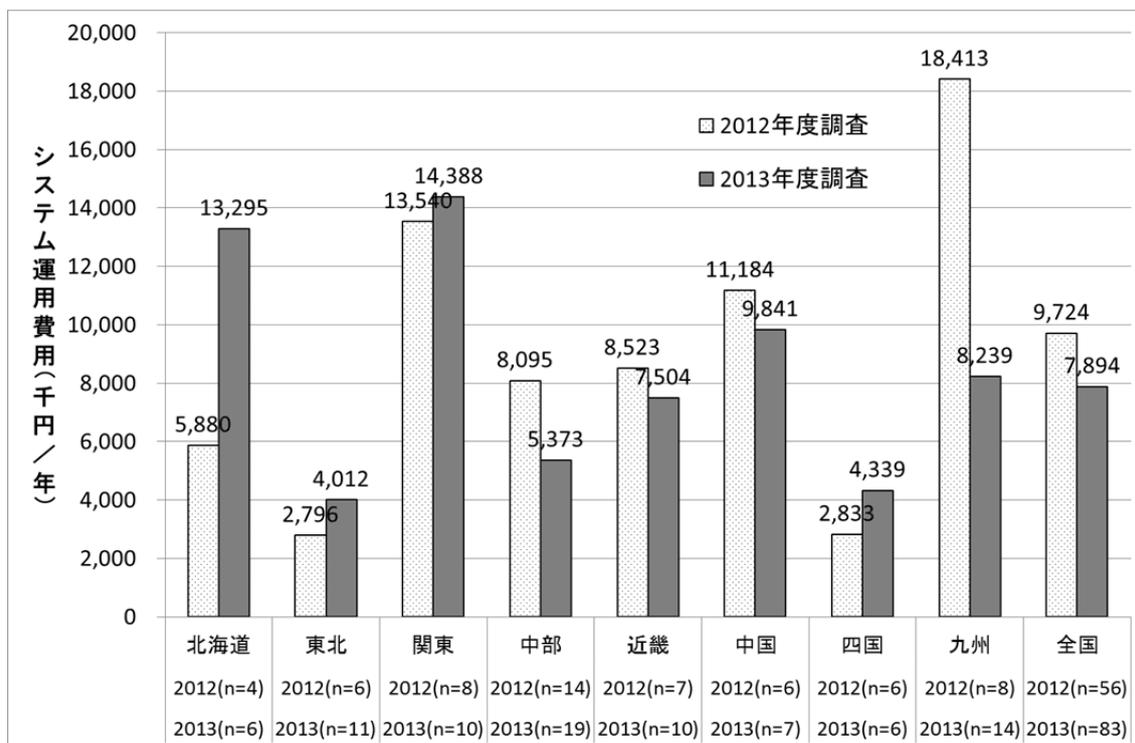
図 2.11-5 システム運用費用概算平均額（予定含む）



地方区別にみた場合のシステム運用費用の平均額は、「関東」が約 1 千 4 百万円（10 箇所平均）、「北海道」が約 1 千 3 百万円（6 箇所平均）、「中国」が約 1 千万円（7 箇所平均）と、全国平均よりも高い結果を示す一方、「中部」が 5 百万（19 箇所平均）、「東北」（11 箇所平均）、「四国」（6 箇所平均）では約 4 百万円と、地方による差が大

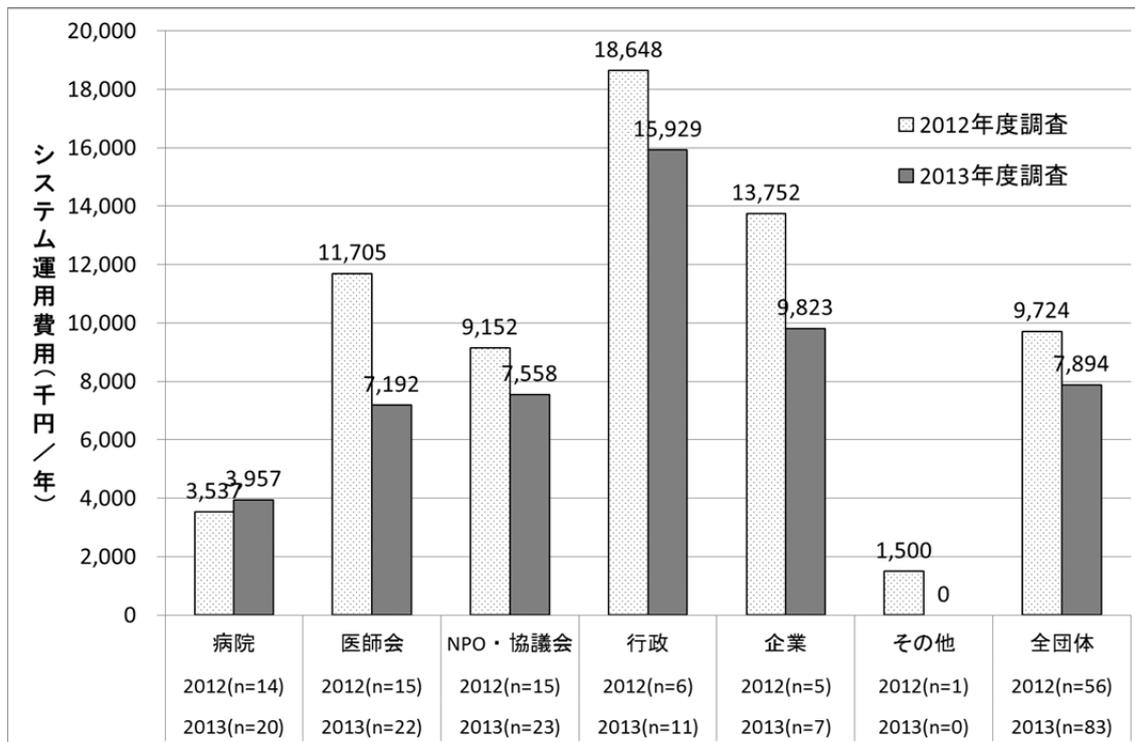
きくみられた（図 2.11-6）。

図 2.11-6 地方区分別システム運用費用の平均額（予定含む）



運営主体別にみた場合のシステム運用費用の平均額は、「行政」が約 1 千 6 百万円（11 箇所平均）、「企業」が約 1 千万円（7 箇所平均）と全団体平均よりも高い値を示す一方、「病院」では約 4 百万円（20 箇所平均）と運営主体により大きな差がみられた（図 2.11-7）。

図 2.11-7 運営主体別システム運用費用の平均額（予定含む）



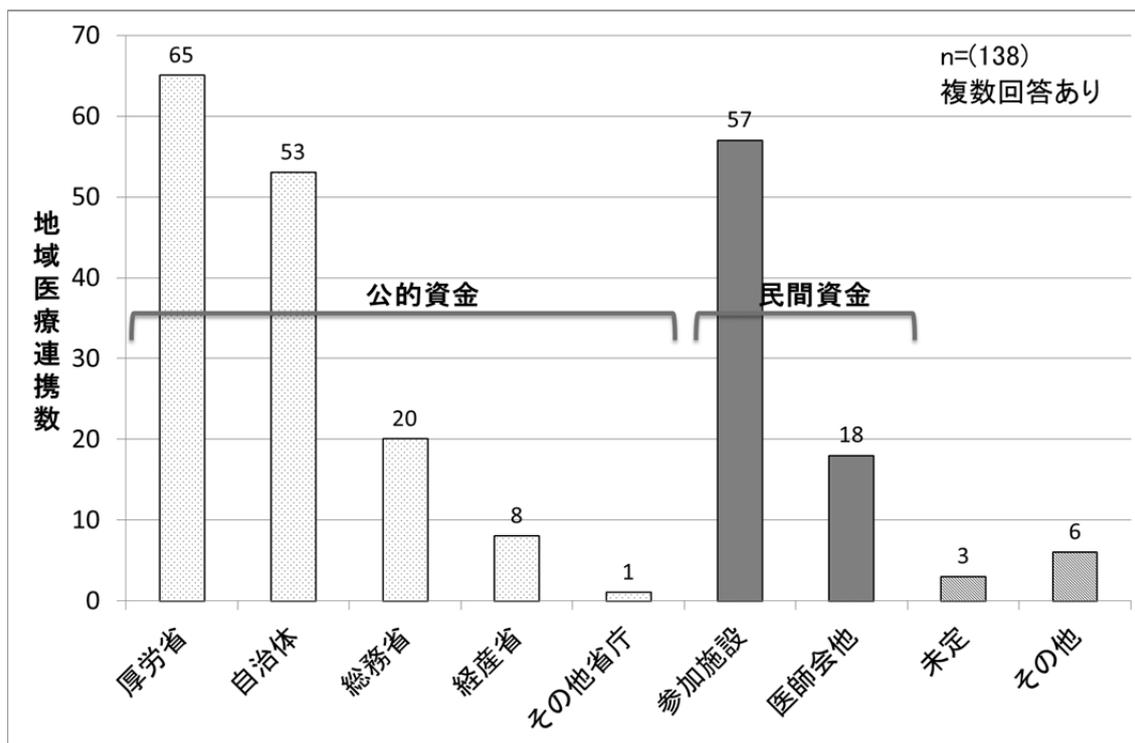
## 2.12. システム構築・運用費用の負担者

### 2.12.1. システム構築費用の負担者

本調査項目では、当該地域医療連携のシステム構築にかかった費用の供出元（もしくは予定）について回答を依頼した。

システム構築費用の負担者については、今後の予定を含めて138箇所から複数回答を得た。結果は、「厚生労働省」が65箇所と最も多く、次に地域医療連携の「参加施設」が57箇所、「自治体」が53箇所の順であった。公的な負担だけでは、「総務省」20箇所、「経済産業省」8箇所を含め、回答のあった地域医療連携の大半に公的資金が投入されている一方、参加施設や医師会による医療提供者側の努力もあることがうかがえた（図 2.12-1）。

図 2.12-1 システム構築費用の負担者（予定含む）

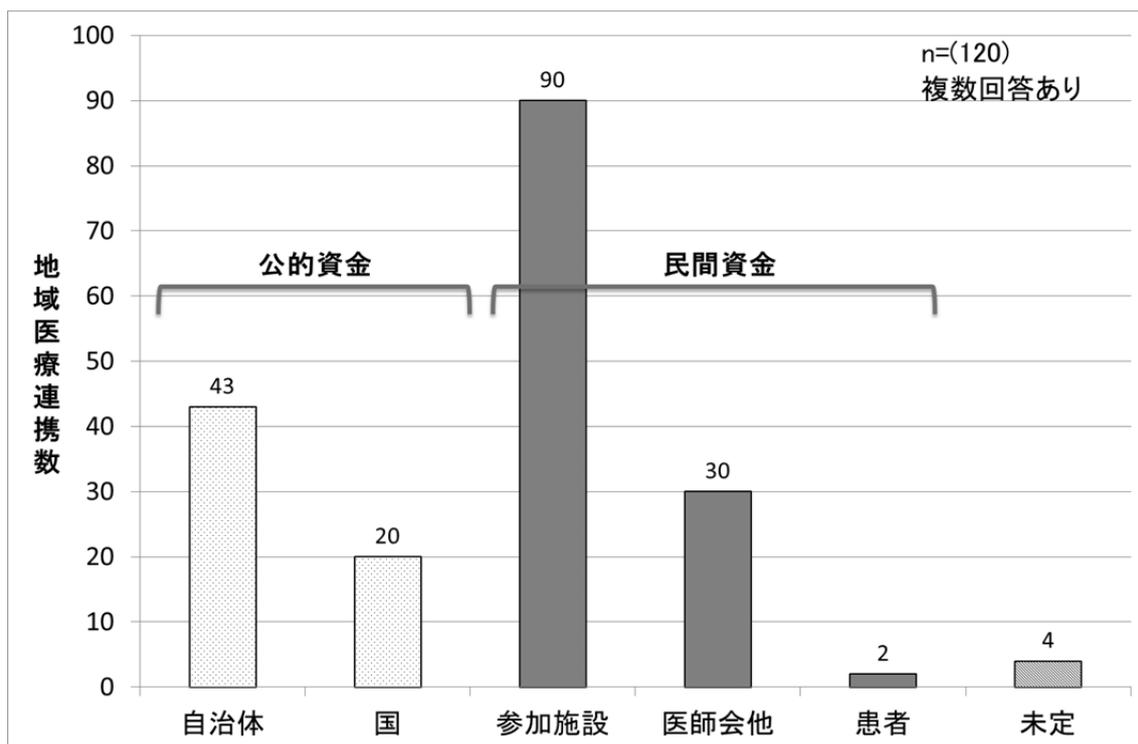


## 2.12.2. システム運用費用の負担者

本調査項目では、当該地域医療連携のシステムの運用費用の供出元(もしくは予定)について回答を依頼した。

システム運用費用の負担者については、今後の予定を含めて120箇所から複数回答を得た。結果は、地域医療連携の参加施設が90箇所と最も多く、次に自治体が43箇所、医師会等の地域の医療関係団体が30箇所の順であり、大半が医療提供側の資金で運用されている様子がうかがえた(図 2.12-2)。

図 2.12-2 システム運用費用の負担者(予定含む)



## 2.13. 導入の効果

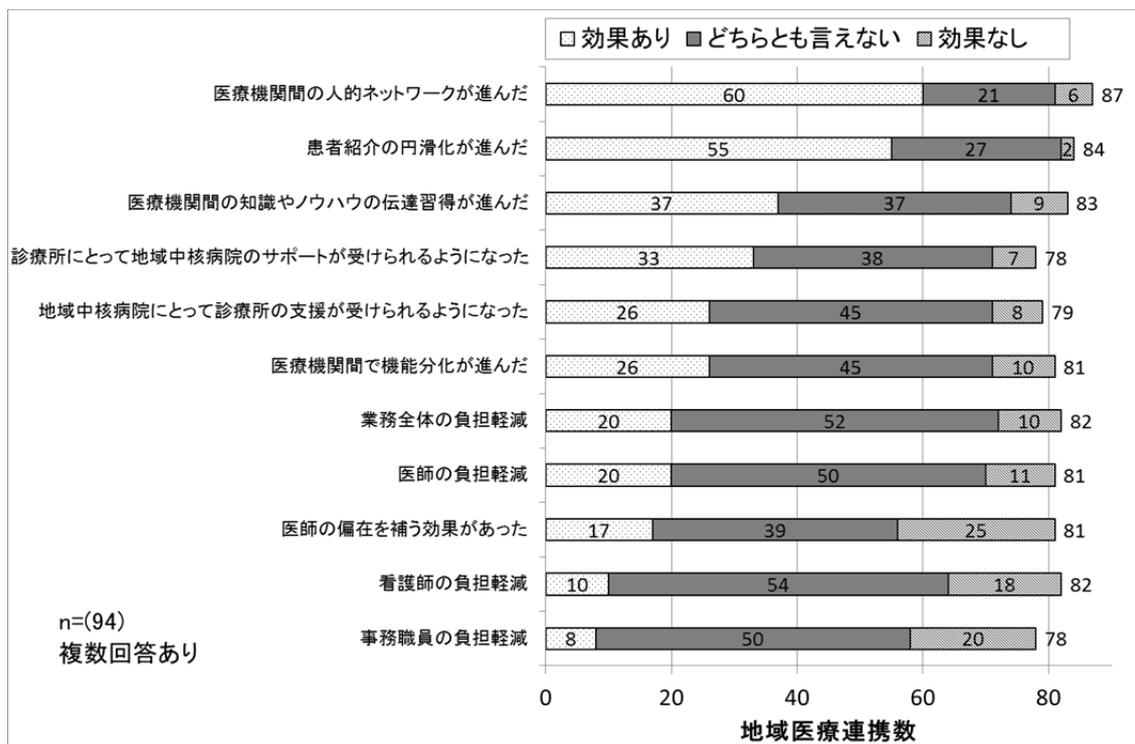
本調査項目では、IT を利用した地域医療連携の導入後の効果と導入後の課題について回答を依頼した。また、当該地域医療連携で蓄積された診療情報の利用の有無についても回答を依頼した（2013 年度新規調査項目）。

### 2.13.1. 導入効果

地域医療連携の導入効果では、「医療機関間の人的ネットワークが進んだ」がもっとも多く（60 箇所）、回答地域の約 7 割で効果があったとされた。つぎに効果があったのは「患者紹介の円滑化」（55 箇所）であった。

しかし、2.3.2. 項で課題とされていた医療、介護資源の不足については、医師や看護師の負担軽減に対する回答からみると、導入効果があまり出ていないように見受けられた。とくに、「医師の偏在を補う効果があった」かどうかの質問では「効果なし」が「効果あり」を上回るという結果となった。医療機関の機能分化や業務の負担軽減などでも「どちらとも言えない」が半数以上を占めた（図 2.13-1）。

図 2.13-1 地域医療連携の導入効果について



(2013 年度新規調査項目)

自由記載欄の意見は以下のとおりであった。

- ・基本的に参加施設には画像CDを提供しなくて良いので、放射線科スタッフのCDを作成する負担が軽減した
- ・事務職員の負担はむしろ増大
- ・運営側の当院では、ユーザー、機器類の管理や問い合わせ対応などの業務が新たに増えることとなるため、業務量(負担)は増加した。利用医療機関にとっても、患者への説明、同意の取得などの業務が増えることになるため、サービスの向上には繋がるが、負担の軽減にはなりにくい
- ・QOL向上のための健康アドバイス情報の提供においては、一定の成果が得られた
- ・診療所から「投薬内容の確認作業省略」「市民病院入院後の経過が分かる」との反応を得た
- ・病理診断の迅速化に効果有り

- ・日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語の 5 言語に対応しており、言語障壁の解消を図っている

## 2.13.2. 導入後の課題

地域医療連携システム導入後、現在抱えている課題（自由記載）についての回答は、以下のとおりである。運用や維持のコストに関する課題や、参加率や利用率の伸び悩みなどの回答が比較的多くみられた。

- ・費用負担・維持。患者からの同意管理(包括同意のため)
- ・大規模な地域支援システムができた場合、そちらへシフトしていく方向で検討
- ・国の地域医療再生基金を使い整備したが、ランニング経費や次期システム更新費は医療機関が負担しなければならず、負担軽減が課題
- ・診療情報を提供する中核病院が負担する地域医療連携システムの導入経費が高額
- ・ベンダーが異なる地域医療連携システム間の連携、相互利用
- ・機器更新費用
- ・介護福祉との連携について、連携の手法、必要な情報等についての検討
- ・今後の運営方法について、法人化やNPO 法人化の検討
- ・双方向通信でない
- ・マイナンバー制の未導入
- ・ランニングコストの捻出(協議会運用、保守)
- ・職種による情報公開範囲の設定
- ・画像などのデータ量が大きいものの最新情報取得時間
- ・システム導入済の医療機関における利用の促進
- ・地域医療の質の向上に資するシステムの導入
- ・継続的、安定的な事業運営
- ・医療機関・介護福祉施設等の登録情報の維持・更新管理
- ・地域医療再生計画事業期間終了後の事業費負担
- ・システム更新や維持管理及び運営費の財源確保
- ・本年7月から稼働を始めたところであり、参加医療機関の拡大が課題
- ・参加医療機関の足踏み

- ・利用機関で、患者の同意取得等、データを参照できるまでの作業が負担となりがちであるため、軽減する方法又はシステムが必要
- ・医師／薬剤師／コメディカルの作業負担軽減が今後の課題
- ・IT 技術の急速な進歩により、資産のレガシー化のスピードが速い
- ・医師会内基幹病院での情報公開用サーバの設置がいまだできていないために閲覧施設の登録が進んでいない
- ・画像を閲覧する速度が遅い
- ・高齢者向けサービスの運用ルール
- ・在宅介護を受けている高齢者に対するどこでも MY 病院サービス
- ・高齢者が使える・使いたくなるシステム
- ・救急時に活用する情報の信頼性、情報閲覧の利便性
- ・患者の同意書を取るのに中核病院側（電子カルテシステム）と病医院側（閲覧）との調整に手間取っている
- ・運営費
- ・ランニングコストの調達
- ・電子カルテ等のシステム連携
- ・使用、不使用の二極化
- ・システム運用主体側（自治体）の人的・費用的負担の増加
- ・システムの重層化にともなう、医療情報システムに深い知識を持つICT人材の確保
- ・医療機関を超えた医療人材の交流
- ・ネットワーク利用を前提とした日常診療への啓蒙
- ・施設参加率を 100%にしたい（現行 7 割）
- ・機器更新に対する費用確保
- ・インフラを活用して広げる標準化治療、疾病管理支援、教育指導コンテンツなど具体的なソフトの開発とそれを実施していく組織整備。また、インフラ・人材の維持費を賄うモデルの構築
- ・システムの保守・管理や新規機器購入時の資金確保
- ・IT 連携に参加する会員が少ない
- ・レスポンスがよいとはまだ言えない
- ・システムへの入力の手間、アクセス数の少なさ

- ・システムの利用状況に差がある。医師に対する利用促進の周知
- ・参加施設数の拡大
- ・病院との接続
- ・大手チェーン薬局との接続
- ・異なる事業所間でのシステム運用について、日々検討を重ねています
- ・参加施設の拡大(協議会の自主運営)
- ・診療情報を公開する病院のグループ病院の診療情報の共有ニーズと、グループ病院外の診療情報の共有ニーズのずれがあり、グループ病院内での機能強化要望が強くある
- ・アナログデータをいかに正確にデジタル化しデータマイニングに活かせるか
- ・まだ、院内のオーダリングシステムとの連携が手動である。システム的には可能であるが予算の関係で未接続である
- ・参加医療機関数の増、次年度以降の維持費確保
- ・試験運用中は利用料を無料としているが、今後、自立した運用が出来るようにするため、利用料を定め利用者から徴収する必要がある
- ・市広報誌に掲載し、市民への周知を図ったが、まだまだ市民の認知度は低く、今後も引き続き市民への周知が必要
- ・参加施設における利用頻度も高いとは言えない状況。通常の業務と併せてネットワークを利用する場合、ある程度の慣れが必要であり、システムへのアクセスを躊躇してしまっている。市民への周知と併せて参加施設に対し活用方法の周知などを行い、利用頻度を向上させる必要がある
- ・システム運用主体側(自治体)の人的・費用的負担の増加
- ・機能拡張。対象エリア、医療機関の拡大。他ネットワークとの連携
- ・システムで入力可能な各項目(フェイスシート上の治療・ケア情報など)について、入力を行う時期・担当職種・必須項目などのルールづくりが必要
- ・地域共通カード発行の負担
- ・登録患者数が伸び悩んでいることから、診療所単位での患者登録などを検討する必要がある
- ・集中治療科の人員が不足しており、適用を絞らないと運用できない。また、支援を受ける二次医療機関を拡大すると、小児の医療センターの負担が過大になるため、運用する組

織の構築が必要である。確実に対応するためには、通常の病院運営のほかに集中治療科の人員体制の強化が必要である

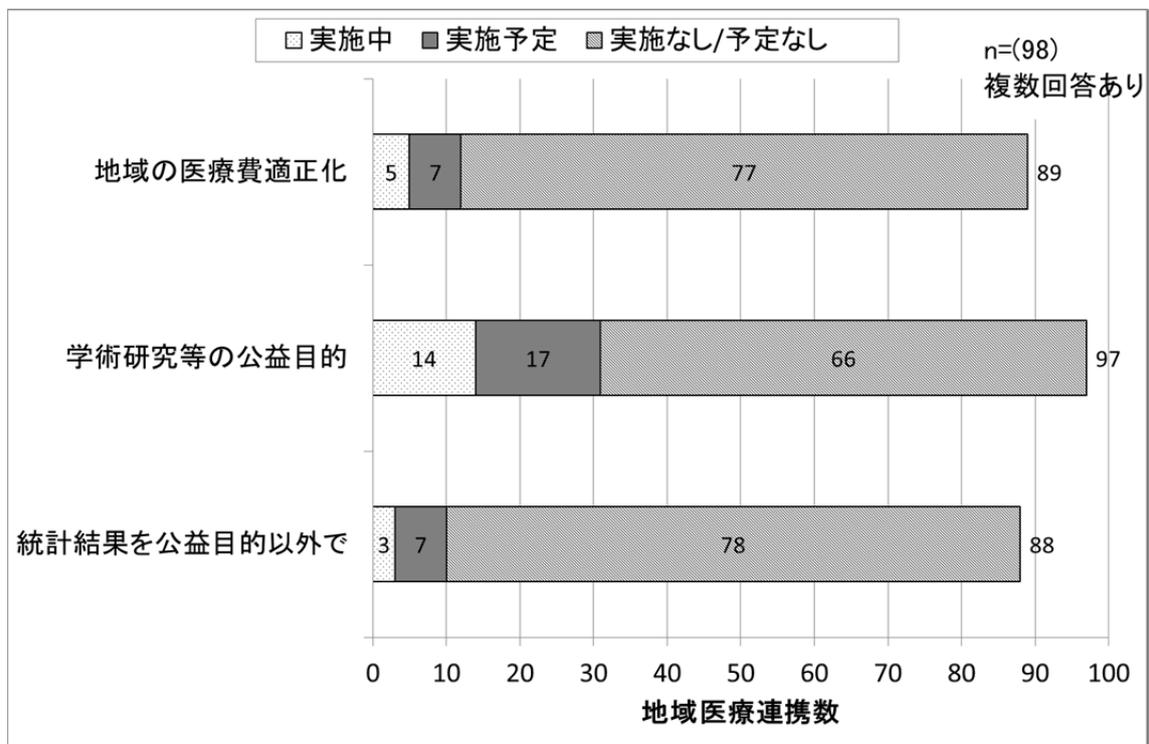
・地元行政の情報セキュリティポリシーでは、公立の医療センターから放射線画像が送れない。将来的に、戻り搬送での利用率を上げるためには、公立の医療センターからの情報提供が不可欠であり、情報セキュリティポリシーを満たす運用方法の検討が必要

(2013 年度新規調査項目)

### 2.13.3. 診療情報の蓄積と利用

当該地域医療連携で蓄積された個人の診療情報の利用の有無については、「実施なし／予定なし」の地域が大半であった。利用を考えている地域では、「学術研究等の公益目的」での利用がもっとも多く（31箇所）、次いで「地域の医療費適正化」（12箇所）であった。詳細は不明であるが「統計結果の公益目的以外での利用」（10箇所）の回答も見受けられた（図 2.13-2）。

図 2.13-2 診療情報利用の有無と目的（予定含む）



(2013 年度新規調査項目)

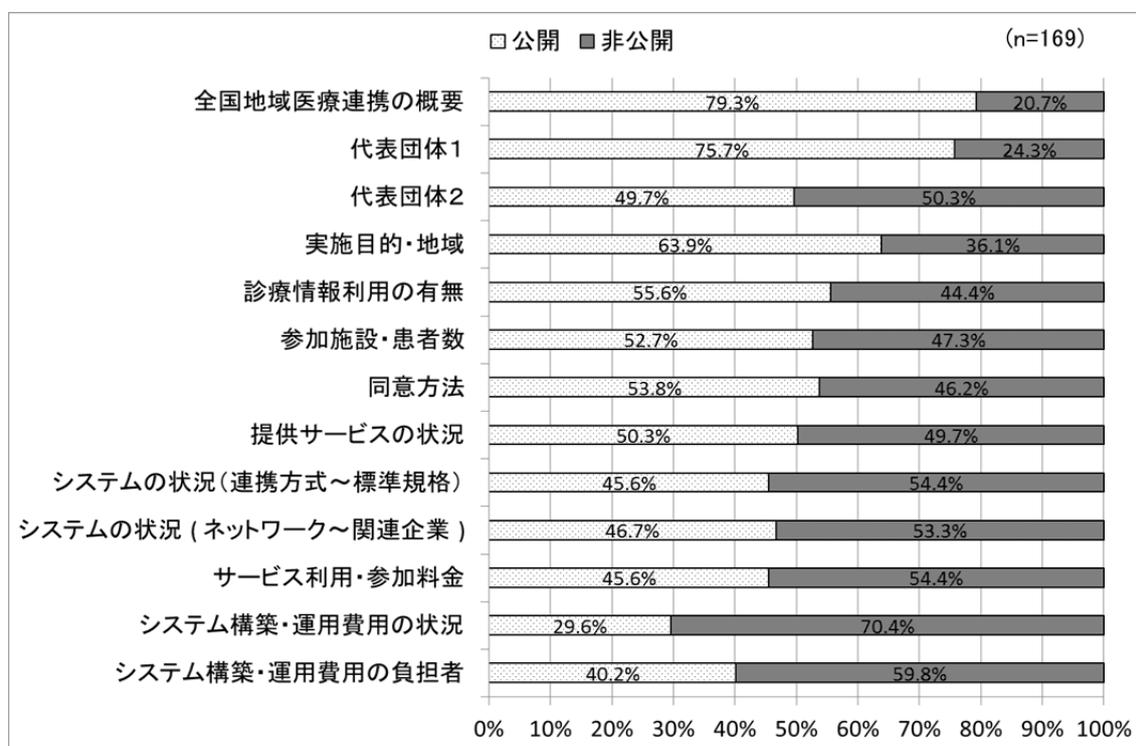
## 2.14. 情報公開の割合

### 2.14.1. 情報公開の割合

2013年度調査の回答内容に関して、セクション毎に一般への公開・非公開の指定を依頼した結果が図 2.14-1 である。おおむね約半数の地域で大抵の項目に「非公開」が指定されていたが、どのセクションでも 2012 年度調査よりは公開割合が増えていた。全ての調査項目で「公開」を指定した地域医療連携は 29 箇所であった。

なお、「全国地域医療連携の概要」の項のみ、各地域医療連携の内容紹介文が含まれているため、各地域医療連携の担当者に個別に公開の依頼を行った。また、非公開であっても地域医療連携の名称のみは公開させていただいている。

図 2.14-1 回答内容の公開と非公開の割合



### 3. まとめと考察

今回調査では 2012 年度調査と比較して、客体数ならびに各質問への回答割合も増えたため、IT を利用した地域医療連携の姿についてある程度の精緻化がはかられたのではないかと考える。本項では各回答の結果について考察を行うとともに、まとめとして、2013 年時点のわが国の「IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた」を描いてみた。あわせていくつかの提案も行いたい。

#### 3.1. 考察

##### ○地域医療連携数について

今回の調査では、最終的に 169 箇所から有効回答を得、昨年調査より 15 箇所増えた。これは単純に 15 箇所が増えた訳ではなく、中止や同じ地域での連携の整理などを含めた増減の結果である。

経年変化を開始年毎にみると 2011 年から急増しており、2010 年までのスタートが 45 箇所、2011 年以降のスタートが予定を含め 123 箇所となった（図 2.1-1）。これには平成 21 年（2009 年）度第一次補正予算において設置された地域医療再生基金を皮切りに都合 5 回にわたる交付金による、各地での地域医療連携構築が後押しされたものと推測できる。地域医療再生計画による地域医療連携は全国で 72 箇所が確認できた。

##### ○対象範囲について（2013 年度新規調査項目）

多くの地域医療連携が二次医療圏での連携を対象としているなか、全都道府県域を対象もしくは予定とする連携が 28 箇所確認できた。このうち 20 箇所は地域医療再生計画によるものであり、この大規模化、広域化への流れを今後どう成功させるかが注目される（図 2.2-4）。

##### ○導入目的について（2013 年度新規調査項目）

昨今の行政の政策である予防や健康管理を目的と回答した地域が 16 箇所しかなく、地域にとっては在宅医療、救急医療、疾病管理、へき地医療などの方が優先順位の高

い様子がうかがえた（図 2.3-1）。

この様子は、地域医療連携システムの導入を必要とするに至った地域における課題（自由記載）においても確認ができ、診療科や医師、医療介護スタッフの偏在に言及する回答が多くみられた。

#### ○参加施設数について（2013 年度新規調査項目）

地域医療連携へ参加中の「病院」の数は、2012 年度調査での 880 病院（87 地域医療連携が回答）から 1,228 病院（116 地域医療連携が回答）に増えた。おおむね全国の病院の約 10%以上が IT を利用した地域医療連携に参加する時代になったといえる。

「診療所」の参加数は全国診療所数の 5%以下であった。2012 年度調査よりもあまり伸びておらず、参加数を増やす取組が一つの課題であることがうかがえる。

介護施設の参加数は少ないとはいえ、2012 年度調査に比べ倍増した。これからの高齢化社会を地域で支える上で取り組むべき重要な要素といえる（図 2.4-1）。

以上の結果を踏まえて、「1 地域医療連携あたりの平均参加施設数」は 64 施設という結果であった。この数字が今後は増えていくことが期待されるが、2012 年度調査結果での 63 施設からは大きな変化がみられなかった（図 2.4-2）。地方毎の差も顕著であり（図 2.4-4）、今後の取組が期待される。

#### ○参加患者数について（2013 年度新規調査項目）

1 地域医療連携あたりで登録されている患者数は 6,488 人であった。単純に今回調査の 169 箇所で演繹すれば全国で約 110 万人がいずれかの地域医療連携に登録されていることとなる。これはいまだ全人口の 1%に満たないため、今後の発展が期待される。しかも本項目では回答地域数が少なく（n=67）、実際はさらに少ないことが予想される。なお、登録だけではなく、実際に情報共有が行われている患者数は、登録患者数のおおむね半数（3,163 人）であることもあきらかとなった（図 2.5-1）。

地方別にみると、その地方の地域医療連携の数が多いからといって、必ずしも参加患者数が多いわけではない様子がみてとれた（図 2.5-2）。1 地域医療連携あたりの平均登録患者数が多い地方では、地域で昔から根付いている特定の地域医療連携がその地方の登録患者数を押し上げていることが個票データからわかる。

運営主体別では、医師会が運営する地域医療連携での平均登録患者数（9,651 人）

が多い。次いでNPOもしくは協議会の運営する地域医療連携（5,766人）である。対照的に企業（1,072人）や行政（1,104人）では非常に少ない（図 2.5-3）。この状況から、NPO形式以外では地域の医師会が地域医療連携を支えている様子が見えてくる。

参考までに、企業や行政が運営主体の場合、1地域医療連携あたりの平均参加医療機関数は多く（図 2.4-5）、後に述べるコストを含めパフォーマンスに問題があると言える。

### ○参加の同意について

「医療機関等」の参加については、各施設が各々、当該地域医療連携に参加するかどうかを判断するパターンが主流であり、2012年度調査にくらべ、回答数の増加による傾向の変化はなかった（図 2.6-1）。

「患者」の参加と同意の取り方については、同意書に書かれている施設のリスト等で連携施設を指定する方式が最も多いことが明らかとなった（図 2.6-3）。一方、同意すれば地域医療連携全体で患者の情報が連携される「一括同意」も予定を含めて多数あり、医療提供側と患者のプライバシーの概念や信頼関係において地域毎の差があることがよくわかる。

### ○連携している疾病の状況

地域医療連携で行われている疾病毎の連携については、「脳血管障害」「心臓疾患」「大腿骨頸部骨折」の順であった。今後の予定を含めると「大腿骨頸部骨折」の代わりに「胃・大腸がん」が第三位となる（図 2.7-1）。この傾向は2012年度調査とおおむね変化はなかった。

### ○提供しているサービスの状況

地域医療連携で提供されているサービスでは、「画像情報の共有」が圧倒的に多く、今後の予定を含めると121箇所であった。次に「退院時サマリ」（81箇所）、「在宅医療連携」（71箇所）の順であった。このことから、地域医療の政策では、病床の機能分化や、医療、介護、在宅での連携が取り沙汰されるが、現場でもっともニーズが高いものは画像のやりとりであることがわかる（図 2.7-2）。

### ○連携は集中型か分散型か

情報連携の方式では、「分散型（各医療機関が保有するシステムを相互に接続）」が「集中型（中核病院やデータセンタのシステムに他の医療機関が参画）」を若干上回る結果となった（図 2.8-1）。これは 2012 年度調査とは逆の結果である。この傾向は経年変化の様子からもあきらかで、「集中型」から「分散型」への緩やかな移行が確認できた（図 2.8-3）。この理由には、近年の医療情報交換規格の標準化の進捗と、地域医療再生計画による潤沢な資金の活用が考えられる。

### ○連携は双方向か参照のみか

情報共有の形態では、予定を含めると「双方向」（参加医療機関全体で、当該患者の医療情報を更新）が、「参照のみ」（診療所などが中核病院のデータを参照するのみ）を上回る結果となった（図 2.8-4）。これは 2012 年度調査とは逆の結果である。この傾向は経年変化の様子からもあきらかで、「参照のみ」から「双方向」への緩やかな移行が確認できた（図 2.8-6）。この理由には、近年の地域医療再生計画による潤沢な資金の活用が考えられる。

### ○患者の地域共通 ID の利用について

地域共通 ID の有無では、なんらかの「地域共通 ID を利用」する地域が予定を含め 133 箇所との回答を得た（図 2.8-7）。全県タイプの地域医療連携では既存の地域医療連携同士を接続して実現することもあり、複数の ID システムを利用している様子も散見された。また、独自開発や地域共通カードを使った独自の方式も多い。これまで議論されてきた医療分野専用の共通 ID などの登場が望まれる。

### ○標準化ストレージへの対応（2013 年度新規調査項目）

地域医療連携では単に IT を採用するだけでなく、医療情報の交換規格を標準化しなければ、他施設との情報連携の構築費用が極めてコスト高なものになってしまう。そのため、今調査では標準化ストレージの採用に関する質問を実施し、70 地域からの解答を得た。旧規格である「SS-MIX」がいまだに多く採用され、推奨されている新規格である「SS-MIX2」と、今後の予定として同数が報告されており、開発とシステム提供を行うメーカー側の対応が追いついていない様子が想像できた（図 2.8-8）。

### ○連携用患者データの保管場所について

連携用患者データの保管場所については、「院内」と「院外のデータセンタ」が同数（70 箇所）であった。予定をみると今後は「院外のデータセンタ」の活用が高まっていることが確認できた（図 2.8-9）。

### ○障害対策（バックアップ）への対応（2013 年度新規調査項目）

障害対策としては、「提供ベンダーのサービスを利用」（44 箇所）がもっとも多い結果であった。これはメーカーの地域医療連携パッケージとして、システムにバックアップサービスが含まれている様子が示唆される（図 2.8-10）。大規模災害時に迅速に有用であるかどうかは今回調査ではあきらかにできなかったため、今後の課題としたい。

### ○厚生労働省標準規格の採用状況について

もっとも採用されている厚労省標準規格は、デジタル画像の「DICOM 規格」であった（77 箇所）。次に「ICD10 対応標準病名マスタ」（54 箇所）、「診療情報提供書」（41 箇所）の順であった（図 2.8-11）。

しかしながら、レセプトの電子請求義務化の折、「ICD10 対応標準病名マスタ」の採用割合は本来もっと高いものと思われる。厚生労働省標準規格全体の認知度も含め、回答の精度について今後の課題と考えられる。

### ○通信ネットワークの採用状況

医療機関等の施設では、「IPSec+IKE」（81 箇所）と「IP-VPN」（65 箇所）の規格が高い割合で採用されており、セキュリティに関する意識の高さがうかがえた（図 2.8-12）。両規格とも、医療情報のやりとりにおいて遵守が求められているものである。インターネットで一般的なセキュリティ接続方式である SSL については他のセキュリティと組み合わせるなどの活用がされているものと考えられる。

### ○ログインセキュリティの採用状況

医療機関等の施設では、「ID とパスワード」の利用が大半を占めた（123 箇所）（図 2.8-15）。医療情報ネットワーク利用時のログインには 2 要素認証が推奨されているが、

他の認証要素との組合せは最大で 49 箇所（複数回答のため）でしか確認ができなかった（図 2.8-16）。今後は患者データへのアクセス時に医師資格の証明を確実に行う「HPKI 電子証明書」の普及が期待される。

### ○システム構築費用について

地域医療連携システムの構築費用は、合計額が約 221 億円、単純平均額が約 1 億 3 千万円との結果を得た。しかし最も多い分布は 5 千万円以下であり、中央値は 5 千万円であった（図 2.11-1）。回答数が少なく（n=97）すでに廃止された連携は調査対象に入っていないので、わが国の全地域医療連携構築にかかった費用の推測は困難であるが少なくとも 400 億円以上はこの十数年間に投資されたと思われる。これらの費用には、主に公的資金が投入されており、一部は地域の施設や医師会が負担していることもあきらかになった（図 2.12-1）。

地方区分別では「東北」の構築平均費用が突出していたが（約 7 億円）これは東日本大震災の復興を兼ねた新たな地域医療構築のための投資である（図 2.11-2）。構築平均費用がもっとも低いのは「九州」であり、2.4.1. 項で報告した参加施設数や 2.5.1. 項における登録患者数の多さからパフォーマンスの高さがうかがえた。

運営主体別では規模の大きい地域医療連携が「NPO・協議会」を設立している様子うかがえた（図 2.11-3）。また、構築費用は地域医療再生計画が実際に動き始めた 2011 年頃を境に急増していることが確認できた（図 2.11-4）。

### ○システム運用費用について

システム運用費用の単純平均額は、年間約 790 万円との結果を得た。2012 年度調査では 56 地域による平均で年間約 1 千万円であった（図 2.11-5）。今回調査では回答地域が増えたため、若干の精緻化がされたと思われる。地域医療連携の運営主体による差をみると、「行政」が約 1 千 6 百万円、「企業」が約 1 千万円である一方、「病院」や「医師会」、「NPO・協議会」が運営主体の場合は約 7 百万円～4 百万円以下であり、コスト意識の違いなのかどうか今後の精査が必要と感じられた（図 2.11-7）。

また地域医療連携の運用費用の多くは参加施設が負担していることもあきらかになった（図 2.12-2）。

### ○地域医療連携の継続性について

一時的な交付金などで構築した地域医療連携の継続を図るひとつの方法が、運営費用をなんらかの形で徴収することである。地域医療連携への参加費用などについて、例えば病院の参加が「無料」と回答した地域が 87 箇所（図 2.10-2）あり、これは今回調査での半数にあたる。今後の継続性が憂慮される結果である。金額を問わない運用費用の供出元についての質問では、公的資金との回答が 63 箇所あり、スタート時だけではなく、今後も永続的に続くものなのかが気になる結果であった（図 2.12-2）。

参加費用が有料のケースでは 50 地域から回答があり、「病院」の平均額が 1 ヶ月あたり約 2 万 7 千円、「診療所」が約 6 千円であった（図 2.10-1）。

運営主体別では「NPO・協議会」での参加費用がもっとも高く、病院が約 5 万円、診療所が約 1 万 1 千円と、全国平均額の約 2 倍の金額を徴収していた。これは「NPO・協議会」が今後の継続性を見越した動きだと推察される（図 2.10-3, 図 2.10-4）。

### ○導入効果について（2013 年度新規調査項目）

地域医療連携システムの導入効果についてもっとも多かったのが「医療機関間の人的ネットワークが進んだ」（60 箇所）で、回答地域の約 7 割で効果があったとされた。つぎに効果があったのは「患者紹介の円滑化」（55 箇所）であった。

しかし、2.3.2. 項で課題とされていた医療、介護資源の不足については、医師や看護師の負担軽減に対する回答からみると、導入効果があまり出ていないように見受けられた。とくに、「医師の偏在を補う効果があった」かどうかの質問では「効果なし」が「効果あり」を上回るという結果となった。医療機関の機能分化や業務の負担軽減などでも「どちらとも言えない」が半数以上を占めた（図 2.13-1）。

現状の地域医療連携システムの多くは、患者紹介の円滑化には寄与しているが医師をはじめとする医療従事者の負担軽減には至っていないことが危惧される。

### ○導入後の課題について（2013 年度新規調査項目）

地域医療連携システム導入後の課題（自由記載）には、多くの回答が寄せられ、運用費用の調達、施設の参加率、医療従事者の作業負担、住民への周知、人材の確保など多岐にわたる課題が挙げられ、運営の苦勞がしのばれた。

### ○ビッグデータの利用について（2013 年度新規調査項目）

すでにレセプト（診療報酬明細書）を使ったビッグデータ分析が国や保険者の単位で始まっている。地域医療連携でやりとりされる医療情報も注意深くデータベース化されれば、将来は公益的に有用な資産となりうる。

今回調査では 31 箇所「学術研究等の公益目的」での利用を考えていることがあきらかとなった。また、「統計結果を公益目的以外で」利用する予定があることも 10 箇所から報告された（図 2.13-2）。

現在、国ではパーソナルデータの利活用のための法改正が進められており、これらが整備された後にはいわゆるビッグデータの利用は、一つの選択肢であると思われる。ただし、現状の議論では、全ての分野のプライバシーデータを一括して取り扱っており、医療分野特有の機微性（死者のプライバシー、遺伝子情報等々）には配慮されていないことに注意が必要である。また、医療関係職種のいわゆる守秘義務（医師に関しては、刑法 134 条 1 項（秘密漏示罪））との関係もあきらかにされる必要があるだろう。

### ○情報公開について

当調査では、結果の継続的な Web 公開を目指している。そのため各調査項目に、回答内容の公開／非公開について回答を依頼した。メールや電話などで当方から公開を働きかけた「全国地域医療連携の概要」項目のみ約 8 割が「公開」となった。しかし特に依頼をしなかった調査項目では概ね半数が「公開」との回答割合であった。とくに費用面での「公開」では約 3 割の回答割合であった（図 2.14-1）。

当該地域医療連携が公的資金を使ったものである場合には、なんらかの手段で情報公開を進めていただくことを期待する。一般公開された Web サイトを持つ地域医療連携も全体の 42%（71 箇所）であった（図 2.1-2）。

### 3.2. IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた

2013年時点におけるわが国の「IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた」は以下のとおりとなった（表 3.2-1）。回答数の少なかった項目では、平均像を俯瞰するにあたり筆者の独断が入っていることをご容赦願いたい。

表 3.2-1 IT を利用した地域医療連携の平均的なすがた（2013年度）

項目	平均像															
一般向け公開ホームページ	なし															
地域医療連携の範囲	二次医療圏内での連携															
導入目的	医療連携（在宅含む）、救急医療対策、疾病管理															
地域の課題	医療、介護資源の不足															
参加施設数	65施設 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>病院</td> <td>11 施設</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>36 施設</td> </tr> <tr> <td>薬局</td> <td>8 施設</td> </tr> <tr> <td>介護施設</td> <td>5 施設</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5 施設</td> </tr> </table>	病院	11 施設	診療所	36 施設	薬局	8 施設	介護施設	5 施設	その他	5 施設					
病院	11 施設															
診療所	36 施設															
薬局	8 施設															
介護施設	5 施設															
その他	5 施設															
参加患者数	登録患者 6,500人 うち情報共有実績のある患者 3,200人															
参加の同意方法	患者 同意書に記載されている各医療施設にチェック 医療施設 施設毎に参加を判断 介護施設 施設毎に参加を判断															
連携パス	脳血管障害／心臓疾患／大腿部頸部骨折															
提供しているサービス	画像情報の共有／退院時サマリの共有															
システム	連携方式 分散型 （各医療機関が保有するシステムを相互に接続して連携） 情報共有の形態 診療所などが中核病院のデータを参照する 地域共通の患者ID あり 標準化ストレージ SS-MIX 連携用データ保管場所 各医療機関の院内 障害対策（バックアップ） メーカ使用任せ 厚労省標準規格の採用 デジタル画像と通信（DICOM） 通信ネットワークの種類 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>医療施設</td> <td>インターネットVPN(IPSec+IKE)</td> </tr> <tr> <td>介護施設</td> <td>インターネットVPN(IPSec+IKE)</td> </tr> <tr> <td>患者</td> <td>インターネット(SSL)</td> </tr> </table> ログイン時のセキュリティ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>医療施設</td> <td>IDとパスワード</td> </tr> <tr> <td>介護施設</td> <td>IDとパスワード</td> </tr> <tr> <td>患者</td> <td>IDとパスワード</td> </tr> </table>	医療施設	インターネットVPN(IPSec+IKE)	介護施設	インターネットVPN(IPSec+IKE)	患者	インターネット(SSL)	医療施設	IDとパスワード	介護施設	IDとパスワード	患者	IDとパスワード			
医療施設	インターネットVPN(IPSec+IKE)															
介護施設	インターネットVPN(IPSec+IKE)															
患者	インターネット(SSL)															
医療施設	IDとパスワード															
介護施設	IDとパスワード															
患者	IDとパスワード															
参加料金	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>病院</td> <td>無料</td> <td>有料の場合 27,000円/月</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>無料</td> <td>有料の場合 6,400円/月</td> </tr> <tr> <td>薬局</td> <td>無料</td> <td>有料の場合 5,300円/月</td> </tr> <tr> <td>介護施設</td> <td>無料</td> <td>有料の場合 4,300円/月</td> </tr> <tr> <td>患者</td> <td>無料</td> <td>有料の場合 500円/月</td> </tr> </table>	病院	無料	有料の場合 27,000円/月	診療所	無料	有料の場合 6,400円/月	薬局	無料	有料の場合 5,300円/月	介護施設	無料	有料の場合 4,300円/月	患者	無料	有料の場合 500円/月
病院	無料	有料の場合 27,000円/月														
診療所	無料	有料の場合 6,400円/月														
薬局	無料	有料の場合 5,300円/月														
介護施設	無料	有料の場合 4,300円/月														
患者	無料	有料の場合 500円/月														
構築費用	5千万円（中央値） 1億3千万円（平均値）															
構築費用負担者	厚労省／自治体／参加施設															
運用費用	8百万円/年															
運用費用負担者	参加施設															
導入効果	医療機関間の人的ネットワークの促進 患者紹介の円滑化															
導入後の課題	運用費用の調達／施設の参加率／医療従事者の作業負担／住民への周知／人材の確保															
診療情報の蓄積と利用	予定なし															

### 3.3. 提案

前項の「平均的なすがた」でもわかるとおり、現状の地域医療連携システムは、日本の全地域・人口をカバーするには到底至っていない。また、多くがコストパフォーマンス的にもうまくいっているとは言い難く、継続の問題を抱えている。しかもシステムは5年程度を目処にリプレイスしなければならず、その再生産費用が公的に補助される保証はない。こういった問題に対し本項ではいくつかの提案を行いたい。

#### 3.3.1. 継続

地域医療再生計画のもと、全県型の地域医療連携がいくつも稼働し始めている。これらの多くは継続性に気を配った設計になっており、これからの成功が期待される。地域包括ケアや地域医療計画などの地域主体の施策とも密接な状態を保てるため、課題である参加医療機関や登録患者の増加に努め、改良を進めていけばいくつかのモデルとなる成功例が現れるのではないかと期待する。

地域医療連携は、患者・行政・保険者にそれぞれ利益が及ぶため、運用コストやリプレイスの費用負担に関しては参加施設の自助努力だけではなく、受益者でシェアができるような仕組みが必要となろう。

#### 3.3.2. かかりつけ連携手帳

ITを用いた地域医療連携では医療提供側に一定のITリテラシーが求められる。また、業務に負荷がかからない設計とユーザインターフェースも必要となる。つまり医療提供側の世代交代とIT分野の更なる進歩がなければ普及は緩やかにならざるを得ないという見方がある。しかも、超高齢化社会にむけて今後は介護分野との連携が不可欠であるが、医療と介護では現場で必要とされる情報の種類が異なるため、情報連携のための項目の規格化が難しいとされてきた。現在ようやく在宅医療と介護のため

の共通基盤への取り組み<sup>16</sup>が進んでいるが、2.8.4. 項の SS-MIX をみてもわかるとおり、標準的な情報交換規格の普及には大変長い時間がかかる。

そこで、当面の間、アナログでの連携を進めるために、医師・歯科医師・薬剤師・ケアマネジャー・訪問看護師が利用する「かかりつけ連携手帳」の創設を日本医師会が提案しようとしている。この連携手帳をスマートフォンなどで利用できるよう電子化する取り組みも日本医師会の ORCA プロジェクト<sup>17</sup>で進められている。

この連携手帳を使った方式では費用があまりかからず、当座の連携を補完できる可能性がある。

### 3.3.3. クラウド基盤の整備

現在の地域医療連携システム構築の仕組みは、地域の中核病院が中心になって取り組むか、行政が公募を行い公的資金を投入する方式が主流である。この方式で全国津々浦々までをカバーするのは資金的にも時間的にも無理があり無駄が多い。

全国から利用できるクラウド基盤のストレージ<sup>18</sup>空間があれば、各地域がその基盤を活用できる。いくつかのツールと標準的なルールを用意しておけば、地域性に応じたシステムが比較的低コストで構築できるのではないかと考える。三次医療圏を越えた連携も行いやすくなるのではないだろうか。

類似した考え方として、国の最近の施策に「電子私書箱」や「どこでも MY 病院」があったが内閣が替わる度にご破算となってきた歴史があるため、医師会や保険者などが中心となって進めるのも良い。

### 3.3.4. 制度化と財源

---

<sup>16</sup> 「在宅医療と介護の連携のための情報システムの共通基盤のあり方に関する調査研究報告書」国立大学法人東京大学高齢社会研究機構（H26.3）,平成 25 年度厚生労働省老人保健健康増進事業

<sup>17</sup> ORCA Project : <http://www.orca.med.or.jp/>

<sup>18</sup> ストレージ：データを永続的に記憶する磁気ディスクなどのことを指す

地域医療連携は、医師や診療科の偏在、負担軽減の対策として、また病床機能分化の受け皿としてすでに必須の施策とされている。皆保険であるため全ての医療機関が連携に参加していなければ国民は連携のメリットを感じないであろう。今般の診療報酬改定では在宅療養や病床機能の分化に関する取り組みが目立ったが、「IT連携」そのものに着目した加算や手当はまだない。

本調査では地域医療連携に参加する施設が支払っている費用もある程度あきらかとなった。この費用を全国の病院と診療所に広げた場合に必要となるのは、荒い試算で概ね年間100億円である。地域医療連携を本気で根付かせるのであれば、地域の医療機関等の自助努力だけではなく、「制度」としての取り組みが必要なのではないかと考える。

## 4. さいごに

今回の調査では、地域医療再生計画のもとスタートした各地の地域医療連携システムが落ち着き、回答率が上がったことが特徴である。そのためここ数年の状況が昨年度の調査に較べて鮮明になったと思われる。考察でも述べたが、これからの発展をおおいに応援したい。

オーダーリングや電子カルテの導入が病院で始まりだした頃、あまり意識されていなかったことに、「5年後のリプレイス」があった。つまり、古くなった機械への再投資やメーカーを変更したくなった時のリプレイス対策がきちんと予定されていなかったという問題である。メーカー側もロックインが理想なのでわざわざ示唆はしない。

今回調査の結果、地域医療連携システムにおいても同じような危惧をもった。対象169の地域医療連携のなかで、2013年時点で5年以上継続している地域医療連携は25箇所しかない。大半の地域医療連携はまだ「若い」。これからの可能性を秘めたよちよち歩きの状態である。日本の医療の将来を背負って立てるよう願ってやまない。

今回調査の試みでは「ITを利用した地域医療連携の平均的なすがた」を作成してみた(3.2項)。これは2013年時点の平均的な地域医療連携像を示したものである。平均的な構成は、病院が11施設、診療所が36施設、登録患者が6,500人となった。実は上述の25箇所だけを使って同じ「平均的なすがた」を作成し、参考となる先輩として比較を掲載する予定であったが、登録患者数以外には大きな違いはなく採用を見送った。これは本調査のアンケート内容が足りないのか、もしくは数字では表現できないなにか別の要素があるのかも知れないと考えている。

さいごに、今回調査での構築費用と登録患者数の関係では、少ない回答率からの参考ではあるが1参加施設あたり約520万円(n=74)、1登録患者あたり10万5千円(n=45)であった。この数字が高いか低いかはこれからの取組にかかっていると思う。

### 【謝辞】

ご多忙中、アンケートにご協力いただいた、全国各地の地域医療連携ご担当者の方々に心より御礼申し上げます。

## IT を利用した地域医療連携の概要

2013 年度版

### 別添資料

別添 1 「全国地域医療連携一覧」

別添 2 「全国地域医療連携詳細」

別添 3 「主な IT 関連企業」

別添 4 「アンケート項目と内容」

※アンケートで非公開指定された情報は除いています

# IT を利用した地域医療連携の概要

2013 年度版

## 別添 1 「全国地域医療連携一覧」

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名	略称・愛称	開始年	地方区分	代表団体区分	再生計画
1	北海道	苫小牧市立病院 地域連携ネットワークシステム	東胆振医療情報連携ネットワーク	2008	北海道	病院	
2	北海道	GB☆Net	ジービーネット	2011	北海道	病院	
3	北海道	道南地域医療連携システム	道南Medlka (メディカ)	2007	北海道	NPO・協議会	
4	北海道	小樽後志地域医療連携システム	ID-LINK	2011	北海道	病院	
5	北海道	community-link		2012	北海道	病院	
6	北海道	地域連携電子カルテシステム	旭川クロスネット	2012	北海道	病院	
7	北海道	ID-LINK		2010	北海道	NPO・協議会	
8	北海道	北見市医療福祉情報連携システム	北まるnet	2011	北海道	NPO・協議会	
9	北海道	新ひだか町バーチャル総合病院構想		2011	北海道	行政	
10	北海道	スワネット		2010	北海道	病院	
11	北海道	ID-Link	道南Medlka	2012	北海道	NPO・協議会	
12	北海道	釧路根室圏医療情報共有ネットワーク構築事業 (仮称)		2014	北海道	病院	○
13	北海道	十勝メディカルネット	はれ晴れネット	2014	北海道	NPO・協議会	○
14	北海道	たいせつ安心?医療ネット(予定)		2014	北海道	医師会	○
15	北海道	道北北部連携ネットワークシステム	ポラリスネットワーク	2013	北海道	病院	○
16	北海道	道央圏診療情報共有ネットワークシステム構築事業 (仮称)		2013	北海道	病院	○
17	北海道	南檜山地域医療連携システム		2011	北海道	行政	○
18	青森県	(仮称) 地域医療情報共有システム		2014	東北	行政	○
19	青森県	未定	未定	2014	東北	病院	○
20	岩手県	岩手県周産期医療情報ネットワークシステム	いーはとーぶ	2009	東北	行政	○
21	岩手県	かまいし・おおつち医療情報ネットワーク		2013	東北	NPO・協議会	○
22	岩手県	遠野型すこやかネットワーク		2009	東北	行政	
23	岩手県	みやこサーモンケアネット		2013	東北	NPO・協議会	○
24	岩手県	久慈医療圏医療介護情報連携基盤	北三陸ネット	2015	東北	NPO・協議会	○
25	宮城県	スマイルネット		2011	東北	NPO・協議会	
26	宮城県	在宅医療・介護における多職種情報連携システム	在宅チームケアSaaS	2012	東北	NPO・協議会	
27	宮城県	みやぎ医療福祉情報ネットワークシステム		2013	東北	NPO・協議会	○
28	秋田県	秋田県医療連携ネットワークシステム	あきたハートフルネット	2014	東北	医師会	○
29	山形県	酒田地区医療情報ネットワーク	ちょうかいネット	2011	東北	NPO・協議会	○
30	山形県	置賜地域医療情報ネットワークシステム	OKI-net (おきねっと)	2012	東北	NPO・協議会	○
31	山形県	地域電子カルテシステム「Net4U」	Net4U	2000	東北	医師会	○
32	山形県	最上地域医療情報ネットワークシステム	もがみネット	2013	東北	行政	○
33	福島県	福島県会津・南会津地域医療連携ネットワーク協議会	会津さすけネット	2014	東北	病院	○
34	福島県	福島県県中県南地域医療連携ネットワーク	県中県南メディカルネット	2013	東北	NPO・協議会	○
35	茨城県	放射線治療テレカンファレンスシステム		2011	関東	病院	
36	茨城県	茨城県医師会医療・介護情報ハイウェイ	いばらき安心ネット: i S N	2014	関東	医師会	○
37	栃木県	病診連携ネットワークシステム		2007	関東	病院	
38	栃木県	栃木県地域医療連携ネットワーク とちまるネット	とちまるネット	2013	関東	NPO・協議会	○
39	群馬県	画像情報ネットワークシステム		2012	関東	病院	○
40	群馬県	群馬健康クラウドネットワーク基盤構築事業	群馬健康ネット	2010	関東	NPO・協議会	
41	埼玉県	埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム	とねっと	2012	関東	NPO・協議会	○
42	千葉県	地域診療情報連携ネットワーク		2008	関東	病院	○
43	千葉県	患者カルテ (PLANET)、共有カルテ		2001	関東	病院	
44	千葉県	ViewSend RAD-R (遠隔読影システム)		2013	関東	NPO・協議会	
45	千葉県	医療機関ITネット		2013	関東	行政	○
46	千葉県	わかしお医療ネット	わかしお	2011	関東	病院	
47	東京都	Health of Tokyo project	HOTプロジェクト	2003	関東	医師会	
48	東京都	能登北部地域医療連携システム	のとほく、ねっと	2013	関東	企業	
49	東京都	東京医療センターWeb型電子カルテ参照システム	Web-NTMC	2011	関東	病院	
50	東京都	リワーク情報連携システム		2014	関東	企業	
51	東京都	小児疾患連携医療事業	T-PAN	2011	関東	企業	
52	東京都	周産期小児健康情報サービス	ぐんぐんルーム (今後、変更の可能性はあります)	2012	関東	企業	
53	東京都	サイボウズLive		2010	関東	企業	
54	東京都	MIO Karte		2012	関東	病院	

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名	略称・愛称	開始年	地方区分	代表団体区分	再生計画
55	東京都	平成25～26年度 地域医療連携の普及に向けた健康情報活用基盤実証事業		2014	関東	企業	
56	東京都	遠隔診断支援システム	e-PICUシステム	2011	関東	病院	○
57	神奈川県	おひさまシステム	おひさまシステム	2010	関東	企業	
58	神奈川県	遠隔健康相談システム		2010	関東	病院	
59	神奈川県	クラウド型地域包括ケアシステムKCIS	ケーシーズ	2013	関東	企業	
60	神奈川県	「在宅医ネットよこはま」システム		2012	関東	病院	
61	新潟県	魚沼地域医療連携ネットワーク	うおぬま・米(まい)ねっと	2014	中部	NPO・協議会	○
62	新潟県	佐渡地域医療連携ネットワークシステム	さどひまわりネット	2013	中部	NPO・協議会	○
63	富山県	とやま医療連携ネットワーク		2013	中部	医師会	○
64	富山県	富山市地域医療連携システム	たてやま医療連携ネット	2006	中部	病院	
65	富山県	高岡医療圏地域医療連携システム	れんけいネット	2013	中部	NPO・協議会	
66	富山県	砺波医療圏医療情報連携システム	となみ野メディカルネット	2013	中部	病院	○
67	石川県	脳卒中画像伝送システム		2011	中部	NPO・協議会	
68	石川県	KISS (Keiju Infomation Spherical Sytem)	KISS (Keiju Infomation Spherical Sytem)	2000	中部	病院	
69	石川県	KISS (Keiju Infomation Sphercal System)	KISS (Keiju Infomation Sphercal System)	2000	中部	病院	
70	石川県	医療情報連携システム	iProject	2014	中部	企業	
71	石川県	いしかわ診療情報共有ネットワーク	未定	2013	中部	NPO・協議会	○
72	石川県	のとでもMyライフ(仮称)	のとMy	2012	中部	病院	
73	石川県	百万石メディネット	百万石メディネット	2006	中部	病院	
74	石川県	能登北部遠隔医療・地域医療連携システム		2009	中部	行政	
75	石川県	金沢大学附属病院継続診療システム	たまひめネット	2002	中部	病院	
76	福井県	ふくい医療情報連携システム	ふくいメディカルネット	2014	中部	NPO・協議会	○
77	福井県	TRITRUS(トリトラス)	TRITRUS(トリトラス)	2013	中部	行政	○
78	山梨県	慢性疾患診療支援システム	マイ健康レコード	2004	中部	NPO・協議会	
79	山梨県	富士・東部地域患者情報共有システム	Ft-Net	2014	中部	医師会	○
80	山梨県	峡南地域患者情報共有システム	KOMPAS	2014	中部	病院	○
81	長野県	信州メディカルネットワークシステム	信州メディカルネット	2011	中部	NPO・協議会	○
82	長野県	慈泉会診療情報開示システム		2002	中部	病院	
83	岐阜県	岐阜県包括的地域ケアネットワーク	はやぶさネット	2011	中部	医師会	
84	岐阜県	病院間医療情報連携システム	救急医療搬送システム(岐阜県のPJ名称)	2012	中部	NPO・協議会	
85	岐阜県	GEMITS	救急医療体制支援システム	2013	中部	NPO・協議会	
86	岐阜県	大垣市民病院医療連携ネットワークシステム	オーエムネット(OMNet)	2013	中部	病院	
87	岐阜県	岐阜県地域医療ネットワーク	ぎふ医療ネット(仮称)	2014	中部	医師会	○
88	静岡県	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル	ふじのくにねっと	2011	中部	NPO・協議会	
89	静岡県	静岡県版在宅医療連携ネットワークシステム		2012	中部	医師会	○
90	静岡県	磐田医師会ホームページ		2011	中部	医師会	
91	静岡県	静岡県駿東地区広域救急医療情報共有システム	ESMAT(エスマット)	2013	中部	医師会	○
92	愛知県	地域医療連携ネットワークシステム	セントラルねっと	2011	中部	企業	
93	愛知県	金鯨メディネット		2009	中部	病院	
94	愛知県	衣浦定住自立圏地域医療ネットワークシステム	KTメディネット	2012	中部	病院	
95	愛知県	いきいき笑顔		2010	中部	病院	
96	愛知県	エキサイネット		2002	中部	病院	
97	三重県	三重医療安心ネットワーク		2010	近畿	NPO・協議会	○
98	滋賀県	滋賀県医療情報連携ネットワーク	びわ湖メディカルネット	2014	近畿	その他	○
99	滋賀県	未定	未定	2014	近畿	行政	
100	滋賀県	滋賀県全県型遠隔病理診断ICTネットワーク事業	さざなみ病理ネット	2013	近畿	病院	○
101	滋賀県	湖東・湖北医療ネット	ココネット	2013	近畿	行政	
102	京都府	まいこネット	まいこネット	2007	近畿	NPO・協議会	
103	京都府	地域連携パスオンラインシステム		2011	近畿	医師会	○
104	京都府	個人向け健康医療福祉履歴管理サービス	ポケットカルテ	2008	近畿	NPO・協議会	
105	京都府	京都府こども健康情報管理システム	未定	2014	近畿	行政	○
106	大阪府	「tai.net(エアィネット)」		2011	近畿	病院	
107	大阪府	地域医療ネットワークシステム	地域医療ネットワーク	2010	近畿	病院	
108	大阪府	八尾市立病院病院・診療所・薬局連携ネットワークシステム	八尾市立病院病診薬連携ネットワークシステム	2012	近畿	病院	

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名	略称・愛称	開始 年	地方 区分	代表団体区分	再生 計画
109	大阪府	ブルーカードシステム	ブルーカード	2009	近畿	医師会	
110	兵庫県	阪神医療福祉情報ネットワーク	h-Anshin むこねっと	2015	近畿	医師会	○
111	兵庫県	地域医療連携システム「北はりま絆ネット」	北はりま絆ネット	2011	近畿	行政	○
112	兵庫県	セコムユビキタス電子カルテ		2011	近畿	病院	
113	奈良県	奈良県救急医療管制システム	e-MATCH	2012	近畿	行政	○
114	和歌山県	地域連携サイバーパスシステム	サイバーパス	2011	近畿	医師会	
115	和歌山県	白浜町における健康づくりサポートサービスシステム	こつこつネット	2012	近畿	企業	
116	和歌山県	ゆめ病院	ゆめ病院	2002	近畿	医師会	
117	和歌山県	きのくに医療連携システム 青洲リンク	青洲リンク	2013	近畿	病院	○
118	鳥取県	鳥取県医療連携ネットワークシステム	おしどりネット2	2012	中国	NPO・協議会	○
119	島根県	島根県医療情報ネットワーク（しまね医療情報ネットワーク）	まめネット	2013	中国	NPO・協議会	○
120	岡山県	新見あんしんねっと 遠隔医療支援システム	新見あんしんねっと	2011	中国	医師会	
121	岡山県	医療ネットワーク岡山	晴れやかネット	2013	中国	行政	○
122	岡山県	HumanBridge V.3		2011	中国	病院	
123	広島県	荒木脳神経外科病院 地域医療情報連携ネットワーク		2012	中国	病院	
124	広島県	地域医療ネットワークシステム	波と風ネット	2010	中国	病院	
125	広島県	広島西部医療福祉情報ネットワーク	もみじ医療福祉ネット	2006	中国	NPO・協議会	
126	広島県	天かける医療介護連携システム	天かける(アマカケル)	2011	中国	NPO・協議会	
127	広島県	ひろしま医療情報ネットワーク	HMネット	2013	中国	医師会	○
128	広島県	地域健康情報ネットワーク	くわいネット	2013	中国	医師会	
129	山口県	総合病院情報システム	HIS	2009	中国	病院	
130	山口県	地域医療連携システム	医療ネットながと	2012	中国	医師会	○
131	山口県	宇部・山陽小野田・美祢圏域地域医療連携情報ネットワークシステム	さんさんネット	2014	中国	医師会	○
132	徳島県	遠隔画像診断システム		2013	四国	NPO・協議会	○
133	徳島県	未定	未定	2014	四国	行政	○
134	徳島県	糖尿病及び合併症における病病連携事業		2011	四国	NPO・協議会	
135	香川県	香川医療情報ネットワーク（仮称）	K-MIX（仮称）	2013	四国	行政	○
136	香川県	かがわ遠隔医療ネットワーク	K-MIX	2003	四国	医師会	
137	愛媛県	愛媛県医師会地域医療連携ネットワーク	連携EMAネットワーク	2014	四国	医師会	○
138	愛媛県	心筋梗塞患者における救急隊・病院連携体制の構築事業		2013	四国	病院	○
139	愛媛県	小児先天性心疾患患者に対する地域医療連携システム（仮称）		2013	四国	病院	○
140	愛媛県	中予地域空床管理ネットワーク		2013	四国	医師会	○
141	愛媛県	南予地域医リハビリテーションシステム		2013	四国	病院	○
142	高知県	未定			四国	行政	○
143	高知県	地域連携システム	しまんとネット	2010	四国	病院	
144	高知県	高知県中西部医療介護ICT連携事業		2011	四国	行政	
145	福岡県	Health DB		2014	九州	企業	
146	福岡県	ID_Link		2012	九州	医師会	○
147	福岡県	くるめ医療情報ネットワーク協議会	アザレアネット	2012	九州	医師会	
148	福岡県	むーみんネットシステム		2012	九州	医師会	
149	福岡県	地域医療連携支援システム エイル	エイル	2011	九州	企業	
150	福岡県	ひまわりネット		2012	九州	病院	
151	福岡県	TRITRUSシステム		2013	九州	医師会	
152	福岡県	福岡県医師会診療情報ネットワーク	とびうめネット	2014	九州	医師会	○
153	佐賀県	佐賀県診療録地域連携システム	ピカピカリンク	2010	九州	行政	○
154	長崎県	あじさいネットワーク	あじさいネット	2004	九州	NPO・協議会	○
155	長崎県	白十字会地域医療連携システムクロスネット	クロスネット	2007	九州	病院	
156	長崎県	メディカル・ネット99		2004	九州	病院	
157	長崎県	長崎在宅Dr.ネットメーリングリスト		2009	九州	NPO・協議会	
158	長崎県	糖尿病等地域連携システム		2015	九州	行政	○
159	熊本県	地域医療画像連携ネットワークシステム	くまちゅう画像ネット	2012	九州	病院	
160	大分県	別府市医師会地域医療連携システム	ゆけむり医療ネット	2011	九州	医師会	
161	大分県	臼杵市医師会地域診療情報連携推進事業	うすき石仏ねっと	2007	九州	医師会	
162	大分県	処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業		2012	九州	医師会	
163	大分県	大分市医師会医療情報ネットワークシステム	府内ネット	2011	九州	医師会	
164	宮崎県	宮崎健康福祉ネットワーク	はにわネット	2002	九州	NPO・協議会	
165	宮崎県	未定	未定	2014	九州	病院	○

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名	略称・愛称	開始 年	地方 区分	代表団体区分	再生 計画
166	宮崎県	周産期ネットワークシステム		2012	九州	病院	○
167	鹿児島県	かごしま救急医療遠隔画像診断センターシステム		2013	九州	医師会	○
168	沖縄県	中部地域在宅医療ネットワーク		2012	九州	医師会	
169	沖縄県	浦添市医師会情報共有システム		2009	九州	医師会	

# IT を利用した地域医療連携の概要

2013 年度版

## 別添 2 「全国地域医療連携詳細」

※アンケートで非公開指定された情報は除いています

都道府県: 北海道 システムの名称: 苫小牧市立病院 地域連携ネットワークシステム  
 開始年: 2008年 略称・愛称: 東胆振医療情報連携ネットワーク  
 再生基金: 公開URL: <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/cityhp/>

情報更新日: 2013-12-05

システムの概要: インターネットを介し診療情報を連携医療機関から閲覧することが可能となる。

代表団体 1	団体名	苫小牧市立病院			
	郵便番号	053-8567	住所	北海道	
	電話	0144-84-0158	FAX	0144-33-4678	
	担当者氏名	小林 一司	担当者所属	事務部医事課地域連携相談センター	
			Eメール	k.kobayashi@tomakomai-city-hospital.com	
システムの導入目的	医療連携				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減 効果あり		医師の負担軽減
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他
対象地域	二次医療圏での連携 ( )				

都道府県: 北海道 システムの名称: GB Net  
 開始年: 2011年 略称・愛称: ジービーネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-24

システムの概要: 簡単な操作でご利用いただけるインターネットを使った大変便利な地域医療連携ツールです。

代表団体 1	団体名	社会医療法人北斗 北斗病院		
	郵便番号	080-0833	住所	北海道帯広市稲田町基線7番地5
	電話	0155-48-8000	FAX	0155-49-2121
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	

都道府県: 北海道 システムの名称: 道南地域医療連携システム  
 開始年: 2007年 略称・愛称: 道南MedIka (メディカ)  
 再生基金: 公開URL: <http://www.mykarte.org/medIka/index.htm>

情報更新日: 2013-12-02

協議会加入施設をインターネット回線で接続し、公開施設が保有する診療情報を共有するシステム。(ID-Link)													
代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人 道南地域医療連携協議会											
	郵便番号	041-8680	住所	北海道函館市港町1丁目10番1号 市立函館病院医療連携課内									
	電話	0138-43-2000 (427)	FAX	0138-43-8310	担当者所属	事務局 (市立函館病院医療連携課)							
	担当者氏名	田中 秀夫			Eメール	hi-tanaka@hospital.hakodate.hokkaido.jp							
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク						
	効果あり			効果あり			効果あり						
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート						
	効果なし			効果あり			どちらも言えない						
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減			医師の負担軽減						
	どちらも言えない			効果あり			どちらも言えない						
対象地域	二次医療圏での連携 (南渡島+)												
	参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中 予定	28 24	4 4	11 11	8 8		実施中 予定	14,000 14,000	14,000 14,000	医療機関等 介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他	
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				

都道府県: 北海道 システムの名称: 小樽後志地域医療連携システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: I D - L I N K  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-31

サーバーを設置し、インターネット経由で地域の病院、医院のパソコンから接続することにより、電子カルテ・オーダーリングシステムの診療情報を病院、医院と共有するシステム。													
代表団体 1	団体名	小樽市立脳・循環器・こころの医療センター											
	郵便番号	047-036	住所	北海道小樽市長橋 3 - 1 1 - 1									
	電話	0134-33-4151	FAX	0134-26-0084	担当者所属	地域医療連携室							
	担当者氏名	林 知代				Eメール	renkei@sand.ocn.ne.jp						
システムの導入目的	救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			どちらも言えない				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	どちらも言えない			効果あり				どちらも言えない					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
対象地域	看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中	10					実施中	1,800	1,800	医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、心臓疾患											
	予定	胃・大腸がん、その他のがん											
提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、検査機関との連携											
	予定												
連携方式	集中型											その他	
	分散型											その他	
情報共有形態	双方向											その他	
	参照のみ											その他	
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考					
	病院												
	診療所												
	薬局												
	介護施設他												
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用				運用費用内訳					
	補足・備考			補足・備考				保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中													
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	NPO北海道地域ネットワーク協議会の実施で公開用病院として設置しているので、費用はかかっていません。											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 北海道 システムの名称: community-link  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2013-12-12

代表団体 1	団体名	社会医療法人恵佑会札幌病院				
	郵便番号	003-0027	住所	北海道札幌市白石区本通14丁目北1番1号		
	電話	011-863-8800	FAX	011-863-5666		
	担当者氏名	木戸・小村	担当者所属	地域医療連携室		
			Eメール	ks-renkei@keiyukaisapporo.or.jp		
システムの導入目的	医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	効果なし	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	効果なし	医療機関間の人的ネットワーク	効果なし
	医師の偏在を補う効果	効果なし	患者紹介の円滑化	効果あり	診療所にとって地域中核病院からのサポート	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	効果なし	業務全体の負担軽減	効果なし	医師の負担軽減	効果なし
	看護師の負担軽減	効果なし	事務職員の負担軽減	効果あり	その他	
対象地域	市町村単位での連携 (札幌市)					

都道府県: 北海道 システムの名称: 地域連携電子カルテシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 旭川クロスネット  
 再生基金: 公開URL: 一般公開はしていない

情報更新日: 2013-12-12

インターネット回線(SLL-VPN)を使用し、共同で診療する地域の医療機関や保険調剤薬局へ当院の電子カルテを公開する。

代表団体1	団体名	旭川赤十字病院										
	郵便番号	070-8530		住所	北海道旭川市曙1条1丁目1番1号							
	電話	0166-22-8111 (代)		FAX	0166-22-8287 (直)		担当者所属	地域医療連携室				
	担当者氏名	新家 修			あらいえおさむ	Eメール	araie@asahikawa-rch.gr.jp					
システムの導入目的	医療連携											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	どちらも言えない			どちらも言えない				効果あり				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	どちらも言えない			効果あり				どちらも言えない				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	効果あり			どちらも言えない				効果あり				
対象地域	看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
	効果あり			効果なし								
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	33	81	9			実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、肝炎										
	予定	心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、糖尿病										
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど										
	予定	電子紹介状、医療従事者用モバイル対応										
補足・備考: 地域連携バス(システム利用)は、脳卒中、大腿骨頸部骨折。他はシステムの利用なし。 すべての疾病について、他医療機関と連携している。												
連携方式	集中型	分散型										その他
情報共有形態	双方向	参照のみ										その他
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)、標準歯科病名マスタ										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等					SSL - VPN						
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	富士通											
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院	0円											
診療所	0円											
薬局	0円											
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 北海道 システムの名称: ID-LINK  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-28

インターネット回線を利用した患者情報共有システム													
代表団体1	団体名	SWAN(ｽﾌﾞﾈｯﾄ)											
	郵便番号	051-8521	住所	北海道室蘭市山手町3-8-1									
	電話	0143-25-3111	FAX	0143-25-2209	担当者所属	市立室蘭総合病院 医局 地域連携室							
	担当者氏名	新井 一				Eメール	hajime-arai@city.muroran.lg.jp						
システムの導入目的	医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	どちらも言えない			効果あり				どちらも言えない					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらも言えない			どちらも言えない				効果あり					
対象地域	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	効果あり			効果あり									
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他										
	医療機関等												
	介護施設等												
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折											
	予定												
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有											
	予定												
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	臨床検査マスタ											
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考							
	病院	0円											
	診療所												
	薬局												
	介護施設他												
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考		
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 北海道 システムの名称: 北見市医療福祉情報連携システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: 北まるnet  
 再生基金: 公開URL: http://kitamaru.net/

情報更新日: 2013-12-03

超高齢社会（北見市の調査では10年後の平成32年度には高齢化率33.5%と推計）への対応と医療・介護資源の有効活用のため、ICT（情報通信技術）を活用し市内の医療機関と介護保険事業所等をネットワークでつなぎ、患者さんや利用者情報の共有や利活用を検討、実施する任意の協議会です。平成23年7月に設立され、会長は北見医師会会長が務め、市内の医療機関、介護保険事業所、北見工業大学、北見消防組合など17団体45名の会員で構成されています。

代表団体1	団体名	北見市医療福祉情報連携協議会				
	郵便番号	090-0036	住所	北海道北見市幸町3丁目1-24 北見医師会館		
	電話	0157-23-2787	FAX	0157-25-5260	担当所属	システム構築専門部会
	担当氏名	田頭剛弦		Eメール	takeharu.tagashira@nouge.gr.jp	

システムの導入目的	医療連携、その他、医療・介護連携
システム導入が必要になった地域の課題	医療・介護資源の不足

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらも言えない	効果あり	効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果なし	効果あり	どちらも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらも言えない	効果あり	効果なし
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	効果なし	効果なし	

システムが現在抱えている課題: ・ランニングコストの調達・電子カルテ等のシステム連携

対象地域: 市町村単位での連携（北見市）

参加施設数	施設					参加患者数			登録数		情報共有数		施設参加同意方法		地域全体		施設毎		その他	
	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	実施中	予定	150	150	実施中	予定	医療機関等	介護施設等							
実施中	5	6		26																
予定			7		4															

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害
	予定	大腿骨頸部骨折、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、その他

提供しているサービス状況	実施中	在宅医療連携、介護連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有（掲示板など）、Eメール・メルマガなど
	予定	電子紹介状、電子処方箋（実証等）、電子おくすり手帳、電子版糖尿病手帳、退院時サマリ、健診情報連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行

補足・備考: GISを利用した「要介護者マップ、社会資源データベース」システム、Web会議を利用した「介護認定審査会」システム

連携方式	集中型	分散型	その他
			SaaS型

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	
	予定	医薬品HOTコードマスタ、電子紹介状

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	株式会社 DBPowers	株式会社 ヒューネス	

サービス利用・参加費用	実施中				実施予定			
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考		
病院	0円				0円			
診療所	0円				0円			
薬局					0円			
介護施設他	0円				0円			
患者					0円			

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	18,500千円		2,882千円		2,352千円		530千円	
実施予定								

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、厚労省
	実施予定	自治体の負担

システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担
	実施予定	自治体の負担

都道府県: 北海道 システムの名称: 新ひだか町バーチャル総合病院構想  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-16

システムの概要: 新ひだか町立静内病院は、日高地域の中心に位置し、地域の中核医療機関であるが、慢性的な医師不足という課題を抱えています。今般、複数の読影医が勤務しており、かつ北海道内でのドクターヘリを活用できる札幌医科大学付属病院の協力も得て、あらゆる診療科を含むさまざまな症例について連携施設間で共有し、さらに災害発生時の対応をも含めた日胆地区住民の安心・安全定住を支える診療体制を構築する必要があります。同時に在宅医療などへの取り組みも積極的に進め、地域内における医療の完結（総合病院構想）の実現を目指します。実現のためには、複数のシステム整備が必要となりますが、現在、システム整備が完了したもので、順次運用を開始している。

代表団体 1	団体名	新ひだか町		
	郵便番号	056-0004	住所	北海道日高郡新ひだか町静内緑町4丁目5番1号（新ひだか町立静内病院内）
	電話	0146-42-0181	FAX	0146-42-4427
	担当者氏名	及川 わたる	Eメール	shizubyoujimu@marble.ocn.ne.jp

システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策
-----------	---

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり		
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果あり		
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	効果あり		効果あり
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	効果あり		

システムが現在抱えている課題：現在、システムが重層化している段階であり、医療情報システムに深い知識を持つICT人材の確保が重要になってくると思われる。医療機関を超えた医療人材の交流も課題となってくると思われる。

対象地域	全県域での連携（北海道）
------	--------------

参加施設数	施設					参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法			
	病院	診療所	薬局	介護施設	その他				地域全体	施設毎	その他	
実施中	6					実施中			医療機関等			
予定		1		2		予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	心臓疾患、その他
	予定	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎

提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、遠隔カンファランス、検査機関との連携
	予定	退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、どこでもMY病院

連携方式	集中型	分散型	その他

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
				バックアップ体制					

厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)
	予定	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、JAHS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ、情報連携指針(JJ1017)

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
	医療機関等					
	介護施設他					
	患者					

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
	医療機関等							
	介護施設他							
	患者							

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円		未定	現在算定中
診療所			未定	現在算定中
薬局			未定	現在算定中
介護施設他	0円		0円	現在算定中
患者			未定	

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中	98,873千円		4,943千円		4,943千円		
実施予定	260,000千円		13,000千円		13,000千円		

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、総務省
	実施予定	自治体の負担、厚生省、未定、国・北海道等の補助事業採択を模索

システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担、診療報酬で確保
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担

都道府県: 北海道 システムの名称: スワネット  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

システムの概要:

情報更新日: 2012-11-22

各病院の患者ID番号をリンクすることにより病院・クリニック間で患者情報のやりとりをする。

代表団体1	団体名	スワネット										
	郵便番号	051-8501	住所	北海道室蘭市新富町1-5-13								
	電話	0143-24-1331	FAX	担当者所属 地域医療連携室								
	担当者氏名	小関 幸夫		Eメール	yukio.koseki@nikko-kinen.or.jp							
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	14	23				実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中 退院時サマリ、画像情報の共有											
	予定 電子処方箋(実証等)、電子おくすり手帳、どこでもMY病院											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者			-	-								
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					

都道府県: 北海道 システムの名称: ID-Link  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 道南MedIka  
 再生基金: 公開URL: http://www.mykarte.org/medIka/index.htm

情報更新日: 2013-12-02

各医療機関の診療情報をインターネット上の回線とVPNを利用して「双方向」により共有するシステムである。医療機関毎に異なる患者ID情報をリンクするため、利用者は目録のIDで連携先の医療機関を開覧することが可能である。また、データセンターではアクセス権、アクセスログ等の管理によりセキュリティが確保されている。

代表団体1	団体名	特定非営利活動法人道南地域医療連携協議会											
	郵便番号	〒041-8680		住所	北海道函館市港町1丁目10番1号 市立函館病院医療連携課内								
	電話	0138-43-2000		FAX	0138-43-8310		担当者所属	市立函館病院医療連携課					
	担当者氏名	小熊 健広					Eメール	t-oguma@hospital.hakodate.hokkaido.jp					
システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策、疾病管理												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	効果あり				効果あり				効果あり				
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	どちらとも言えない				効果あり				どちらとも言えない				
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	どちらとも言えない				どちらとも言えない				効果あり				
対象地域	複数県にまたがる連携（青森県）												
	参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	28	25	4	8	25	実施中		2,500	医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎											
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応											
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)											
予定	IDC10対応標準病名マスタ、JAHS臨床検査データ交換規約、JAHS放射線データ交換規約												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等						ID+パスワード+デジタル証明書							
介護施設他						ID+パスワード+デジタル証明書							
患者						ID+パスワード+デジタル証明書							
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等								ID+パスワード+デジタル証明書					
介護施設他								ID+パスワード+デジタル証明書					
患者								ID+パスワード+デジタル証明書					
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	株式会社エスイーシー（開発元）			日本電気株式会社（販売）			株式会社シーエスアイ（販売）						
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考							
	病院	0円	年会費1万円のみ										
	診療所	0円	年会費3千円										
	薬局	0円											
介護施設他	0円												
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
	実施中												
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、総務省											
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 北海道 システムの名称: 釧路根室圏医療情報共有ネットワーク構築事業(仮称)  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-24

## 患者情報共有ネットワークシステム

代表団体1	団体名	市立釧路総合病院(予定)										
	郵便番号		住所	北海道								
	電話		FAX		担当者所属							
	担当者氏名				Eメール							
システムの導入目的												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
対象地域	( )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定	9					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考				
	病院											
	診療所											
	薬局											
	介護施設他											
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用				運用費用内訳				
	補足・備考			補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
	実施中											
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中											
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中											
	実施予定											

都道府県: 北海道 システムの名称: 十勝メディカルネット  
 開始年: 2014年 略称・愛称: はれ晴れネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-13

患者情報共有ネットワークシステム

代表団体 1	団体名	(仮称)十勝医療情報情報ネットワーク運営協議会		
	郵便番号		住所	北海道
	電話		FAX	
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	

都道府県: 北海道 システムの名称: たいせつ安心?医療ネット(予定)  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-11

## システムの概要:

閉鎖網IP-VPN及びセキュリティを確保したインターネットを利用して情報共有システムの構築  
 公的病院群(電子カルテ等のシステム導入病院)に標準化ストレージサーバー、又は、これらと同等の機能を有するサーバーを設置することにより病院相互に診療情報を提供・閲覧できる環境を構築  
 共有できる内容  
 画像(C T・MRI・R I・X線・内視鏡・超音波等)  
 検査データ及び検査レポート・画像レポート  
 処方・注射  
 アレルギー・禁忌情報  
 医師等がカルテに記載した内容  
 サマリー他  
 その他の医療機関群  
 VPNを用いて公的病院群より電子カルテ情報やオーダリング情報・PACS情報の提供を受ける  
 システムは、富士通の富士通社のヒューマンブリッジを利用。

代表団体 1	団体名	旭川市医師会						
	郵便番号	070-0029	住所	北海道旭川市金星町1丁目1-50				
	電話	0166-23-5728	FAX	0166-24-5444				
	担当者氏名	伊藤武芳	担当者所属	旭川市医師会事務局				
			Eメール	kyokuijimukyoku@ahmic21.ne.jp				
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他		
	医療機関等							
	介護施設他							
	患者							
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
	医療機関等							
	介護施設他							
	患者							
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)		企業名(3)			
	富士通株式会社							
システム構築費用負担者	実施中							
	実施予定	参加施設の負担、厚労省						
システム運用費用負担者	実施中							
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担						

都道府県: 北海道 システムの名称: 道北北部連携ネットワークシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: ボラリスネットワーク  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-24

## 患者情報共有ネットワークシステム

代表団体1	団体名	名寄市立総合病院										
	郵便番号	096-8511		住所	北海道名寄市西7条南8丁目1番地							
	電話	01654-3-3101		FAX	01654-2-0567		担当者所属	診療部診療情報管理室				
	担当者氏名	国沢 悟					Eメール	kunisawa-satoru@city.nayoro.lg.jp				
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携											
システム導入が必要になった地域の課題: 医療圏域が広大であるため、専門医の受診のための移動等に時間と労力を要する。特に救急のトリアージを専門医により適切に実施されることが可能になれば、無駄な患者の搬送を減らすことが可能になる。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	効果あり			どちらも言えない				効果なし				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	効果なし			効果なし				どちらも言えない				
看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
効果なし			効果なし				効果なし					
対象地域	その他 (3次医療圏)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	4				実施中	79	79	医療機関等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
提供しているサービス状況	実施中											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
	病院											
	診療所											
	薬局											
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
	実施中											
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中											
システム運用費用負担者	実施中											

都道府県: 北海道 システムの名称: 道央圏診療情報共有ネットワークシステム構築事業(仮称)  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-16

## 患者情報共有ネットワークシステム

代表団体 1	団体名	北海道がんセンター(予定)		
	郵便番号		住所	北海道
	電話		FAX	
			担当者所属	

都道府県: 北海道 システムの名称: 南檜山地域医療連携システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-31

南檜山管内の医療機関をインターネット回線で結び、診療情報を共有し、医療連携を緊密に行う

代表団体 1	団体名	道立江差保健所				
	郵便番号	043-0043	住所	北海道		
	電話	0139-52-1053	FAX	0139-52-1074	担当者所属	保健行政室企画総務課
	担当者氏名		Eメール	esashiho.somu1@pref.hokkaido.lg.jp		

都道府県: 青森県 システムの名称: (仮称)地域医療情報共有システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-13

ICTを利用し患者の診療情報等を病院・診療所間で共有する。

代表団体1	団体名	青森県										
	郵便番号	030-8570		住所	青森県青森市長島1-1-1							
	電話	017-734-9287		FAX	017-734-8089		担当者所属	健康福祉部医療業務課地域医療確保グループ				
システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策、検討中											
システム導入が必要になった地域の課題: 医師不足等、限られた医療資源の有効活用のための医療機関の役割分担と連携強化												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
対象地域	その他 (検討中)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中 予定											
提供しているサービス状況	実施中 予定											
補足・備考: 未定												
連携方式	集中型		分散型		その他							
					未定							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
					未定							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	ブライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中 予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等						未定						
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等								未定				
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考				
病院						未定						
診療所						未定						
薬局												
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳							
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考			
実施中												
実施予定	未定		未定			未定			未定			
システム構築費用負担者	実施中 実施予定 未定											
システム運用費用負担者	実施中 実施予定 未定											

都道府県: 青森県 システムの名称: 未定  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-02

富田連の地域医療連携システム「ヒューマンブリッジ」を導入し、連立医療機関の情報を民間医療機関（圏域医師会等）に対し提供する。まずは、連立医療機関の情報共有を行い、その後に民間医療機関へも参加いただく予定。

代表団体 1	団体名	つがる西北五広域連合										
	郵便番号	037-0053		住所	青森県五所川原市字布屋町 4 1 番地							
	電話	0173-26-6363		FAX	0173-26-6366		担当者所属	病院運営部				
システムの導入目的	医療連携											
システム導入が必要になった地域の課題	西北五医療圏においては、診療所病床や回復リハ機能等の医療資源が十分とは言えず、急性期医療や高度専門医療を担う中核病院や、初期医療や回復期の医療を担うサテライト医療機関等、自治体病院における機能分化を足掛かりに、圏域全体で医療を提供できる連携の在り方が必要となる。											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
	対象地域											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定	3	2				予定	14,670	14,670	介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定											
	電子紹介状、退院時サマリ、画像情報の共有、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど											
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
	連立立医療機関間のみ双方向											
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考				
病院						未定						
診療所						未定						
薬局												
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
			補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中												
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中											
	実施予定											
	厚労省											
システム運用費用負担者	実施中											
	実施予定											
	未定											

都道府県: 岩手県 システムの名称: 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム  
 開始年: 2009年 略称・愛称: いーはとーが  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-04

県内の医療機関や市町村等の間をインターネット回線を通じて、妊産婦の検診情報や診療情報を共有して、保健・医療関係者の密な連携を実現するシステム

代表団体1	団体名	岩手県										
	郵便番号	020-8570		住所	岩手県盛岡市内丸10番1号							
	電話	019-629-5415		FAX	019-626-0837		担当者所属	保健福祉部医療政策室				
システムの導入目的	周産期医療対策、医療連携、その他、市町村（母子保健）との連携											
	システム導入が必要になった地域の課題：産科医師の不足、分娩施設の減少と地域偏在に伴う妊産婦及び医療従事者の負担増（特に、医療機関及び市町村の間の連携体制の構築や効率的な搬送体制の整備の必要性）											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	効果あり				効果なし				効果あり			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	効果あり				効果あり				効果なし			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	効果なし				どちらとも言えない				どちらとも言えない			
	看護士の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
	どちらとも言えない				どちらとも言えない				どちらとも言えない			
対象地域	全県域での連携（岩手県）											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	12	26			27	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中	その他										
	予定											
提供しているサービス状況	実施中	健診情報連携、在宅医療連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有（掲示板など）、Eメール・メルマガなど										
	予定	画像情報の共有										
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	ブライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
												SS-MIX2拡張ストレージに産科
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	一般財団法人医療情報システム開発センター			株式会社ミトラ								
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院	0円											
診療所	0円											
薬局												
介護施設他	0円											
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
		補足・備考			補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中	34,912千円			4,465千円			4,465千円					
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、厚生省										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担、国の負担										
	実施予定											

都道府県: 岩手県 システムの名称: かまいし・おおつち医療情報ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-12

基幹病院が中心となって圏域内の病院、診療所、歯科診療所、介護施設、薬局等をネットワークで結び、患者同意のもと既往歴や治療経過、検査データなどの医療・介護情報を共有するもの。												
代表団体 1	団体名	釜石・大槌地域医療連携推進協議会										
	郵便番号	026-0043	住所	岩手県釜石市新町 6 番50号								
	電話	0193-25-2702	FAX	0193-25-2294	担当者所属	釜石保健所企画管理課						
	担当者氏名	小笠原 伸也				Eメール	shinya-ogasawara@pref.iwate.jp					
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策											
システム導入が必要になった地域の課題: 医師をはじめとした医療資源の不足。高齢化の進展。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	どちらも言えない			どちらも言えない				効果あり				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	どちらも言えない			効果あり				どちらも言えない				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない				
対象地域	二次医療圏での連携 (釜石保健医療圏)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	6	16		4	実施中			医療機関等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害										
	予定	胃・大腸がん、その他のがん										
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、遠隔医療、退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、診療・検査予約										
	予定	遠隔カンファランス、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、Eメール・メルマガなど										
連携方式	集中型	分散型	その他									
	外部クラウドを利用したASP型。集中および分散実施中。											
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	患者診療情報提供書、電子紹介状、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、情報連携指針(JJ1017)										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	富士フイルム株式会社			富士フイルムメディカル株式会社			富士フイルムメディカルITソリューションズ株式会社					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 岩手県 システムの名称: 遠野型すこやかネットワーク  
 開始年: 2009年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-12-12

代表団体 1	団体名												
	郵便番号			住所	岩手県								
	電話			FAX			担当者所属						
	担当者氏名					Eメール							
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中						実施中			医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中												
	予定												
提供しているサービス状況	実施中												
	予定												
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)			補足・備考			サービス費用(月額)			補足・備考			
	病院												
	診療所												
	薬局												
介護施設他													
患者													
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
	実施中												
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中												
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 岩手県 システムの名称: みやこサーモンケアネット  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-26

市内の医療機関、薬局、訪問看護・介護事業所に保管されている医療・介護に関する情報を、患者の同意を得た上で相互に共有することにより効率的な医療を提供し、患者と医療機関などの双方に役立てるためのシステム。

代表団体 1	団体名	宮古市医療情報連携ネットワーク協議会		
	郵便番号	027-0061	住所	岩手県宮古市西町一丁目6番2号
	電話	0193-62-6103	FAX	担当者所属

システムの導入目的	災害医療対策、医療連携
-----------	-------------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果なし	効果なし	効果あり
医師の偏在を補う効果	効果なし	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
地域中核病院にとって診療所からの支援	効果あり	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
看護師の負担軽減	効果なし	事務職員の負担軽減	その他

システムが現在抱えている課題: ・市広報誌に掲載し、市民への周知を図りましたが、まだまだ市民の認知度は低く、今後も引き続き市民への周知が必要です。・また、参加施設における利用頻度も高いとは言えない状況です。原因として、通常の業務と併せてネットワークを利用する場合、ある程度の慣れが必要であり、システムへのアクセスを躊躇してしまっている現状があります。実際に利用すれば非常に効果を実感できるシステムであることから、市民への周知と併せて参加施設に対し活用方法の周知などを行い、利用頻度を向上させる必要があります。

対象地域	市町村単位での連携 (宮古市)
------	-----------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中 予定	3	15	15	24	4	実施中 予定	556	556	医療機関等 介護施設等		

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	予定
-----------	-----	----

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1) 株式会社SBS情報システム	企業名(2) 日本電気株式会社	企業名(3)
----------	-------------------------	--------------------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円		0円	
診療所	0円		0円	
薬局	0円		0円	
介護施設他	0円		0円	
患者	0円		0円	

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中	310,029千円		3,000千円		2,000千円		1,000千円
実施予定							

システム構築費用負担者	実施中	厚生省、総務省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

都道府県: 岩手県 システムの名称: 久慈医療圏医療介護情報連携基盤  
 開始年: 2015年 略称・愛称: 北三陸ネット  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-02-28

代表団体 1	団体名	久慈医療圏医療・介護・福祉連携協議会(通称:北三陸塾)													
	郵便番号	028-0014		住所	岩手県久慈市旭町8-100-2										
	電話	0194-53-0056		FAX	0194-52-8660		担当者所属	事務局							
	担当者氏名	泉伸			Eメール	rehabilitown@ma100.tiki.ne.jp									
代表団体 2	団体名	岩手県立久慈病院													
	郵便番号			住所											
	電話	0194-53-6131		FAX			担当者所属	医事経営課							
	担当者氏名	高橋浩			Eメール										
システムの導入目的	へき地医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策														
システム導入が必要になった地域の課題: 医療圏唯一の中核病院である県立久慈病院を後方支援する回復期病院・介護施設の受入れ体制が十分でない事により、退院調整に大きな課題を抱えている。また、慢性的な医師不足が課題であり、開業医も少ないことから休日・夜間診療及び訪問診療の体制整備が難しいという実態がある。															
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク							
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート							
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減							
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他							
対象地域	二次医療圏での連携(久慈医療圏)														
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他			
	実施中					実施中			医療機関等						
	予定					予定			介護施設等						
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他				
連携している疾病の状況	実施中														
	予定														
提供しているサービス状況	実施中														
	予定														
	電子紹介状、遠隔カンファランス、退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、空床情報														
連携方式	集中型		分散型		その他										
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他			
								ストレージ							
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他					
厚生労働省標準規格	実施中														
	予定														
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他									
医療機関等															
介護施設他															
患者															
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他							
医療機関等															
介護施設他															
患者															
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)								
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定									
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考							
病院						50,000円									
診療所						10,000円									
薬局						10,000円									
介護施設他						10,000円									
患者						0円									
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用						
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳								
			補足・備考					保守費/年間		補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
実施中															
実施予定	350,000千円					12,000千円		9,000千円				3,000千円			
システム構築費用負担者	実施中														
	実施予定														
	厚生省、総務省														
システム運用費用負担者	実施中														
	実施予定														
	参加施設の負担、自治体の負担														

都道府県: 宮城県 システムの名称: スマイルネット  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: <http://smilenet.kenkyuukai.jp/about/index.asp?>

情報更新日: 2013-12-02

脳卒中データベースおよび地域連携バスのオンライン共有

代表団体 1	団体名	一般社団法人宮城県脳卒中ネットワーク				
	郵便番号	980-8574	住所	宮城県仙台市青葉区星陵1-1 東北大学脳神経外科内		
	電話	022-717-7230	FAX	022-717-7233	担当者所属	事務局
システムの導入目的	医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク		
	どちらも言えない	効果あり		効果あり		
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート		
	どちらも言えない	効果あり		どちらも言えない		
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減		医師の負担軽減		
	どちらも言えない	効果あり		効果あり		
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減		その他		
効果あり	効果あり					
対象地域	全県域での連携 ( 宮城 )					

都道府県: 宮城県 システムの名称: 在宅医療・介護における多職種情報連携システム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 在宅チームケアSaaS  
 再生基金: 公開URL: http://www.you-homeclinic.or.jp/conf/

情報更新日: 2013-12-03

## システムの概要:

在宅医療・介護に関わる医療機関・介護施設・患者/家族間での情報共有を行ったため、ICTを活用した情報共有システム  
 1) 在宅医療機関、訪問薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事務所、訪問介護事業所などの医療・介護専門職が、日々の訪問の様子やバイタルデータなどを、データベース上のセキュリティが確保された環境で共有することが出来る。  
 2) 患者/家族への共有についても、各事業所の訪問記録やバイタルの一部が共有され、メッセージをやりとりすることが出来る。  
 3) 二重入力や入力負荷軽減のため、入力補助機能を有する。また、システム運用に入力補助者を配備している。

代表団体 1	団体名	在宅医療・介護情報連携推進協議会										
	郵便番号	986-0801			住所	宮城県石巻市水明北2-1-24						
	電話	0225-92-7030		FAX	050-3777-2178		担当者所属	事務局(医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック)				
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策、健康管理、在宅医療・介護事業所間での情報連携のため											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				効果あり 診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
	システムが現在抱えている課題: 異なる事業所間でのシステム運用について、日々検討を重ねています。											
対象地域	市町村単位での連携(石巻市)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	1	3	2	8	3	実施中	50	50	医療機関等 介護施設等		
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中	在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、情報共有(掲示板)										
	予定	Eメール・メルマガなど 電子紹介状										
補足・備考: ・在宅医療・介護に関わる生活情報の連携(排便・食事・睡眠・元気度)などの情報連携 ・写真添付とコメントなどによる訪問時の患者様のご様子のご家族への共有												
連携方式	集中型	分散型	在宅医療・介護連携専用の共通システムの利用									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定	患者診療情報提供書、電子紹介状										
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	富士通株式会社											
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
	病院					0円						
	診療所	70,000円										
	薬局	0円										
	介護施設他	0円										
患者	0円											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、総務省										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定											

都道府県: 宮城県 システムの名称: みやぎ医療福祉情報ネットワークシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-02

病院・診療所・薬局・介護施設等の保有する医療・健康情報を、安全かつ円滑に記録・蓄積・閲覧するための診療情報連携基盤を構築し、医療従事者等が必要な情報を共有できる仕組みを整備するとともに、異なる医療機関間の医師間で医療相談を行う遠隔カンファレンスシステムを構築するもの。

代表団体 1	団体名	一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会				
	郵便番号	980-8633	住所	宮城県仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館内		
	電話	022-395-6312	FAX	022-395-6313	担当者所属	
	担当者氏名				Eメール	

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数
実施中	8	26	9	28	3	実施中	50	
予定						予定		

都道府県: 秋田県 システムの名称: 秋田県医療連携ネットワークシステム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: あきたハートフルネット  
 再生基金: 公開URL: 秋田県医師会ホームページ内に作成予定

情報更新日: 2014-01-23

あらがひの同意が得られた患者情報について、医療機関とつが、双方向で簡便かつ安全に共有できる医療連携基盤である。

代表団体1	団体名	一般社団法人 秋田県医師会				
	郵便番号	010-0874	住所	秋田県秋田市千秋久保田町6番6号(秋田県総合保健センター4階)		
	電話	018-833-7401	FAX	018-832-1356	担当者所属	事務局
	担当者氏名				Eメール	
システムの導入目的	医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他	
対象地域	全県域での連携(秋田県)					
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他			
	医療機関等 介護施設等					
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
連携している疾病の状況	実施中					
	予定	その他				
提供しているサービス状況	実施中					
	予定	電子紹介状、退院時サマリ、画像情報の共有、Eメール・メルマガなど				
補足・備考: 連携の対象となる疾患は特定していません。						
連携方式	集中型	分散型	その他			
			集中型と分散型のハイブリッド方式を採用			
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他			
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他
						不使用
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有
				ハイブリッド方式のため、保存先は両方とも必ず強制		別媒体
厚生労働省標準規格	実施中					
	予定	医薬品HOTコードマスタ、ICD10対応標準病名マスタ、医療波形フォーマット、デジタル画像と通信(DICOM)、臨床検査マスタ				
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
	医療機関等					
	介護施設他					
	患者					
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン
	医療機関等					生体認証
	介護施設他					
	患者					
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)		企業名(3)	
	NEC		富士通			

都道府県: 山形県 システムの名称: 酒田地区医療情報ネットワーク  
 開始年: 2011年 略称・愛称: ちょうかいネット  
 再生基金: 公開URL: https://www.mykarte.com/mykarte/

情報更新日: 2013-12-02

急性期から回復期を経て在宅医療にいたるまで一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を提供できる地域医療連携体制を推進することを目的とし、医療情報連携システム(TD-Link)を利用して山形県庄内二次医療圏において医療情報を共有するものである。

代表団体 1	団体名	酒田地区医療情報ネットワーク協議会										
	郵便番号	998-8501	住所	山形県								
	電話	0234-26-2001	FAX	0234-26-5112	担当者所属 事務局							
システムの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策											
システム導入による効果	システム導入が必要になった地域の課題: 地域の医療機関において、診療情報の電子化等により施設内での情報共有インフラが整備されているが、施設間の連携においては依然として紙ベースであり、情報共有が進んでいなかったため、転院時の再検査や処方重複等があった。地域連携バスについてはデータが入ったUSBメディアでの連携であり、メディアの管理、回収に労力がかかっていた。											
	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク									
	効果あり	効果あり	効果あり									
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート									
	効果あり	効果あり	効果あり									
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減									
	効果あり	効果あり	効果あり									
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他									
	効果あり	どちらとも言えない										
システムが現在抱えている課題	介護福祉との連携について、連携の手法、必要な情報等について検討を行なっている。今後の運営方法について、法人化やNPO法人化を検討する必要がある。											
対象地域	二次医療圏での連携 (山形県庄内二次医療圏)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	15	68	12	8	1	実施中	9,800	9,800	医療機関等			
実施予定						実施予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他										
	実施予定	糖尿病										
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応										
	実施予定	電子紹介状、在宅医療連携、診療・検査予約										
補足・備考	情報開示施設は原則として診療録を公開											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	医薬品HOTコードマスタ、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHS放射線データ交換規約										
	実施予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)			企業名(3)						
	株式会社シーエスアイ											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳							
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考		
実施中	30,000 千円		1,110 千円					1,110 千円				
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中	厚労省										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担										
	実施予定											

都道府県: 山形県 システムの名称: 置賜地域医療情報ネットワークシステム  
 開始年: 略称・愛称: OKI-net (おきねっと)

再生基金: 公開URL: [http://www.okitama-hp.or.jp/introduction/departament\\_secretary/medical\\_liaison/oki\\_net\\_pro.html](http://www.okitama-hp.or.jp/introduction/departament_secretary/medical_liaison/oki_net_pro.html)

システムの概要: 情報更新日: 2013-12-18

複数医療機関の医療情報を1患者1画面で共有し、地域診療所からはインターネットなどの汎用回線で簡単に参照ができ、患者さんに対して質の高い継続した医療サービスを提供している。参照側でもコメントの追記や画像やエクセルなどのファイルアップロードができ、地域連携バスや在宅医療などへの活用もできる。

代表団体1	団体名	置賜地域医療情報ネットワーク協議会										
	郵便番号	992-0601	住所	山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000番地								
	電話	0238-46-5000	FAX	0238-46-5721	担当者所属	公立置賜総合病院 医療連携・相談室						
	担当者氏名	伊藤 孝祐			Eメール	renkei@okitama-hp.or.jp						
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策、疾病管理											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク					
	効果あり			効果あり			効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	どちらも言えない			効果あり			効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減			医師の負担軽減					
	効果あり			どちらも言えない			効果あり					
看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減			その他						
どちらも言えない			効果なし									
システムが現在抱えている課題: ・ランニングコストの捻出(協議会運用、保守)・職種による情報公開範囲の設定・画像などのデータ量が大きいものの最新情報取得時間 等												
対象地域	二次医療圏での連携(置賜地域)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	14	57		2	実施中	6,522	6,522	医療機関等			
	予定			4		予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害										
	予定											
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応										
	予定											
補足・備考: その他のサービスに記載の内容については、OKI-netとは別途にポータルサイトによる運用を予定しており、今年度補助金申請中。												
連携方式	集中型	分散型		その他								
				置賜広域病院組合内のみ集中型、他は分散型								
情報共有形態	双方向	参照のみ		その他								
				情報提供病院間は双方向共有								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)			
	NEC				SEC				NDソフトウェア			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 山形県 システムの名称: 地域電子カルテシステム「Net4U」  
 開始年: 2000年 略称・愛称: Net4U  
 再生基金: 公開URL: http://net-4u.jp/

情報更新日: 2014-01-16

地域電子カルテシステム「Net4U」は、アプリケーション、患者データなどを医師会館内に設置したサーバーで一括管理する、クラウド型の電子カルテシステムである。参加施設はインターネット回線を通じてSSL-VPN技術を使い安全性を確保したセキュリティの保たれたネットワーク上でシステムを利用する。地域の様々な医療者がNet4U上で必要な患者情報を共有できるツールである。

代表団体1	団体名	一般社団法人鶴岡地区医師会				
	郵便番号	997-0035	住所	山形県鶴岡市馬場町1-34		
	電話	0235-22-0136	FAX	0235-25-0772	担当者所属	地域医療連携室
	担当者氏名	遠藤 貴恵			Eメール	kendo@tsuruoka-med.jp

システムの導入目的	がん対策、医療連携、在宅医療対策、疾病管理
-----------	-----------------------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり	効果あり	効果あり
医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
どちらとも言えない	効果あり	効果あり	
地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
効果あり	どちらとも言えない	どちらとも言えない	
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
どちらとも言えない	どちらとも言えない		

システムが現在抱えている課題: 参加医療機関の足踏み	
対象地域	( )

参加施設数	施設					参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	病院	診療所	薬局	介護施設	その他							
実施中	5	27	16	2	24	実施中	34,498	6,953	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	---------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、認知症、その他
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、遠隔カンファランス、退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど
	予定	健診情報連携、P Cアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院

補足・備考: 医療と介護、医薬連携に伴う各種文書類のテンプレート化を実施中。

また、Net4Uと連動する患者・家族参加型在宅高齢者見守りシステム「Note4U」も実施中。年度内にスマホ版アプリも完成予定。

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
				バックアップ体制					

厚生労働省標準規格	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、電子紹介状、JAHIS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	株式会社ストローハット		

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円		未定	
診療所	0円		未定	
薬局	0円		未定	
介護施設他	0円		未定	
患者	0円		未定	

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	80,000千円		5,000千円		3,600千円		1,400千円	
実施予定								

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、総務省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

都道府県: 山形県 システムの名称: 最上地域医療情報ネットワークシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: もがみネット  
 再生基金: 公開URL: [http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami\\_bo/living/health/7314023mogami.html](http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/living/health/7314023mogami.html)

情報更新日: 2014-02-12

インターネット通信を經由し、山形県立新庄病院が保有する画像やレポート等の患者情報を地域の公立病院・診療所、民間診療所が閲覧することができるシステム。												
代表団体 1	団体名	山形県最上保健所										
	郵便番号	996-0002	住所	山形県新庄市金沢字大道上 2 0 3 4								
	電話	0233-29-1258	FAX	0233-22-2025	担当者所属	保健企画課						
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの バックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)、情報連携指針(JJ1017)										
	予定											

都道府県: 福島県 システムの名称: 福島県会津・南会津地域医療連携ネットワーク協議会  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 会津さすけネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-14

複数医療機関の患者診療情報を共有することにより、紹介及び逆紹介を促進し地域全体で円滑な連携診療を実現すると共に、会津地方全体の医療の質を向上させる。

代表団体 1	団体名	一般財団法人竹田健康財団				
	郵便番号	965-8585	住所	福島県会津若松市山鹿町3番27号		
	電話	0242-29-9936	FAX	0242-27-5861	担当者所属	法人事務局 企画開発部 情報システム課
	担当者氏名	須藤 浩也		Eメール	h-sutou@takeda.or.jp	

都道府県: 福島県 システムの名称: 福島県中県南地域医療連携ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称: 県中県南メディカルネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-13

福島県の県中地域・県南地域の医療機関をID-Linkを利用して、医療情報の連携を行う

代表団体 1	団体名	福島県中県南地域医療連携ネットワーク協議会			
	郵便番号	9 6 3 - 8 0 2	住所	福島県郡山市西ノ内 2 - 6 - 1 8 太田綜合病院	
	電話	0 2 4 - 9 3 1 -	FAX	0 2 4 - 9 3 1 -   担当者所属	
サービス利用 ・参加費用	実施中			実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考		サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0 円	協議会の会費(年額5000円)は必要			
診療所	0 円	協議会の会費(年額5000円)は必要			
薬局					
介護施設他					
患者					

都道府県: 茨城県 システムの名称: 放射線治療テレカンファレンスシステム  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2013-12-09

筑波大学附属病院(県からの委託先)を中心に、県内のがん診療連携拠点病院等をテレビ会議システムで結び、放射線治療に携わる医師への診療支援や看護師・診療放射線技師等を対象とした研修会を開催する。

代表団体 1	団体名	筑波大学附属病院						
	郵便番号	305-8576	住所	茨城県つくば市天久保2-1-1				
	電話	029-853-7165	FAX	029-853-7103	担当者所属			
	担当者氏名	金久保	Eメール	kanakubo.ayako.ge@un.tsukuba.ac.jp				

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数
実施中	13					実施中		
予定						予定		

都道府県: 茨城県 システムの名称: 茨城県医師会医療・介護情報ハイウェイ  
 開始年: 2014年 略称・愛称: いばらき安心ネット: i S N  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-25

医療機関及び在宅医療関連施設が安全な環境の中で標準化されたデータなどの情報を交換・共有するための基盤を構築する。個々の医療機関の情報は、目院内で管理する分散型のデータ管理方法で、必要な情報のみを、セキュリティの担保された環境で運用し、利用者に付与された資格に基づいた認証局による認証を行う。それらは茨城県医師会内に管理サーバー群を設置しログ管理等を行う。

代表団体 1	団体名	一般社団法人茨城県医師会				
	郵便番号	310-0852	住所	茨城県水戸市笠原町489		
	電話	029-241-8446	FAX	029-243-5071	担当者所属	総務課

都道府県: 栃木県 システムの名称: 病診連携ネットワークシステム  
 開始年: 2007年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-24

インターネットを利用し、暗号化された診療情報を、仮想専用線（VPN回線網）を介してwebブラウザで一方向に提供する

代表団体 1	団体名	那須赤十字病院		
	郵便番号	324-8686	住所	栃木県大田原市中田原1081番地4
	電話	0287-23-1122	FAX	0287-23-3004
	担当者氏名	伊藤 健一	担当者所属	地域医療福祉連携課
			Eメール	renkeika@nasu.jrc.or.jp
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用		学術研究等の公益目的で利用	
			統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 栃木県 システムの名称: 栃木県地域医療連携ネットワーク とちまるネット  
 開始年: 2013年 略称・愛称: とちまるネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.tochigi-med.or.jp/medic/tochimarunet.html

情報更新日: 2013-12-24

患者さんの同意のもと(同意書を取得した上で)、情報提供施設(病院)の中にある、患者さんの診療情報(処方、注射、画像等)を、情報閲覧施設(診療所や病院)で閲覧して、診療に役立てる仕組みです。

代表団体 1	団体名	とちまるネット協議会				
	郵便番号	320-8503	住所	栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階 医師会内		
	電話	028-622-2655	FAX	028-624-5988	担当者所属	教育・福祉課
	担当者氏名	鈴木和彦			Eメール	suzuki@tochigi-med.or.jp

システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策、疾病管理
-----------	------------------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	どちらも言えない	効果あり	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	効果あり	どちらも言えない	どちらも言えない
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	どちらも言えない	どちらも言えない	

システムが現在抱えている課題: 試験運用中(平成25年5月1日開始)は利用料を無料としているが、今後、自立した運用が出来るようになるため、利用料を定め利用者から徴収する必要がある。試験運用の中で得られた課題を今後検討していく予定。

対象地域	全県域での連携(栃木県)
------	--------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	21	51				実施中	232	232	医療機関等			
実施予定						実施予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	脳血管障害、心臓疾患、糖尿病

提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、Eメール・メルマガなど
	予定	退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、情報共有(掲示板など)

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
				バックアップ体制					

厚生労働省標準規格	実施中	可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
----------	--------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円	試験運用中のため"無料"であるが今後検討予定		
診療所	0円	試験運用中のため"無料"であるが今後検討予定		
薬局				
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	600,000千円	システム導入病院が1/3負担5,200医療再生基金(協会)運用【地域医療再生基金が全額負担】						
実施予定								

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、厚生省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、国の負担
	実施予定	

都道府県: 群馬県 システムの名称: 画像情報ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-10-09

## 病院内の画像電送システム

代表団体 1	団体名	高崎総合医療センター										
	郵便番号	370-0829	住所	群馬県高崎市高松町 3 6								
	電話	027-322-5901	FAX			担当者所属	事務部門					
	担当者氏名	西條 光浩				Eメール						
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	7					実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他										
提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応										
	予定	画像診断サービス										
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	GE											

都道府県: 群馬県 システムの名称: 群馬健康クラウドネットワーク基盤構築事業  
 開始年: 2010年 略称・愛称: 群馬健康ネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.gunma-kenkonet.jp

情報更新日: 2013-12-05

システムの概要: 健康診断結果や健康診断チェック結果などの健康情報を生涯にわたって蓄積し、転居・転職等があっても、健康情報の一貫した管理ができる。健康マイページはID・PWを入力することにより、いつでもどこでも閲覧が可能である。また、外国語(英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語)でも表示できる。外国で医療機関受診が必要になった時でも、より適確な診療をつけることに役立つシステムである。

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人群馬コングレスサポート				
	郵便番号	371-0805	住所	群馬県前橋市南町2-65-1		
	電話	027-260-9014	FAX	027-260-9004	担当者所属	
	担当者氏名		Eメール	information@gunma-kenkonet.jp		

システムの導入目的	健康管理
-----------	------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護士の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	対象地域	( )	日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語の5言語に対応して

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数
実施中					1	実施中		
予定	1			1		予定		

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス
	予定	

補足・備考: 公開講座・イベントの開催案内などのメールマガジン配信

都道府県: 埼玉県 システムの名称: 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: とねっと  
 再生基金: 公開URL: https://sites.google.com/site/tonetsince2012/

情報更新日: 2014-01-22

システムの概要: 「とねっと」は、埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会が構築し、管理運営するIT技術を活用した、診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムです。このシステムは、住民の皆さんの命と健康を守るため、地域の医師や看護師不足の中、限られた人材や高度医療機器などを有効活用し、地域のかかりつけ医と中核病院が役割を分担しながら連携し、地域全体で住民の皆さんの医療を完結していくものです。また、救急隊（救急車）が現場でこのシステムを活用し、迅速で的確な救急活動に役立てていくものです。

代表団体 1	団体名	埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会		
	郵便番号	347-0031	住所	埼玉県加須市南町5-15（加須保健所内）
	電話	0480-63-0	FAX	0480-63-0
	担当者所属	事務局		

システムの導入目的: 救急医療対策、医療連携、健康管理

システム導入が必要になった地域の課題: 人口あたり医師数や看護師数、医療施設数が全国で最も低い水準であり、なかでも、利根保健医療圏は、高齢化率が高く、医療資源の不足が顕著な地域である。今後はますます長寿化が進み、医療を必要とする方の増加が見込まれる中、いかにして地域住民に質の高い医療を提供し続けていくかが大きな課題となっている。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり		
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
		効果あり	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
効果あり			
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	

システムが現在抱えている課題: システム更新や維持管理及び運営費の財源確保

対象地域: 二次医療圏での連携（利根保健医療圏）

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中 25	89			5	実施中 17,100	1,774		医療機関等 介護施設等			
予定						予定						

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中 予定	心臓疾患、糖尿病、その他
-------------	-----------	--------------

提供しているサービス状況	実施中 予定	電子紹介状、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、情報共有（掲示板など）、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど
--------------	-----------	--

補足・備考: 参加者の健康管理のため、自身の健康記録を登録できるシステムもあり、参加者個人で入力できるほか、病院等の検査結果や処方箋が自動的に登録され、自身のパソコンやスマートフォンで参照できる。また、紐付けした医療機関ではその登録内容を参照できる。

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	--------------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連携地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中 予定	医薬品HOTコードマスタ、電子紹介状、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、臨床検査マスタ
-----------	-----------	---

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
----------	-----	--------	-----------	---------	-----	-----

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
------------	-------	---------	------	-----	----------	---------	------	-----

医療機関等 介護施設他 患者								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

主な関連IT企業	企業名(1) 株式会社NTTデータ	企業名(2)	企業名(3)
----------	----------------------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考

病院	0円	平成28年度まで		
診療所	0円	平成28年度まで		
薬局				
介護施設他	30,000円	臨床検査施設のうち一部は対象外		
患者	0円			

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担
実施予定		

システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担
実施予定		

都道府県: 千葉県 システムの名称: 地域診療情報連携ネットワーク  
 開始年: 2008年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-02-04

紹介関係にある患者の診療情報に対する相互利用

代表団体 1	団体名	総合病院国保旭中央病院				
	郵便番号	289-2511	住所	千葉県旭市イの1326		
	電話	0479-63-8111	FAX	0479-62-1185	担当者所属	医療連携福祉相談室、医療情報室

都道府県: 千葉県 システムの名称: 患者カルテ (PLANET)、共有カルテ  
 開始年: 2001年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-10-02

システムの概要:  
 患者カルテ＝患者さまの希望する医療機関の診療情報をインターネット経由で参照することが出来る。ログインは公共端末、自宅パソコンより参照可能。携帯電話のFOMAより参照出来たが今年8月31日でサービス終了し、スマートフォンにて閲覧出来るように開発中。  
 共有カルテ＝患者さまの選択した医療機関同士でカルテを共有できる仕組み。主に医師の連携に利用します。  
 どちらのシステムもXML形式で受信すればよいので、その形式で出力されればどのカルテ情報でも取り込むことが出来ます。

代表団体 1	団体名	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院		
	郵便番号	296-0041	住所	千葉県鴨川市東町929
	電話	04-7092-2211	FAX	
			担当者所属	カスタマーリレーション部
	担当者氏名	岩瀬 研吾	Eメール	iwase@kameda.jp

都道府県: 千葉県 システムの名称: ViewSend RAD-R (遠隔読影システム)  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-10-25

テレビ会議システムで、会議やカンファレンス、診療情報提供ができる  
 施設間でのオリジナルDICOM画像を用いたリアルタイムカンファレンスが可能。  
 依頼施設からの依頼状+画像の送信が可能  
 読影施設でのレポート作成を行える

代表団体 1	団体名	NPO法人医療福祉ネットワーク千葉										
	郵便番号	260-8717	住所	千葉県千葉市中央区仁戸名町666-2 がんセンター内								
	電話	043-268-6960	FAX	043-263-8175	担当者所属	どこでもマイカルテ研究会						
	担当者氏名	竜 崇正	Eメール	mryu@maple.ocn.ne.jp								
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定	4	10	10	5		予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		

都道府県： 千葉県 システムの名称： 医療機関ITネット  
 開始年： 2013年 略称・愛称：  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日：2013-12-17

医療連携に必要な診療情報提供書や千葉県共有地域医療連携バス等を電子化し、診療情報の共有や医療者間のコミュニケーションの向上を図る、地域医療ネットワークシステムである。

代表団体1	団体名	千葉県				
	郵便番号	260-8667	住所	千葉県千葉市中央区市場町1-1		
	電話	043-223-2609	FAX	043-222-9023	担当者所属	健康福祉部健康福祉政策課
システムの導入目的	医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク		
	どちらも言えない	どちらも言えない		どちらも言えない		
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート		
	どちらも言えない	どちらも言えない		どちらも言えない		
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減		医師の負担軽減		
	どちらも言えない	どちらも言えない		どちらも言えない		
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減		その他		
	どちらも言えない	どちらも言えない				
システムが現在抱えている課題：本年7月から稼働を始めたところであり、参加医療機関の拡大が課題である。						
対象地域	全県域での連携（千葉県）					
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他			
	医療機関等					
	介護施設等					
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、糖尿病				
	予定					
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、画像情報の共有				
	予定	在宅医療連携				
サービス利用・参加費用	実施中		実施予定			
	サービス費用(月額)	補足・備考		サービス費用(月額)	補足・備考	
	病院	0円	IPSec-VPNで1台の利用の場合、無料で接続可能（複数台接続の場合は、初期費用別途。）	IP-VPNを利用の場合（月9500円、初期費用別途。）	IP-VPNを利用の場合（月9500円、初期費用別途。）	
	診療所	0円	IPSec-VPNで1台の利用の場合、無料で接続可能（複数台接続の場合は、初期費用別途。）	IP-VPNを利用の場合（月9500円、初期費用別途。）	IP-VPNを利用の場合（月9500円、初期費用別途。）	
	薬局					
介護施設他						
患者						
システム構築費用負担者	実施中	厚労省、地域医療再生臨時特例交付金				
	実施予定					
システム運用費用負担者	実施中	国の負担、地域医療再生臨時特例交付金				
	実施予定					

都道府県: 千葉県 システムの名称: わかしお医療ネット  
 開始年: 2011年 略称・愛称: わかしお  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-10-22

代表団体 1	団体名			
	郵便番号		住所	千葉県
	電話		FAX	
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	

都道府県: 東京都 システムの名称: Health of Tokyo project  
 開始年: 2003年 略称・愛称: HOTプロジェクト  
 再生基金: 公開URL: <http://www.tokyo.med.or.jp/kaiin/inf/hot.html>

情報更新日: 2014-01-16

システムの概要: 平成15年に「受診者が自分の医療内容をよく理解し、効率的な治療や健康の維持増進をはかる」ことを目的に、東京都が実施する情報開示・地域医療連携推進モデル事業と連動する形で開始し、この理念を実現するネットワークとして「ほっとライン」を構築しました。しかしサービス開始から7年以上経ち、システムの旧式化や機器の老朽化などが懸念されるようになり、プロジェクトは平成23年より一時凍結中です。

代表団体 1	団体名	東京都医師会		
	郵便番号	101-8328	住所	東京都千代田区神田駿河台2-5
	電話	03-3294-8821	FAX	03-3292-7097
	担当者氏名	植西 裕	担当者所属	広報・医療情報課
			Eメール	kouhou@tokyo.med.or.jp
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 東京都 システムの名称: 能登北部地域医療連携システム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: のとほく. ネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.notohoku.net

情報更新日: 2013-12-09

IT戦略本部において策定された「新たな情報通信技術戦略 工程表」に記載されている『「どこでもMY病院」構想の実現』及び「シームレスな地域連携医療の実現」、ならびに国民の声への対処方針に基づき実証事業を実施する。

代表団体 1	団体名	株式会社電算				
	郵便番号	104-0061	住所	東京都中央区銀座8-10-5 電算ビル		
	電話	03-3572-5977	FAX	03-3575-9198	担当者所属	事業開発本部

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数
実施中						実施中	187	
予定	1	16	17			予定		

連携している 疾病の状況	実施中	
	予定	その他

提供している サービス状況	実施中	電子処方箋(実証等)、電子おくすり手帳、電子版糖尿病手帳、健診情報連携、画像情報の共有、患者用IDカードの発行、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院
	予定	電子紹介状、退院時サマリ

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

都道府県: 東京都 システムの名称: 東京医療センターWeb型電子カルテ参照システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: Web-NTMC  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-28

インターネット回線を利用して、東京医療センター電子カルテのほとんどの情報を参照するシステム。

代表団体1	団体名	国立病院機構東京医療センター										
	郵便番号	152-8902	住所	東京都目黒区東が丘2-5-1							担当者所属	医療情報部
	電話	0334110111	FAX	033412-811								
	担当者氏名	磯部 陽	Eメール	yisobe@ntmc.hosp.go.jp								
システムの導入目的												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
	対象地域 ( )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中		29				実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他										
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応										
	予定	遠隔カンファランス、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス										
補足・備考: 電子カルテの情報と放射線画像のほぼすべての参照												
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)	補足・備考					サービス費用(月額)	補足・備考				
	病院	0円										
	診療所	0円										
	薬局											
	介護施設他患者											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
システム構築費用負担者	実施中	平成22年度東京都地域診療情報連携推進事業(半額補助)										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	当院負担										
	実施予定											

都道府県: 東京都 システムの名称: リワーク情報連携システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/psychiatry/cn11/pg139.html>

情報更新日: 2014-01-24

「うつ病リワーク」に際し、主治医と産業医が情報共有しながら、復職を希望する患者の復職計画を作成するなどの支援を行う。

代表団体 1	団体名	イーソリューションズ株式会社		
	郵便番号	105-6017	住所	東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー17階
	電話	03-5733-5033	FAX	03-5733-5022
	担当者所属	ソーシャルビジネス事業部		
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 東京都 システムの名称: 小児疾患連携医療事業  
 開始年: 2011年 略称・愛称: T-PAN  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-17

**システムの概要:**  
 シームレスな地域連携医療を目指して、病院間連携、病院診療所間連携、医者と患者（経過観察情報等）の連携を対象とした機能を実装したシステムである。患者はぜん息及び食物アレルギーの経過情報を携帯電話及びスマートフォンを使用して、入力する。医師はその情報を元にした経過表を携帯情報端末を使用して、診療時に患者と共有する。また、その携帯情報端末からは、患者のHIS情報及び画像・アレルギーグラフ等を参照できる。

代表団体 1	団体名	日本システムサイエンス株式会社				
	郵便番号	102-0093	住所	東京都千代田区平河町2-4-14 平河町KSビル3階		
	電話	03-3262-4311	FAX	03-3262-4322	担当者所属	システム技術部

都道府県： 東京都 システムの名称： 周産期小児健康情報サービス  
 開始年： 2012年 略称・愛称： ぐんぐんルーム（今後、変更の可能性があります）  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日： 2014-01-24

どこでもMY病院構想事業の一貫として、主に、周産期から小児期に至る母子（親権者、及びサービス利用者本人）に対し、主体的な健康情報の登録・及び管理を可能とするシステム。  
 サービスは調査事業としての位置づけの範囲内においては運用開始済み

代表団体 1	団体名	日本電気株式会社										
	郵便番号	108-8001	住所	東京都								
	電話	03-3798-6756	FAX	03-3798-6871								
	担当者所属	医療ソリューション事業部 事業推進部										
システムの導入目的												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク									
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート									
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減									
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他									
対象地域	( )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			施設参加同意方法			
予定	2	4	2		1	予定			医療機関等 介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中	どこでもMY病院										
	予定	電子おくすり手帳、退院時サマリ、健診情報連携、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス										
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考						
病院	0円				0円							
診療所	0円				0円							
薬局					0円							
介護施設他												
患者	0円				0円							
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					
システム構築費用負担者	実施中	経産省										
	実施予定	経産省										
システム運用費用負担者	実施中	国の負担										
	実施予定	国の負担										

都道府県: 東京都 システムの名称: サイボウスLive  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: https://cybozulive.com/

情報更新日: 2013-11-30

サイボウス株式会社が提供する無料で利用できる汎用のグループウェアである。クラウドで稼働しており、サーバーは国産で一定のセキュリティ認証を受けている。システムの通信はSSLによる暗号化、ID/PWによるログイン制限、データを端末には残さないなど、最低限のセキュリティを備えている。汎用ではあるが、使い方を工夫することにより、非常に簡便かつ安全にセンシティブ情報を共有することが可能である。

代表団体1	団体名	サイボウス株式会社										
	郵便番号	112-0004		住所	東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル12F							
	電話			FAX			担当者所属					
	担当者氏名			Eメール								
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策、その他、医療と介護の連携											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	どちらも言えない				効果あり				効果あり			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	効果なし				効果あり				効果あり			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	どちらも言えない				どちらも言えない				どちらも言えない			
	看護士の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
	どちらも言えない				どちらも言えない				どちらも言えない			
対象地域	複数県にまたがる連携 (東京都)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	5	7	3	130	実施中	600	170	医療機関等			
	予定					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他										
	予定											
提供しているサービス状況	実施中	在宅医療連携、介護連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)										
	予定											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、臨床検査マスタ										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)			
	サイボウス株式会社				セコム医療情報システム株式会社							
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考		サービス費用(月額)	補足・備考							
	病院	0円		未定								
	診療所	0円		未定								
	薬局	0円		未定								
	介護施設他	0円		未定								
	患者	0円		未定								
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳							
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考				
	無料のサービス											
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定											

都道府県: 東京都 システムの名称: MIO Karte  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www.minamitama.jp/mio-karte/index.html

情報更新日: 2013-12-05

医療法人社団永生会の永生病院・永生クリニック・南多摩病院を中心とする医療機関の診療情報の共有のほか、東京都八王子市を中心に東京都・南多摩医療圏の病院・診療所に対して診療情報の共有を行うシステム													
代表団体1	団体名	医療法人社団永生会 地域医療連携システムネットワーク連絡協議会											
	郵便番号	193-0832	住所	東京都八王子市散田町3-10-1									
	電話	042-663-0111	FAX	042-662-5890	担当者所属	医療法人社団永生会南多摩病院システム室							
	担当者氏名	荒川 友博			Eメール	arakawa@minamitama.jp							
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	効果なし			効果なし				どちらとも言えない					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			効果あり				どちらとも言えない					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらとも言えない			効果なし				効果なし					
看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他						
効果なし			効果なし				効果なし						
システムが現在抱えている課題: 診療情報を公開する病院のグループ病院の診療情報の共有ニーズと、グループ病院外の診療情報の共有ニーズのずれがあり、グループ病院内での機能強化要望が強くあること。													
対象地域	複数県にまたがる連携 (山梨県・神奈川県)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	20	50			実施中	500	500	医療機関等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中												
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応											
	予定	遠隔医療、遠隔カンファランス、在宅医療連携、介護連携、画像診断サービス、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど											
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ、JAHS放射線データ交換規約、情報連携指針(JJ1017)											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	0円					0円						
	診療所	0円					0円						
	薬局	0円					0円						
	介護施設他	0円					0円						
患者	0円					0円							
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考		
実施中	20,000千円			100千円									
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担											

都道府県: 東京都 システムの名称: 平成25～26年度 地域医療連携の普及に向けた健康情報活用基盤実証事業  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-25

システムの概要:  
 患者による自己健康管理を促進すること、また、二次医療圏を超えた連携を行うため、能登北部・中部を実証フィールドとして、新たな実証事業を開始する。糖尿病を含めた複数の慢性疾患を管理可能なシステムを構築し、医療従事者等が疾病管理に活用することに加え、患者の自己健康管理の意識付けにつなげていくことにより、将来の重症化を防止する成果が期待できる。

代表団体 1	団体名	株式会社NTTデータ経営研究所				
	郵便番号	102-0093	住所	東京都千代田区平河町2 - 7 - 9 JA共済ビル10階		
	電話	03-5213-4110	FAX	03-3221-7022	担当者所属	ライフ・バリュー・クリエイション本部

都道府県: 東京都 システムの名称: 遠隔診断支援システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: e-PICUシステム  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-03-01

システムの概要:

遠隔診断支援システム(e-PICUシステム)は、以下の機能で構成されている。  
 ? 遠隔地患者の生体モニター情報の表示機能(一方向)  
 ? 遠隔地患者の患者映像の表示機能(一方向)  
 ? 遠隔地患者の放射線画像の表示機能(一方向)  
 ? 遠隔地患者のテレビ会議機能(遠隔地医師の映像の表示機能および通話機能)(双方向)  
 この4つの機能により、多摩北部医療センターにいる患者の、生体モニター情報、カメラ映像、放射線画像が小児総合医療センターHCUに設置してある4面モニターに映し出され、集中治療科医師がリアルタイムに診療支援することが可能となっている。

代表団体 1	団体名	都立小児総合医療センター			
	郵便番号	183-8561	住所	東京都府中市武蔵台2-8-29	
	電話	042(300) { FAX	042(312) {	担当者所属	事務局医事課医療連携係
	担当者氏名	松本仁美		Eメール	Hitomi_Matsumoto@member.metro.tokyo.jp

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院				
診療所				
薬局				
介護施設他				
患者				

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳				
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考
実施中	当該システムにかかる費用のみの切りわけが		当該システムにかかる費用のみの切りわけが		費用のみの切りわけが	費用のみの切りわけが		費用のみの切りわけが	費用のみの切りわけが
実施予定									

都道府県: 神奈川県 システムの名称: おひさまシステム  
 開始年: 2010年 略称・愛称: おひさまシステム  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-12-14

施設や在宅で療養する患者様の医療情報を連携する病院や施設・ケアマネージャー等の方々共有するシステム

代表団体 1	団体名	株式会社 Global Medic										
	郵便番号	241-0821	住所	神奈川県横浜市二俣川1-2-1 ライオンズステーションプラザ516号								
	電話	045-391-7590	FAX									
	担当者氏名	石井 佑宜	Eメール	yu-ki@zaitaku-clinic.net								
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定			8			予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		

都道府県: 神奈川県 システムの名称: 遠隔健康相談システム  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: <http://www.green-lifeinfra.com/>  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-12-17

代表団体 1	団体名	慶應義塾大学 グリーン社会ICTライフインフラ研究センター				
	郵便番号	〒212-0032	住所	神奈川県川崎市幸区新川崎7-1		
	電話	044-580-1612	FAX	044-580-1570	担当者所属	グリーン社会ICTライフインフラ研究センター事務局
	担当者氏名	古川 晴述			Eメール	info@green-lifeinfra.com

都道府県: 神奈川県 システムの名称: クラウド型地域包括ケアシステムKCIS  
 開始年: 2013年 略称・愛称: ケーシーズ  
 再生基金: 公開URL: http://japan-kcis.com

情報更新日: 2012-12-19

システムの概要:									
キョウメイシヨウケア理論に基づく認知症800万件のケア記録を基に、技術を駆使し、独自のノウハウを活用したシステム。未だ解決できていない医療と介護の連携・認知症ケアの手法まで対応するベネフィットを持ち、PCやスマホ・i-padで家族はもとより関係各職種間での情報共有が出来る。									
代表団体 1	団体名	株式会社KCIS							
	郵便番号	224-0032	住所	横浜市都筑区茅ヶ崎中央20-14-401					
	電話	045-949-2231	FAX	045-949-2231	担当者所属	本社			
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	
実施中						実施中			
予定	5	200	300	160	100	予定			
連携している 疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患							
	予定	胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他							
提供している サービス状況	実施中	在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院							
	予定	電子紹介状、遠隔カンファランス、電子処方箋(実証等)、電子おくすり手帳、退院時サマリ、健診情報連携、画像診断サービス、検査機関との連携							

都道府県: 神奈川県 システムの名称: 「在宅医ネットよこはま」システム  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-12-19

代表団体 1	団体名			
	郵便番号		住所	神奈川県
	電話		FAX	
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	

都道府県: 新潟県 システムの名称: 魚沼地域医療連携ネットワーク  
 開始年: 2014年 略称・愛称: うおぬま・米(まい)ねっと  
 再生基金: 公開URL: http://www.uonuma-mynet.org/

情報更新日: 2014-01-22

魚沼基幹病院(仮称)、魚沼地域、南魚沼地域及び十日町地域の一般病院及び診療所の間において、患者の紹介・逆紹介(連携バス)、医療機器の共同利用予約システムの利用、診療情報の共有、薬剤処方データ、健診・介護記録等の共有を行う。

代表団体 1	団体名	NPO法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会						
	郵便番号	949-6696	住所	新潟県				
	電話	025-788-0485	FAX	025-773-6699	担当者所属			
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他		
	医療機関等							
	介護施設他							
	患者							
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
	医療機関等							
	介護施設他							
	患者		-	-				
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)			企業名(3)		

都道府県: 新潟県 システムの名称: 佐渡地域医療連携ネットワークシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: さどひまわりネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.sadohimawari.net

情報更新日: 2013-12-02

新潟県佐渡市内の病院・医師診療所・歯科診療所・調剤薬局・介護福祉関連施設をネットワークで結び、住民の健康をみんなで支えるシステムです。

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人 佐渡地域医療連携推進協議会											
	郵便番号	952-1209	住所	新潟県佐渡市千種161 厚生連佐渡総合病院内									
	電話	0259-63-6376	FAX	0259-63-6359									
	担当者所属	新潟県厚生連佐渡総合病院											
システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策												
システム導入が必要になった地域の課題: 極端に少ない医療資源と地域住民の高度な高齢化													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得										
	どちらも言えない		効果なし										
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化										
	どちらも言えない		効果あり										
	地域中核病院にとって診療所からの支援		診療所にとって地域中核病院からのサポート										
	どちらも言えない		どちらも言えない										
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減										
	どちらも言えない		医師の負担軽減										
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減										
	効果なし		どちらも言えない										
システムが現在抱えている課題: ネットワーク利用を前提とした日常診療への啓蒙施設参加率を100%にしたい(現行7割) 機器更新に対する費用確保													
対象地域	二次医療圏での連携 (佐渡医療圏)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中	6	14	14		12	実施中	11,217		医療機関等				
予定				27		予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他				
連携している疾病の状況	実施中 大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、その他												
提供しているサービス状況	実施中 電子紹介状、介護連携、検査機関との連携、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど												
	予定 遠隔カンファランス、退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中 電子紹介状、JAHS臨床検査データ交換規約												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	日本ユニシス			パーチャレクス・コンサルティング									
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考							
	病院	0円	規模により異なる			0円	病院により異なる						
	診療所	25,000円	歯科診療所は¥20,000			0円							
	薬局	10,000円				0円							
	介護施設他	10,000円				0円							
患者					0円								
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
システム構築費用負担者	実施中	厚労省											
	実施予定	厚労省											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担											
	実施予定	参加施設の負担											

都道府県: 富山県 システムの名称: とやま医療連携ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-24

中核病院と地域の診療所間で診療情報等を相互に利用することにより、入院から在宅医療まで切れ目のない地域医療機能の連携を図ることができ、また、検査画像やレポート・カルテの閲覧により、重複検査・診療を回避し、医療費の抑制や患者利便性の向上を図る

代表団体 1	団体名	社団法人富山県医師会		
	郵便番号	939-8222	住所	富山県富山市蜷川336番地
	電話	076-429-4466	FAX	076-429-6788
	担当者氏名	毛利	担当所	業務係
			Eメール	sf-mouri@toyama.med.or.jp
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 富山県 システムの名称: 富山市地域医療連携システム  
 開始年: H18年 略称・愛称: たてやま医療連携ネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-01-31

電子カルテ閲覧機能 メール機能 予約機能 文書作成機能												
代表団体 1	団体名	富山市立富山市民病院										
	郵便番号	939-8511	住所	富山県富山市今泉北部町2-1								
	電話	076-422-1112	FAX	076-422-1154	担当者所属	ふれあい地域医療センター						
連携している 疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、肝炎、その他										
	予定											
提供している サービス状況	実施中	退院時サマリ、健診情報連携、画像情報の共有										
	予定											
連携方式	集中型										分散型	その他
情報共有形態	双方向										参照のみ	その他
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報 の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの バックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省 標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等					OD - VPN						
介護施設他						OD - VPN						
患者												
ログインセキュリテ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等							指紋登録				
介護施設他								指紋登録				
患者			-	-								
主な関連 IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				

都道府県: 富山県 システムの名称: 高岡医療圏地域医療連携システム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: れんけいネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-17

システムの概要: 高岡れんけいネットは、高岡医療圏における病院と診療所等における診療情報を共有し、緊密な医療連携を行うことにより、正確な診療情報に基づいた安心・安全な医療の提供と患者さんを中心とした一貫性のある切れ目のない医療の提供を実現するために構築されたネットワークシステムです。

代表団体 1	団体名	高岡医療圏地域医療連携システム協議会										
	郵便番号	933-8555	住所	富山県高岡市永楽町5番10号								
	電話	0766-21-3930	FAX	0766-24-9509	担当者所属	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院 地域医療連携室						
	担当者氏名	安田 由紀子			Eメール							
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	2	36				実施中	290	290	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		

都道府県: 富山県 システムの名称: 砺波医療圏医療情報連携システム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: となみ野メディカルネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-02-16

システムの概要: 砺波医療圏内の市立砺波総合病院、北陸中央病院、南砺市民病院、公立南砺中央病院、砺波医療圏急患センターの5つの公的医療機関をネットワークで結び各医療機関で有する診療情報を共有できるようにしたもの。

代表団体 1	団体名	砺波広域圏事務組合				
	郵便番号	939-1398	住所	富山県砺波市栄町7番3号		
	電話	0763-33-1111	FAX	0763-33-6922	担当者所属	
	担当者氏名				Eメール	

都道府県: 石川県 システムの名称: 脳卒中画像伝送システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2013-12-16

脳卒中において、自院の専門医または地域の専門医の閲覧専用携帯端末へCT画像等を送信するシステム

代表団体 1	団体名	能登脳卒中地域連携協議会		
	郵便番号	926-8605	住所	石川県七尾市富岡町94番地
	電話	0767-52-3211	FAX	
	担当者氏名		Eメール	

代表団体 2	団体名	加賀脳卒中地域連携協議会		
	郵便番号	921-8841	住所	石川県野々市市郷町262-2
	電話	076-246-7109	FAX	076-246-7109
	担当者氏名		Eメール	

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携
システム導入が必要になった地域の課題	脳血管疾患は要介護状態となる原因疾患の第1位である。脳血管疾患による後遺症の軽減には、円滑な救急搬送による迅速な治療の実施が重要であり、救急医療体制の強化が求められる。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果あり	どちらも言えない	どちらも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらも言えない	どちらも言えない	効果あり
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	どちらも言えない	どちらも言えない	転院搬送の円滑化に効果あり

対象地域	全県域での連携（石川県）
------	--------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	20					実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応
	予定	

補足・備考: 脳卒中において、自院の専門医または地域の専門医の閲覧専用携帯端末へCT画像等を送信するシステム

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院		保守費、回線費、通信費が発生		
診療所				
薬局				
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
	補足・備考	補足・備考	補足・備考	補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	43,756 千円		6,896 千円		1,683 千円		5,213 千円	
実施予定								

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担
	実施予定	

都道府県: 石川県 システムの名称: KISS (Keiju Infomation Spherical Sytem)  
 開始年: 2000年 略称・愛称: KISS (Keiju Infomation Spherical Sytem)  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-08

システムの概要: <small>重仙会グループのカルテを開業医に公開する。患者が開業医を受診し重仙会グループを紹介する場合に、患者同意の元公開を重仙会グループに申請。重仙会グループの主治医の同意が出た場合に開業医を限定して公開する。</small>				
代表団体 1	団体名	社会医療法人財団 重仙会 恵寿総合病院		
	郵便番号	926-0824	住所	石川県
	電話	0767-52-3211	FAX	0767-52-7483
	担当者氏名	直江 幸範	Eメール	naoe@keiju.co.jp
システムの導入目的	医療連携			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	
	看護士の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない		
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 石川県 システムの名称: KISS (Keiju Infomation Sphercal System)  
 開始年: 2000年 略称・愛称: KISS (Keiju Infomation Sphercal System)  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-10-01

システム概要: けいじゅヘルスケアシステム (社会医療法人重仙会 社会福祉法人徳充会) の各施設の医療・介護・健診情報を統一IDで結び、グループ内であればすべて参照可能・入力可能な生涯カルテとして運用

代表団体 1	団体名	社会医療法人財団 重仙会		
	郵便番号	926-8605	住所	石川県
	電話	0767-52-3211	FAX	0767-52-7483
	担当者氏名	直江 幸範	Eメール	naoe@keiju.co.jp
	担当者所属	本部事務局 情報管理課 兼 企画開発課		

都道府県: 石川県 システムの名称: 医療情報連携システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: iProject  
 再生基金: 公開URL: 未定

## システムの概要:

情報更新日: 2014-01-27

この医療情報連携システムは、浪速区医師会様にて稼働を予定しているシステムです。  
 本システムは、以下に示す3つの目的があります。  
 災害時等のデータ保護と短期間での診療再開  
 救急搬送時の迅速な対応  
 医療費の削減（過剰受診の軽減、薬剤の重複投与の軽減）  
 本システムでは、病院・診療所等々で実施される血液検査の結果、及び処方された薬剤情報を医療情報クラウドで共有することにより、病院・診療所間の医療情報連携を行います。  
 医療情報はタブレット端末で参照することができ、また共有する情報を、検査結果と薬剤情報に限定することで、電子カルテを導入していない診療所でも気軽に参加できるシステムです。  
 またシステム固有の患者IDを利用することなく、普段病院や診療所で利用しているカルテ番号を使って医療情報の検索を行う事ができるため、これまでの環境を変えることなく参加できます。  
 このシステムでは、医療情報クラウド内の患者情報について、特許出願済(特願平2012-90270)のシステム構成、およびセキュリティ対策を用いて保護します。

代表団体 1	団体名	株式会社管理工学研究所				
	郵便番号	920-0853	住所	石川県金沢市本町1-5-2 リファーレ6階		
	電話	076-265-4666	FAX	076-265-4669	担当者所属	ビジネスソリューション事業部
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他	
対象地域	市町村単位での連携（大阪市浪速区）					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用		学術研究等の公益目的で利用		統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 石川県 システムの名称: いしかわ診療情報共有ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-16

病院の電子カルテ等の情報を他の医療機関でも閲覧できるシステム。(地域医療再生基金を活用)

代表団体1	団体名	いしかわ診療情報共有ネットワーク協議会											
	郵便番号	920-8660	住所	石川県金沢市鞍月2丁目48									
	電話		FAX		担当者所属								
	担当者氏名				Eメール								
システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、疾病管理												
システム導入が必要になった地域の課題: 常勤医師の確保のため、医師を招聘しやすい環境を整備する必要がある。													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他				
	対象地域												全県域での連携 (石川県)
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中						実施中			医療機関等				
予定	32	390				予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中												
	予定 脳血管障害												
提供しているサービス状況	実施中												
	予定 退院時サマリ、在宅医療連携、画像情報の共有												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中												
	予定 医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHS臨床検査データ交換規約、JAHS放射線データ交換規約												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)					
	日本電気株式会社(株式会社SEC)												
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考				
	病院						50,000円		ID-Linkサービス利用料(200-300床)				
	診療所						未定		今後検討(当面は無料)				
	薬局												
介護施設他													
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間		補足・備考		その他費用/年間		補足・備考
	実施中			実施予定									
460,068千円			事業者への補助額			7,541千円		事業者への補助額		7,541千円			
システム構築費用負担者	実施中												
	実施予定 参加施設の負担、自治体の負担、厚労省												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定 参加施設の負担、自治体の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、国の負担												

都道府県: 石川県 システムの名称: のとでもMyライフ(仮称)  
 開始年: 2012年 略称・愛称: のとMy  
 再生基金: 公開URL: 非公開

情報更新日: 2013-12-17

システムの概要:  
 本事業の前身である平成22年度「医療情報化促進事業」「のどの私のMy病院」事業では、どこでもMy病院構想の実現において、ITリテラシーが低い、また認知症を発症する可能性のある高齢者母集団を対象とする場合のモデルケースを構築することを目的とし、実際に、高齢化率の高い地域におけるどこでもMy病院の実証事業を行った。平成23年度「東北復興に向けた地域ヘルスケア構築推進事業」(以下、本事業)では「のどの私のMy病院」の成果・課題を踏まえ、主に在宅介護を受けている高齢者がどこでもMy病院を利用することにより、自らの意思で健康管理を行い、住み慣れた地域で安心して生活が送れるような環境を提供することをシジョンとした高齢者向けどこでもMy病院事業モデルの構築を目指す。本事業のルールや仕組みの検討・検証の成果については、東日本大震災の被災地または被災地を支援する地域において、在宅介護を受ける高齢者やその家族が安心・安全な生活を継続し、サポートを受けられる環境づくりへ活用されることを目指す。また、救急時や災害時における、どこでもMy病院の運用ルール、救急現場や災害現場での心息処置や医療機関による活用について調査することで、東日本大震災の被災地または被災地を支援する地域において、被災者が安心して医療を受けられることを目指す。また、本事業の成果として高齢者向けどこでもMy病院事業モデルを、他の高齢化率の高い地域にも展開し、継続的に広く活用されることを目指し実証事業を実施した。

代表団体 1	団体名	社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院		
	郵便番号	926-8605	住所	石川県七尾市富岡町94番地
	電話	0767523211	FAX	0767527483
	担当者所属	本部事務局 総務部 企画開発課		

都道府県: 石川県 システムの名称: 百万石メディネット  
 開始年: 2006年 略称・愛称: 百万石メディネット  
 再生基金: 公開URL: <http://www.kanazawa-hosp.jp/medical/community04.htm>

情報更新日: 2012-10-23

システムの概要:  
地域医療連携システム

代表団体 1	団体名	金沢医療センター 地域医療連携室				
	郵便番号	920-8650	住所	石川県金沢市下石引1-1		
	電話	076-262-4161	FAX	FAX 076-222-2758	担当者所属	医療情報管理部
	担当者氏名	吉村光弘		Eメール	FAXでの連絡を希望	

都道府県: 石川県 システムの名称: 能登北部遠隔医療・地域医療連携システム  
 開始年: 2009年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-12-12

能登北部医療圏では高齢化が進行するとともに医師不足が顕在化しており、地域医療機能の低下、自治体病院の経営状態悪化の要因となっている。このような状況の改善を目的に、能登北部医療圏の入口に位置する公立穴水総合病院に対して、遠隔医療支援システムを用いて金沢医科大学病院が支援し、さらに公立穴水総合病院と地域の診療所間に遠隔医療連携システムを導入し、公立穴水総合病院の医師不足による医療機能を改善し、同時に診療所を含む地域全体の医療機能の改善に取り組む。

代表団体 1	団体名	穴水町														
	郵便番号	927-0027														
	住所	石川県鳳珠郡穴水町字川島らの174番地														
	電話番号	(0768)52		FAX	(0768)52		担当者所属	公立穴水総合病院 管理課								
担当者氏名	樋爪 友一					Eメール	hospital@town.anamizu.lg.jp									
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他				
実施中	2	8				実施中			医療機関等							
予定						予定			介護施設等							
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他			
連携している疾病の状況	実施中															
	予定															
提供しているサービス状況	実施中 遠隔医療															
	予定															
連携方式	集中型	分散型	その他													
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他													
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	ブライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他				
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他						
厚生労働省標準規格	実施中															
	予定															
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他										
医療機関等																
介護施設他																
患者																
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他								
医療機関等																
介護施設他																
患者																
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)									
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定									
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考							
病院	0円															
診療所	0円															
薬局																
介護施設他																
患者																
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳									
			補足・備考						補足・備考							
実施中	47,693千円						7,477千円		保守費/年間		補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
実施予定									3,800千円				3,677千円			
システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担														
	実施予定															
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担														
	実施予定															

都道府県: 石川県 システムの名称: 金沢大学附属病院継続診療システム  
 開始年: 2002年 略称・愛称: たまひめネット  
 再生基金: 公開URL: http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/tamahime

情報更新日: 2014-01-13

## システムの概要:

本院での医療情報を、患者さんが受診される医療機関でインターネット回線を用いて参照いただけるシステムです。参照できる医療情報は、薬の処方、検体検査、注射、画像及びバイタルチャートの各データです。

代表団体 1	団体名	金沢大学附属病院											
	郵便番号	9 2 0 - 8 6 4		住所	石川県金沢市宝町 1 3 - 1								
	電話	0 7 6 - 2 6 5 - 4		FAX	0 7 6 - 2 3 4 - 4		担当者所属	医事課地域医療連携係					
	担当者氏名						Eメール						
連携方式	集中型			分散型								その他	
												その他	
情報共有形態	双方向			参照のみ								その他	
												その他	
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他		不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
													その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他		情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)				
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定								
	サービス費用(月額)		補足・備考		サービス費用(月額)		補足・備考						
	0 円												

都道府県: 福井県 システムの名称: ふくい医療情報連携システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: ふくいメディカルネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.fukui.med.or.jp/fukuimedical-net/iryuu/index.html

情報更新日: 2013-12-07

福井県全体を網羅する医療情報連携システムである。診療情報を患者の同意のもと複数の情報開示病院と情報閲覧医療機関間で共有する。医療機関等における紹介状、返書、検査予約参照、診療情報共有、画像参照・画像送信、情報交換ツール、地域連携パスなどを用いることにより、本システムに参加する医療機関等の医療・介護サービスに反映することで安全で安心な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指す。

代表団体1	団体名	ふくい医療情報連携システム運営協議会																		
	郵便番号	〒910-0001	住所	福井県福井市大願寺3丁目4番10号							電話	(0776)24-0387(代) FAX (0776)21-6641		担当者所属	一般社団法人 福井県医師会					
システムの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策、疾病管理																			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化					医療機関間の知識やノウハウの伝達習得					医療機関間の人的ネットワーク									
	医師の偏在を補う効果					患者紹介の円滑化					診療所にとって地域中核病院からのサポート									
	地域中核病院にとって診療所からの支援					業務全体の負担軽減					医師の負担軽減									
	看護師の負担軽減					事務職員の負担軽減					その他									
	対象地域																			
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他								
	実施中					実施中			医療機関等											
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意					施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他							
連携している疾病の状況	実施中																			
	予定 脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん																			
提供しているサービス状況	実施中																			
	予定 電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、画像情報の共有、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど																			
補足・備考: 基本的には閲覧システムであるが、紹介状やメールの添付機能により1対1で双方向通信が可能である。画像についても閲覧だけでなく、1対1で取り込みが可能である。FAX連携機能を有している。																				
連携方式	集中型					分散型					その他									
	閲覧医療機関からのアップロード情報等はサーバーに保存される。																			
情報共有形態	双方向					参照のみ					その他									
	基本的には参照であるが、一部の機能を使えば双方向での共有が可能。																			
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他			不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他						
	連携用情報の保管場所																			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中																			
	予定 医薬品HOTコードマスタ、ICD10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ、JAHS放射線データ交換規約																			
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他														
	医療機関等																			
ログインセキュリティ	2要素認証 ID/Pass HPKI PKI その他ICカード USBトークン 生体認証																			
	医療機関等														+ 機体認証	その他				
主な関連IT企業	企業名(1)					企業名(2)					企業名(3)									
サービス利用・参加費用	実施中																			
	サービス費用(月額)					補足・備考					サービス費用(月額)					実施予定				
病院																				
診療所																				
薬局																				
介護施設他																				
患者																				
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用					学術研究等の公益目的で利用					統計結果の公益目的以外で利用									
構築・運用費用概算	構築費用					運用費用					運用費用内訳									
	補足・備考					補足・備考					保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考				
実施中																				
実施予定																				
システム構築費用負担者	実施中																			
	実施予定 厚労省																			
システム運用費用負担者	実施中																			
	実施予定 参加施設の負担、国の負担																			

都道府県: 福井県 システムの名称: TRITRUS (トリトラス)  
 開始年: 2013年 略称・愛称: TRITRUS (トリトラス)  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-13

システムの概要: ・クラウド型ITシステム ・主な機能 「ケアレポート」...多職種で情報交換や相談ができる掲示板 「フェイスシート」...治療・ケアの基本情報を集約して共有 「カレンダー」...多職種のサービス提供状況が分かるカレンダー													
代表団体 1	団体名	福井県											
	郵便番号	910-8580		住所	福井県福井市大手3丁目17-1								
	電話	0776-20-0332		FAX	0776-20-0642		担当者所属	健康福祉部長寿福祉課					
	担当者氏名	中村敬吾					Eメール	k-nakamura-qi@pref.fukui.lg.jp					
代表団体 2	団体名	坂井地区広域連合											
	郵便番号	919-0526		住所	福井県坂井市坂井町上兵庫40-15								
	電話	0776-72-3305		FAX	0776-72-3306		担当者所属	介護保険課					
システムの導入目的	在宅医療対策												
システム導入が必要になった地域の課題: ・在宅医療・介護に携わる多職種スタッフの連携強化													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			効果あり				効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	効果あり			どちらも言えない				どちらも言えない					
看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他						
どちらも言えない			どちらも言えない										
システムが現在抱えている課題: ・システムで入力可能な各項目(フェイスシート上の治療・ケア情報など)について、入力を行う時期・担当職種・必須項目などのルールづくりが必要													
対象地域	市町村単位での連携 (あわら市および坂井市)												
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他										
	医療機関等												
	介護施設等												
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中												
	予定												
提供しているサービス状況	実施中												
	在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど P Cアクセスサービス、モバイルアクセスサービス												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
						カナミッククラウドサービス		ストレージ					
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中												
	医薬品HOTコードマスタ IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、電子紹介状、JAHS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスタ、臨床検査マスタ												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
	介護施設他患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
	介護施設他患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)					
	株式会社カナミックネットワーク												
システム構築費用負担者	実施中												
	その他で負担												
システム運用費用負担者	実施中												
	自治体の負担												

都道府県: 山梨県 システムの名称: 慢性疾患診療支援システム  
 開始年: 2004年 略称・愛称: マイ健康レコード  
 再生基金: 公開URL: http://www.manseisien.jp/

情報更新日: 2012-10-02

保健医療福祉サービスの効率化、適正化を目的に、山梨県を中心とした医療機関がITを使う情報共有することで相互に連携する「診療連携システムの構築」を進めております。  
 更に患者ご本人とご家族が積極的に診療に参加する「医療者と患者の連携」のため、患者さん自身が自分のデータを管理できるシステムも進めております。

代表団体 1	団体名	NPO法人慢性疾患診療支援システム研究会				
	郵便番号	409-3898	住所	山梨県中央市下河東1110		
	電話	070-6652-9635	FAX	055-273-9122	担当者所属	山梨大学医学部眼科学講座
	担当者氏名	柏木 賢治	Eメール	info@manseisien.jp		

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	2	28	1		3	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	---------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	肝炎、その他
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	電子おくり手帳、退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス
	予定	遠隔医療、電子処方箋(実証等)、どこでもMY病院

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円	眼科用の一部有料プログラムあり		
診療所	0円	眼科用の一部有料プログラムあり		
薬局	0円			
介護施設他	0円			
患者	0円			

都道府県: 山梨県 システムの名称: 富士・東部地域患者情報共有システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: Ft-Net  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-12

Ft-Netは患者様がどのような薬を服用しているか、どのような検査を行いどのような結果であったかを富士・東部地域の医療機関等が共有し、患者様の診療に役立てるためのシステムです。  
 Ft-Netの活用により、かかりつけ医以外での受診や救急時等、最善の医療が受けられるだけでなく、重複投薬、重複検査の防止にもつながります。

代表団体1	団体名	一般社団法人 富士吉田医師会										
	郵便番号	403-0013		住所	山梨県富士吉田市緑ヶ丘2-7-21							
	電話	0555-22-5186		FAX	0555-24-3746		担当者所属					
	担当者氏名	立澤教夫					Eメール	mac@etude.ocn.ne.jp				
システムの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
対象地域	その他 ( 富士・東部地域 )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	5				実施中			医療機関等			
	予定	68				予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定											
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)			
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考			
病院												
診療所												
薬局												
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中												
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中											
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中											
	実施予定											

都道府県： 山梨県 システムの名称： 峡南地域患者情報共有システム  
 開始年： 2014年 略称・愛称： K O M P A S  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日： 2014-03-26

山梨県峡南地域の医療機関等をセキュアなネットワークで接続し、患者の診療情報を共有することにより、医療連携を緊密に行うシステム。

代表団体1	団体名	社会保険鯉沢病院										
	郵便番号	400-0061		住所	山梨県							
	電話	0556-22-3135		FAX	0556-22-3884		担当者所属	施設課				
	担当者氏名	鶴味					Eメール					
システムの導入目的	医療連携											
システム導入が必要になった地域の課題： 救急をはじめとする医療提供体制の立て直しや在宅医療の充実等が課題となっている。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
対象地域	二次医療圏での連携（ 峡南医療圏 ）											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定	6	24				予定	5,640	25	介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定 電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
	病院は双方向、病院以外の診療所等は参照のみ											
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定 電子紹介状、デジタル画像と通信(DICOM)											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	(株)ウインテックコミュニケーションズ			(株)ワイ・シー・シー								
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)		補足・備考			サービス費用(月額)		補足・備考				
	病院					0円	システムのサーバ等の負担あり					
	診療所					417円	年額5,000円					
	薬局					417円	年額5,000円					
介護施設他					417円	年額5,000円						
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考		補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
	実施中					447千円			20千円			
実施予定	179,600千円		467千円									
システム構築費用負担者	実施中											
	実施予定 地域医療再生基金											
システム運用費用負担者	実施中											
	実施予定 地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担											

都道府県: 長野県 システムの名称: 信州メディカルネットワークシステム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: 信州メディカルネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.shinshu-medicalnet.org

情報更新日: 2013-12-19

システム概要: 信州メディカルネットワーク協議会が運営する「信州メディカルネット」は、IT(情報通信技術)を用いた医療連携により、地域に発生する診療情報を患者さんの同意のもとで複数の医療機関で共有することによって、関連医療機関における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し自施設の診療に反映させることで、安全で高品質な医療を提供し地域医療の質の向上を目指すものです。このシステムは、電子カルテが導入されている医療機関の患者さんに関して、紹介・逆紹介の際に迅速かつ詳細な情報共有を可能にします。

代表団体 1	団体名	信州メディカルネットワーク協議会					
	郵便番号	390-8621	住所	長野県松本市旭3-1-1			
	電話	0263-37-3174	FAX	0263-37-2854			
	担当者所属	事務局					

システムの導入目的	医療連携
システム導入が必要になった地域の課題: 二次医療圏内のみならず、二次医療圏を超えた医療機能連携や高次医療の提供	

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらも言えない	どちらも言えない	効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果あり	どちらも言えない	どちらも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	どちらも言えない	どちらも言えない	

システムが現在抱えている課題: ・診療情報を提供する中核病院が負担する地域医療連携システムの導入経費が高額・ベンダーが異なる地域医療連携システム間の連携、相互利用

対象地域	全県域での連携 (長野県)
------	---------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	19	39				実施中	700	700	医療機関等			
予定												

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	その他
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有
	予定	在宅医療連携、医療従事者用モバイル対応

補足・備考: 各公開病院毎の方針により項目を指定して診療情報を公開

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダーのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	-------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	予定
-----------	-----	----

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	富士通	NEC	

サービス利用・参加費用	実施中				実施予定			
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考		
	病院	10,000円	公開病院のみ10000円、非公開参照病院は無料(別途協議会入会が必要(年会費未定))					
	診療所	0円	別途協議会入会が必要(年会費5000円)		未定			
	薬局				0円	別途協議会入会が必要(年会費5000円)		
介護施設他								
患者								

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
	実施中	12,000千円	2,000千円			2,000千円	
実施予定							

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、厚労省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担
	実施予定	

都道府県: 長野県 システムの名称: 慈泉会診療情報開示システム  
 開始年: 2002年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www2.ai-hosp.or.jp/

情報更新日: 2013-12-12

社会医療法人財団慈泉会の、相澤病院・地域在宅医療支援センターに於ける、医療情報の開示を閉域網内で行う。

代表団体1	団体名	社会医療法人財団慈泉会											
	郵便番号	390-8510	住所	長野県松本市本庄2-5-1									
	電話	0263-33-8600	FAX	0263-32-6763	担当者所属	情報システム部							
	担当者氏名	熊井 達			Eメール	jyousys@ai-hosp.or.jp							
システムの導入目的	医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化 効果あり				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	対象地域											二次医療圏での連携 ( )	
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	4	113	17	2	実施中			医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、糖尿病											
	予定												
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど											
	予定	遠隔医療、遠隔カンファランス、画像診断サービス、検査機関との連携、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院											
連携方式	集中型											その他	
	分散型	現在タイムライン連携システムで統合表示方式に変更中											
情報共有形態	双方向											その他	
	参照のみ	タイムライン連携システムに情報統合											
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、標準歯科病名マスタ、臨床検査マスタ											
	予定	医療波形フォーマット、JAHS臨床検査データ交換規約、情報連携指針(JJ1017)											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等					直接LAN接続							
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)					
	NTT東日本			ソフトウェアサービス									
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	0円					未定						
	診療所	0円					未定						
	薬局	0円					未定						
介護施設他	0円					未定							
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間		補足・備考	
	実施中	6,000千円			1,600千円			120千円					
実施予定	12,000千円						2,000千円						
システム構築費用負担者	実施中	厚生省											
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担											
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担											

都道府県: 岐阜県 システムの名称: 岐阜県包括的地域ケアネットワーク  
 開始年: 2011年 略称・愛称: はやぶさネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-18

有床診療所・無床診療所・病院・介護・福祉施設・行政機関等における情報の共有、相互連携、機能補完等を図ることを目的とした、より有効な地域包括ケアシステム

代表団体 1	団体名	一般社団法人 岐阜県医師会										
	郵便番号	500-8510	住所	岐阜県岐阜市藪田南三丁目5-11								
	電話	058-274-1111	FAX	058-271-1651	担当者所属	事業課						
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	23	481		178	15	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		

都道府県: 岐阜県 システムの名称: 病院間医療情報連携システム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 救急医療搬送システム(岐阜県のP J名称)  
 再生基金: 公開URL: http://gifu99.jp/index.php/component/content/frontpage.html

情報更新日: 2013-12-18

システムの概要: 救急搬送等で病院に搬送された患者さんを、病院間でレントゲン等の患者情報を共有しTVカメラを実施することで転送判断を支援するシステムです。  
 (県内連携病院をVPN回線で接続し、MEDICAカードをプラットフォームとしているGEMITSシステムの5つのモジュールの内の1つで、現在本稼働中のものです。GEMITSについては別シートで回答します。)現在12病院が接続しているが今後岐阜県内の20病院まで、拡張する予定です。

代表団体1	団体名	特定非営利活動法人 岐阜救急災害医療研究開発機構											
	郵便番号	501-1194		住所	岐阜県岐阜市柳戸1番1 岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野内NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構								
	電話	058-230-6447		FAX	058-230-6458		担当者所属	特定非営利活動法人 岐阜救急災害医療研究開発機構					
	担当者氏名	早矢仕 あゆみ					Eメール	hayasi@gifu99.jp					
システムの導入目的													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他				
	対象地域 ( )												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中 予定	12					実施中 予定			医療機関等 介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、心臓疾患											
	予定	大腿骨頸部骨折、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他											
提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、遠隔カンファランス、画像情報の共有											
	予定	健診情報連携											
連携方式	集中型											分散型	その他
情報共有形態	双方向											参照のみ	その他
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)											
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等 介護施設他 患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等 介護施設他 患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)				
	O K I				株式会社 パケモ								
サービス利用・参加費用	実施中												
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)				補足・備考			
	病院	75,000 円				未定							
	診療所												
	薬局												
	介護施設他 患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用				運用費用				運用費用内訳				
	補足・備考				補足・備考				保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考	
	実施中	170,000 千円				10,000 千円				9,000 千円		1,000 千円	
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担											
	実施予定												

都道府県: 岐阜県 システムの名称: GEMITS  
 開始年: 2013年 略称・愛称: 救急医療体制支援システム  
 再生基金: 公開URL: http://gifu99.jp/index.php/component/content/frontpage.html

情報更新日: 2013-12-18

GEMITSで構築する仕組みは、「救急患者が最短時間で最適な医療チームに搬送され、最適な治療を受ける」地域救急医療の最適化を実現するものである。  
 システムモジュール  
 ・救急車適正利用トリアージシステム(総務省委託事業)  
 ・病院前医療連携システム(経済産業省委託事業)  
 ・病院間医療情報連携システム(総務省委託事業) -> 本稼働 回答済み  
 ・I D連携システム(総務省委託事業)  
 ・緊急介護支援システム(総務省)

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人 岐阜救急災害医療研究開発機構				
	郵便番号	501-1194	住所	岐阜県岐阜市柳戸1番1 岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野内NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構		
	電話	058-230-6447	FAX	058-230-6458	担当者所属	事務局
	担当者氏名	早矢仕あゆみ		Eメール	hayasi@gifu99.jp	

システムの導入目的

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他

対象地域 ( )

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)									
	予定										

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
----------	--------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
	病院	75,000 円 別シートで回答 重複	未定	
	診療所			
	薬局			
介護施設他		未定		
患者		未定		

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
	実施中	170,000 千円 別シートで回答済みと重複10,000 千円	別シートで回答済みと重複	9,000 千円	別シートで回答済みと重複	1,000 千円	別シートで回答済みと重複	
実施予定	700,000 千円	4システム合算額	未定	未定	未定	未定	未定	

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担、経産省、総務省
	実施予定	未定

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担
	実施予定	未定

都道府県: 岐阜県 システムの名称: 大垣市民病院医療連携ネットワークシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称: オーエムネット (OMNet)  
 再生基金: 公開URL: http://www.ogaki-mh.jp/medical/omnet/index.html

情報更新日: 2013-12-09

当院で行った診療経過や検査結果について、診療所の医師・歯科医師がインターネット回線を介して、迅速で正確に患者情報を閲覧できるようネットワークを構築し、地域の診療所における安心・安全で、一貫した医療の提供を実現する体制を整備するもの。

代表団体 1	団体名	大垣市民病院		
	郵便番号	503-8502	住所	岐阜県大垣市南類町4丁目8番地
	電話	0584-81-3341	FAX	0584-77-0859
	担当者氏名	宇佐美徹弥	Eメール	tetsuya_usami@city.ogaki.lg.jp

システムの導入目的	医療連携
-----------	------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらも言えない	どちらも言えない	効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	どちらも言えない	効果あり	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	どちらも言えない	効果なし	診療所から「投薬内容の確認作業省略」「市民病院入院後の経過が分

システムが現在抱えている課題: システム運用主体側(自治体)の人的・費用的負担の増加

対象地域	二次医療圏での連携(西濃医療圏)
------	------------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中		40				実施中	1,300	1,300	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	---------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中
	予定

提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有、情報共有(掲示板など)
	予定	

補足・備考: 閲覧できる当院保管患者情報: 処方(内服・注射)、画像・レポート、検体検査結果、診療情報提供書、退院サマリ。

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院				
診療所	0円			
薬局				
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、大垣市民病院企業会計より支出
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担、大垣市民病院企業会計より支出
	実施予定	

都道府県: 岐阜県 システムの名称: 岐阜県地域医療ネットワーク  
 開始年: 2014年 略称・愛称: ぎふ医療ネット(仮称)  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-10

最新の検査データや画像データ等を参照することにより、外来や在宅医療に役立てる

代表団体 1	団体名	岐阜県医師会				
	郵便番号	500-8510	住所	岐阜県岐阜市藪田南3-5-11		
	電話	058-274-1111	FAX	058-271-1651	担当者所属	庶務課
	担当者氏名	長野愛子			Eメール	naiko-j@gifu.med.or.jp

都道府県： 静岡県 システムの名称： ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル  
 開始年： 2011年 略称・愛称： ふじのくにねっと  
 再生基金： 公開URL： http://www.fujinokuni-net.jp/

情報更新日： 2013-12-18

複数の開示施設と複数の参照施設で診療情報を共有できるN対Nの連携システム

代表団体1	団体名	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会											
	郵便番号	420-8527	住所	静岡県									
	電話	054-247-6111	FAX	054-247-6140	担当者所属	静岡県立総合病院 地域医療ネットワークセンター							
	担当者氏名	竹内福弥			Eメール	fukuya-takeuchi@shizuoka-pho.jp							
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携												
システム導入が必要になった地域の課題： 医師不足、都市部への医療機関集中による地域偏在、東海地震発生時の情報連携													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	効果あり			効果なし				効果なし					
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	効果なし			効果なし				効果なし					
システムが現在抱えている課題： 機器更新費用													
対象地域	全県域での連携（静岡県）												
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他										
	医療機関等 介護施設等												
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中												
	予定	脳血管障害、胃・大腸がん、その他のがん、その他											
提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、退院時サマリ、画像情報の共有、Eメール・メルマガなど											
	予定	医療従事者用モバイル対応、診療・検査予約											
補足・備考： 参加している各中核病院によってサービスが異なる為、一概にすべて行っているわけではない。													
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
			将来的に行う必要性はあると思っているが、現在の計画にはない。										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)											
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
	介護施設他 患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
	介護施設他 患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	富士通株式会社												
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	0円					未定						
	診療所	0円					未定						
	薬局	0円					未定						
	介護施設他 患者	0円					未定						
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				

都道府県: 静岡県 システムの名称: 静岡県版在宅医療連携ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www.shizuoka.med.or.jp/zaitaku-c/

情報更新日: 2013-12-19

システムの概要: ・静岡県地域医療再生計画「静岡県在宅医療推進センター事業」の一環として実施 ・在宅医療・在宅療養に取り組む医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等の関係機関が、患者の最新の医療情報を共有化して、円滑な連携を図るためのシステム ・システムの機能等を検証するため、都市医師会単位にてモデル事業を実施することとし、平成25年度末までに、概ね10都市医師会において実証実験を実施													
代表団体1	団体名	静岡県医師会											
	郵便番号	420-0839		住所	静岡県静岡市葵区鷹匠3-6-3								
	電話	054-246-6151		FAX	054-245-1396		担当者所属	事務局業務課					
	担当者氏名	中山徳幸					Eメール	nakayama@jim.shizuoka.med.or.jp					
システムの導入目的	在宅医療対策												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				効果あり 診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他				
	システムが現在抱えている課題: 静岡県地域医療再生計画事業期間終了後の事業費負担												
対象地域	その他 (10都市医師会によるモデル事業)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	13	115			実施中			医療機関等				
予定			10		82	予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス									
	静岡県医師会館	静岡県在宅医療推進センター	相模センター	連隔地待機系サーバ他地域との複製共有 別媒体 特別な対策無し その他									
厚生労働省標準規格	実施中												
	予定 医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、JAHIS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
	介護施設他												
	患者												
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)				
	株式会社SBS情報システム												
サービス利用・参加費用	実施中												
	サービス費用(月額)	補足・備考					サービス費用(月額)	補足・備考					
	病院	0円	静岡県3次医療圏再生推進事業費補助金の交付期間(平成25年度末まで)において。なお、サービス利用時の通信料は自己負担。										
	診療所	0円	静岡県3次医療圏再生推進事業費補助金の交付期間(平成25年度末まで)において。なお、サービス利用時の通信料は自己負担。										
	薬局	0円											
	介護施設他	0円						未定					
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、厚生省、ユーザーが使用する端末機器の購入費用等については自己負担											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担、国の負担											
	実施予定												

都道府県: 静岡県 システムの名称: 磐周医師会ホームページ  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: https://fm-bansyuishi-net/  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-28

地域住民への情報発信あるいは会員同士の情報共有のためのホームページ

代表団体 1	団体名	磐周医師会				
	郵便番号	437-0051	住所	静岡県袋井市深見138-2		
	電話	0538-49-4545	FAX	0538-49-4555	担当者所属	理事

システムの導入目的 救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理

システム導入が必要になった地域の課題: 医師会の地域範囲が広く複数市町村にわたっているため情報共有・情報発信を効率的にしたい。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果なし	効果なし	効果なし
医師の偏在を補う効果	効果なし	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
効果なし	効果なし	効果なし	効果なし
地域中核病院にとって診療所からの支援	効果なし	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
効果なし	効果なし	どちらとも言えない	効果なし
看護師の負担軽減	効果なし	事務職員の負担軽減	その他
効果なし	効果なし	効果なし	

システムが現在抱えている課題: IT連携に参加する会員が少ない

対象地域 市町村単位での連携 (袋井浜松磐田)

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
									医療機関等 介護施設等			
実施中						実施中						
予定						予定						
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		

都道府県： 静岡県 システムの名称： 静岡県駿東地区広域救急医療情報共有システム  
 開始年： 2013年 略称・愛称： E S M A T (エスマット)  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日： 2014-01-22

救急車に搭載した携帯情報端末から患者情報を入力し、医療機関と救急隊が患者情報の共有化を図ることにより、搬送先医療機関の円滑な決定を図ることを目的とする。

代表団体 1	団体名	広域救急医療体制構築委員会										
	郵便番号	410-0881		住所	静岡県沼津市八幡町82番地							
	電話	055-962-1229		FAX	055-962-1236		担当者所属	沼津医師会広域救急担当				
	担当者氏名	栗田恒夫				Eメール	kurita@numazu-med.or.jp					
システムの導入目的	救急医療対策、当地域の二次救急は、医師会単位で実施してきたが、二次救急を担当する医療機関の減少により、維持が困難となっている。このような状況に対応するため、近隣の3医師会の管轄エリアを対象とする広域救急への取り組みを進めているが、円滑な広域救急医療体制を実現するためには、救急隊と医療機関が患者情報を共有化することが必要であるため。											
システム導入が必要になった地域の課題： 医師不足による二次救急担当医療機関の減少												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果 どちらも言えない				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減 どちらも言えない				医師の負担軽減 どちらも言えない			
	看護師の負担軽減 どちらも言えない				事務職員の負担軽減				その他			
	その他 ( 二次医療圏の一部 )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中 予定	13	5			6	実施中 予定			医療機関等 介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している 疾病の状況	実施中 予定											
提供している サービス状況	実施中 予定 情報共有(掲示板など)											
補足・備考： 1 救急隊と医療機関の救急患者情報の共有 2 救急担当医療機関の情報 3 搬送履歴												
連携方式	集中型	分散型	その他 救急隊と医療機関の情報の共有									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの バックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省 標準規格	実施中 予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連 IT企業	企業名(1) 富士通株式会社			企業名(2)				企業名(3)				
サービス利用 ・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)						補足・備考					
	病院	0円										
	診療所	0円										
	薬局 介護施設他 患者	0円										
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
システム構築 費用負担者	実施中	厚労省										
	実施予定											
システム運用 費用負担者	実施中	国の負担										
	実施予定											

都道府県: 愛知県 システムの名称: 地域医療連携ネットワークシステム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: セントラルねっと  
 再生基金: 公開URL: <http://nagoya-central-hospital.com/>

情報更新日: 2014-01-23

システムへの登録医院内の指定パソコンからIP-VPNを介して当院への紹介患者のカルテ情報などを参照する。

代表団体 1	団体名	東海旅客鉄道?		
	郵便番号	453-0801	住所	愛知県名古屋市中村区太閤三丁目7-7
	電話	052-452-3165	FAX	052-452-3139
	担当者所属	名古屋セントラル病院 地域・法人連携室		
システムの導入目的	医療連携			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	効果あり	どちらも言えない	効果あり	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	効果なし	どちらも言えない	どちらも言えない	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	どちらも言えない	効果なし	効果なし	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
	効果なし	効果なし		
対象地域	全県域での連携 ( 愛知県 )			
サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円			
診療所	0円			
薬局				
介護施設他				
患者				
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用		学術研究等の公益目的で利用	
			統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 愛知県 システムの名称: 金誠メディネット  
 開始年: 2009年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www.nnh.go.jp/med\_info/byoshinsys/kinsyachi\_mednet.php

情報更新日: 2014-01-26

富士通の電子カルテシステム(基幹部HOPE EG-MAIN/GX)に接続された地域連携サーバーを通じて、連携医が地域連携室に依頼した患者(同意あり)の電子カルテを閲覧可能とする。

代表団体 1	団体名	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター											
	郵便番号	460-0001	住所	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1							担当者所属	地域医療連携室	
	電話	052-951-1206	FAX	052-951-1207							担当者氏名	梶田真子	
	担当者氏名	梶田真子								Eメール	chiki@nnh.hosp.go.jp		
代表団体 2	団体名	愛知メディカルレコードネットワーク											
	郵便番号	460-0001	住所	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1 国立病院機構名古屋医療センター内							担当者所属	医療情報管理部	
	電話	052-951-1111	FAX	052-951-0664							担当者氏名	佐藤智太郎	
	担当者氏名	佐藤智太郎								Eメール			
システムの導入目的	災害医療対策、医療連携、診療所、病院などをはじめとした診療機関との情報共有。災害時のデータバックアップ。												
システム導入が必要になった地域の課題	病院ごとに専門性がある大都市型の医療供給体制。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	効果あり			効果あり				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			効果あり				効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他						
どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない						
システムが現在抱えている課題: IT技術の急速な進歩により、資産のレガシー化のスピードが遅い。													
対象地域	二次医療圏での連携(名古屋)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	6	59			実施中	400	400	医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害											
	予定												
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応、診療・検査予約											
	予定	遠隔医療、電子おくり手帳、在宅医療連携、介護連携、どこでもMY病院、Eメール・メルマガなど											
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	I10C10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)											
	予定	医薬品HOTコードマスタ、臨床検査マスタ											
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	0円											
	診療所	0円											
	薬局						未定						
	介護施設他						未定						
患者						未定							
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				

都道府県: 愛知県 システムの名称: 衣浦定住自立圏地域医療ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: KTメディネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-28

刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏内(刈谷市、知立市、高浜市、東浦町)の各医療機関をネットワークで結び、紹介患者を対象に、刈谷豊田総合病院の診療情報(医師記録、検査・画像データ等)を「かかりつけ医」に参照してもらうものです。  
 診療情報参照以外に、かかりつけ医からのネットワークでの予約取得、診療情報提供書の作成ができます。

代表団体 1	団体名	刈谷豊田総合病院		
	郵便番号	448-8505	住所	愛知県刈谷市住吉町5-15
	電話	0566-25-8304	FAX	0566-27-6956
	担当者所属	地域連携室		

代表団体 2	団体名	刈谷市、知立市、高浜市、東浦町(各行政)及び、刈谷医師会、知多郡医師会東浦医師団		
	郵便番号		住所	
	電話		FAX	
	担当者氏名		Eメール	

システムの導入目的	医療連携、地域医療の連携強化
システム導入が必要になった地域の課題: 基幹病院が一つしかなく、病診連携の推進により効率的な病院利用を促進する必要がある。	

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり	効果あり	効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	どちらも言えない	効果あり	どちらも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
効果あり	効果あり	効果あり	
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
どちらも言えない	効果あり		

システムが現在抱えている課題: 使用、不使用の二極化	
対象地域	その他( )

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	5	108				実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中
	予定

提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、画像情報の共有
	予定	

補足・備考: システムの概要を参照

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
				刈谷豊田総合病院のサーババックアップ体制					

厚生労働省標準規格	実施中
	予定

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	KDDI	富士通	

サービス利用・参加費用	実施中	実施予定
	サービス費用(月額)	サービス費用(月額)
	補足・備考	補足・備考

病院	0円	
診療所	0円	
薬局		
介護施設他		
患者		

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用	運用費用	運用費用内訳
	補足・備考	補足・備考	保守費/年間
			補足・備考
			その他費用/年間
			補足・備考

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担、刈谷豊田総合病院と自治体で負担
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中
	実施予定

都道府県: 愛知県 システムの名称: いきいき笑顔  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: -----  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-29

名古屋大学脳神経外科、NPO東海ネット医療フォーラム

代表団体1	団体名											
	郵便番号	CTC		住所	愛知県							
	電話				FAX							
	担当者氏名					担当者所属						
						Eメール						
システムの導入目的												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
対象地域	( )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	1	13		10		実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、心臓疾患										
	予定	胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他										
提供しているサービス状況	実施中	遠隔カンファランス、在宅医療連携、介護連携										
	予定	画像情報の共有、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院										
連携方式	集中型											
	分散型	その他										
情報共有形態	双方向											
	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定	デジタル画像と通信(DICOM)										
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	CTC											
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院												
診療所												
薬局												
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用				運用費用内訳				
	補足・備考			補足・備考				保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考
実施中												
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担										
	実施予定	自治体の負担										
システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担										
	実施予定	自治体の負担										

都道府県: 愛知県 システムの名称: エキサイネット  
 開始年: 2002年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-06

ネットワークを介して電子カルテと連動し、紹介患者の投薬情報や各種検査結果、CT/MRIなどの画像、内視鏡の動画を専門医の所見付きで閲覧可能。診療所側での投薬情報や検査結果もアップロード可能になっている。

代表団体1	団体名	名古屋掖済会病院										
	郵便番号	454-0854	住所	愛知県名古屋市中川区松年町4-66								
	電話	052-652-7711	FAX	052-659-6388								
	担当者所属	情報管理センター										
システムの導入目的	救急医療対策、災害医療対策、医療連携											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク								
	医師の偏在を補う効果	効果あり 患者紹介の円滑化		効果あり 診療所にとって地域中核病院からのサポート								
	地域中核病院にとって診療所からの支援	効果あり 業務全体の負担軽減		効果あり 医師の負担軽減								
	看護師の負担軽減	どちらも言えない 事務職員の負担軽減		効果あり その他								
	どちらも言えない	どちらも言えない										
	対象地域	二次医療圏での連携 (名古屋市)										
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、その他				予定						
提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス										
	予定											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)				企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中		実施予定		補足・備考		補足・備考		補足・備考		補足・備考	
	サービス費用(月額)		サービス費用(月額)		サービス費用(月額)		サービス費用(月額)		サービス費用(月額)		サービス費用(月額)	
	病院	0円										
	診療所	0円										
	薬局											
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳							
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考			
実施中												
実施予定												
システム構築費用負担者	実施中											
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中											
	実施予定											

都道府県: 三重県 システムの名称: 三重医療安心ネットワーク  
 開始年: 2010年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: <http://www.medic.mie-u.ac.jp/ca-center/anshin/index.html>

情報更新日: 2014-01-17

システムの概要:

三重県内の複数の医療機関で、ID-Linkという仕組みにより、個人情報を保護し、患者様から同意を得た上でインターネット回線を用い、お薬の処方、血液検査の結果、X線写真やCTなどの画像情報とレポートなどの医療情報が異なる病院間で共有します。

代表団体 1	団体名	三重県地域医療連携連絡協議会				
	郵便番号	514-8507	住所	三重県津市江戸橋2丁目174		
	電話	059-231-5055	FAX	059-231-5348	担当者所属	三重大学医学部附属病院がんセンター
	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他		
	医療機関等					
	介護施設等					
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他

都道府県: 滋賀県 システムの名称: 滋賀県医療情報連携ネットワーク  
 開始年: 2014年 略称・愛称: びわ湖メディカルネット  
 再生基金: 公開URL: <http://www.biwako-medical.net/>

情報更新日: 2014-03-13

## システムの概要:

県内の病院と診療所が情報提供病院の電子カルテ情報を共有するシステム。  
 上記目的を前提に県内の共通基盤を整備することにより、将来的には疾病登録などの仕組みづくりも模索していく。

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会				
	郵便番号	524-8524	住所	滋賀県守山市守山5丁目4-30		
	電話	077-582-5071	FAX	077-582-5169	担当者所属	特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会事務局

都道府県: 滋賀県 システムの名称: 未定  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-16

生涯カルテシステムの導入を検討していたが、滋賀県の湖東・湖北医療ネットの運用が平成25年4月から始まり、医療機関同士の医療情報の連携が可能となったこともあり、生涯カルテシステムを同地域で導入するメリットがなくなったことから、現在、導入に向けた具体的な協議に入っていない状況にある。

代表団体 1	団体名	長浜市役所		
	郵便番号	526-8501	住所	滋賀県長浜市高田町12番34号
	電話	0749-65-7779	FAX	0749-65-1711
	担当者氏名	堤幹広	担当者所属	健康推進課
			Eメール	kenkou@city.nagahama.lg.jp
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
	対象地域	( )		

都道府県: 滋賀県 システムの名称: 滋賀県全県型遠隔病理診断ICTネットワーク事業  
 開始年: 2013年 略称・愛称: さざなみ病理ネット  
 再生基金: 公開URL: 非公開 (ネットワークの紹介については滋賀県立成人病センターのホームページ)

情報更新日: 2013-12-13

システムの概要: がんの確定診断となる病理診断を下す病理医が我が国には少なく、一人病理医として働く者が多い。滋賀県には24名が登録し20名弱が実働しているに過ぎない。県内59病院中常勤病理医がいるのは9施設である。近年、病理組織を短時間で全視野顕微鏡写真を撮り電子化、コンピュータ上で合成しあたかも実際の顕微鏡をみるようにモニター上で再現するバーチャルスライドの技術が発展してきた。これにより、この画像を伝送し遠隔地にいる病理医が観察・診断できるようになった。これを報告書発送システムと組み合わせれば病理医の作業を軽減・短縮することが出来る。省力化して得られた時間を他施設の病理診断の支援へ活用することが可能である。現在、ネットワークには、病理医はいないが病理標本作製ができる5病院と17名の参加病理医が加わっており、本年度は検査所も加わり、病理診断の迅速化、精度管理を行おうとするのがこの事業の目的である。本システムは、術中迅速病理診断、通常病理診断、コンサルテーション、精度管理に使用可能で、既に術中迅速病理診断とコンサルテーションについては運用を開始している。実際に術中迅速病理診断を必要とする場合は、遠隔地の遠隔病理医にこの手段を用い診断して貰うことが出来る。その際、一人の病理医がいなくても他の病理医が代行できるようになっているし、ある病理医が診断困難である場合には、他の専門病理医に相談することも容易に出来るシステムを構築している。これにより、安心・安全な手術、病理診断返却の時間短縮、病理診断の質の向上を図っている。また、病理医同士の業務支援により、一人病理医が病氣や研修で不在であっても診断業務は支障なく行える。以上がICTの技術を使った病理診断支援のシステム、さざなみ病理ネットである。

代表団体 1	団体名	滋賀県立成人病センター				
	郵便番号	524-8524	住所	滋賀県守山市守山5-4-30		
	電話	077-582-6029	FAX	077-582-6041	担当者所属	研究所
	担当者氏名	真鍋 俊明			Eメール	manabet@res.med.shiga-pref.jp

システムの導入目的	がん対策、医療連携、病理医間の診断支援の確保
-----------	------------------------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらとも言えない	効果あり	効果あり
医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
効果あり	どちらとも言えない	どちらとも言えない	
地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
どちらとも言えない	効果あり	効果あり	
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
どちらとも言えない	どちらとも言えない	病理診断の迅速化に効果あり	

システムが現在抱えている課題: システムの保守・管理や新規機器購入時の資金確保

対象地域	全県域での連携 ( 滋賀県 )
------	-----------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法			
									地域全体	施設毎	その他	
実施中	8	1			1	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	肝炎
-------------	-----	----

提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、画像情報の共有、画像診断サービス
	予定	遠隔カンファランス、検査機関との連携

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	7,500 円			
診療所			0 円	
薬局				
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中								
実施予定	13,000 千円				7 千円	7,500円 1施設当り		

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担、厚労省、総務省
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担、厚労省、総務省

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担

都道府県: 滋賀県 システムの名称: 湖東・湖北医療ネット  
 開始年: 略称・愛称: ココネット  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-03-25

病院間および病院と診療所間で診療情報を共有する。

代表団体1	団体名	滋賀県湖北健康福祉事務所(長浜保健所)										
	郵便番号	526-0033	住所	滋賀県長浜市平方町1152-2								
	電話	0749-65-6660	FAX	0749-63-2989	担当者所属	総務調整担当						
	担当者氏名	武田 浩文		Eメール	takeda-hirofumi@pref.shiga.lg.jp							
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策											
システム導入が必要になった地域の課題: 病診連携の強化と地域医療の推進												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク							
	どちらも言えない		効果あり		効果あり							
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート							
	効果なし		効果あり		どちらも言えない							
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減							
	どちらも言えない		どちらも言えない		どちらも言えない							
対象地域	看護士の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他							
	どちらも言えない		どちらも言えない		どちらも言えない							
	二次医療圏での連携(湖東医療圏・湖北医療圏)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	8	37				実施中		1,919	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中											
提供しているサービス状況	実施中 電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、画像情報の共有、診療・検査予約											
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	ブライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連携地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中 電子紹介状、デジタル画像と通信(DICOM)											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
	介護施設他患者											
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
	介護施設他患者											
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	5,000円										
	診療所	2,000円										
	薬局				2,000円							
介護施設他患者				2,000円								
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					
システム構築費用負担者	実施中	厚生省										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定											

都道府県: 京都府 システムの名称: まいこネット  
 開始年: 2007年 略称・愛称: まいこネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.e-maiko.net/

情報更新日: 2014-01-24

日本医療ネットワーク協会の運営するEHRサイト「iDolphin」を長期契約でレンタルする形で、EHRを実施している。スタートは2007年。現在、情報提供病院は京大病院、府立医大病院の2施設。クリニック施設がread onlyで接続している。一方、登録ユーザーは10000ほどで、そのうち、純粋な患者は3000名ほど。

代表団体1	団体名	特定非営利活動法人 京都地域連携医療推進協議会										
	郵便番号	住所		京都府京都市上京区西三本木通荒神口下る上生洲町197-1 青蓮会館内								
	電話	075-751-3066	FAX	075-751-3076	担当者所属	まいこネット事務局						
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策、健康管理											
システム導入が必要になった地域の課題: 患者が複数病院(基幹病院と開業医等)を受診しても、データ連携がなされていない。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			どちらも言えない			どちらも言えない					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減			医師の負担軽減					
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない					
対象地域	その他(京都地域)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	2	5			実施中	3,000		医療機関等			
	予定		20			予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携方式	集中型	分散型		その他								
	EHRデータセンターに中核病院、クリニックなどがデータを送付して共有											
情報共有形態	双方向	参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
	ストレージ											
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、電子紹介状										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等							ローカル電子証明書				
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考				
実施中	200,000 千円		5,000 千円									
実施予定												

都道府県: 京都府 システムの名称: 地域連携バスオンラインシステム  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-10-01

急性期病院(計画管理病院)と回復期病院(連携病院)に専用パソコンを配置し、脳卒中および大腿骨近位部骨折に係る地域連携バスを共有するMicrosoft社のSharePoint Workspace 2010を利用した情報共有システム。

代表団体 1	団体名											
	郵便番号		住所	京都府								
	電話		FAX		担当者所属							
	担当者氏名		Eメール									
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数				
実施中	30					実施中						
予定						予定						
連携している 疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害										
	予定											
提供している サービス状況	実施中	画像情報の共有										
	予定											
連携方式	集中型	分散型	その他									
			連携する急性期病院と連携病院との間に、患者ごとのワークスペースを作成してファイル共有									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報 の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの バックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省 標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他 患者												
ログインセキュリテ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他 患者												
主な関連 IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	株式会社 ストローハット											

都道府県: 京都府 システムの名称: 個人向け健康医療福祉履歴管理サービス  
 開始年: 2008年 略称・愛称: ポケットカルテ  
 再生基金: 公開URL: http://pocketkarte.net

情報更新日: 2012-10-10

システムの概要: 「ポケットカルテ」とは、特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センターが運用する個人向けの情報管理サービスです。一人ひとりの健康・医療・福祉の情報を電子化して一元に管理し、携帯電話・P H Sやパソコンで簡単に閲覧可能とすることで、データを根拠とした質の高い医療サービスを受診できるようになります。

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター				
	郵便番号	612-0875	住所	京都府京都市伏見区深草枯木町33-1-303		
	電話	075-645-7484	FAX	075-645-7488	担当者所属	どこカル・ネット事務局
	担当者氏名	北岡有喜			Eメール	info@dokokaru.net

都道府県: 京都府 システムの名称: 京都府子ども健康情報管理システム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-03-31

妊婦及び乳幼児とその保護者の日常的な健康管理を支援し、安心して子育てのできる環境づくりを図るため、健診や予防接種の記録をweb上に保存し、必要ときに確認できるとともに、健康管理に役立つ情報を提供する。

代表団体 1	団体名	京都府										
	郵便番号	602-8570		住所	京都府京都市上京区下立売通新町西入藪之内町							
	電話	075-414-4614		FAX	075-414-4747		担当者所属	健康福祉部医療企画課				
システムの導入目的	健康管理、その他											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他			
	対象地域											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中						実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中 予定											
提供しているサービス状況	実施中 予定 電子おくり手帳、健診情報連携、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど											
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中 予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	N T T データ関西											
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考			
病院												
診療所												
薬局												
介護施設他												
患者							0円					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中												
実施予定	86,000千円											
システム構築費用負担者	実施中 実施予定 自治体の負担											
システム運用費用負担者	実施中 実施予定 自治体の負担、事業収入(広告等)											

都道府県: 大阪府 システムの名称: 「a.i net (エーアイネット)」  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www.chibune.aijinkai.or.jp/  
 システムの概要:

情報更新日: 2013-12-18

代表団体1	団体名	社会医療法人愛仁会千船病院											
	郵便番号	555-0001	住所	大阪府大阪市西淀川区佃2-2-45									
	電話	06-6471-9541	FAX	06-6474-0161	担当者所属	地域医療科							
システムの導入目的	医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	効果なし			効果なし				効果なし					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			どちらとも言えない				効果なし					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	効果なし			効果なし				効果なし					
	看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	効果なし			効果なし				事務職員の負担はむしろ増大					
対象地域	複数県にまたがる連携 ( )												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	1	24		1	2	実施中	1,125	1,125	医療機関等			
	予定					予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中												
	予定												
提供しているサービス状況	実施中												
	退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス												
	予定												
	医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中												
	医薬品HOTコードマスタ、ICD10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)					
	Fujiitsu 富士通株式会社			Cisco シスコシステムズ合同会社				J Mac 株式会社ジェイマックスシステム					
サービス利用・参加費用	実施中												
	サービス費用(月額)	補足・備考					サービス費用(月額)	実施予定					
	補足・備考	補足・備考					補足・備考	補足・備考					
	病院	1,000 円	セキュリティを中央管理しているため										
	診療所	1,000 円	セキュリティを中央管理しているため										
	薬局												
介護施設他	1,000 円	セキュリティを中央管理しているため											
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考			
実施中													
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	当法人の負担											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担											
	実施予定												

都道府県: 大阪府 システムの名称: 地域医療ネットワークシステム  
 開始年: 2010年 略称・愛称: 地域医療ネットワーク  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-13

## システムの概要:

患者の同意を得た後、利用医療機関に設置された専用端末から  
 当院内設置サーバーにVPNで接続し、各種検査結果や医師カルテ等を参照するシステム。

代表団体1	団体名	箕面市立病院										
	郵便番号	562-0014	住所	大阪府箕面市萱野5-7-1								
	電話	072-728-2001	FAX	072-728-8232	担当者所属	事務局経営企画課情報システム担当						
システムの導入目的	医療連携											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク								
	どちらも言えない	どちらも言えない		効果あり								
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート								
	どちらも言えない	効果あり										
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減		医師の負担軽減								
	どちらも言えない	効果なし		効果なし								
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減		その他									
効果なし	効果なし		運営側の当院では、ユーザー、機器類の管理や問い合わせ対応などの									
システムが現在抱えている課題: 利用機関で、患者の同意取得等、データを参照できるまでの作業が負担となりがちであるため、軽減する方法又はシステムが必要。												
対象地域	二次医療圏での連携 ( 豊能 )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	2	26		1	1	実施中	2,257	574	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定											
補足・備考: 診療録の参照を実施 連携パスについて、導入しているパスもありますが、地域医療ネットワークシステムとの関連性がないため、実施なし/予定なしとしました。												
連携方式	集中型	分散型	その他									
			利用機関が当院の情報を参照するシステムであり、相互に電子カルテに記録をするようなシステムではない。									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)、標準歯科病名マスタ										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)			企業名(3)						
	三菱電機情報ネットワーク?											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					

都道府県: 大阪府 システムの名称: 八尾市立病院病院・診療所・薬局連携ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 八尾市立病院病診薬連携ネットワークシステム  
 再生基金: 公開URL: <http://www.hospital.yao.osaka.jp/outline-area/system-hospital/>

情報更新日: 2013-11-29

システムの概要: 八尾市立病院の電子カルテ情報を地域の診療所、薬局に公開するシステムである。

代表団体 1	団体名	八尾市立病院											
	郵便番号	5810069	住所	大阪府八尾市龍華町1-3-1									
	電話	072-922-0881	FAX	072-924-4820									
			担当者所属	事務局企画運営課									
システムの導入目的	医療連携、疾病管理、薬局でのリスク管理												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得										
	医療機関間の人的ネットワーク												
	どちらとも言えない		効果あり										
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化										
	効果なし		診療所にとって地域中核病院からのサポート										
	地域中核病院にとって診療所からの支援		どちらとも言えない										
効果なし		業務全体の負担軽減											
どちらとも言えない		医師の負担軽減											
看護師の負担軽減		効果なし											
効果なし		事務職員の負担軽減											
効果なし		その他											
システムが現在抱えている課題: 参加施設数の拡大病院との接続大手チェーン薬局との接続													
対象地域	市町村単位での連携 (八尾市)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	1	32	22		1	実施中	222		医療機関等			
	予定						予定		介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)			補足・備考			サービス費用(月額)			補足・備考			
病院	0円												
診療所	0円						未定						
薬局	0円						未定						
介護施設他	0円						未定						
患者							未定						
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				

都道府県: 大阪府 システムの名称: ブルーカードシステム  
 開始年: 2009年 略称・愛称: ブルーカード  
 再生基金: 公開URL: http://www.naniwaku-ishikai.or.jp/bluecard.html

情報更新日: 2014-01-19

ブルーカード（病状急変時対応カード）とは、浪速区の診療所と複数の病院がネットワークを組み、地域住民が安心して医療機関にかかれるシステムです。患者がブルーカードを所持することにより症状急変時を心配することなく、12病院（浪速区内：愛染橋病院・浪速生野病院・富永病院・近隣病院；大野記念病院・多根総合病院・四天王寺病院・山本第三病院・大和中央病院・大阪警察病院・内藤病院・育利会記念病院・大手前病院）が連携して患者の診察・入院受け入れをしようというものです。

代表団体 1	団体名	浪速区医師会		
	郵便番号	556-0005	住所	大阪府大阪市浪速区日本橋5-21-15
	電話	06-6633-3818	FAX	06-6633-6790
	担当者氏名	久保田 泰弘	Eメール	yasuhirokbt@gmail.com

代表団体 2	団体名	ウインテックシステム株式会社		
	郵便番号	541-0058	住所	大阪府大阪市中央区南久宝寺町3-2-7第一住建南久宝寺町ビル5F
	電話	06-6120-3737	FAX	06-6125-5034
	担当者氏名	門脇利勝	Eメール	kadowaki@m-orca.com

システムの導入目的 救急医療対策、在宅医療対策、持続可能な運用コストで、かつ紙カルテの開業医にも利用できるよう 医師会でPDF化し運用しているシステムである。

システム導入が必要になった地域の課題：救急医療体制の悪化（搬送時間の短縮・搬送受け入れ拒否の劇減）

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり	効果あり	効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果あり	効果あり	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	効果あり	効果あり	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他

システムが現在抱えている課題：アナログデータをいかに正確にデジタル化しデータマイニングに活かせるか。

対象地域 二次医療圏での連携（大阪市内中部）

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	12	33				実施中	538	538	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	その他
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	在宅医療連携、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど
	予定	電子処方箋(実証等)、電子おくり手帳、介護連携、画像情報の共有、検査機関との連携、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、空床情報

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
												検討中

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	
	予定	患者診療情報提供書、電子紹介状、臨床検査マスタ

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	ウインテック株式会社		

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
	病院	0円		
	診療所	1,000円	登録数を5件越えたと最大3000円まで	
	薬局			
介護施設他				
患者	0円			

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中	1,000千円		200千円		100千円		100千円
実施予定							

システム構築費用負担者	実施中	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

都道府県: 兵庫県 システムの名称: 阪神医療福祉情報ネットワーク  
 開始年: 2015年 略称・愛称: h-Anshin むこねっと  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-21

## システムの概要:

1: 二次救急システム  
 神戸市二次救急医療協議会の「二次救急ネット」と同等のシステム、すなわち救急実施医療機関における空床、診療可能科目、当直医の情報をリアルタイムに各救急隊等に提供し、救急患者の搬送時間を短縮する事を目的とするシステム。  
 2: 医療機関機能情報システム  
 病棟連携、病診連携、診診連携を目的とし、当該患者の紹介先の検索を簡易でスムーズに行えるシステム。  
 3: 診療情報（患者情報）共有システム  
 1) 診療情報連携システム  
 紹介患者の検査画像や所見、入院中の患者サマリー等をweb上で閲覧することが可能となり、検査後や退院後の診療に役立つシステム。  
 2) 周産期医療情報システム  
 産科医不足のため婦人科医で正常分娩妊婦の母子健康管理を行い、分娩時には周産期母子医療センターにおいて分娩するセミオープンシステムを構築するための妊婦情報システム  
 また、正常分娩の予定であった妊婦が急変し、ハイリスク妊婦として周産期母子医療センターに救急搬送された場合を想定し、予め妊婦情報を登録できるシステム。  
 3) 各種地域連携システム（がん、脳卒中等地域連携バス及び在宅医療連携）  
 兵庫県の「がんの地域連携バス」をはじめとした各種地域連携バス、及び在宅医療の連携（電子連絡帳）を行えるシステム

代表団体 1	団体名	尼崎市医師会		
	郵便番号	6610012	住所	兵庫県尼崎市南塚口町4-4-8
	電話	06-6426-6333	FAX	06-6428-2228
	担当者所属	地域医療係		
代表団体 2	団体名	阪神医療福祉情報ネットワーク協議会		
	郵便番号		住所	
	電話		FAX	
	担当者氏名		Eメール	mukonet@amagasaki-med.or.jp
システムの導入目的	救急医療対策、周産期医療対策、がん対策、医療連携、在宅医療対策			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
	対象地域	二次医療圏での連携（阪神南北医療圏）		
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 兵庫県 システムの名称: 地域医療連携システム「北はりま絆ネット」  
 開始年: 2011年 略称・愛称: 北はりま絆ネット  
 再生基金: 公開URL: http://kitaharima-ikiiki.com/kizuna/index.html

情報更新日: 2014-02-07

患者さんの診療情報の一部(服薬・注射・臨床検査・放射線画像)を、本人の同意の下、安全性に十分配慮しながら関係する医療機関で共有するシステム。

代表団体1	団体名	兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所											
	郵便番号	673-1431	住所	兵庫県									
	電話	0795-42-9355	FAX	0795-42-4050	担当者所属	企画課							
	担当者氏名	堀尾			Eメール	chie_horio@pref.hyogo.lg.jp							
システムの導入目的	医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク						
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない						
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート						
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない						
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減			医師の負担軽減						
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない						
対象地域	看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減			その他						
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない						
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中	15	61		8		実施中	582	582	医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中												
	予定 大腿骨頸部骨折、脳血管障害												
提供しているサービス状況	実施中 画像情報の共有												
	予定												
連携方式	集中型			分散型			その他						
情報共有形態	双方向			参照のみ			その他						
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中 デジタル画像と通信(DICOM)												
予定													
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
サービス費用	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)			補足・備考					
	病院	0円	情報閲覧は無料。情報公開病院は、システム利用料が病床数によってちがう(20,000~40,000円税別)										
	診療所	0円											
	薬局												
	介護施設他	0円											
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用						
システム構築費用負担者	実施中 参加施設の負担、厚労省												
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中 参加施設の負担、国の負担、基金終了後は、施設の負担となる予定。												
	実施予定												

都道府県: 兵庫県 システムの名称: セコムコピキタス電子カルテ  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-28

システムの概要: クラウド型サーバーを利用した電子カルテシステム。インターネット環境が整っていれば、何処からでも使用できる。他システムとの連携の幅も広く、情報量を気にしなくともデータ管理が可能である。

代表団体 1	団体名	柏原赤十字病院				
	郵便番号	669-3309	住所	兵庫県丹波市柏原町柏原259-1		
	電話	0795-72-0556	FAX	0795-72-1057	担当者所属	医療課
	担当者氏名	浅原光代	Eメール	renkei@kaibara.jrc.or.jp		

システムの導入目的 医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理  
 システム導入が必要になった地域の課題: クラウド電子カルテの導入により、転医や遠方の救急受入で患者情報を共有する(アーカイブカルテ)ができる。連携を強化することで、医師不足の病院でも、極力受入することが出来る。在宅支援システムEIRと連携させている。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり	効果あり	効果あり
医師の偏在を補う効果	効果あり	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
効果あり	効果あり	効果あり	効果あり
地域中核病院にとって診療所からの支援	効果あり	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
効果あり	効果あり	効果あり	効果あり
看護師の負担軽減	効果あり	事務職員の負担軽減	その他
効果あり	効果あり	効果あり	

システムが現在抱えている課題: システム変更に対し、コスト不要で要望はかなり聞いてもらっているが、レスポンスがよいとはまだ言えない。

対象地域	( )
通信ネットワーク	専用線 IP-VPN IPSec+IKE その他のVPN SSL その他
医療機関等	
介護施設他	
患者	

ログインセキュリティ	2要素認証 ID/Pass HPKI PKI その他ICカード USBトークン 生体認証 その他
医療機関等	
介護施設他	
患者	

主な関連IT企業	企業名(1) セコムトラスト? EIR?	企業名(2)	企業名(3)
----------	----------------------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院		自院のシステム利用料は、1,200,000円(月額)		
診療所				
薬局				
介護施設他	4,700円			
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
	補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	自院の構築費は、67,320千円		自院の運用費は、年間14,400千円	自院の保守費は、年間13,539千円			自院のその他費用は、年間1,040千円
実施予定							

都道府県: 奈良県 システムの名称: 奈良県救急医療管制システム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: e-MATCH  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2012-10-17

## システムの概要:

・消防機関が現場で観察した患者の情報を端末（i P a d）に入力すると、症状に合った搬送候補病院が現場から近い順に一覧表示  
 ・救急隊が入力した内容は医療機関の端末に伝達  
 ・救急隊が照会した結果（病院の受入可否状況）が全消防本部・救急隊で共有  
 ・医療機関では、患者の診断、処置、転帰等を入力し、サーバーに保存。  
 県内救急搬送状況の把握するためのデータを蓄積  
 ・現在、端末は消防機関に配備し、運用開始。医療機関へは今度導入予定であり、部分的に運用している状況

代表団体 1	団体名	奈良県				
	郵便番号	630-8501	住所	奈良県		
	電話	0742-27-8423	FAX	0742-27-0090	担当者所属	総務部知事公室消防救急課

都道府県： 和歌山県 システムの名称： 地域連携サイバースシステム  
 開始年： 2011年 略称・愛称： サイバース  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日： 2013-12-02

地域連携クリニカルパスをサーバーに設置し、インターネット環境クラウド方式で運用する。専門医とかかりつけ医双方から、アクセスし、閲覧と書き込みを交互に行いながら医療情報の共有がわかるものである。運用概念を込めてサーバーにセットされるパスをサイバースと呼称している。現在、糖尿病で稼働しており、認知症について運用準備中である。

代表団体 1	団体名	和歌山市医師会						
	郵便番号	640-8425	住所	和歌山県和歌山市手平2丁目1-2				
	電話	0734355199	FAX	0734355203	担当者所属	事務所		
システムの導入目的	医療連携							
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク			
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減			
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他			
対象地域	( )							
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数
	実施中					実施中		
	予定					予定		
連携している疾病の状況	実施中	心臓疾患						
	予定	その他						
提供しているサービス状況	実施中							
	予定							
補足・備考： クリニカルパスの運用								
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定			
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考		
病院	2,000 円	1 ID当たり						
診療所	2,000 円	1 ID当たり						
薬局								
介護施設他								
患者								
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用	
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳			
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	5,000 千円		2,000 千円					
実施予定								
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担						
	実施予定							
システム運用費用負担者	実施中							
	実施予定							

都道府県: 和歌山県 システムの名称: 白浜町における健康づくりサポートサービスシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: こつこつネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-20

システムの概要: インターネットを活用して特定保健指導のサポートを行うサービス

代表団体 1	団体名	株式会社サイバーリンクス				
	郵便番号	641-0012	住所	和歌山県和歌山市紀三井寺8 4 9番地の3		
	電話	073-448-2518	FAX	073-448-3639	担当者所属	地域連携事業室
	担当者氏名	楠本嘉幹		Eメール	y-kusumoto@cyber-l.co.jp	

都道府県: 和歌山県 システムの名称: ゆめ病院  
 開始年: 2002年 略称・愛称: ゆめ病院  
 再生基金: 公開URL: <http://www.kit.co.jp/yume2/index.htm>

情報更新日: 2013-12-18

システムの概要:									
コンピュータ上の仮想病院で患者さんの情報を共有できる。									
代表団体 1	団体名	一般社団法人 伊都医師会							
	郵便番号	648-0072	住所	和歌山県橋本市東家1丁目3-1					
	電話	0736-33-1923	FAX	担当者所属					
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他						
医療機関等									
介護施設等									
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他			
医療機関等									
介護施設他									
患者									
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他	
医療機関等									
介護施設他									
患者			-	-					
主な関連IT企業	企業名(1)		企業名(2)			企業名(3)			
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定				
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考			
病院									
診療所									
薬局									
介護施設他									
患者									
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳				
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考	
実施中									
実施予定									
システム構築費用負担者	実施中								
	実施予定								
システム運用費用負担者	実施中								
	実施予定								

都道府県： 和歌山県 システムの名称： きのくに医療連携システム 青洲リンク  
 開始年： 2013年 略称・愛称： 青洲リンク  
 再生基金： 公開URL： http://www.seishu-link.jp/

情報更新日： 2013-12-27

和歌山県内の医療機関の診療情報をSS-MIXで外部保存し、平時の医療連携ならびに災害時の情報保全、診療継続に活用する。

代表団体 1	団体名	和歌山県立医科大学附属病院										
	郵便番号	641-8509	住所	和歌山県和歌山市紀三井寺 8 1 1 - 1								
	電話	073-441-0858	FAX	073-441-0858								
	担当者所属	医療情報部										
システムの導入目的	災害医療対策、医療連携											
システム導入が必要になった地域の課題： 来たるべき大災害に備えて、地域医療のBCPの確立が喫緊の課題である。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得									
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化									
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減									
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減									
			その他									
稼働後日が浅く、評価できる段階にない。												
システムが現在抱えている課題： 機能拡張。対象エリア、医療機関の拡大。												
対象地域	全県域での連携（和歌山県）											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	8	7				実施中		10	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	電子紹介状、患者用IDカードの発行、情報共有(掲示板など)											
	予定											
	画像情報の共有、検査機関との連携、診療・検査予約											
連携方式	集中型		分散型		その他							
	データセンターに各機関のデータを外部保存し、相互参照											
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	ブライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
								ストレージ				
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	連隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	(株)サイバーリンクス											
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考			
病院			病床数により変動				未定					
診療所	0円		初期費用あり				未定					
薬局							未定					
介護施設他												
患者												

都道府県： 鳥取県 システムの名称： 鳥取県医療連携ネットワークシステム  
 開始年： 2012年 略称・愛称： おしどりネット2  
 再生基金： 公開URL： <http://www.hosp.med.tottori-u.ac.jp/oshidori/>

情報更新日： 2013-12-05

**システムの概要：**  
 2009年7月より「西伯病院との電子カルテ相互参照システム(おしどりネット)」の運用を開始、2011年8月からは錦海リハビリテーション病院も参加し、ITネットワークを活用してきた。この度は鳥取県の医療再生基金を得て、「おしどりネット2」という本院を中心とした新たなシステム管理を行うことで、ITネットワーク参加病院を県内広域に拡大することが可能になったので発表する。今回の参加病院は本院と西伯病院、錦海リハビリテーション病院、日野病院、日南病院、若美病院の6病院で、今後さらに米子東病院、鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、鳥取生協病院などが参加し、将来的には県内約20病院による大きなITネットワークとなる予定である。本システムによる患者情報の一元管理はよりスムーズな病/病/診連携を促進しており、今後は鳥取県の医療連携を担う重要なツールになると考えられる。  
 このシステムは患者様のプライバシー保護を最重に図りながら、当ネットワークに参加している医療機関の電子カルテを相互に接続します。これにより、当院にて、他の医療機関にて得られた患者様の詳細な診療情報を元に治療法を検討し、患者様にわかりやすく説明を行い、質の高い安全な診療の提供を可能にすることを目的としています。  
 このシステムに参加すると、ネット接続医療機関の受診時の状況や治療の情報が活用でき、治療の経過、その効果などについて、当院でわかりやすく説明を受けることができます。また、薬の重複投与の防止、種々の検査データが施設間で共有され、安全で質の高い診療をお受けになることができます。

代表団体 1	団体名	鳥取県地域医療連携ネットワークシステム運営協議会		
	郵便番号	683-8504	住所	鳥取県米子市36-1
	電話	0859-33-1111	FAX	
	担当者氏名	医療福祉支援センター 谷川 修一	Eメール	

システムの導入目的	
-----------	--

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他

対象地域	( )
------	-----

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

都道府県: 島根県 システムの名称: 島根県医療情報ネットワーク(しまね医療情報ネットワーク)  
 開始年: 2013年 略称・愛称: まめネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.shimane-inet.jp/

情報更新日: 2013-12-19

システムの概要:  
 島根県全域をカバーするインフラとしての医療ネットワークを構築。  
 その上で各種のアプリケーション提供者がサービスの提供を行う。

代表団体 1	団体名	NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会(運営主体)				
	郵便番号	693-0023	住所	島根県出雲市塩治有原町2-19-3		
	電話	0853-22-8058	FAX	0853-22-8099	担当者所属	事業推進担当

システムの導入目的: 医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、周産期医療対策、へき地医療対策、小児医療対策、災害医療対策、がん対策、精神科医療対策、医療連携、在宅医療対策

システム導入が必要になった地域の課題: 医師不足による二次医療機関の機能の低下に伴い、救命救急や産婦人科等の維持が困難な地域があり、圏域を超えた医療連携体制の整備が必要となった

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	現在接続医療機関の拡大やアプリケーションの整備を進めており、現		

システムが現在抱えている課題: 国の地域医療再生基金を使い整備したが、ランニング経費や次期システム更新費は医療機関が負担しなければならず、負担軽減が課題

対象地域: 全県域での連携(島根県)

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担、厚労省
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担、厚労省

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担

都道府県： 岡山県 システムの名称： 新見あんしんねっと 遠隔医療支援システム  
 開始年： 2011年 略称・愛称： 新見あんしんねっと  
 再生基金： 公開URL：

情報更新日：2014-01-20

医療機関に設置のテレビ電話（万事万端）と独自開発のテレビ電話付き診療支援端末（医心伝心）とで遠隔での診療（DtoDtoP）を実施するものテレビ電話を20医療機関、13の介護施設、2の訪問看護ステーション（在宅患者用）に配置  
 遠隔診療を行うためのスケジュール調整、診療履歴、動画の保存、アイパッド等多様な携帯端末での利用等を実証実験として行っている。

代表団体1	団体名	一般社団法人新見医師会		
	郵便番号	718-0003	住所	岡山県新見市高尾2306-5
	電話	0867-72-0309	FAX	0867-71-0309
			担当者所属	事務局

システムの導入目的	へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策
	システム導入が必要になった地域の課題：医師不足・医療スタッフ不足

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果なし	どちらも言えない	どちらも言えない
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果あり	どちらも言えない	どちらも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらも言えない	効果あり	効果あり
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	どちらも言えない	どちらも言えない	

対象地域	二次医療圏での連携（高梁・新見）
------	------------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	4	16		13		実施中	6	6	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害、心臓疾患
	予定	大腿骨頸部骨折、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、認知症、その他

提供しているサービス状況	実施中	遠隔医療、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応
	予定	在宅医療連携、介護連携、情報共有(掲示板など)、Eメール・メルマガなど

補足・備考：在宅医療・介護連携を行う別システム「Z連携」（Z=在宅）を運用中であり、今後あんしんねっととの相互連携もしくは、統合を検討中

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円	今後有料を検討		今後有料を検討
診療所	0円	今後有料を検討		
薬局				
介護施設他	0円	今後有料を検討		
患者	0円			

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

システム構築費用負担者	実施中	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、総務省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	
	実施予定	

都道府県: 岡山県 システムの名称: 医療ネットワーク岡山  
 開始年: 2013年 略称・愛称: 晴れやかネット  
 再生基金: 公開URL: http://hareyakanet.jp/

情報更新日: 2013-12-18

HumanBridge及びID-Linkを利用し、病院が保有する電子カルテや画像等の診療情報を、地域の病院や診療所等で閲覧する。今後、地域医療連携サーバーを置き、地域医療の質の向上に資するシステム(多職種による情報共有、地域疾病管理、災害時に備えた診療保全など)を追加する。

代表団体1	団体名	岡山県										
	郵便番号	700-8570	住所	岡山県岡山市北区内山下2-4-6								
	電話	086-226-7084	FAX	086-224-2313								
	担当者所属	保健福祉部医療推進課										
代表団体2	団体名	医療ネットワーク岡山協議会										
	郵便番号	703-8278	住所	岡山県岡山市中区古京町1-1-10								
	電話	086-206-3477	FAX	086-206-3466								
	担当者所属	事務局										
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策											
システム導入が必要になった地域の課題	医師の偏在などにより、各地域の医療提供体制に格差が生じていることから、県内の医療資源を有効に活用するためには、医療機関の役割分担と連携の促進を図り、患者にとって質の高い医療を効率的に提供する必要がある。											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク									
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない									
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート									
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない									
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減									
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない									
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他									
	どちらも言えない	どちらも言えない										
システムが現在抱えている課題	・システム導入済の医療機関における利用の促進・地域医療の質の向上に資するシステムの導入・継続的、安定的な事業運営											
対象地域	全県域での連携(岡山県)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	108	179				実施中	1,058	1,058	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
	予定 大腿骨頸部骨折、脳血管障害											
提供しているサービス状況	実施中 退院時サマリ、画像情報の共有											
	予定 在宅医療連携、介護連携、情報共有(掲示板など)											
補足・備考	提供サービスについては今後拡張する予定											
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	富士通(株)			(株)日本電気			(株)NTTデータ					
サービス利用・参加費用	実施中											実施予定
	サービス費用(月額)	補足・備考					サービス費用(月額)	補足・備考				
病院	5,000円	診療情報の閲覧費用(平成25年度末までは月額1,000円)										
診療所	5,000円	診療情報の閲覧費用(平成25年度末までは月額1,000円)										
薬局	0円						5,000円	診療情報の閲覧費用(平成25年度末までは無料)				
介護施設他							未定	新システムの利用料				
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳					
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中	総額1,488,739千円(内訳未定)			総額1,488,739千円(内訳未定)				総額1,488,739千円(内訳未定)		総額1,488,739千円(内訳未定)		
実施予定	総額1,488,739千円(内訳未定)			総額1,488,739千円(内訳未定)				総額1,488,739千円(内訳未定)		総額1,488,739千円(内訳未定)		
システム構築費用負担者	実施中 参加施設の負担、自治体の負担、厚生省											
	実施予定 自治体の負担、厚生省											
システム運用費用負担者	実施中 参加施設の負担、自治体の負担、国の負担											
	実施予定 参加施設の負担、自治体の負担、国の負担											

都道府県: 岡山県 システムの名称: HumanBridge V.3  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-10-05

連携病院とのカルテ開示、オンライン診療予約、地域連携クリニカルバス共有

代表団体 1	団体名	岡山大学病院				
	郵便番号	700-8558	住所	岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1		
	電話	086-235-7976	FAX	086-235-7976	担当者所属	医療情報部(経営戦略支援部)
	担当者氏名	合地 明	Eメール	agouchi@hp.okayama-u.ac.jp		

都道府県: 広島県 システムの名称: 荒木脳神経外科病院 地域医療情報連携ネットワーク  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://arakihp.jp/net

情報更新日: 2013-12-18

診療情報を患者の同意のもと複数の医療機関等で共有することによって、医療機関等における検査、診断、治療内容、説明内容を適切に活用し、本システムに参加する医療機関等の医療・介護サービスに反映することで安全で高品質な医療・介護を提供し、地域医療・介護の質の向上を目指します。

代表団体1	団体名	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院											
	郵便番号	733-0821	住所	広島県広島市西区庚午北2-8-7									
	電話	082-272-1114	FAX	082-272-7048	担当者所属	事務部							
	担当者氏名	松下 督克			Eメール	matsuma@arakihp.jp							
システムの導入目的	医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク						
	どちらも言えない			どちらも言えない			効果あり						
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート						
	効果なし			効果あり			どちらも言えない						
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減			医師の負担軽減						
	どちらも言えない			どちらも言えない			どちらも言えない						
対象地域	二次医療圏での連携 (広島)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	10	40		10					医療機関等			
	予定					実施中			介護施設等				
	予定					予定							
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中	脳血管障害											
	予定	心臓疾患、胃・大腸がん、その他											
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、遠隔医療、電子おくすり手帳、退院時サマリ、健診情報連携、画像情報の共有、画像診断サービス、検査機関との連携、診療・検査予約											
	予定	遠隔カンファランス、電子処方箋(実証等)、在宅医療連携、介護連携、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院											
連携方式	集中型	分散型											
		その他											
情報共有形態	双方向	参照のみ											
		その他											
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、電子紹介状、デジタル画像と通信(DICOM)											
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	?中国サンネット												
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	0円											
	診療所	0円											
	薬局	0円											
	介護施設他	0円											
患者	0円												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
システム構築費用負担者	実施中	厚労省											
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 広島県 システムの名称: 地域医療ネットワークシステム  
 開始年: 2010年 略称・愛称: 波と風ネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.kure-nh.go.jp/regional/namikaze/

情報更新日: 2013-12-06

システムの概要: 波と風ネットワークは、地域に発生する診療情報を患者さんの同意のもと複数の医療機関で共有することによって、各医療機関における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、自施設の診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものである。

代表団体 1	団体名	独立行政法人国立病院機構呉医療センター											
	郵便番号	737-0023	住所	広島県呉市青山町3番1号									
	電話	0823-22-3111	FAX	0823-21-0478	担当者所属	事務部企画課経営企画室							
	担当者氏名	重松研二			Eメール	shigematsuk@kure-nh.go.jp							
システムの導入目的	医師・看護師等の確保対策、救急医療対策、災害医療対策、医療連携												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク								
	どちらも言えない		どちらも言えない		どちらも言えない								
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート								
	どちらも言えない		効果あり		どちらも言えない								
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減								
	どちらも言えない		どちらも言えない		どちらも言えない								
対象地域	二次医療圏での連携（呉）												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	3	24	12			実施中	1,984	1,984	医療機関等			
	予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん											
	予定												
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、退院時サマリ、画像情報の共有、診療・検査予約											
	予定	電子おくり手帳、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応											
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、電子紹介状、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHIS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスタ、臨床検査マスタ、JAHIS放射線データ交換規約											
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
	医療機関等												
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
	医療機関等							Macアドレス認証					
介護施設他								Macアドレス認証					
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	株式会社医療情報システム												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				

都道府県: 広島県 システムの名称: 広島西部医療福祉情報ネットワーク  
 開始年: 2006年 略称・愛称: もみじ医療福祉ネット  
 再生基金: 公開URL: http://momijinet.org

情報更新日: 2014-01-21

システム概要: 会員間メール・会員専用掲示板及びJ A広島総合病院地域連携サーバと接続し、カルテ(1号紙・2号紙)・検体検査結果・画像診断レポート・画像検査(単純撮影、CT、MR、RI、アンキオ、X線TV、内視鏡、エコー)を閲覧できるシステムを稼動しています

代表団体1	団体名	特定非営利活動法人広島西部医療福祉情報ネットワーク		
	郵便番号	738-0015	住所	広島県廿日市市本町5-1 佐伯地区医師会内
	電話	0829-32-5101	FAX	
			担当者所属	事務局
システムの導入目的	在宅医療対策			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化 効果あり		診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減		医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減		その他
対象地域	二次医療圏での連携 ( 広島西二次 )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用		統計結果の公益目的以外で利用

都道府県: 広島県 システムの名称: 天かける医療介護連携システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: 天かける(アマカケル)  
 再生基金: 公開URL: http://amakakeru.jp/

情報更新日: 2012-10-31

従来の地域医療介護連携、多職種による地域包括ケア尾道方式の仕組みを基盤とし、ICT活用による、発展的な地域医療・介護ネットワークの構築を行っています。

代表団体1	団体名	特定非営利活動法人 天かける										
	郵便番号	722-0037	住所	広島県尾道市西御所町13-22垣内ビル2F								
	電話	0848-23-8698	FAX	0848-23-8697	担当者所属	事務局						
	担当者氏名	佐野弘子			Eメール	h-sano@amakakeru.jp						
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	11	65	40	9	5	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、その他										
提供しているサービス状況	実施中	電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応										
	予定	遠隔医療、遠隔カンファランス、健診情報連携、P Cアクセスサービス、モバイルアクセスサービス										
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	電子紹介状										
	予定	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、可搬型医用画像、JAHIS臨床検査データ交換規約										
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	日本電気株式会社			株式会社エスイーシー			日本流通システム株式会社					
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院	98,000 円	月額:中核公開病院...ID-Link利用料80000.VPN利用料6000.保守12000										
診療所	980 円	VPN利用料										
薬局	980 円	VPN利用料										
介護施設他	980 円	VPN利用料										
患者												
システム構築費用負担者	実施中	総務省、内閣府、広島県・NPO										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、上記を前提に今後検討										
	実施予定											

都道府県: 広島県 システムの名称: ひろしま医療情報ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称: HMネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.hm-net.or.jp/

情報更新日: 2013-12-18

地域の医療機関の連携を促進するため、医療情報を効率的に利用することを目的としたネットワーク

代表団体1	団体名	広島県医師会											
	郵便番号	733-8540		住所	広島県広島市西区観音本町1-1-1								
	電話	082-232-7211		FAX	082-293-3363		担当者所属	広報情報課					
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	効果なし			効果あり				効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
	看護士の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他					
	どちらも言えない			どちらも言えない				どちらも言えない					
システムが現在抱えている課題: 参加医療機関数の増、次年度以降の維持費確保													
対象地域	全県域での連携 (広島県)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中				100	実施中	700	700	医療機関等				
	予定	20	500	150	10	予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中												
	予定	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、認知症、その他											
提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、健診情報連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約											
	予定	電子紹介状、電子おくり手帳、在宅医療連携、介護連携、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応											
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)、情報連携指針(JJ1017)											
	予定	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、可搬型医用画像、医療波形フォーマット、JAHIS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスタ、臨床検査マスタ、JAHIS放射線データ交換規約											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等								Felicaカード					
介護施設他								Felicaカード					
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	プロノテック			ソフトウェアサービス			A I D						
サービス利用・参加費用	実施中												
	サービス費用(月額)	補足・備考				実施予定							
	補足・備考	補足・備考				補足・備考							
	病院	83,400 円	病床数に応じて算定 83,400円~167,700円										
	診療所	4,000 円	USBトークン1本あたり										
	薬局	3,000 円	USBトークン1本あたり										
介護施設他						4,000 円		歯科医師会					
患者						0 円		Eお薬手帳					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考		
	実施中	15,000 千円	1開示病院の最低導入費		1,500 千円	病床数で83,400円~167,700円		200 千円	ハードウェア維持費等		事務員(運用人件費)		
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、自治体の負担											
	実施予定	参加施設の負担、自治体の負担											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担											
	実施予定	参加施設の負担											

都道府県: 広島県 システムの名称: 地域健康情報ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称: くわいネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.fmed.jp/quwai/

情報更新日: 2014-01-29

ひろしま医療情報システム(HIMネット)を利用して、福山市医師会が独自に開発したシステムを使って、福山市医師会総合健診センター・検査センター、参加医療機関(ORCA)にて集められた診療情報を本人の同意の元、参加施設にて情報共有を行う

代表団体 1	団体名	社団法人 福山市医師会										
	郵便番号	720-0032	住所	広島県福山市三吉町南2-11-25								
	電話	084-921-0035	FAX	084-921-4845	担当者所属	地域医療連携課						
	担当者氏名	藤井律男			Eメール	fma-r.fujii@fmed.jp						
システムの導入目的	医療連携、健康管理											
システム導入が必要になった地域の課題: 地域住民の健康を守るため												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク						
	効果あり		どちらとも言えない			効果あり						
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート						
	どちらとも言えない		効果あり			効果あり						
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減			医師の負担軽減						
	どちらとも言えない		どちらとも言えない			どちらとも言えない						
看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減			その他							
どちらとも言えない		どちらとも言えない			その他							
システムが現在抱えている課題: 地域共通カード発行の負担												
対象地域	市町村単位での連携 (福山市)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	5	30		5	実施中	500	200	医療機関等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中											
提供しているサービス状況	実施中	健診情報連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行										
	予定	在宅医療連携、介護連携、医療従事者用モバイル対応、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、どこでもMY病院										
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)										
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
システム構築費用負担者	実施中	厚生省										
	実施予定											
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定											

都道府県: 山口県 システムの名称: 総合病院情報システム  
 開始年: 2009年 略称・愛称: HIS  
 再生基金: 公開URL: <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/section/65.html>

情報更新日: 2014-01-21

システムの概要: 全面的な電子カルテ化を手段として、診療全般にわたる質の改善及び効率化、医療安全の向上、地域医療連携の向上を目指すもの。

代表団体 1	団体名	山口大学医学部附属病院			
	郵便番号	755-8505	住所	山口県宇部市南小串 1 丁目 1 - 1	
	電話	0836-22-2105	FAX	0836-22-2794	担当者所属
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用		学術研究等の公益目的で利用		統計結果の公益目的以外で利用

都道府県: 山口県 システムの名称: 地域医療連携システム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: 医療ネットながと  
 再生基金: 公開URL: <http://ngt-med.com/>

情報更新日: 2014-01-08

## システムの概要:

(1) 目的  
 長門地域の3中核病院と診療所等をネットワークで結び、主に中核病院の医療情報を他の病院・診療所においてリアルタイムで閲覧できるようにし、患者の同意のもとに患者の医療情報を地域の医療機関が共有できるようにする。

(2) システム概要  
 ・参加医療機関: 25 医療機関等 (3 中核病院・3 病院・17 診療所・1 包括支援センター・1 訪問看護)  
 ・システム機能概要  
 診療歴、処方(投薬、注射)、検体検査結果、画像検査結果などを参照する機能。  
 医療機関への個別お知らせ機能(紹介状、診療情報などの添付)  
 ・システム導入経費(中核病院の電子カルテシステムを除く。)31,290千円

(3) システム導入により期待される主な効果  
 ・患者サービスの向上(他医療機関の検査結果等も説明可になり患者説明の質向上など)  
 ・安全性の向上(禁忌・アレルギー情報の関係医療機関での共有、薬剤重複投与回避)  
 ・重複検査回避 など

代表団体 1	団体名	一般社団法人 長門市医師会			
	郵便番号	759-4101	住所	山口県長門市東深川826-2	
	電話	0837-22-4017	FAX	0837-22-8686	担当者所属 理事長

都道府県: 山口県 システムの名称: 宇部・山陽小野田・美祿圏地域医療連携情報ネットワークシステム  
 開始年: 2014年 略称・愛称: さんさんネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-03-24

システムの概要:  
 診療情報参照システム: 基幹病院と病院・診療所を閉鎖されたネットワークで接続し、患者さんの同意の基に基幹病院が開示を決定した診療情報を病院・診療所で参照可能にするシステム。  
 地域医療連携バスシステム: 大腿骨近位部骨折・脳卒中・心筋梗塞の各地域医療連携バスをネットワークで運用し、入力作業等の大幅な軽減を図り、急性期から維持期までの着実な運用を行うシステム。  
 退院情報連絡システム: 病院・有床診療所と市行政が連携して患者さんの退院後の生活について手助けとなるシステム。  
 医療連携システム(富士通社のヒューマンブリッジ)  
 ポータルサイト(サイボウズ社のガルーン3)

代表団体 1	団体名	宇部市医師会				
	郵便番号	755-0072	住所	山口県宇部市中村3丁目12-54		
	電話	0836-39-8399	FAX	0836-39-7406	担当者所属	
	担当者氏名	浜田 庸子			Eメール	hbma@apricot.ocn.ne.jp

都道府県: 徳島県 システムの名称: 遠隔画像診断システム  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: 未定  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-21

CT, MRI, マンモグラフィ画像、画像診断のレポート等の送受信を行うシステム

代表団体 1	団体名	特定非営利法人徳島画像診断ネットワーク			
	郵便番号	未定	住所	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番15号	
	電話	未定	FAX	未定	
	担当者氏名	原田 雅史	担当者所属	NPO法人徳島画像診断ネットワーク 理事長	
			Eメール	info@tdi-net.org	
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用		学術研究等の公益目的で利用		統計結果の公益目的以外で利用

都道府県: 徳島県 システムの名称: 未定  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL: 未定

情報更新日: 2013-12-11

## システムの概要:

地域連携システム				
代表団体 1	団体名	未定		
	郵便番号	未定	住所	徳島県
	電話		FAX	未定
	担当者氏名	未定	担当者所属	未定
			Eメール	未定
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			

都道府県: 徳島県 システムの名称: 糖尿病及び合併症における病病連携事業  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://www.todo-net.jp/

情報更新日: 2014-01-08

糖尿病の重症化防止、及びがん、脳卒中、心筋梗塞などの合併症発症予防を目的とした病病連携のため、徳島大学病院と健康保険鳴門病院間で診療情報共有を行う医療連携システムを構築、運用している。  
 また、医療連携システムに蓄積された医療情報について、有効活用を可能にする診療データベースを構築している。

代表団体 1	団体名	NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構		
	郵便番号	770-8503	住所	徳島県徳島市蔵本町3-18-15
	電話	088-626-3989	FAX	088-626-3989
	担当者氏名	玉木 悠	Eメール	somret0222@gmail.com

システムの導入目的 医療連携、疾病予防対策、疾病管理、徳島県における糖尿病の重症化・合併症化予防のための医療連携・診療情報共有を目的として導入している。  
 システム導入が必要になった地域の課題：徳島県は全国でも糖尿病の死因が最も多く、1次予防としての糖尿病予備軍のケアと糖尿病患者に対して合併症を引き起こさないよう2次予防をいかに促進化させるかが、緊急の課題となっている。病態の進行を抑えるため疾病管理が重要であるが、徳島県は専門医や糖尿病療養指導士（CDE）、地域糖尿病療養指導士（LCDE）が少なく、診療の標準化や運動療法の標準化が急務の課題となっている。これら現状を踏まえると、地域における糖尿病専門の医療従事者の効率的な活用の促進、患者治療の標準化促進と啓蒙活動が必要と考えている。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	どちらとも言えない	どちらとも言えない	効果あり
医師の偏在を補う効果	どちらとも言えない	患者紹介の円滑化	どちらとも言えない
どちらとも言えない	地域中核病院にとって診療所からの支援	効果あり	どちらとも言えない
地域中核病院にとって診療所からの支援	どちらとも言えない	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない
看護師の負担軽減	どちらとも言えない	事務職員の負担軽減	その他
どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	

システムが現在抱えている課題：地域連携のための診療情報共有ICTインフラはある程度整備されてきたが、そのインフラを活用して広げる標準化治療、疾病管理支援、教育指導コンテンツなど具体的なソフトの開発とそれを実施していく組織整備が現在取り組んでいる課題である。また、上記課題は解決にけて進捗中であるが、このようなインフラ・人材の維持費を賄うモデルの構築が最も大きな課題であると考えている。

対象地域 全県域での連携（徳島県）

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	11	9			1	実施中	600	127	医療機関等			
実施予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他

連携している疾病の状況	実施中	糖尿病
	予定	脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん

提供しているサービス状況	実施中	退院時サマリ、画像情報の共有、検査機関との連携、情報共有(掲示板など)
	予定	電子紹介状、遠隔医療、遠隔カンファランス、電子版糖尿病手帳、健診情報連携

補足・備考: NEC社医療連携サービス「ID-Link」を運用中。徳島大学病院においては電子カルテと連携して、連携先医療機関ではレセプト電算データ、外注検査結果データ（HL7）を投入して頂き、紹介患者の診療情報共有を行っている。

連携方式	集中型	分散型	その他

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他

厚生労働省標準規格	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)、JAHIS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスタ
	予定	電子紹介状

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	日本ユニシス株式会社	日本電気株式会社	富士通株式会社

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円			
診療所	0円			
薬局				
介護施設他	0円			
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳	
	補足・備考	補足・備考	補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中	100,000千円	総務省 地域ICT活用広域連携事業	5千円	2,500千円		500千円
実施予定						専用回線費等

システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担、総務省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担
	実施予定	

都道府県： 香川県 システムの名称： 香川医療情報ネットワーク（仮称）  
 開始年： 2013年 略称・愛称： K - M I X（仮称）  
 再生基金： 公開URL： http://www.m-ix.jp/

情報更新日： 2013-12-06

システム概要： 2次救急以上の中核医療機関（情報提供医療機関）の電子カルテ情報を共有化するネットワークを構築し、中核病院間で相互の情報共有を図るとともに、その他の病院や診療所（参照医療機関）などの参画を得て、中核医療機関の情報を、共有できるようにする。

代表団体 1	団体名	香川県				
	郵便番号	760-8570	住所	香川県高松市番町 4 - 1 - 1 0		
	電話	087-832-3319	FAX	087-831-0121	担当者所属	医務国保課
システムの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、医療連携、在宅医療対策					
システム導入が必要になった地域の課題：急性期からリハビリ期、維持期、在宅までの切れ目のないケアを確保するための医療資源の効率的な活用と医療連携体制の強化						
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他	
対象地域	全県域での連携（ ）					

都道府県: 香川県 システムの名称: かがわ遠隔医療ネットワーク  
 開始年: 2003年 略称・愛称: K-MIX  
 再生基金: 公開URL: http://www.m-ix.jp/

情報更新日: 2013-12-06

遠隔医療は、これまで限られた地域やグループ内で行われてきましたが、香川県では、共通のセンターサーバやネットワークプログラム、運用ルール等を整備し、平成15年6月、全国で初めてのオープンで利用しやすい医療連携システム「かがわ遠隔医療ネットワーク（略称：K-MIX）」をスタートさせました。利用者間で、画像を含む患者データをメールのように簡単に送受信できることから、いわゆる読影依頼だけでなく、患者紹介やその経過の共有、高度検査機器の共同利用等、日常の業務のさまざまな場面で、汎用性の高い医療連携のツールとしてご利用いただけます。

代表団体1	団体名	一般社団法人香川県医師会												
	郵便番号	760-8534		住所	香川県									
	電話	0878230155		FAX	0878230266		担当者所属	情報部						
	担当者氏名	長尾耕治					Eメール	k-mix@kagawa.med.or.jp						
システムの導入目的														
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	看護士の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他					
	対象地域 ( )													
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他		
実施中 予定	52	64				実施中 予定			医療機関等 介護施設等					
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他	
連携している疾病の状況	実施中 予定													
提供しているサービス状況	実施中 予定 電子紹介状、遠隔医療、画像情報の共有、画像診断サービス 遠隔カンファランス、電子処方箋(実証等)、電子おくり手帳													
連携方式	集中型		分散型		その他									
	データセンターに蓄積されたデータをインターネットを使用して共有する													
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他		
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他				
厚生労働省標準規格	実施中 予定													
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他								
	医療機関等 介護施設他 患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他						
	医療機関等 介護施設他 患者													
主な関連IT企業	企業名(1)				企業名(2)				企業名(3)					
	株式会社STnet													
サービス利用・参加費用	実施中													
	サービス費用(月額)	補足・備考						サービス費用(月額)	補足・備考					
	病院	6,500円		追加ID1つ/500円、他サービス併用で追加料金										
	診療所	6,500円		追加ID1つ/500円、他サービス併用で追加料金										
	薬局 介護施設他 患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用					
構築・運用費用概算	構築費用				運用費用				運用費用内訳					
	補足・備考				補足・備考				保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考	
実施中					5,500千円				4,500千円			1,000千円		
実施予定														
システム構築費用負担者	実施中 参加施設の負担、自治体の負担													
	実施予定													
システム運用費用負担者	実施中 参加施設の負担													
	実施予定													

都道府県: 愛媛県 システムの名称: 愛媛県医師会地域医療連携ネットワーク  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 連携EMAネットワーク  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-21

## システムの概要:

県内全域で医療連携の基盤となる医療情報ネットワークのインフラを整備する。  
 インフラ = 接続の足回り + 最小限必要なセンター機能  
 1) 接続の足回り  
 IPsec + IKE接続またはIP-VPN接続  
 2) 最小限必要なセンター機能  
 1対1の施設間データの送受信 (基本的な機能)  
 多施設で共有したいデータの管理・閲覧機能  
 ポータル(ハブ)機能、アクセス制御  
 セキュリティ、監視、NW運用、運用規程

代表団体 1	団体名	愛媛県医師会				
	郵便番号	790-8585	住所	愛媛県松山市三番町4丁目5-3		
	電話	089-943-7582	FAX	089-933-1465	担当者所属	愛媛県医師会事務局
	担当者氏名	芳仲秀造			Eメール	yoshinak@ehime.med.or.jp

都道府県: 愛媛県 システムの名称: 心筋梗塞患者における救急隊・病院連携体制の構築事業  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-21

?心電図送付システムの確立 ?心電図の遠隔解析・診断体制の運用				
代表団体 1	団体名	愛媛大学医学部 地域医療再生学講座		
	郵便番号		住所	愛媛県
	電話		FAX	
	担当者氏名	今川 弘	担当者所属	愛媛大学医学部 地域医療再生学講座
			Eメール	
システムの導入目的				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	( )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 愛媛県 システムの名称: 小児先天性心疾患患者に対する地域医療連携システム(仮称)  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-01-21

小児科患児に関する医療情報をかかりつけ医と大学病院とで共有

代表団体 1	団体名	愛媛大学大学院医学系研究科 地域救急医療学講座		
	郵便番号		住所	愛媛県
	電話		FAX	
	担当者氏名	鈴木 由香		担当者所属
			Eメール	
システムの導入目的	小児医療対策			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	二次医療圏での連携 ( 八幡浜・大洲圏域 )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 愛媛県 システムの名称: 中予地域空床管理ネットワーク  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-21

救急病院のベッドを確保することを目的に、中予圏域の病院、診療所の空床情報を管理。また、後送先である病院、診療所のベッドの確保のため、在宅転換協力診療所の把握を行う。

代表団体 1	団体名	一般社団法人松山市医師会		
	郵便番号		住所	愛媛県
	電話		FAX	
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	
システムの導入目的	救急医療対策			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	二次医療圏での連携 (松山圏域)			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 愛媛県 システムの名称: 南予地域医リハビリテーションシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-21

愛媛県医師会主体の事業である「医療情報ネットワークの整備」に参加し、医療施設間で紹介状、診療情報提供書、検査データ、画像データ等の共有を図る。

代表団体 1	団体名	宇和島社会保険病院		
	郵便番号		住所	愛媛県
	電話		FAX	
	担当者氏名	椛山 美千代	担当者所属	地域医療連携室
			Eメール	
システムの導入目的	医療連携			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他	
対象地域	二次医療圏での連携（宇和島圏域）			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 高知県 システムの名称:  
 開始年: 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2012-09-25

代表団体 1	団体名			
	郵便番号		住所	高知県
	電話		FAX	
	担当者氏名		担当者所属	
			Eメール	

都道府県: 高知県 システムの名称: 地域連携システム  
 開始年: 2010年 略称・愛称: しまんとネット  
 再生基金: 公開URL: <http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/chiiikirenkei.html>

情報更新日: 2013-12-02

## システムの概要:

当院の電子カルテのオプションである地域連携システムを導入し、地域連携バスを電子化するとともに、当院の電子カルテに記載された情報を情報ネットワーク経由で地域医療機関、福祉施設等に公開する。カルテ記載、紹介状、退院サマリ、検査結果、画像、レポートなど当院の電子カルテで閲覧できる情報がほぼそのまま閲覧できる。それにより、紹介状に書ききれない詳しい情報を、地域医療機関からいつでも手軽に見ることができ、地域一体となって患者情報を共有することができる。

代表団体 1	団体名	高知県立幡多けんみん病院		
	郵便番号	788-0785	住所	高知県宿毛市山奈町芳奈3番地1
	電話	0880-66-2222	FAX	
			担当者所属	経営企画課

都道府県: 高知県 システムの名称: 高知県中西部医療介護ICT連携事業  
 開始年: 2011年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-27

## システムの概要:

医療介護連携システム  
 医療介護連携システムでは、住民に対して共通IDを割り振り、医療介護関連の情報を一元管理する。病院、かかりつけ医等医師、介護施設、在宅でのサービス提供者等のそれぞれで発生する情報を共通IDを元に登録し、共有することにより、サービス提供者の連携を促進し、サービスレベルの向上を図り、要介護者等高齢者の満足度向上を目的とする。また要介護者宅でのデータの登録・閲覧が簡単に行えるようモバイル端末からの利活用環境整備を行う。

代表団体 1	団体名	中土佐町役場				
	郵便番号	789-1301	住所	高知県高岡郡中土佐町礼6551-3		
	電話	0889-52-3352	FAX	0889-52-3131	担当者所属	中土佐町地域包括支援センター
	担当者氏名	中山順子	Eメール	junko_nakayama@town.nakatosa.lg.jp		
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他			
医療機関等						
介護施設等						
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意		施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
サービス利用・参加費用	実施中			実施予定		
	サービス費用(月額)	補足・備考		サービス費用(月額)	補足・備考	
	病院	0円				
	診療所	0円				
	薬局	0円				
	介護施設他	0円				
患者	0円					
システム構築費用負担者	実施中	総務省				
	実施予定					
システム運用費用負担者	実施中	自治体の負担				
	実施予定					

都道府県: 福岡県 システムの名称: Health DB  
 開始年: 2014年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-05

## システムの概要:

患者の検査履歴について以下の各項目のように参照を行うことを可能とする。

- ・すべて検査履歴
- ・特定範囲/特定項目のみの検査履歴
- ・同診履歴
- ・病名履歴(既往症)

また権限管理により複数の医療機関で同じ患者の履歴情報に対する適切な運用、検査値の簡易グラフ化により各検査項目の継続的な傾向の把握などを可能とする。  
 ClickOneceによるクライアントプログラムのデプロイ(配布)を実現するため、Net Framework4.0 を用いて実装される。

代表団体 1	団体名	合同会社カルナヘルスサポート		
	郵便番号	8120024	住所	福岡県福岡市博多区綱場町1-16多田ビル5F
	電話	092-263-4380	FAX	092-263-4390
	担当者氏名	日山富士代	Eメール	fujiyo@carna.med.kyushu-u.ac.jp
システムの導入目的	救急医療対策、へき地医療対策、在宅医療対策、疾病予防対策、疾病管理、健康管理			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	効果あり	効果あり	どちらも言えない	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	どちらも言えない	どちらも言えない	どちらも言えない	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	どちらも言えない	効果あり	どちらも言えない	
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他		
どちらも言えない	どちらも言えない			
システムが現在抱えている課題: マイナンバー制の未導入				
対象地域	二次医療圏での連携(久留米市、大川市、行橋市、豊前市、京都都(苅田町、みやこ町))			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 福岡県 システムの名称: ID\_Link  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-01-16

NECのID\_Linkシステムを導入して、久留米医師会の同じID\_Link戸をつなげて運用開始しました。  
 本年土中に、当医師会管内の情報公開サーバーを設置予定です。

代表団体1	団体名	八女筑後医師会										
	郵便番号	834-0063	住所	福岡県								
	電話	0943-22-4141	FAX	0943-25-1017	担当者所属	理事						
	担当者氏名	蒲池正浩			Eメール	mail@hirokawa-kamachi.jp						
システムの導入目的	がん対策、医療連携											
システム導入が必要になった地域の課題：現在進めているシステムは、診療所-病院、病院-病院間の情報の交換ですが、今後在宅医療を目指したシステムに必要なのは、介護施設、薬局、訪問看護等の多職種間の連携が必要になってくる。												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得			医療機関間の人的ネットワーク						
	どちらも言えない		どちらも言えない			どちらも言えない						
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化			診療所にとって地域中核病院からのサポート						
	効果なし		効果あり			どちらも言えない						
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減			医師の負担軽減						
	どちらも言えない		どちらも言えない			どちらも言えない						
看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減			その他							
効果なし		効果なし			効果なし							
システムが現在抱えている課題：当医師会内の期間病院での情報公開サーバーの設置がまだできていないために閲覧施設の登録が進んでいない。												
対象地域	二次医療圏での連携（久留米医師会）											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	7				実施中			医療機関等			
予定	6					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定 大腿骨頸部骨折、脳血管障害											
提供しているサービス状況	実施中 電子紹介状、画像情報の共有											
	予定 退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携											
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 福岡県 システムの名称: くるめ医療情報ネットワーク協議会  
 開始年: 2012年 略称・愛称: アザレアネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.kurume-med.or.jp/top/kurumenetwork.html

情報更新日: 2013-02-05

ID-Linkを用いて地域診療情報共有システムの継続的・安定的な運営管理をおこなう

代表団体 1	団体名	社団法人 久留米医師会											
	郵便番号	830-0013	住所	福岡県久留米市榑原町45									
	電話	0942-34-4163	FAX	0942-31-1156	担当者所属	事務長							
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中	3	30				実施中			医療機関等				
予定			1			予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中												
	予定												
提供しているサービス状況	実施中												
	予定												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中												
	予定												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中					実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
病院	20,000 円												
診療所	0 円												
薬局	0 円												
介護施設他													
患者													
構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳								
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考				
実施中	150 千円		1,600 千円										
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中												
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 福岡県 システムの名称: むーみんネットシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2013-12-03

多職種間における在宅医療連携のための患者情報共有システム

代表団体1	団体名	一般社団法人 宗像医師会										
	郵便番号	811-3431	住所	福岡県宗像市田熊5-5-3								
	電話	0940-36-2453	FAX	0940-34-2081	担当者所属	宗像医師会病院 企画情報管理室						
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化		医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク							
	どちらも言えない		効果あり		効果あり							
	医師の偏在を補う効果		患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート							
	どちらも言えない		効果あり		効果あり							
	地域中核病院にとって診療所からの支援		業務全体の負担軽減		医師の負担軽減							
	効果あり		効果あり		どちらも言えない							
	看護師の負担軽減		事務職員の負担軽減		その他							
	どちらも言えない		どちらも言えない									
対象地域	市町村単位での連携 ( 宗像市、福津市 )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中					実施中		30	医療機関等			
	予定					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他		
連携している疾病の状況	実施中											
	胃・大腸がん、その他のがん											
提供しているサービス状況	実施中 医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)											
	予定 電子紹介状、電子処方箋(実証等)、電子おくすり手帳、退院時サマリ、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
	介護施設他											
	患者											
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
	介護施設他											
	患者											
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)		補足・備考				サービス費用(月額)		補足・備考			
	病院	0円					0円					
	診療所	0円					0円					
	薬局	0円					0円					
	介護施設他	0円					0円					
患者	0円					0円						
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 福岡県 システムの名称: 地域医療連携支援システム エイル  
 開始年: 2011年 略称・愛称: エイル  
 再生基金: 公開URL: www.eir-note.com

情報更新日: 2013-12-12

「エイル」は、在宅医療・介護の専門ネットワークとして機密性を維持しながら多職種にわたるスタッフと患者間で患者情報を安全に共有するためのアプリケーションです。

代表団体 1	団体名	株式会社エイル										
	郵便番号	812-0012	住所	福岡県福岡市博多区は嘉多駅東1-17-1 4F オフィス10								
	電話	092-409-5500	FAX	092-409-5550	担当者所属							
	担当者氏名	エイル事務局			Eメール	contact@eir-note.com						
システムの導入目的	医療連携											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化 効果あり			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得 効果あり				医療機関間の人的ネットワーク 効果あり				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	看護師の負担軽減 効果あり			事務職員の負担軽減				その他				
	対象地域 ( )											
施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他									
	医療機関等											
	介護施設等											
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意		施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他						
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中		在宅医療連携、介護連携、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス、情報共有(掲示板など)									
	予定		電子処方箋(実証等)									
連携方式	集中型	分散型	その他									
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中		医薬品HOTコードマスタ									
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
医療機関等												
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
医療機関等												
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
サービス利用・参加費用	実施中				実施予定							
	サービス費用(月額)	補足・備考			サービス費用(月額)	補足・備考						
	病院	10,000円	無料あり									
	診療所	0円										
	薬局	0円										
介護施設他	0円											
患者	0円											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用			学術研究等の公益目的で利用			統計結果の公益目的以外で利用					

都道府県: 福岡県 システムの名称: ひまわりネット  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-14

放射線・地域連携システムとしてMRI・CT・上部消化管内視鏡・下部消化管内視鏡・骨塩定量検査のインターネットを利用した、検査予約と検査結果レポート・検査画像の閲覧を行うシステムである。													
代表団体1	団体名	国家公務員共済組合連合会新小倉病院											
	郵便番号	803-8505	住所	福岡県									
	電話	093-571-1031	FAX			担当者所属	診療放射線部						
	担当者氏名	宮嶋 清次			Eメール	shinkokura-houshasen@hotmail.co.jp							
システムの導入目的	医療連携、高額医療機器の地域医療機関との共同利用と病院・診療所・医院の連携を目的としたシステム												
システム導入が必要になった地域の課題: 地域医療機関に気軽に高額医療機器を使用した診療を行っていただく助けになればよいと考え、また紹介医院である当院の医師との連携をスムーズに行う必要を考え。													
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート					
	どちらも言えない			効果あり				効果あり					
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減					
	どちらも言えない			効果あり				どちらも言えない					
看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他						
どちらも言えない			効果あり										
システムが現在抱えている課題: まだ、院内のオーダリングシステムとの連携が手動である。システム的には科であるが予算の関係で未接続である。院内での管理担当部署が診療科である放射線部であるので、診療予約などの他分野の拡張まで手が回らない。													
対象地域	市町村単位での連携 (北九州市小倉北区小倉南区戸畑区八幡東区門司区)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
	実施中	29				実施中	1,000		医療機関等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定		施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他			
連携している疾病の状況	実施中 予定												
提供しているサービス状況	実施中 予定 画像情報の共有、画像診断サービス、診療・検査予約												
連携方式	集中型		分散型		その他								
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他 当院での依頼検査結果レポートと画像の共有								
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他 院外データセンターと院内のアーカイブ			
厚生労働省標準規格	実施中 予定 デジタル画像と通信(DICOM)												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等	院内からデータセンターまではIP-VPN												
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
	西日本MC			ケアーストリームヘルス									
サービス利用・参加費用	実施中												
	サービス費用(月額)	補足・備考				実施予定							
	補足・備考	補足・備考											
	病院	0円	インターネット通信料は別										
	診療所	0円	インターネット通信料は別										
薬局													
介護施設他													
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
構築・運用費用概算	構築費用			運用費用			運用費用内訳						
	補足・備考			補足・備考			保守費/年間	補足・備考		その他費用/年間	補足・備考		
	実施中	6,000千円	基本設定の料金	960千円	IP-VPN通信料別	960千円							
実施予定													
システム構築費用負担者	実施中	当院負担のみ											
実施予定													
システム運用費用負担者	実施中	当院負担のみ、通信料は各施設											
実施予定													

都道府県: 福岡県 システムの名称: TRITRUSシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-02-07

情報機器端末を利用し在宅医療専門ネットワークとして、機密性を維持しながら、多職種に渡る従事者間で患者情報を安全に共有するためのアプリケーション。

代表団体 1	団体名	北九州市医師会				
	郵便番号	802-0077	住所	福岡県北九州市小倉北区馬借1-7-1 総合保健福祉センター7階		
	電話	093-513-3811	FAX	093-513-3816	担当者所属	業務課

都道府県: 福岡県 システムの名称: 福岡県医師会診療情報ネットワーク  
 開始年: 2014年 略称・愛称: とびうめネット  
 再生基金: 公開URL:  
 システムの概要:

情報更新日: 2014-02-12

代表団体 1	団体名	公益社団法人 福岡県医師会				
	郵便番号	812-8551	住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-9-30-4F		
	電話	092-431-4564	FAX	092-411-6858	担当者所属	経理課
	担当者氏名	中村			Eメール	y-nakamura@fukuoka.med.or.jp
連携している 疾病の状況	実施中					
	予定					
提供している サービス状況	実施中					
	予定	退院時サマリ、患者用IDカードの発行、Eメール・メルマガなど				

都道府県: 佐賀県 システムの名称: 佐賀県診療録地域連携システム  
 開始年: 2010年 略称・愛称: ピカピカリンク  
 再生基金: 公開URL: http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/pica2/

システムの概要:

情報更新日: 2014-01-24

ID-Linkを利用した病病・病診連携システム													
代表団体1	団体名	佐賀県											
	郵便番号	840-8570											
	住所	佐賀県佐賀市城内1-1-59											
	電話番号	0952-25-7033	FAX	0952-25-7267	担当者所属	佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室							
	担当者氏名	溝上 信彦				Eメール	imu@pref.saga.lg.jp						
システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策												
システム導入による効果	医療機関間での機能分化 どちらも言えない			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得 どちらも言えない			医療機関間の人的ネットワーク 効果あり						
	医師の偏在を補う効果 効果なし			患者紹介の円滑化 どちらも言えない			診療所にとって地域中核病院からのサポート 効果あり						
	地域中核病院にとって診療所からの支援 効果あり			業務全体の負担軽減 効果あり			医師の負担軽減 効果あり						
	看護師の負担軽減 効果なし			事務職員の負担軽減 どちらも言えない			その他						
	対象地域												
	全県域での連携 (佐賀県)												
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他	
実施中	39	64		7		実施中			医療機関等				
予定						予定			介護施設等				
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る			その他
連携している疾病の状況	実施中												
	予定												
提供しているサービス状況	実施中 遠隔医療、退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応												
	予定 電子紹介状、遠隔カンファランス、在宅医療連携、検査機関との連携												
連携方式	集中型	分散型	その他										
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他										
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他	
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他			
厚生労働省標準規格	実施中 デジタル画像と通信(DICOM)												
	予定 医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ												
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他							
医療機関等													
介護施設他													
患者													
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他					
医療機関等													
介護施設他													
患者													
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)						
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定						
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考						
病院	0円												
診療所	0円												
薬局													
介護施設他	0円												
患者													
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用				
システム構築費用負担者	実施中												
	実施予定												
システム運用費用負担者	実施中												
	実施予定												

都道府県: 長崎県 システムの名称: あじさいネットワーク  
 開始年: 2004年 略称・愛称: あじさいネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.ajisai-net.org/

情報更新日: 2013-12-26

## 地域医療連携システム

代表団体1	団体名	NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会										
	郵便番号	852-8532	住所	長崎県長崎市茂里町3-27								
	電話	095-844-1111	FAX	095-844-1110								
				担当者所属								
システムの導入目的	救急医療対策、周産期医療対策、医療連携、在宅医療対策、立ち上げ当初は、医療連携のみの目的でしたが、地域医療再生基金を利用して、救急医療、周産期医療、在宅医療等の目的としてもシステムを拡充中です。											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化			医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク				
	効果あり			どちらも言えない				効果あり				
	医師の偏在を補う効果			患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート				
	どちらも言えない			効果あり				効果あり				
	地域中核病院にとって診療所からの支援			業務全体の負担軽減				医師の負担軽減				
	効果あり			どちらも言えない				どちらも言えない				
	看護師の負担軽減			事務職員の負担軽減				その他				
	どちらも言えない			どちらも言えない								
対象地域	全県域での連携 ( )											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	22	168	37	2	5	実施中	32,069		医療機関等		
	予定					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る		連携する医師毎に同意を得る		その他	
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	電子紹介状、遠隔医療、退院時サマリ、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、画像診断サービス、どこでもMY病院											
	予定											
	遠隔カンファランス、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応											
補足・備考: 連携内容は医療情報を開示している病院によって異なるので疾病の限定はない。												
連携方式	集中型		分散型		その他							
情報共有形態	双方向		参照のみ		その他							
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				
	NTTデータ及びNTTデータ中国			富士通				NEC				
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院	18,000 円	VPN回線利用料										
診療所	4,000 円	その他に入会金50,000円、初期設定費用30,000円、ウイルス対策ソフトライセンス料年間3,000円										
薬局	4,000 円	その他に入会金50,000円、初期設定費用30,000円、ウイルス対策ソフトライセンス料年間3,000円										
介護施設他	4,000 円	その他に入会金50,000円、初期設定費用30,000円、ウイルス対策ソフトライセンス料年間3,000円										
患者	0 円											
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			
システム構築費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定	厚労省										
システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担										
	実施予定	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、国の負担										

都道府県: 長崎県 システムの名称: 白十字会地域医療連携システムクロスネット  
 開始年: 2007年 略称・愛称: クロスネット  
 再生基金: 公開URL: firepass.cross-net.jp

情報更新日: 2013-12-04

システムの概要:												
患者情報の公開(オーダ、カルテ、検査結果、画像) 院内の行事予定、医師不在予定、マニュアルなどの公開												
代表団体1	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院											
	郵便番号	857-1195		住所	長崎県佐世保市大和町15							
	電話	0956-33-6560		FAX	0956-33-6560		担当者所属	システム開発室				
システムの導入目的	救急医療対策、災害医療対策、医療連携、在宅医療対策											
システム導入による効果	医療機関間での機能分化				医療機関間の知識やノウハウの伝達習得				医療機関間の人的ネットワーク			
	効果あり				どちらとも言えない				効果あり			
	医師の偏在を補う効果				患者紹介の円滑化				診療所にとって地域中核病院からのサポート			
	どちらとも言えない				効果あり				効果あり			
	地域中核病院にとって診療所からの支援				業務全体の負担軽減				医師の負担軽減			
	効果あり				どちらとも言えない				どちらとも言えない			
看護師の負担軽減				事務職員の負担軽減				その他				
どちらとも言えない				どちらとも言えない				その他				
システムが現在抱えている課題: 大規模な地域支援システムができた場合、そちらへシフトしていく方向で検討しています												
対象地域	市町村単位での連携(福岡市)											
参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
	実施中	4	61			実施中	7,000	7,000	医療機関等			
	予定					予定			介護施設等			
患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意			施設毎に連携の可否を指定			施設毎に同意を得る			連携する医師毎に同意を得る		その他
連携している疾病の状況	実施中											
	予定											
提供しているサービス状況	実施中											
	予定											
連携方式	集中型			分散型			その他					
情報共有形態	双方向			参照のみ			その他					
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
介護施設他												
患者												
主な関連IT企業	企業名(1)			企業名(2)			企業名(3)					
	テクマトリックス株式会社											
サービス利用・参加費用	実施中						実施予定					
	サービス費用(月額)	補足・備考				サービス費用(月額)	補足・備考					
病院	0円					未定						
診療所	0円					未定						
薬局												
介護施設他												
患者												
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用				学術研究等の公益目的で利用				統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 長崎県 システムの名称: メディカル・ネット99  
 開始年: 2004年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

システムの概要:

情報更新日: 2014-01-21

紹介病院等が佐世保中央病院の電子カルテ情報を参照できません。検査(CT/MR)の予約が診療所できません

代表団体 1	団体名	社会医療法人財団 白十字会 佐世保中央病院		
	郵便番号	8571195	住所	長崎県佐世保市大和町15番地
	電話	0956337151	FAX	0956338557
	担当者氏名	竹谷 貴海	担当者所属	システム開発室
			Eメール	t.takeya@hakujujikai.or.jp
システムの導入目的	医療連携			
システム導入が必要になった地域の課題: 情報連携が紹介状&フィルムだけだった。				
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	効果あり	効果あり	効果あり	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	どちらとも言えない	効果あり	どちらとも言えない	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減	
	効果あり	効果あり	効果あり	
看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他		
効果あり	効果あり			
システムが現在抱えている課題: 双方向通信でないこと				
対象地域	市町村単位での連携(佐世保市)			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県: 長崎県 システムの名称: 長崎在宅Dr. ネットメーリングリスト  
 開始年: 2009年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: http://doctor-net.or.jp

情報更新日: 2013-12-10

フリーメールを利用したメーリングリスト												
代表団体 1	団体名	認定NPO法人 長崎在宅Dr. ネット										
	郵便番号	850-0022	住所	長崎県長崎市馬町2-1-1 B-13								
	電話	095-811-5120	FAX	095-811-5121	担当者所属	事務局						
連携方式	集中型	分散型	その他									
	双方向	参照のみ	その他									
地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化 ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
	院内	院外	その他	情報/データの バックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他		
厚生労働省 標準規格	実施中											
	予定											
通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他						
	医療機関等											
	介護施設他											
	患者											
ログインセキュリテ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他				
	医療機関等											
	介護施設他											
	患者											
主な関連 IT企業	企業名(1)			企業名(2)				企業名(3)				

都道府県: 長崎県 システムの名称: 糖尿病等地域連携システム  
 開始年: 2015年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-02-21

システム概要: 専門医とかかりつけ医との連携を十分行なうため、ITを活用し電子化した糖尿病地域連携バスの運用することで、効率的にかつ確実に標準的な糖尿病診療を行なうことが可能となる。

代表団体 1	団体名	長崎県				
	郵便番号	850-8570	住所	長崎県長崎市江戸町2-13		
	電話	095-895-2463	FAX	095-895-2573	担当者所属	福祉保健部医療政策課

都道府県: 熊本県 システムの名称: 地域医療画像連携ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称: くまちゅう画像ネット  
 再生基金: 公開URL: http://www.kumachu.gr.jp/medical/network/network\_s.html

情報更新日: 2013-12-05

セキュリティを確保したインターネット回線を用いて紹介患者さんの情報の共有化を図ることで、かかりつけ医の先生方の診療を側面から支援していくことを目的としている。  
 紹介元医療機関へ端末を貸与し、専用端末上で画像情報等を参照することができる。

【主な機能】  
 画像の閲覧、診療情報提供書の閲覧、検査のオンライン予約 など。

代表団体 1	団体名	国家公務員共催組合連合会 熊本中央病院		
	郵便番号	8620965	住所	熊本県熊本市南区田井島1-5-1
	電話	096-370-3111	FAX	096-214-8977
	担当者所属	地域医療連携室		

システムの導入目的	医療連携
-----------	------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
	基本的に参加施設には画像CDを提供しなくて良いので、放射線科ス		

対象地域	( )
------	-----

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	11	39				実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	---------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、診療・検査予約、補足・備考(自由記載)
	予定	遠隔医療

補足・備考: 1:画像の閲覧(CT・MRI・RI・心カテ静止画・内視鏡・エコー・レントゲン)

2:診療情報提供書の閲覧

3:検査予約(CT・MRI・胃カメラ)

4:紹介するかどうか迷った時に画像を転送し、画像をお互いに見ながらdiscussion可能

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データの提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
		中核病院(本院)の画像サーバ	バックアップ体制						

厚生労働省標準規格	実施中	IDC10対応標準病名マスタ、デジタル画像と通信(DICOM)
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	PSP株式会社		

都道府県: 大分県 システムの名称: 別府市医師会地域医療連携システム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: ゆけむり医療ネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-27

システムの概要: 基幹病院と病院・診療所を閉鎖されたネットワークによって結び、紹介された患者の同意の基にリアルタイムに病院・診療所へ診療情報(カルテ内容、看護記録、画像・検査・薬剤情報など)を参照可能なコンピュータネットワークを利用した地域医療連携システムを構築し、今まで患者が持参していたレントゲンフィルム等の個人情報患者の同意の基に安全かつスピーディーに届け、さらに実際に行われた医療行為とその結果を迅速、正確、詳細に把握することができ、紹介元施設におけるより適切な高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となります。また、受診・入院依頼や検査依頼において予約電話を掛ける煩雑さや文書送付のためのタイムロスがなくなりスムーズに行える等、また基幹病院には受診・入院報告や検査結果報告が簡便になり、通信費の削減等にも貢献する利点が考えられます。そして、システムを構築することにより、かかりつけ医と基幹病院の役割分担と信頼関係はさらに充実し、それが目に見えることにより患者さんに対し、今まで以上の信頼と安心を与えようと考えます。

一方、かかりつけ医が最新の診断・治療法を容易に知りえることもメリットであり、基幹病院では診療内容の公開による分かりやすいカルテの作成や医療の標準化が期待されます。医療連携システム(富士通社のヒューマンリソリジョン) 医師会業務システム(サイボウズガルーン) 在宅医療連携システム(ファイルメーカー) 以上、このシステムに多くの病院や診療所の医師・コメディカルが参加することにより地域医療の質の向上に資する事を目標としています。また、平成24年-25年度においては厚労省の「処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業」に参加しており、処方箋情報を電子化して保存する際に医師と薬剤師による電子認証と署名に保健医療福祉分野公開鍵基盤(HPKI)を用いて真正性を担保し、紙で保存することになっている処方箋を電子化した場合にどうなるかを実証しています。医師は「処方箋を印刷して印鑑を押す」行為に対してHPKIカードを利用して、医師の資格確認のために認証し、処方箋情報を保存する際に電子署名をして電子化した処方箋情報を送信する事となります。保険医療費負担規則で保険薬局には直接、処方箋情報を送信できないため、一旦、ASPサーバへ送信して保存し、患者には紙に変わるICカードを持たせて、薬局で提示することにより、薬剤師がHPKIカードを利用して、薬剤師の資格確認のために認証し、処方箋情報を患者から提示されたICカードをトリガーにしてASPサーバより処方箋情報を受け取り調剤を行います。薬剤師は実際に調剤した「調剤実施情報」を電子化してASPサーバへ送る際にHPKIカードを利用し電子署名を行い送信することにより、地域で調剤実施された薬の情報が蓄積されることとなります。この蓄積された薬情報を医療連携システムで共有することにより、救急や災害時に利用でき、参加した地域住民はICカードにより薬情報を電子おくり手帳として利用できることが期待されます。

代表団体 1	団体名	別府市医師会		
	郵便番号	874-0908	住所	大分県別府市上田の湯町10番5号
	電話	0977-23-2279	FAX	0977-26-4001
	担当者氏名	田能村 祐一	Eメール	tanomura@beppu-med.or.jp

システムの導入目的: 医療連携、在宅医療対策、健康管理  
 システム導入が必要になった地域の課題: インフラが整っていない地域があり、ネットワークを導入しなくても導入できないケースがある。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果あり 医師の偏在を補う効果 どちらとも言えない	効果あり 患者紹介の円滑化 効果あり	効果あり 診療所にとって地域中核病院からのサポート 効果あり 医師の負担軽減
対象地域	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	どちらとも言えない 看護師の負担軽減 どちらとも言えない	どちらとも言えない 事務職員の負担軽減	どちらとも言えない その他

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	21	49			1	実施中	1,600	1,600	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携に一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	---------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、その他
予定		

提供しているサービス状況	実施中	電子処方箋(実証等)、電子おくり手帳、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど
予定		電子紹介状、遠隔カンファランス、電子版糖尿病手帳、退院時サマリ、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス

補足・備考: 医師会での講演・研修会のビデオ配信(オンデマンド)

連携方式	集中型	分散型	その他
情報共有形態	双方向	参照のみ	その他

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
								ストレージ				NSIPS

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
										電気自動車による停電時にサーバ室への

厚生労働省標準規格の採用状況	実施中	医薬品HOTコードマスタ、IDC10対応標準病名マスタ、患者診療情報提供書、可搬型医用画像、デジタル画像と通信(DICOM)、臨床検査マスタ
予定		電子紹介状、医療波形フォーマット、JAHIS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスタ、JAHIS放射線データ交換規約

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等							SSL証明書	
介護施設他							SSL証明書	
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	富士通株式会社	NTT西日本	日立製作所

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円	別府市医師会会員は無料	0円	別府市医師会会員は無料
診療所	0円	別府市医師会会員は無料	0円	別府市医師会会員は無料
薬局				
介護施設他	0円			
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
	補足・備考		補足・備考		保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中	30,000千円	地域再生基金より3分の2補助	40千円	GWサーバ保守	840千円		
実施予定							

システム構築費用負担者	実施中	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、厚生省
実施予定		参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担、厚生省

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
実施予定		参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担

都道府県: 大分県 システムの名称: 臼杵市医師会地域診療情報連携推進事業  
 開始年: 2007年 略称・愛称: うすき石仏ねっと  
 再生基金: 公開URL: <http://www.usukicosmos-med.or.jp/>

情報更新日: 2013-12-26

システムの概要: 大分県臼杵市の地域医療・介護連携システムです。市内の医療機関、訪問看護ステーション、調剤薬局(平成25年度中)、介護施設(平成25年度～27年度)を結ぶネットワークです。共有情報は検体検査情報、画像情報、サマリー情報、紹介状、投薬情報(お薬手帳)、糖尿病連携パス、医療・介護共有情報(平成25年度中開始を含む)等です。運用開始は平成20年4月からですが、平成24年4月から行政の協力により強力的に推進しております。

代表団体 1	団体名	一般社団法人 臼杵市医師会				
	郵便番号	875-0051	住所	大分県臼杵市大字戸室1131番地1		
	電話	0972-62-5599	FAX	0972-63-8836	担当者所属	医療情報室

システムの導入目的	
-----------	--

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他

対象地域	( )
------	-----

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	21	49			1	実施中	1,600	1,600	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	大腿骨頸部骨折、脳血管障害、心臓疾患、胃・大腸がん、その他のがん、肝炎、糖尿病、その他
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	電子処方箋(実証等)、電子おくすり手帳、健診情報連携、在宅医療連携、介護連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、Eメール・メルマガなど
	予定	電子紹介状、遠隔カンファランス、電子版糖尿病手帳、退院時サマリ、PCアクセスサービス、モバイルアクセスサービス

補足・備考: 医師会での講演・研修会のビデオ配信(オンデマンド)

都道府県: 大分県 システムの名称: 処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-27

システムの概要: 厚労省の「処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業」に参加しており、処方箋情報を電子化して保存する際に医師と薬剤師による電子認証と署名に保健医療福祉分野公開鍵基盤(HPKI)を用いて真正性を担保し、紙で保存することとなっている処方箋を電子化した場合にどうなるかを実証しています。医師は「処方箋を印刷して印鑑を押す」行為に対してHPKIカードを利用して、医師の資格確認のために認証し、処方箋情報を保存する際に電子署名をして電子化した処方箋情報を送信する事となります。保険医療費担当規則で保険薬局には直接、処方箋情報を送信できないため、ASPサーバへ送信して保存し、患者には紙に変わるICカードを持たせて、薬局で掲示することにより、薬剤師がHPKIカードを利用して、薬剤師の資格確認のために認証し、処方箋情報を患者から提示されたICカードを利用して、患者のICカードにより、地域で調剤実施された薬の蓄積された薬情報を医療連携システムで共有することにより、救急や災害時に利用でき、参加した地域住民はICカードにより薬情報を電子おくり手帳として利用できるようになることが期待されます。

代表団体 1	団体名	一般社団法人 別府市医師会		
	郵便番号	874-0908	住所	大分県別府市上田の湯町10番5号
	電話	0977-23-2277	FAX	0977-24-7664
	担当者氏名	田能村 祐一	Eメール	tanomura@beppu-med.or.jp

システムの導入目的	その他、実証事業
-----------	----------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他
			処方箋の電子化のための実証事業ですので地域で調剤実施された薬の

対象地域	市町村単位での連携 (別府市)
------	-----------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中		14	30			実施中			医療機関等			
予定						予定	2,000	2,000	介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	電子処方箋(実証等)、患者用IDカードの発行
	予定	電子おくり手帳、PCアクセスサービス

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
	富士通	パナソニックヘルスケア	E Mシステムズ、三菱メルファン

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円			
診療所	0円			
薬局	0円			
介護施設他	0円			
患者	0円			

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳		
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間
実施中							
実施予定							

システム構築費用負担者	実施中	厚労省
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	
	実施予定	

都道府県: 大分県 システムの名称: 大分市医師会医療情報ネットワークシステム  
 開始年: 2011年 略称・愛称: 府内ネット  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-02-04

紹介患者さんのカルテ情報の閲覧や、放射線検査はCD-Rと同様に画像やレポートを閲覧することができる。また、検体検査のデータについても「府内ネット」は接続した端末から閲覧する機能を提供する。

代表団体 1	団体名	一般社団法人 大分市医師会				
	郵便番号	870-1133	住所	大分県大分市大字宮崎1315番地		
	電話	097-568-5780	FAX	097-567-1934	担当者所属	大分市医師会事務局

代表団体 2	団体名	大分市医師会立アルメイダ病院				
	郵便番号	870-1195	住所	大分県大分市大字宮崎1509-2		
	電話	097-569-3121	FAX	097-569-3316	担当者所属	医療連携室

システムの導入目的	医療連携
-----------	------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	効果なし	効果なし	効果なし
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	効果なし	どちらとも言えない	効果なし
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	効果なし	効果なし	効果なし
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	その他

対象地域	その他 ( 医師会員、登録医施設 )
------	--------------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	8	8				実施中	346	346	医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	画像情報の共有、画像診断サービス、検査機関との連携
	予定	電子紹介状、退院時サマリ、在宅医療連携、情報共有(掲示板など)、診療・検査予約、空床情報、Eメール・メルマガなど

補足・備考: 画像情報の共有及び画像診断サービスは、一方向のみ  
 その他のサービスは、24年度のアンケート結果から追加

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	デジタル画像と通信(DICOM)
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
----------	--------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
	病院	3,000 円		
	診療所	3,000 円		
	薬局			
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用	運用費用	運用費用内訳			
	補足・備考	補足・備考	保守費/年間	補足・備考	その他費用/年間	補足・備考
実施中	33,000 千円		基幹病院の電子カルテシステムのオブショ	基幹病院の電子カルテシステムのオブショ	基幹病院の電子カルテシステムのオブショ	基幹病院の電子カルテシステムのオブショ
実施予定						

システム構築費用負担者	実施中	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担、地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担
	実施予定	

都道府県: 宮崎県 システムの名称: 宮崎健康福祉ネットワーク  
 開始年: 2002年 略称・愛称: はにわネット  
 再生基金: 公開URL: <http://www.haniwa-net.jp/>

情報更新日: 2014-01-13

## システムの概要:

中核病院医療情報連携システム  
 地域の医療機関から中核病院へ紹介入院となった患者の電子カルテを紹介元医師が自院のパソコンから閲覧できるシステム。紹介元医は、紹介患者の中核病院入院後の画像や検査データも含めたすべての診療情報をリアルタイムで閲覧できる。現在、宮崎大学病院と県内の紹介元医師間で運用している。

代表団体 1	団体名	特定非営利活動法人宮崎健康福祉ネットワーク協議会				
	郵便番号	889-1692	住所	宮崎県宮崎市清武町木原5200		
	電話	0985-85-9029	FAX	0985-84-2549	担当者所属	宮崎大学医学部附属病院 医療情報部

都道府県: 宮崎県 システムの名称: 未定  
 開始年: 2014年 略称・愛称: 未定  
 再生基金: 公開URL: 非公開

情報更新日: 2014-01-22

宮崎県西部地域の救急医療の中核医療機関である都城市郡医師会病院（都城救急医療センターを含む）と圏域医療機関との間に紹介患者の診療録の参照や放射線画像及び診断結果等の参照が可能な医療ネットワークを構築して患者情報の共有を実現する。

代表団体 1	団体名	都城市郡医師会病院				
	郵便番号	885-0062	住所	宮崎県都城市大岩田町5 8 2 2 番地 3		
	電話	0986-39-2322	FAX	0986-39-1108	担当者所属	事務部
システムの導入目的	医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得		医療機関間の人的ネットワーク		
	効果なし	効果なし		効果なし		
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化		診療所にとって地域中核病院からのサポート		
	効果なし	どちらも言えない		どちらも言えない		
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減		医師の負担軽減		
	どちらも言えない	どちらも言えない		どちらも言えない		
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減		その他		
効果なし	効果なし		効果なし			
システムが現在抱えている課題: 患者の同意書を取るのに中核病院側(電子カルテシステム)と病医院側(閲覧)との調整に手間取っている。						
対象地域	二次医療圏での連携 ( 都城市北諸県郡 )					

都道府県: 宮崎県 システムの名称: 周産期ネットワークシステム  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2014-03-03

宮崎県の県西地区(都城北諸県医療圏・西諸医療圏)におけるハイリスク分娩患者の受け入れ体制の整備、コンサルティング及び症例研究活動を円滑に実施するため、圏域内の周産期医療に対応する高次施設(2施設)、一次施設(8施設)及び助産施設(3施設)へ周産期医療ネットワークシステムを導入し、CTG波形情報の連携を中心に様々な情報を共有し、相互に連携してより効果的かつ効果的な周産期医療の提供を図っている。

代表団体 1	団体名	独立行政法人国立病院機構都城病院		
	郵便番号	885-0014	住所	宮崎県都城市祝吉町5033番地1
	電話	0985-23-4	FAX	0986-24-3
	担当者所属	事務部企画課		

システムの導入目的	周産期医療対策
-----------	---------

システム導入が必要になった地域の課題: 都城病院は、宮崎県の県西地区(都城北諸県医療圏・西諸医療圏)の周産期医療体制の中核を担い、当該圏域内のハイリスク分娩患者に対応しているが、医師の退職や引き上げにより産科医が減るなど、その体制の維持・確保が課題となっている。また、県西地区においては、従来より他の周産期医療圏よりも産科医が少なく、西諸医療圏域では病院に産科医がないという厳しい状況にある。このため、ハイリスク分娩患者の受け入れ体制の整備、コンサルティング及び症例研究活動を円滑に実施するため、当院と圏域内の周産期医療に対応する医療機関へ周産期医療ネットワークシステムを導入し、相互に連携して運用することにより、より効果的かつ効果的な周産期医療の提供を図ることとした。

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
	医師の偏在を補う効果	効果あり	効果あり
	地域中核病院にとって診療所からの支援	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	看護師の負担軽減	効果あり	効果あり
		業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
		事務職員の負担軽減	その他

対象地域	二次医療圏での連携(都城北諸県医療圏・西諸医療圏)
------	---------------------------

参加施設数	病院	診療所	薬局	介護施設	その他	参加患者数	登録数	情報共有数	施設参加同意方法	地域全体	施設毎	その他
実施中	4	6			3	実施中			医療機関等			
予定						予定			介護施設等			

患者参加同意方法	全参加施設の連携一括同意	施設毎に連携の可否を指定	施設毎に同意を得る	連携する医師毎に同意を得る	その他
----------	--------------	--------------	-----------	---------------	-----

連携している疾病の状況	実施中	
	予定	

提供しているサービス状況	実施中	
	予定	

連携方式	集中型	分散型	その他
------	-----	-----	-----

情報共有形態	双方向	参照のみ	その他
--------	-----	------	-----

地域共通ID	HumanBridge	ID-Link	(光)タイムライン	プライムアーチ	独自開発システム	その他	不使用	標準化ストレージ	SS-MIX	SS-MIX2	PIX-PDQ	その他
--------	-------------	---------	-----------	---------	----------	-----	-----	----------	--------	---------	---------	-----

連携用情報の保管場所	院内	院外	その他	情報/データのバックアップ体制	提供ベンダのサービス	遠隔地待機系サーバ	他地域との複製共有	別媒体	特別な対策無し	その他
------------	----	----	-----	-----------------	------------	-----------	-----------	-----	---------	-----

厚生労働省標準規格	実施中	
	予定	

通信ネットワーク	専用線	IP-VPN	IPSec+IKE	その他のVPN	SSL	その他
医療機関等						
介護施設他						
患者						

ログインセキュリティ	2要素認証	ID/Pass	HPKI	PKI	その他ICカード	USBトークン	生体認証	その他
医療機関等								
介護施設他								
患者								

主な関連IT企業	企業名(1)	企業名(2)	企業名(3)
----------	--------	--------	--------

サービス利用・参加費用	実施中		実施予定	
	サービス費用(月額)	補足・備考	サービス費用(月額)	補足・備考
病院	0円			
診療所	0円			
薬局				
介護施設他				
患者				

データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用
---------	-----------------	---------------	----------------

構築・運用費用概算	構築費用		運用費用		運用費用内訳	
		補足・備考		補足・備考	保守費/年間	補足・備考
実施中	70,000千円			通信費は各施設負担		
実施予定						

システム構築費用負担者	実施中	自治体の負担
	実施予定	

システム運用費用負担者	実施中	参加施設の負担
	実施予定	

都道府県: 鹿児島県 システムの名称: かがしま救急医療遠隔画像診断センターシステム  
 開始年: 2013年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL:

情報更新日: 2013-12-20

## システムの概要:

1. 365日24時間いつでも読影可能救急医療にも対応できる体制を整備。
2. 読影専門医を県内外および国外に配置。
3. 高速画像転送システムの採用。
  - ・画像プロキシー機能搭載型D I C O M Gateway を導入。
  - ・救急・夜間及び離島の通信環境を考慮し、軽量・高速性を追求。
4. 医師とのコミュニケーションツール
  - ・医師とのリアル・オンラインカンファレンスを実現。
  - ・依頼者側と読影医が同一のシステムは不要。
  - ・iPadでも参照可能。

代表団体 1	団体名	鹿児島県医師会				
	郵便番号	890-0053	住所	鹿児島県鹿児島市中央町8番1号		
	電話	099-254-8121	FAX	099-254-8129		
	担当者氏名	坂上弘憲	担当者所属	地域保健課		
			Eメール	isichiho@kagoshima.med.or.jp		
システムの導入目的	救急医療対策、医療連携					
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	効果あり	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	どちらとも言えない	医療機関間の人的ネットワーク	どちらとも言えない
	医師の偏在を補う効果	効果あり	患者紹介の円滑化	どちらとも言えない	診療所にとって地域中核病院からのサポート	どちらとも言えない
	地域中核病院にとって診療所からの支援	効果あり	業務全体の負担軽減	効果あり	医師の負担軽減	効果あり
	看護師の負担軽減	効果あり	事務職員の負担軽減	効果あり	その他	効果あり
	どちらとも言えない	効果あり	どちらとも言えない	効果あり	その他	効果あり
	どちらとも言えない	効果あり	どちらとも言えない	効果あり	その他	効果あり
	どちらとも言えない	効果あり	どちらとも言えない	効果あり	その他	効果あり
対象地域	複数県にまたがる連携 ( 熊本県、宮崎県 )					
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用			

都道府県: 沖縄県 システムの名称: 中部地域在宅医療ネットワーク  
 開始年: 2012年 略称・愛称:  
 再生基金: 公開URL: <http://www.chubu-ishikai.or.jp/zaitakunet/>

情報更新日: 2014-01-22

在宅療養支援診療所が少ない地域や、在宅診療医不在の場合など、患者に不都合が生じないよう、在宅主治医、サポート医、各種専門医、訪問看護、訪問介護、ヘルパーステーション、地域包括支援センター、入院患者受け入れや専門医派遣等を行う病院(連携協力病院)を紹介する在宅医療総合ネットワークを構築し、地域住民に対し質の高い在宅医療を提供できるようにする仕組みです。

代表団体 1	団体名	一般社団法人中部地区医師会		
	郵便番号	904-0113	住所	沖縄県中頭郡北谷町字宮城1-584
	電話	098-936-8201	FAX	098-936-8207
	担当者所属			
システムの導入目的	在宅医療対策			
システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク	
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	効果あり	
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	診療所にとって地域中核病院からのサポート	
	看護師の負担軽減	事務職員の負担軽減	医師の負担軽減	
	その他	その他		
対象地域	その他 ( 中部地区医師会管内 )			
データ利用目的	地域の医療費適正化の目的で利用	学術研究等の公益目的で利用	統計結果の公益目的以外で利用	

都道府県： 沖縄県 システムの名称： 浦添市医師会情報共有システム  
 開始年： 2009年 略称・愛称：  
 再生基金： 公開URL：

システムの概要：

情報更新日： 2013-12-18

多職種連携の為の情報共有を行う。

対象職種  
 ・医師  
 ・看護師  
 ・介護士  
 ・薬剤師  
 ・介護支援専門員

代表団体 1	団体名	浦添市医師会				
	郵便番号	901-2132	住所	沖縄県浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101		
	電話	098-874-2344	FAX	098-874-2362	担当者所属	事務局長
	担当者氏名	平良 孝		Eメール	taira@uraishi.or.jp	

システムの導入目的	在宅医療対策、その他、医療・看護・介護の情報連携
-----------	--------------------------

システム導入による効果	医療機関間での機能分化	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得	医療機関間の人的ネットワーク
			効果あり
	医師の偏在を補う効果	患者紹介の円滑化	診療所にとって地域中核病院からのサポート
	地域中核病院にとって診療所からの支援	業務全体の負担軽減	医師の負担軽減
	看護師の負担軽減	どちらも言えない	どちらも言えない
	どちらも言えない	事務職員の負担軽減	その他

システムが現在抱えている課題： 運営費

対象地域	その他（浦添市）
------	----------

# IT を利用した地域医療連携の概要

2013 年度版

## 別添 3 「主な IT 関連企業」

※アンケートで非公開指定された情報は除いています

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名(略称)	企業名1	企業名2	企業名3	開始年	再生 計画
1	北海道	東胆振医療情報連携ネットワーク				2008	
2	北海道	ジービーネット				2011	
3	北海道	道南MedIka(メディアカ)				2007	
4	北海道	ID-LINK				2011	
5	北海道	community-link				2012	
6	北海道	旭川クロスネット	富士通			2012	
7	北海道	ID-LINK				2010	
8	北海道	北まるnet	(株) DBPowers	(株) ヒューネス		2011	
9	北海道	新ひだか町バーチャル総合病院構想				2011	
10	北海道	スワネット				2010	
11	北海道	道南MedIka	(株) エイシーシー(開発元)	日本電気(株)(販売)	(株) シーエスアイ(販売)	2012	
12	北海道	釧路根室圏医療情報共有ネットワーク構築事業(仮称)				2014	○
13	北海道	はれ晴れネット				2014	○
14	北海道	たいせつ安心?医療ネット(予定)	富士通(株)			2014	○
15	北海道	ポラリスネットワーク				2013	○
16	北海道	道央圏診療情報共有ネットワークシステム構築事業(仮称)				2013	○
17	北海道	南檜山地域医療連携システム				2011	○
18	青森県	(仮称) 地域医療情報共有システム				2014	○
19	青森県	未定				2014	○
20	岩手県	いーはとーぶ				2009	○
21	岩手県	かまいし・おおつち医療情報ネットワーク	(財)医療情報システム開発センター	(株)ミトラ		2013	○
22	岩手県	遠野型すこやかネットワーク	富士ファイルム(株)	富士ファイルムメディアカル(株)	富士ファイルムメディアカルITソリューションズ(株)	2009	
23	岩手県	みやこサーモンケアネット	(株)SBS情報システム	日本電気(株)		2013	○
24	岩手県	北三陸ネット				2015	○
25	宮城県	Sマイルネット				2011	
26	宮城県	在宅チームケアSaaS	富士通(株)			2012	
27	宮城県	みやぎ医療福祉情報ネットワークシステム				2013	○
28	秋田県	あきたハートフルネット	NEC	富士通		2014	○
29	山形県	ちようかいネット	(株)シーエスアイ			2011	○
30	山形県	OKI-net(おきねっと)	NEC	SEC	NDソフトウェア	2012	○
31	山形県	Net4U	(株)ストローハット			2000	○
32	山形県	もがみネット				2013	○
33	福島県	会津さすけネット				2014	○
34	福島県	県中県南メディアカルネット				2013	○
35	茨城県	放射線治療テレカンファレンスシステム				2011	
36	茨城県	いばらき安心ネット:iSN				2014	○
37	栃木県	病診連携ネットワークシステム				2007	

※網がけは非公開指定

※空白は未入力

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名 (略称)	企業名 1	企業名 2	企業名 3	開始年	再生 計画
38	栃木県	とちまるネット				2013	○
39	群馬県	画像情報ネットワークシステム	GE			2012	○
40	群馬県	群馬健康ネット				2010	
41	埼玉県	とねっと	(株)NTTデータ			2012	○
42	千葉県	地域診療情報連携ネットワーク				2008	○
43	千葉県	患者カルテ (PLANET)、共有カルテ				2001	
44	千葉県	ViewSend RAD-R (遠隔読影システム)				2013	
45	千葉県	医療機関ITネット				2013	○
46	千葉県	わかしお				2011	
47	東京都	HOTプロジェクト				2003	
48	東京都	のとほく・ねっと				2013	
49	東京都	Web-NTMC				2011	
50	東京都	リワーク情報連携システム				2014	
51	東京都	T-PAN				2011	
52	東京都	ぐんぐんルーム (今後、変更の可能性はありません)				2012	
53	東京都	サイボウズLive	サイボウズ(株)	セコム医療情報システム(株)		2010	
54	東京都	MIO Karte				2012	
55	東京都	<small>平成25～26年度 地域医療連携の普及に向けた健康情報活用基盤実証事業</small>				2014	
56	東京都	e-PICUシステム				2011	○
57	神奈川県	おひさまシステム				2010	
58	神奈川県	遠隔健康相談システム				2010	
59	神奈川県	ケーシーズ				2013	
60	神奈川県	「在宅医ネットよこはま」システム				2012	
61	新潟県	うおぬま・米(まい)ねっと				2014	○
62	新潟県	さどひまわりネット	日本ユニシス	バーチャレクス・コンサルティング		2013	○
63	富山県	とやま医療連携ネットワーク				2013	○
64	富山県	たてやま医療連携ネット				2006	
65	富山県	れんけいネット				2013	
66	富山県	となみ野メデイカルネット				2013	○
67	石川県	脳卒中画像伝送システム				2011	
68	石川県	KISS (Keiju Infomation Spherical Sytem)				2000	
69	石川県	KISS (Keiju Infomation Spherca System)				2000	
70	石川県	iProject				2014	
71	石川県	いしかわ診療情報共有ネットワーク	日本電気(株) ((株)SEC)			2013	○
72	石川県	のとMy				2012	
73	石川県	百万石メデイネット				2006	
74	石川県	能登北部遠隔医療・地域医療連携システム				2009	

※網がけは非公開指定

※空白は未入力

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名 (略称)	企業名 1	企業名 2	企業名 3	開始年	再生 計画
75	石川県	たまひめネット				2002	
76	福井県	ふくいメデイカルネット				2014	○
77	福井県	TRITRUS (トリトラス)	(株)カナミックネットワーク			2013	○
78	山梨県	マイ健康レコード				2004	
79	山梨県	Ft-Net				2014	○
80	山梨県	KOMPAS	(株)ウインテックコミュニケーションズ	(株)ワイ・シー・シー		2014	○
81	長野県	信州メデイカルネット	富士通	NEC		2011	○
82	長野県	慈泉会診療情報開示システム	NTT東日本	ソフトウエアサービス		2002	
83	岐阜県	はやぶさネット				2011	
84	岐阜県	救急医療搬送システム (岐阜県のPJ名称)	OKI	(株) パケモ		2012	
85	岐阜県	救急医療体制支援システム				2013	
86	岐阜県	オーエムネット (OMNet)				2013	
87	岐阜県	ぎふ医療ネット (仮称)				2014	○
88	静岡県	ふじのくにねっと	富士通(株)			2011	
89	静岡県	静岡県版在宅医療連携ネットワークシステム	(株)SBS情報システム			2012	○
90	静岡県	磐岡医師会ホームページ				2011	
91	静岡県	ESMAT (エスマット)	富士通(株)			2013	○
92	愛知県	セントラルねっと				2011	
93	愛知県	金鯨メデイネット				2009	
94	愛知県	KTメデイネット	KDDI	富士通		2012	
95	愛知県	いきいき笑顔	CTC			2010	
96	愛知県	エキサイネット				2002	
97	三重県	三重医療安心ネットワーク				2010	○
98	滋賀県	びわ湖メデイカルネット				2014	○
99	滋賀県	未定				2014	
100	滋賀県	さざなみ病理ネット				2013	○
101	滋賀県	ココネット				2013	
102	京都府	まいこネット				2007	
103	京都府	地域連携パスオンラインシステム	(株) ストローハット			2011	○
104	京都府	ポケットカルテ				2008	
105	京都府	未定	NTTデータ関西			2014	○
106	大阪府	「a.i net (エーアイネット)」	Fujitsu 富士通(株)	Cisco シスコシステムズ合同会社	J-Mac (株)ジェイマックシステム	2011	
107	大阪府	地域医療ネットワーク	三菱電機情報ネットワーク			2010	
108	大阪府	八尾市立病院病診薬連携ネットワークシステム				2012	
109	大阪府	ブルーカード	ウインテック(株)			2009	
110	兵庫県	h-Anshin むこねっと				2015	○
111	兵庫県	北はりま絆ネット				2011	○

※網がけは非公開指定

※空白は未入力

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携名 (略称)	企業名 1	企業名 2	企業名 3	開始年	再生 計画
112	兵庫県	セコムユビキタス電子カルテ	セコムトラスト	EIR		2011	
113	奈良県	e-MATCH				2012	○
114	和歌山県	サイバーパス				2011	
115	和歌山県	こつこつネット				2012	
116	和歌山県	ゆめ病院				2002	
117	和歌山県	青洲リンク	(株) サイバーリンクス			2013	○
118	鳥取県	おしどりネット2				2012	○
119	島根県	まめネット				2013	○
120	岡山県	新見あんしんねっと				2011	
121	岡山県	晴れやかネット	富士通 (株)	(株) 日本電気	(株) NTTデータ	2013	○
122	岡山県	HumanBridge V.3				2011	
123	広島県	荒木脳神経外科病院 地域医療情報連携ネットワーク	中国サンネット			2012	
124	広島県	波と風ネット	(株) 医療情報システム			2010	
125	広島県	もみじ医療福祉ネット				2006	
126	広島県	天かける(アマカケル)	日本電気(株)	(株) エスイーシー	日本流通システム(株)	2011	
127	広島県	HIMネット	プロノテック	ソフトウェアサービス	A I D	2013	○
128	広島県	くわいネット				2013	
129	山口県	HIS				2009	
130	山口県	医療ネットながと				2012	○
131	山口県	さんさんネット				2014	○
132	徳島県	遠隔画像診断システム				2013	○
133	徳島県	未定				2014	○
134	徳島県	糖尿病及び合併症における病病連携事業	日本ユニシス(株)	日本電気(株)	富士通(株)	2011	
135	香川県	K-MIX (仮称)				2013	○
136	香川県	K-MIX	(株) STnet			2003	
137	愛媛県	連携EMAネットワーク				2014	○
138	愛媛県	心筋梗塞患者における救急隊・病院連携体制の構築事業				2013	○
139	愛媛県	小児先天性心疾患患者に対する地域医療連携システム (仮称)				2013	○
140	愛媛県	中予地域空床管理ネットワーク				2013	○
141	愛媛県	南予地域医リハビリテーションシステム				2013	○
142	高知県	未定				2013	○
143	高知県	しまんとネット				2010	
144	高知県	高知県中西部医療介護ICT連携事業				2011	
145	福岡県	Health DB				2014	
146	福岡県	ID Link				2012	○
147	福岡県	アザレアネット				2012	
148	福岡県	むーみんネットシステム				2012	

※網がけは非公開指定

※空白は未入力

別添2 頁番号	都道府県	地域医療連携携名（略称）	企業名1	企業名2	企業名3	開始年	再生 計画
149	福岡県	エイル				2011	
150	福岡県	ひまわりネット	西日本MC	ケーストリームヘルス		2012	
151	福岡県	TRITRUSシステム				2013	
152	福岡県	とびうめネット				2014	○
153	佐賀県	ピカピカリンク				2010	○
154	長崎県	あじさいネット	NTTデータ及びNTTデータ中国	富士通	NEC	2004	○
155	長崎県	クロスネット	テクマトリックス(株)			2007	
156	長崎県	メディカル・ネット99				2004	
157	長崎県	長崎在宅Dr. ネットメーリングリスト				2009	
158	長崎県	糖尿病等地域連携システム				2015	○
159	熊本県	くまちゆう画像ネット	PSP(株)			2012	
160	大分県	ゆけむり医療ネット	富士通(株)	NTT西日本	日立製作所	2011	
161	大分県	うすき石仏ねっと				2007	
162	大分県	処方箋の電子化に向けた検討のための実証事業	富士通	パナソニックヘルスケア	EMシステムズ、三菱メルファン	2012	
163	大分県	府内ネット				2011	
164	宮崎県	はにわネット				2002	
165	宮崎県	未定				2014	○
166	宮崎県	周産期ネットワークシステム				2012	○
167	鹿児島県	かごしま救急医療遠隔画像診断センターシステム				2013	○
168	沖縄県	中部地域在宅医療ネットワーク				2012	
169	沖縄県	浦添市医師会情報共有システム				2009	

※網かけは非公開指定

※空白は未入力

# IT を利用した地域医療連携の概要

2013 年度版

## 別添 4 「アンケート項目と内容」

## アンケートの記入開始

☆アンケートご記入に際してのお願い。

(1)できるだけ、すべての項目にご記入願います。記入をされたくない項目・内容又は該当しない項目等は、記入されなくてもかまいません。

(2)公開したくない回答欄は、「 このセクションのすべての情報を公開しない。」欄に✓をしてください。

## 1 システムの概要について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない。(ただし、システムの名称は公開可とします。)

1	システムの概要について	システムの名称 (記入必須)		<small>(仮称はシステム名に(仮称)を加えてください。未定は(未定)と記入ください。)</small>	
		システムの略称・愛称(ある場合)			
		システムの概要			
		サービスの運用	開始状況	<input type="checkbox"/>	回答するシステムは、サービス開始済である。
				<input type="checkbox"/>	回答するシステムはサービス開始予定である。
	開始年(西暦)	<small>(予定の場合は、予定年を記入ください。)</small>			
	公開URL(ある場合)				

## 2 システムの代表団体について

システム・サービスを運営している/する予定の代表団体についておたずねします。

	公開したくない情報については下記いずれかにチェックを入れてください。(どちらもチェックを入れない場合はすべて公開となります。)
	<input type="checkbox"/> このセクションの「担当者氏名」及び「Eメールアドレス」は公開しない
	<input type="checkbox"/> このセクションのすべての情報を公開しない

システムの代表団体について	代表団体名		
	連絡先及び連絡先担当者	郵便番号	
		住所	
		電話	
		FAX	
		担当者所属	
		担当者氏名	
		担当者Eメールアドレス	

### システムの代表団体2について

システム・サービスを運営している/する予定の団体が、共同形態等で複数ある場合は入力してください。

	公開したくない情報については下記いずれかにチェックを入れてください。(どちらもチェックを入れない場合はすべて公開となります。)
	<input type="checkbox"/> このセクションの「担当者氏名」及び「Eメールアドレス」は公開しない
	<input type="checkbox"/> このセクションのすべての情報を公開しない

システムの代表団体2について	代表団体名(2)		
	連絡先及び連絡先担当者	郵便番号	
		住所	<input type="checkbox"/> 選択してください。
		電話	
		FAX	
		担当者所属	
		担当者氏名	
		担当者Eメールアドレス	

## 3 システムの実施目的・地域など(平成25年度追加項目)

システム・サービスの実施目的・地域などについておたずねします。

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

システムの実施目的について(複数選択可) (サービス開始済及び導入予定のシステム)	<input type="checkbox"/>	医師・看護師等の確保対策	<input type="checkbox"/>	救急医療対策	<input type="checkbox"/>	周産期医療対策	<input type="checkbox"/>	へき地医療対策
	<input type="checkbox"/>	小児医療対策	<input type="checkbox"/>	災害医療対策	<input type="checkbox"/>	がん対策	<input type="checkbox"/>	精神科医療対策
	<input type="checkbox"/>	医療連携	<input type="checkbox"/>	在宅医療対策	<input type="checkbox"/>	疾病予防対策	<input type="checkbox"/>	疾病管理(重症化予防)
	<input type="checkbox"/>	健康管理	<input type="checkbox"/>	その他				
	自由記入							
システム導入が必要になった地域の課題について (サービス開始済及び導入予定のシステム)	自由記入							
システム導入による効果(複数選択可) (導入済の方のみ記入してください。)	医療機関間で機能分化が進んだ	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし	
	医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし	
	医療機関間の人的ネットワークが進んだ	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし	
	医師の偏在を補う効果があった	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし	
	患者紹介、逆紹介の円滑化が進んだ	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし	
	診療所にとって	地域中核病院のサポートが受けられるようになった	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
	地域中核病院にとって	診療所の支援が受けられるようになった	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
	業務の効率化	業務全般の負担軽減	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
		医師の負担軽減	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
		看護師の負担軽減	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
		事務職員の負担軽減	<input type="checkbox"/>	効果あり	<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	効果なし
その他(自由記入)								
システムが現在抱えている課題がありましたらご記入ください。 (導入済の方のみ記入してください。)	(自由記入)							
システムが対象とする地域をを選択してください。 (サービス開始済及び導入予定のシステム) (予定の場合は予定する地域)	<input type="checkbox"/>	複数県にまたがる連携	(複数都道府県名を記入)					
	<input type="checkbox"/>	全県域での連携	(都道府県名を記入)					
	<input type="checkbox"/>	二次医療圏での連携	(二次医療圏名を記入)					
	<input type="checkbox"/>	市区町村単位での連携	(市区町村名を記入)					
	<input type="checkbox"/>	その他	(自由記入)					

#### 4 参加団体と参加患者数について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)  
このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始される場合、「実施予定あり」又は「実施なし/予定なし」を選択ください。  
 これからサービスを開始される場合、計画数、予定数をお答えください。

参加団体数について	病院	参加施設数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		( )施設	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
	診療所	参加施設数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		( )施設	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
	薬局	参加施設数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		( )施設	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
	介護施設	参加施設数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		( )施設	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
	その他の施設	参加施設数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		( )施設	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
(平成25年度追加項目)	登録患者数	( )人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
参加患者数について	実際に情報共有している患者数	( )人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			実績数	計画・予定数	
			実績数	計画・予定数	

5 参加の同意方法について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)  
このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始予定される場合、「実施予定あり」又は「実施なし/予定なし」を選択ください。

医療機関等	地域全体で参加	地域全体の施設の参加を目指している。	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	施設ごとの参加判断	施設ごとの参加判断を前提とした手上げ	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	その他の方式		<input type="checkbox"/>		
介護施設、その他	地域全体で参加	地域全体の施設の参加を目指している。	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	施設ごとの参加判断	施設ごとの参加判断を前提とした手上げ	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	その他の方式		<input type="checkbox"/>		
患者さん	参加施設すべての情報連携に一括同意	患者さんの同意があれば、参加施設すべてで連携する	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	施設毎に情報連携の可否を指定	参加施設リスト等で、患者さんが連携先をいくつ	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	(平成25年度追加項目) すべての施設毎に同意を得る。	患者さんが受診する施設ごとに同意をとる方	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	(平成25年度追加項目) 連携するすべての医師毎に同意を得る。	患者さんが受診する医師ごとに同意をとる	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	その他の方式		<input type="checkbox"/>		

6 サービスについて

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始される場合、「実施予定あり」又は「実施なし/予定なし」を選択ください。

連携している疾病について (連携パス)	大腿骨頸部骨折	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	脳血管障害	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	心臓疾患	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	胃・大腸がん	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	その他のがん	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	肝炎	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	(平成25年度追加項目) 糖尿病	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	(平成25年度追加項目) 認知症	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
	その他	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		電子紹介状	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり

ITを利用した地域医療連携アンケート

サービス  
について

提供している/  
するサービス  
について

遠隔医療	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
遠隔カンファランス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
電子処方箋(実証等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
電子おくすり手帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
(平成25年度追加項目) 電子版糖尿病手帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
退院時サマリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
健診情報連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
在宅医療連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
介護連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
画像情報の共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
画像診断サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
検査機関との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
患者用IDカードの発行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
医療従事者用モバイル対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
患者サービス	(PCアクセスサービス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
	(モバイルアクセスサービス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
どこでもMY病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
(平成25年度追加項目) その他のサービス	情報共有(掲示板など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
	診療・検査予約	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
	空床情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
	メール、メルマガなど	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり
その他のサービス	(記入)		
その他 備考・補足など (自由記入)			

## 7 システムについて(その1)

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始される場合、「実施予定あり」又は「実施なし/予定なし」を選択ください。

システム の概要に ついて	連携方式	集中型(例:中核病院の電カルに他の医療機関が参加)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		分散型(例:各機関のシステムを相互に接続し連携、リポジット方式)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他	(その他の方式を記入)			
	情報共有の 形態	双方向での共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		参照のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他	(その他の形態を記入)			
	地域共通の患 者IDシステム について	HumanBridgeシステムを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ID-Linkシステムを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) (光)タイムラインを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) プライムアーチを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		独自開発のシステムを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他の共通IDシステムを利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			(平成25年度追加項目)その他のシステム名を記入			
		共通IDを使用していない	<input type="checkbox"/>			
	(平成25年度追 加項目) 標準化スト レージ	SS-MIXの実装	SS-MIXを実装	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			SS-MIX2を実装	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		PIX-PDQの実装	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他を実装	(その他のシステム名を記入)			

ITを利用した地域医療連携アンケート

連携用情報/ データの主な保 存場所	各医療機関の院内		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	院外のデータセンター		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	その他		(その他の保存場所を記入)			
システムの 概要に ついて	障害対策	提供ベンダーのサービスを利用	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
		待機系サーバを遠隔地に設置	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
		(平成25年度追加項目) 他地域との複製データ共有	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
		障害に備えた共有データのバックアップ	テープ等の別媒体でバックアップデータを保存	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		特別な対策はしていない	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
		その他	(その他の対策を記入)			
厚生労働省 標準規格の 採用	医薬品HOTコードマスター		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	ICD10 対応標準病名マスター		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供)		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	診療情報提供書(電子紹介状)		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	IHE 統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用指針		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	保健医療情報-医療波形フォーマット-第92001部:符号化規則		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	JAHIS 臨床検査データ交換規約		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	標準歯科病名マスター		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	臨床検査マスター		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	JAHIS 放射線データ交換規約		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	
	HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ1017 指針)		<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし	

8 システムについて(その2)

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始される場合、「実施予定あり」又は「実施なし/予定なし」を選択ください。

通信ネットワーク	医療機関等との通信	(平成25年度追加項目) 専用線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		IP-VPN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		インターネットVPN (IPSec+IKE)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) インターネットVPN (その他のVPN)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		インターネット(SSL)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他	(記入)			
	介護施設・その他施設との通信	(平成25年度追加項目) 専用線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		IP-VPN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		インターネットVPN (IPSec+IKE)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) インターネットVPN (その他のVPN)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		インターネット(SSL)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他	(記入)			
	通信ネットワーク	患者さんとの通信	(平成25年度追加項目) 専用線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			IP-VPN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			インターネットVPN (IPSec-VPN)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			(平成25年度追加項目) インターネットVPN (その他のVPN)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			インターネット(SSL)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			その他	(記入)		
ログインセ	医療機関・薬局用	2要素認証とは、パスワードとICカードなど、2つを組み合わせた方式	(平成25年度追加項目) 2要素認証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		IDとパスワード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		HPKI電子証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ICカード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) USBトークン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		(平成25年度追加項目) 生体認証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他	(記入)			
		(平成25年度追加項目) 2要素認証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		IDとパスワード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		HPKI電子証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

ITを利用した地域医療連携アンケート

セキュリティ	介護施設・その他施設用	ICカード	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		(平成25年度追加項目) USBトークン	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		(平成25年度追加項目) 生体認証	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		その他	(記入)		
	患者さん用	(平成25年度追加項目) 2要素認証	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		IDとパスワード	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		ICカード	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		(平成25年度追加項目) USBトークン	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		(平成25年度追加項目) 生体認証	<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 実施予定あり	<input type="checkbox"/> 実施なし/予定なし
		その他	(記入)		
	主な関連IT企業	企業名(1)			
		企業名(2)			
		企業名(3)			

9 サービス利用・参加料金について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始予定される場合、「実施予定のサービス」欄のみ、できるだけ記入ください。

サービス 利用・参加 料金につ いて	病院	実施中のサービス <input type="checkbox"/>	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料	
			月額	_____円		
			補足・備考 (自由記載)			
		実施予定のサービス <input type="checkbox"/>	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料	
			月額	_____円		
			補足・備考 (自由記載)			
	診療所	実施中のサービス	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料	
			月額	_____円		
			補足・備考 (自由記載)			
		実施予定のサービス	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料	
			月額	_____円		
			補足・備考 (自由記載)			
薬局	実施中のサービス	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料		
		月額	_____円			
		補足・備考 (自由記載)				
	実施予定のサービス	(有料の場合、下記に月額を記述してください。)	<input type="checkbox"/> 有料	<input type="checkbox"/> 無料		
		月額	_____円			
		補足・備考 (自由記載)				

ITを利用した地域医療連携アンケート

サービス 利用・参加 料金につ いて	介護施設・そ の他	実施中のサービス	(有料の場合、下記に月 額を記述してください。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			月額	有料	無料	
		補足・備考 (自由記載)				
		実施予定のサービス	(有料の場合、下記に月 額を記述してください。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	月額		有料	無料		
	補足・備考 (自由記載)					
	患者さん	実施中のサービス	(有料の場合、下記に月 額を記述してください。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			月額	有料	無料	
補足・備考 (自由記載)						
実施予定のサービス		(有料の場合、下記に月 額を記述してください。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	月額	有料	無料			
補足・備考 (自由記入)						

10 蓄積された個人情報・診療情報の利用

システムで蓄積された情報の診療以外での利用についておたずねします。

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)

このセクションのすべての情報を公開しない

(平成25年度追加項目) 個人情報・診療情報の利用	地域の医療費適正化の目的で利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	学術研究等の公益目的で利用	実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし
	統計結果の公益目的以外で利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		実施中	実施予定あり	実施なし/予定なし

11 予算関係について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)  
 このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始予定される場合、「実施予定のシステム」欄のみ、できるだけ記入ください。

予算関係 について	サービス実施中のシステム <input type="checkbox"/>	システムの構築費用概算(千円)	_____ 千円		補足・備考 (自由記入)	
		システムの運用費用概算(千円/年間)	_____ 千円		補足・備考 (自由記入)	
		システムの運用費用の内訳	保守費概算(千円/年間)	_____ 千円	補足・備考 (自由記入)	
			その他費用概算(千円/年間)	_____ 千円	補足・備考 (自由記入)	
	サービス実施予定のシステム <input type="checkbox"/>	システムの構築費用	_____ 千円		補足・備考 (自由記入)	
			_____ 千円		補足・備考 (自由記入)	
		システムの運用費用の内訳	保守費概算(千円/年間)	_____ 千円	補足・備考 (自由記入)	
				_____ 千円	補足・備考 (自由記入)	
			その他費用概算(千円/年間)	_____ 千円	補足・備考 (自由記入)	

12 費用の負担について

公開したくない情報については下記にチェックを入れてください。(チェックを入れない場合は公開となります。)  
 このセクションのすべての情報を公開しない

これからサービスを開始予定される場合、「実施予定のシステム」欄のみ、できるだけ記入ください。

費用の負担について	サービス実施中のシステム	システムの構築費用の負担(複数選択可)	参加施設の負担		<input type="checkbox"/>
			自治体の負担		<input type="checkbox"/>
			地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担		<input type="checkbox"/>
			国の負担	厚労省	<input type="checkbox"/>
				経産省	<input type="checkbox"/>
				総務省	<input type="checkbox"/>
		その他の省庁		<input type="checkbox"/>	
		その他	その他	<input type="checkbox"/>	
			(自由記入)		
		システムの運用費用の負担(複数選択可)	参加施設の負担		<input type="checkbox"/>
			自治体の負担		<input type="checkbox"/>
			地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担		<input type="checkbox"/>
	国の負担		<input type="checkbox"/>		
	患者さんの利用料・会費等で負担		<input type="checkbox"/>		
	その他		<input type="checkbox"/>		
	実施予定のシステム	システムの構築費用の負担(複数選択可)	参加施設の負担		<input type="checkbox"/>
			自治体の負担		<input type="checkbox"/>
			地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担		<input type="checkbox"/>
			国の負担	厚労省	<input type="checkbox"/>
				経産省	<input type="checkbox"/>
				総務省	<input type="checkbox"/>
		その他の省庁		<input type="checkbox"/>	
		未定		<input type="checkbox"/>	
		その他	その他	<input type="checkbox"/>	
(自由記入)					
システムの運用費用の負担(複数選択可)		参加施設の負担		<input type="checkbox"/>	
		自治体の負担		<input type="checkbox"/>	
	地域の医療関係団体(医師会、その他)の負担		<input type="checkbox"/>		
	国の負担		<input type="checkbox"/>		
	患者さんの利用料・会費等で負担		<input type="checkbox"/>		
	未定		<input type="checkbox"/>		
その他		<input type="checkbox"/>			

ご協力ありがとうございました。